

平成 2 5 年度
若者の意識・生活実態調査
報 告 書

平成 2 6 年 3 月

名 古 屋 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	あなたの生活のことについて	2
問 1	あなたは、親元を離れて生活したことがありますか。	2
問 2	あなたの経済状況についておうかがいします。	6
問 3	あなたの仕事についておたずねします。	14
問 4	あなたには仲のよい友達は何人いますか。	25
問 5	あなたは、現在結婚されていますか。	26
問 6	あなたにはお子さんがいますか。	32
問 7	あなたの外出の頻度についておたずねします。	36
2	あなたの子どもの頃のことや関連することについて	41
問 8	子どもの頃のあなたとご両親との関係はだいたいどのようでしたか。	41
問 9	あなたのご両親の最終学歴についておたずねします。	54
問 10	あなたのお母さんは、結婚・出産後も働いていらっしゃいましたか。	56
問 11	ご近所の方との関係についておたずねします。	57
問 12	小学生・中学生の頃に、次のような「大人」の人はいましたか。	60
問 13	進学をしたときに、スムーズに環境になじめないなど苦労したことがありましたか。	63
問 14	これまでに小さな子どもと触れ合ったり、子育てについて学ぶ機会がありましたか。	64
問 15	小学生・中学生の頃に次のような体験をしましたか。	65

3	あなたの考えなどについて	76
問 16	あなたができると思うものすべてに○をつけてください。	76
問 17	あなたがふだんから考えたりやったりしていることすべてに○をつけてください。	78
問 18	ふだんのあなたにあてはまると思うものすべてに○をつけてください。	80
問 19	あなたは次の意見に賛成ですか、それとも反対ですか。	82
問 20	人生で経験する出来事についてのあなたの考えをおたずねします。	98
問 21	あなたが自分についてどう思うかおたずねします。	119
問 22	あなたが現在、困っていることや悩んでいることがありますか。	123
問 23	あなたの相談相手についておたずねします。	125
問 24	あなたはこれまで自殺を試みたことがありますか。	128
問 25	あなたはこれまで自殺を考えたことがありますか。	129
問 26	あなたは身体の性と心の性が違っていると感じることがありますか。	130
問 27	あなたは5年後の自分をどのようにイメージしていますか。	131
問 28	あなたが将来不安に思うことは何ですか。	133
問 29	あなたは今の生活に満足していますか。	135
問 30	あなたが次のように感じる時は、どのようなときが多いですか。	140
4	最後にあなたの自身のことについてお聞きします。	144
F 1.	性別	144
F 1.	年齢	144
F 2.	現在、あなたといっしょにお住まいの方について、おたずねします。	145
F 3.	現在お住まいの住居はどれですか。	148
F 4.	あなたは、現在、何区にお住まいですか。	149
F 5.	あなたは中学3年生の頃、どこにお住まいでしたか。	151
F 6.	この1年間の、あなた自身の年収（税込みの収入）はだいたいどれぐらいでしたか。	153
F 7.	現在、経済的には、あなたの生活のレベルについてどのように感じていますか。	154
F 8.	あなたが卒業した、もしくは現在通っている学校についておたずねします。	155
F 9.	あなたが中学3年生の頃、学校の成績はどうでしたか。	157
F 10.	現在のあなたの健康状態はどうですか。	158
F 11.	あなたが中学3年生の頃の「あなたの家庭の暮らし向き」についておたずねします。	159
5	自由意見	161

Ⅲ 資料（調査票） 167

I 調査の概要

1 調査の目的

平成26年度に策定予定のなごや子ども条例第20条の規定による「子どもに関する総合計画」の基礎資料とするため若者の意識・生活実態・ニーズ等を調査するものです。

2 調査対象

名古屋市内に在住する平成25年4月1日現在18歳～39歳までの年齢に該当する者を住民基本台帳から無作為抽出

3 調査期間

平成25年11月1日から平成25年11月22日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
一般市民	10,000 通	2,191 通	2,191 通	21.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

Ⅱ 調査結果

1 あなたの生活のことについて

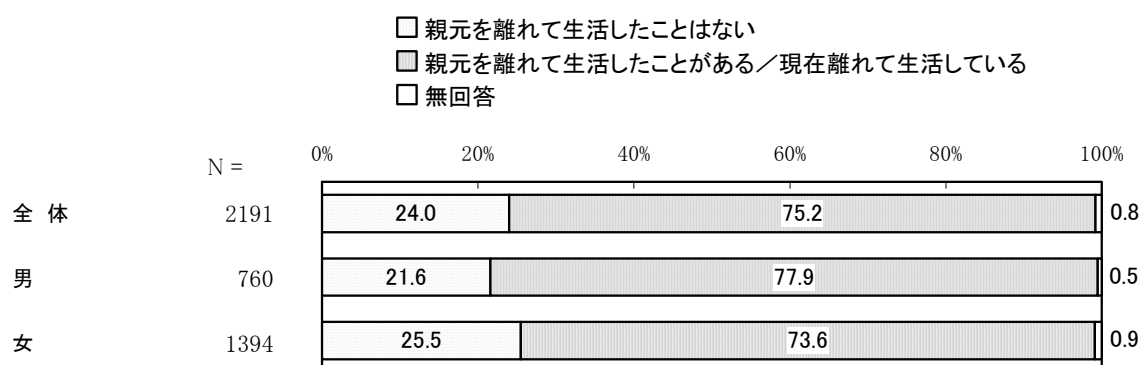
問1 あなたは、親元を離れて生活したことがありますか。

①はじめに、下の選択肢より、あてはまるもの1つに○をつけてください。

全体にみると、「親元を離れて生活したことがある／現在離れて生活している」の割合が75.2%、「親元を離れて生活したことはない」の割合が24.0%となっています。

【性別】

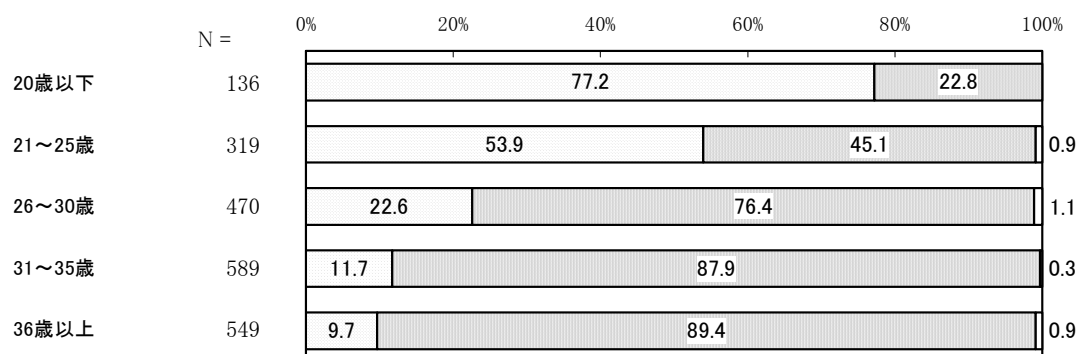
性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「親元を離れて生活したことがある／現在離れて生活している」の割合が高く、36歳以上で「親元を離れて生活したことがある／現在離れて生活している」の割合が89.4%となっています。

一方、25歳以下では、「親元を離れて生活したことはない」の割合が5割を超えており、26歳以上に比べて2倍以上の割合となっています。特に、20歳以下では、「親元を離れて生活したことはない」の割合が77.2%と高くなっています。



②引き続き、①であなたが○をつけた選択肢の続き（右側）の質問に、もれなく回答してください。

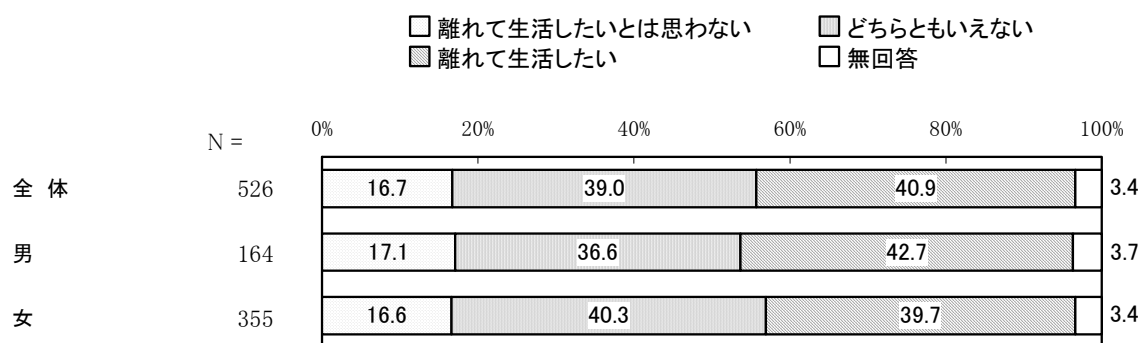
【問1に「親元を離れて生活したことはない」と回答した者への質問】

将来、親元を離れて生活したいですか？

全体にみると、「離れて生活したい」の割合が最も高く 40.9%、次いで「どちらともいえない」の割合が 39.0%、「離れて生活したいとは思わない」の割合が 16.7%となっています。

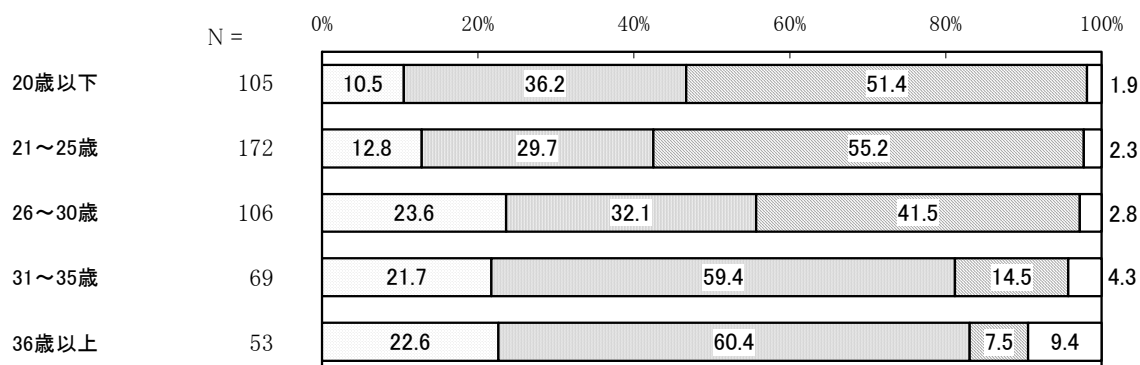
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、21～25歳で「離れて生活したい」の割合が最も高く 55.2%、36歳以上では「離れて生活したい」の割合が 7.5%にとどまっています。また、年代が高くなるにつれて「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



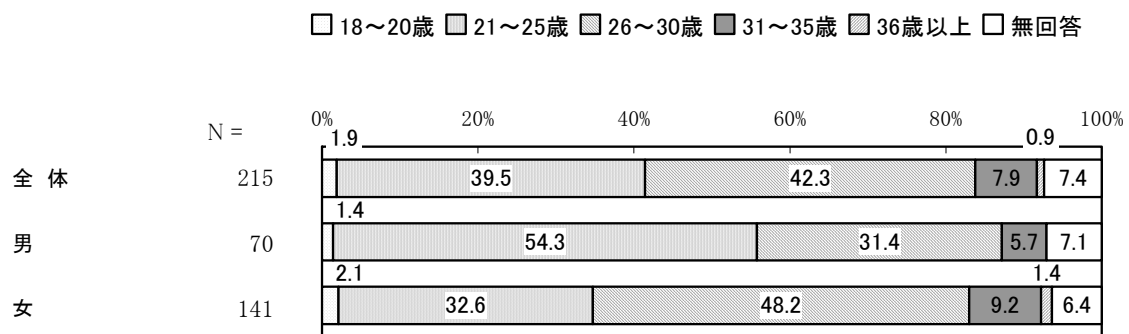
【問 1 の②で「3」離れて生活したい」に回答した者への質問】

何歳ごろまでには親元を離れたいですか

全体にみると、「26～30 歳」の割合が最も高く 42.3%、次いで「21～25 歳」の割合が 39.5%となっており、30 歳までに離れたい割合が 8 割以上となっています。

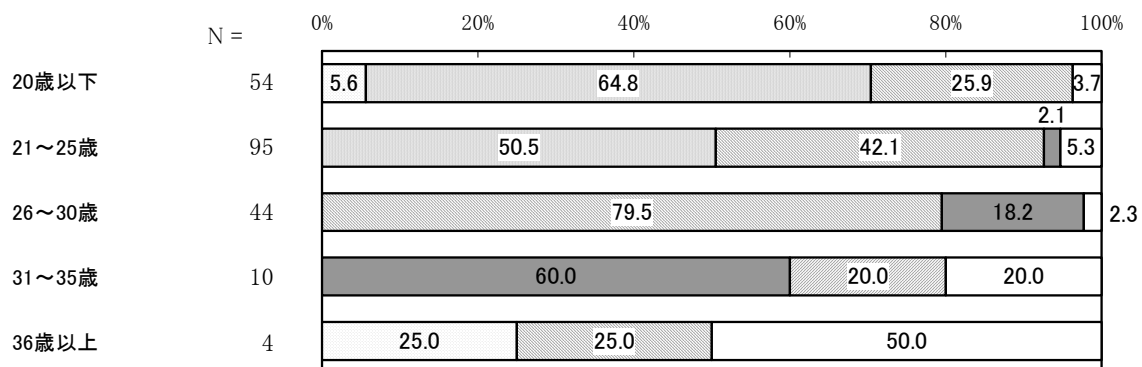
【性別】

性別にみると、男性では「21～25 歳」の割合が最も高く 54.3%となっており、女性では「26～30 歳」の割合が最も高く 48.2%となっています。



【年代別】

年代別にみると、回答者の現在の該当年齢で親元を離れたいという希望がうかがわれます。



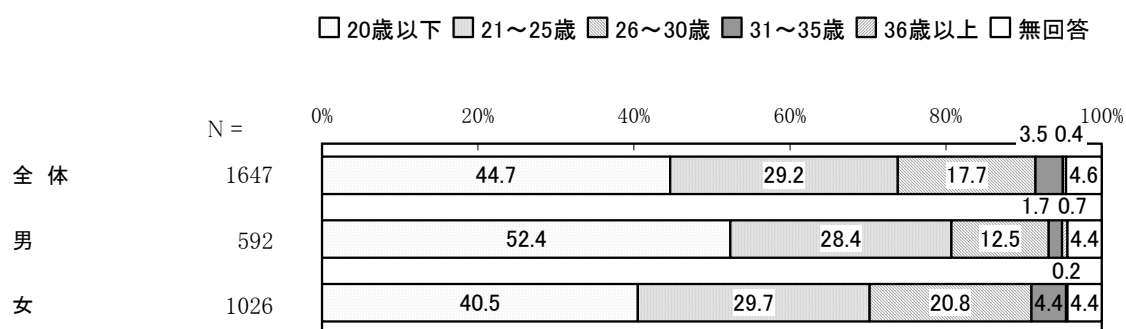
【問１に「親元を離れて生活したことがある」または「現在離れて生活している」と回答した者への質問】

何歳の時に親元を離れましたか

全体にみると、「20 歳以下」の割合が最も高く 44.7%、次いで「21～25 歳」の割合が 29.2%、「26～30 歳」の割合が 17.7%となっています。

【性別】

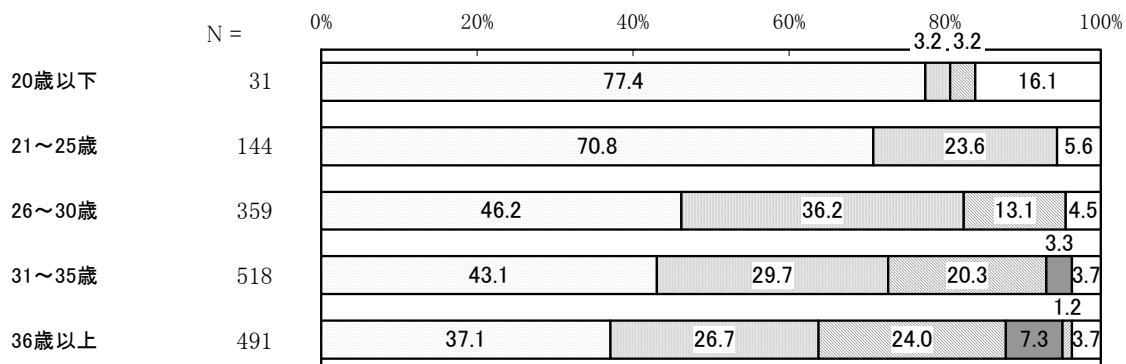
性別にみると、男性、女性ともに「20 歳以下」の割合が最も高く、男性では 52.4%、女性では 40.5%で男性の方が 11 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「26～30 歳」の割合が高くなり、36 歳以上では 24.0%となっています。すべての年代で「20 歳以下」の割合が最も高く、年代が高くなるにつれて、親元を離れた年代も高くなる傾向になっています。

また、36 歳以上について構成割合をみると、「20 歳以下」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「21～25 歳」の割合が 26.7%、「26～30 歳」の割合が 24.0%となっています。



問2 あなたの経済状況についておうかがいします。

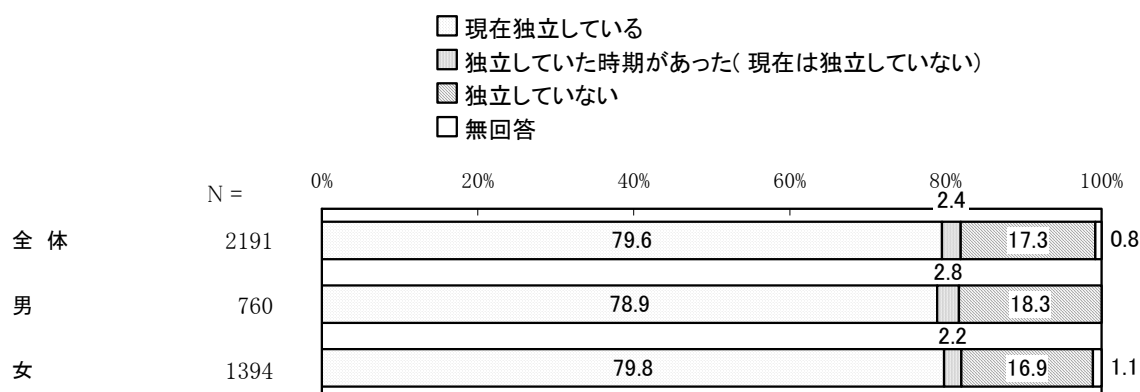
(1) 現在、あなたは親から経済的に独立していますか。

①はじめに、下の選択肢より、あてはまるもの1つに○をつけてください。

全体にみると、「現在独立している」の割合が最も高く 79.6 と、次いで「独立していない」の割合が 17.3%、「独立していた時期があった(現在は独立していない)」の割合が 2.4%となっています。

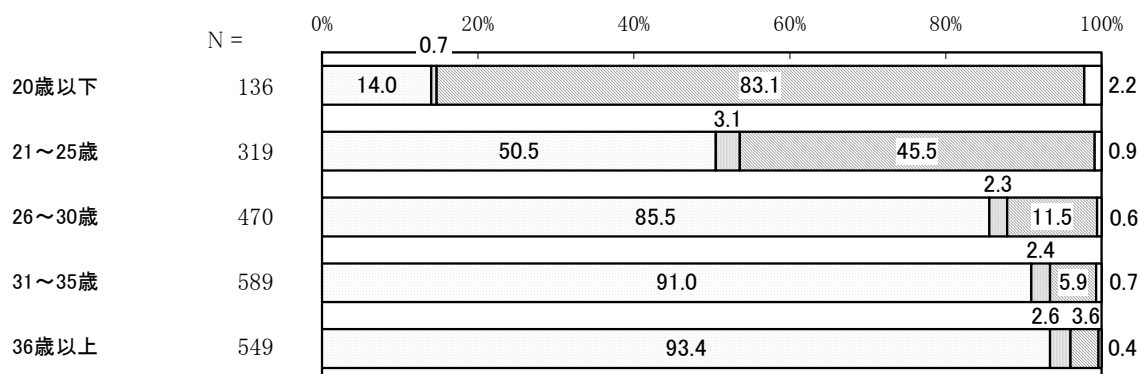
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「現在独立している」の割合が高くなり、26歳以上では「現在独立している」の割合が80%以上となっています。



② 引き続き、①であなたが○をつけた選択肢の続き(右側) の質問に、もれなく回答してください。

【問2の①に「1. 現在独立している」と回答した者への質問】

何歳の時からですか

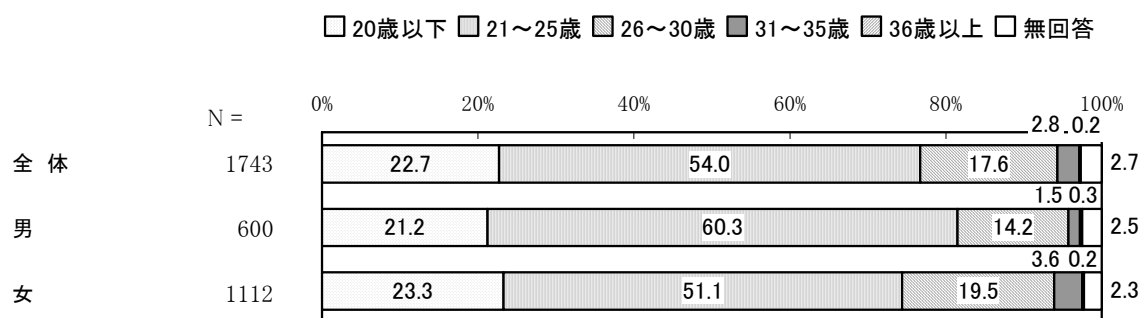
全体にみると、「21～25 歳」の割合が最も高く 54.0%、次いで「20 歳以下」の割合が 22.7%、「26～30 歳」の割合が 17.6%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では低い年齢で独立する傾向があり、「21～25 歳」の割合が高く、60.3%となっており、女性に比べて 9.2 ポイント高くなっています。

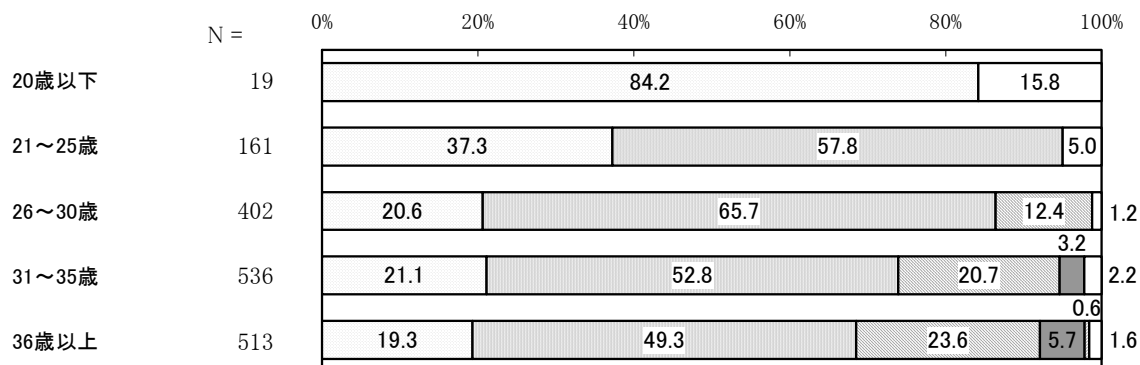
一方、「26～30 歳」は女性の割合が高く 19.5%で男性よりも 5.3 ポイント高くなっています。

独立した年齢の平均をみると、男性が 23.1 歳、女性が 23.2 歳となっており、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、20 歳以上の年代では、「21～25 歳」の割合が高く、「26～30 歳」では 6 割以上となっています。



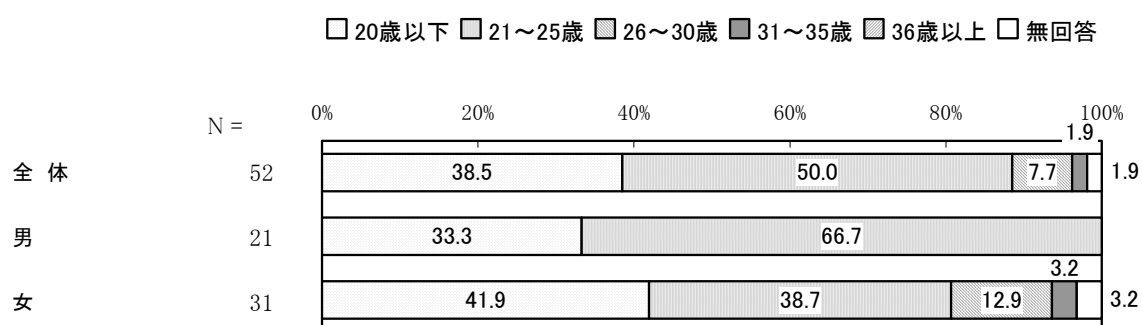
【問2の①に「2. 独立していた時期があった（現在は独立していない）」と回答した者への質問】

何歳の時でしたか

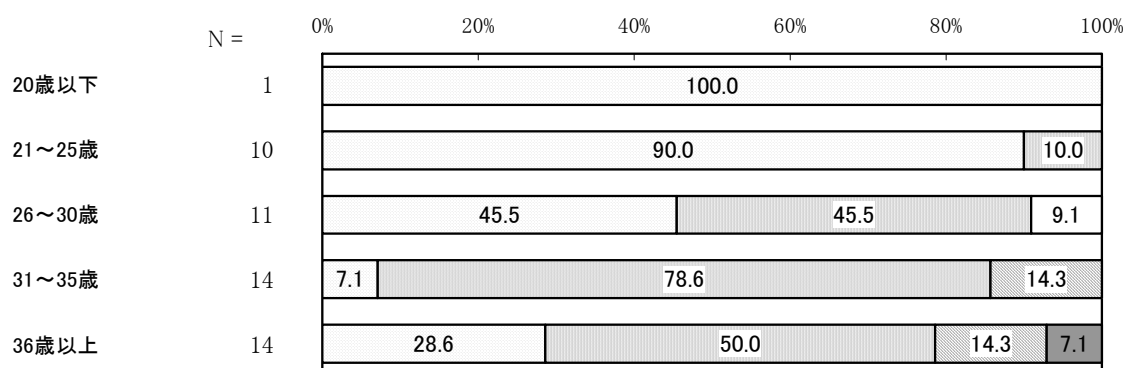
全体にみると、「21～25 歳」の割合が最も高く 50.0%、次いで「20 歳以下」の割合が 38.5%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では「21～25 歳」の割合が高く 66.7%となっており、女性に比べて 28.0 ポイント高くなっています。女性では「20 歳以下」の割合が 41.9%、「26～30 歳」の割合が 12.9%と高く、女性では「20 歳以下」の割合が男性よりも 8.6 ポイント高くなっています。



【年代別】



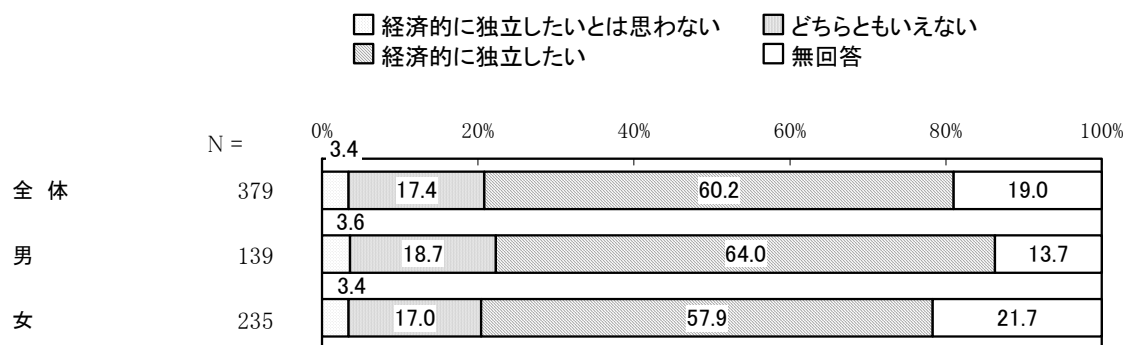
【問2の①に「3. 独立していない」と回答した者への質問】

将来、経済的に独立したいと思いますか？

全体にみると、「経済的に独立したい」の割合が最も高く 60.2%、次いで「どちらともいえない」の割合が 17.4%となっています。

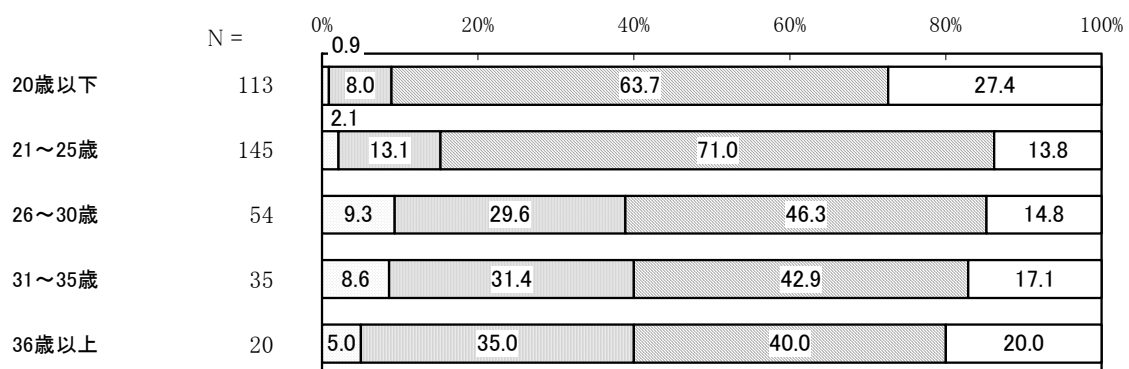
【性別】

性別にみると、「経済的に独立したい」の割合は男性が 64.0%、女性が 57.9%で男性の方が 6.1 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、25 歳以下で「経済的に独立したい」の割合が 6 割以上、26 歳以上では「どちらともいえない」の割合が約 3 割となっています。



【問2の②に「独立したい」と回答した者への質問】

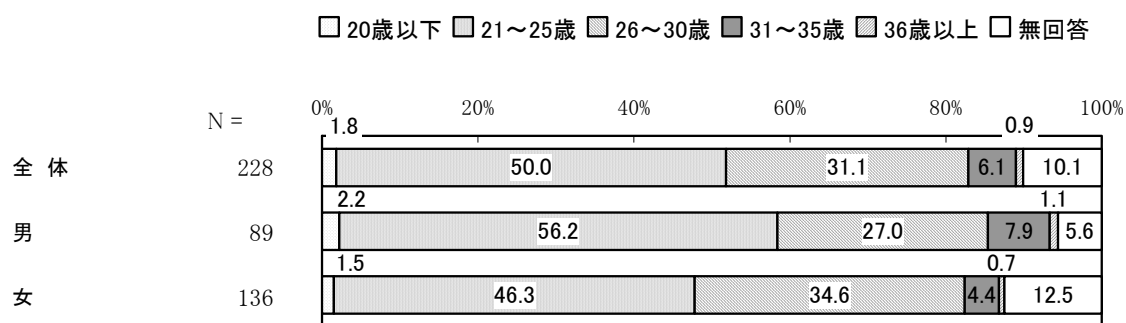
() 歳ごろまでに

全体にみると、「21～25 歳」の割合が最も高く 50.0%、次いで「26～30 歳」の割合が 31.1%となっています。

【性別】

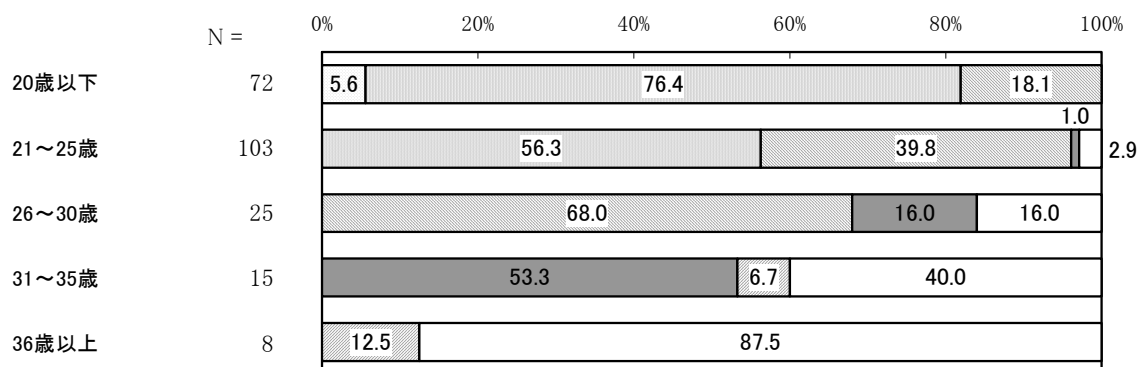
性別にみると、男性では「21～25 歳」の割合が高く 56.2%で女性よりも 9.9 ポイント高くなっており、女性では「26～30 歳」の割合が高く 34.6%で男性よりも 7.6 ポイント高くなっています。

将来、独立したい年齢の平均をみると、男性が 26.3 歳、女性が 27.1 歳となっており、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、回答者の現在の該当年齢で独立を希望したいことがうかがわれます。



(2) (1)に「2. 独立していた時期があった（現在は独立していない）」、「3. 独立していない」と回答された方は以下の①～②の質問にお答えください。

①現在、経済的に独立できていない理由は何ですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

全体にみると、「大学や専門学校に在学中のため」の割合が最も高く 42.9%、次いで「正社員で働いているが収入が少ないため」の割合が 13.5%、「正社員でないので収入が少ないため」の割合が 13.2%となっています。

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	有効回答数（件）	大学や専門学校に在学中のため	希望の職業に就くために勉強中のため	正社員で働いていないが収入が少ないため	正社員でないため収入が少ない	正社員でないため収入が不安定	就職を希望しているが就職できないため	働く自信がないため
全 体	431	42.9	11.8	13.5	13.2	7.9	6.0	5.1
男	160	46.3	12.5	13.1	10.0	5.6	6.9	6.9
女	266	41.7	11.7	13.2	15.4	9.4	5.3	3.8

単位：％

区分	経済的に独立する必要性を感じていないため	心身に障害があるため働けない	体調が悪いので働けないため	借金（奨学金）の返済があるため	その他	わからない	無回答
全 体	8.4	6.3	4.6	6.3	10.0	0.7	3.5
男	6.3	6.3	6.3	5.0	9.4	0.6	3.1
女	9.8	6.0	3.8	7.1	10.2	0.8	3.4

【年代別】

年代別にみると、25 歳以下では「大学や専門学校に在学中のため」の割合が最も高く、20 歳以下では 86.8%、21～25 歳では 51.0%となっています。

26～30 歳では、「正社員で働いているが収入が少ないため」「正社員でないので収入が少ないため」の割合がそれぞれ 24.6%と高くなっています。

31～35 歳では「正社員でないので収入が少ないため」の割合が 28.6%と高くなっており、36 歳以上では、「正社員でないので収入が不安定なため」の割合が 23.5%と高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	大学や専門学校に在学のため	希望の職業に就くために勉強中のため	正社員で働いているが収入が少ないため	正社員でないので収入が少ないため	正社員でないので収入が不安定なため	就職を希望しているが就職できないため
20 歳以下	114	86.8	18.4	—	2.6	—	0.9
21～25 歳	155	51.0	10.3	14.2	11.6	7.7	4.5
26～30 歳	65	7.7	10.8	24.6	24.6	10.8	10.8
31～35 歳	49	2.0	6.1	20.4	28.6	10.2	12.2
36 歳以上	34	2.9	8.8	14.7	8.8	23.5	8.8

単位：％

区分	経済的に独立する必要性を感じていないため	心身に障害があるので働けないため	体調が悪いので働けないため	借金（奨学金）の返済があるため	その他	わからない	無回答
20 歳以下	4.4	1.8	—	3.5	6.1	—	2.6
21～25 歳	12.9	1.3	1.3	8.4	6.5	1.9	2.6
26～30 歳	10.8	12.3	7.7	4.6	15.4	—	3.1
31～35 歳	4.1	14.3	16.3	14.3	12.2	—	6.1
36 歳以上	5.9	20.6	11.8	—	23.5	—	2.9

②次の中で、経済的に独立するためにあなたが必要だと思う支援すべてに○をつけてください。

全体にみると、「仕事に役立つ技能・資格を身につけるための支援」の割合が最も高く 42.0%、次いで「就職先を紹介する支援」の割合が 40.1%、「就職ができるまで指導、アドバイスする支援」の割合が 31.8%となっています。

【性別】

性別にみると、「就労支援をしている機関の情報提供」の割合は男性が 18.8%、女性が 27.4%で女性の方が 8.6 ポイント高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	就職先を紹介する支援	仕事に役立つ技能・資格を身につけるための支援	就職ができるまで指導、アドバイスする支援	簡易な仕事などの就労体験の場の提供	簡単な仕事などの就労体験の場の提供	就労支援をしている機関の情報提供	進学のための奨学金	資格取得のための経済的支援	その他	特に必要ない	わからない	無回答
全 体	431	40.1	42.0	31.8	17.9	19.0	24.6	18.1	27.1	6.3	12.1	7.2	2.1
男	160	40.0	40.0	33.1	16.9	15.6	18.8	20.6	25.6	6.9	11.9	5.0	2.5
女	266	40.2	42.9	30.5	18.0	20.3	27.4	16.5	27.4	5.6	12.4	8.6	1.9

【年代別】

年代別にみると、20 歳以下では、「就職先を紹介する支援」の割合が最も高く 46.5%、21～25 歳、26～30 歳では、「仕事に役立つ技能・資格を身につけるための支援」の割合が最も高くそれぞれ、43.9%、38.5%、31～35 歳では「資格取得のための経済的支援」の割合が最も高く 38.8%、36 歳以上では「就職先を紹介する支援」の割合が最も高く 5割となっています。また、「就職ができるまで指導、アドバイスする支援」の割合は 20 歳以下が最も高く 36.8%、「就労支援をしている機関の情報提供」の割合は 36 歳以上で 32.4%と高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	就職先を紹介する支援	仕事に役立つ技能・資格を身につけるための支援	就職ができるまで指導、アドバイスする支援	簡易な仕事などの就労体験の場の提供	簡単な仕事などの就労体験の場の提供	就労支援をしている機関の情報提供	進学のための奨学金	資格取得のための経済的支援	その他	特に必要ない	わからない	無回答
20 歳以下	114	46.5	43.9	36.8	17.5	18.4	22.8	26.3	25.4	1.8	10.5	7.0	0.9
21～25 歳	155	39.4	43.9	31.6	18.1	14.8	21.9	18.7	23.2	5.2	12.3	7.7	1.9
26～30 歳	65	33.8	38.5	27.7	18.5	20.0	27.7	9.2	27.7	4.6	16.9	7.7	1.5
31～35 歳	49	28.6	34.7	32.7	10.2	26.5	22.4	14.3	38.8	18.4	12.2	8.2	4.1
36 歳以上	34	50.0	38.2	23.5	20.6	20.6	32.4	14.7	26.5	8.8	11.8	5.9	5.9

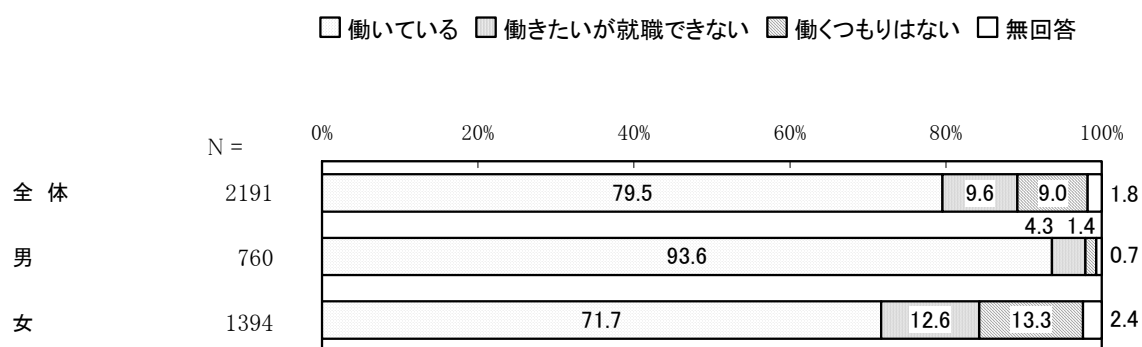
問3 あなたの仕事についておたずねします。

(1) あなたは、現在働いていますか（アルバイト等も含む）。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「働いている」の割合が最も高く 79.5%となっています。

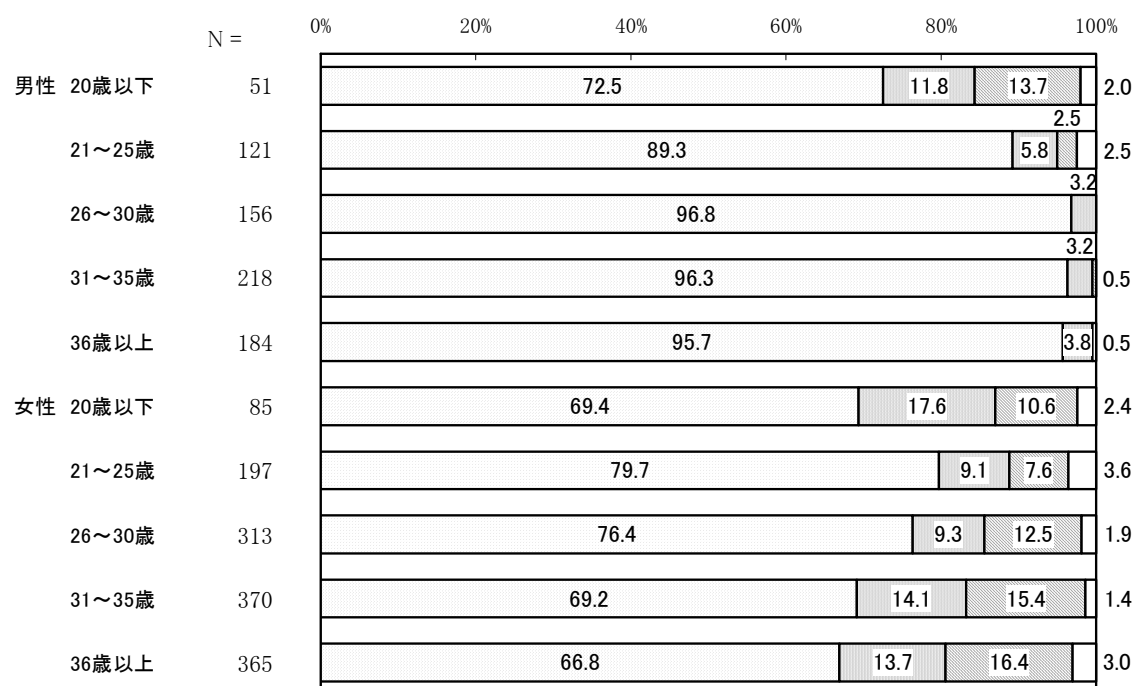
【性別】

性別にみると、「働いている」の割合は男性で 93.6%、女性が 71.7%で男性の方が 21.9ポイント高くなっています。



【性別年代別】

性別年代別にみると、男性では 20 歳以下で「働きたいが就職できない」の割合が高く、11.8%となっています。女性では、全ての年代で「働きたいが就職できない」の割合が高く、特に 20 歳以下では 17.6%と高くなっています。



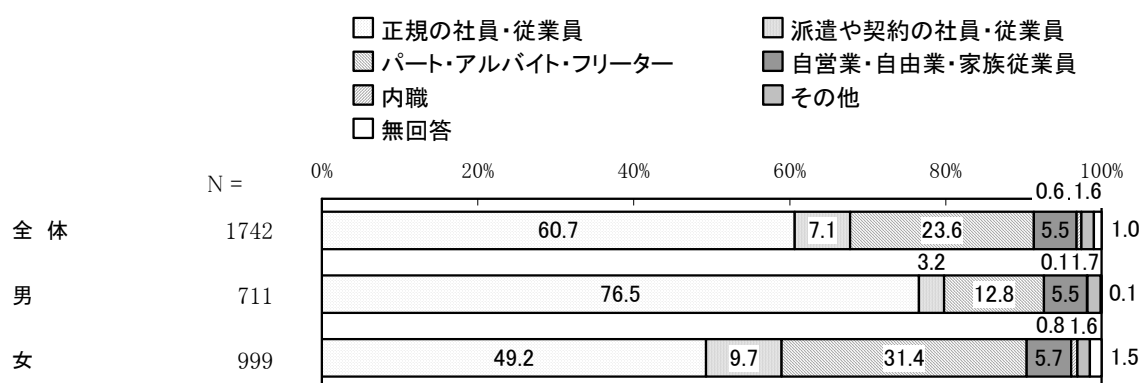
(2) (1)に「1. 働いている」と回答された方は以下の①～⑥の質問にお答えください。

①あなたの現在の働き方（雇用形態）について次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「正規の社員・従業員」の割合が最も高く 60.7%、次いで「パート・アルバイト・フリーター」の割合が 23.6%となっています。

【性別】

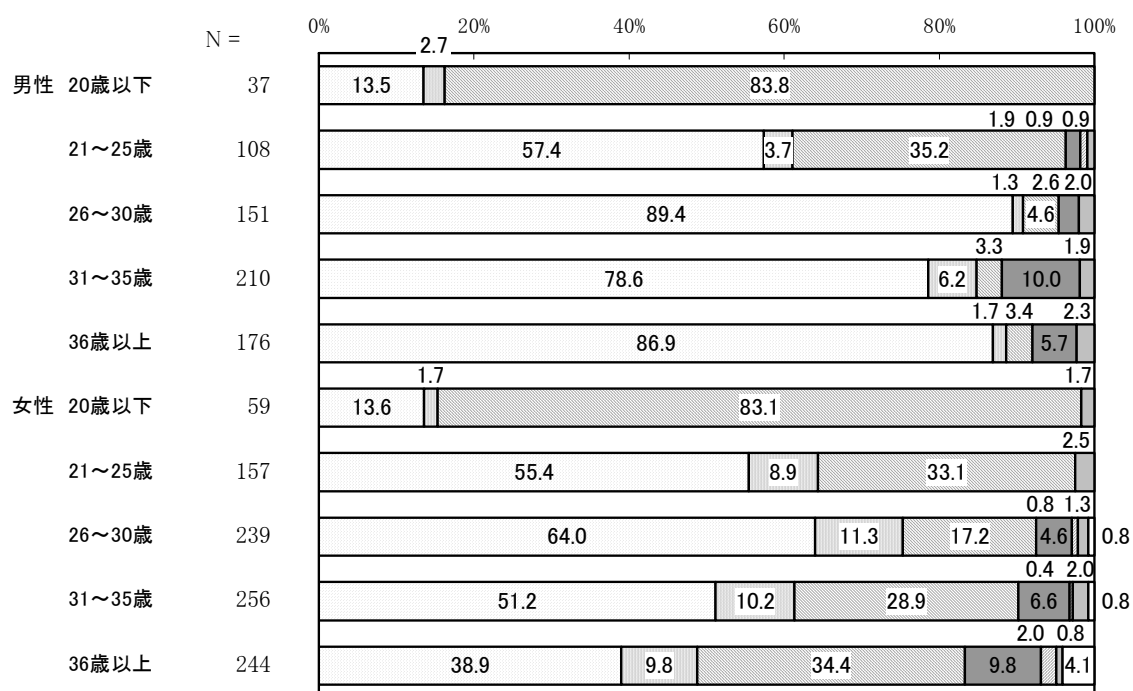
性別にみると、「正規の社員・従業員」の割合は男性が 76.5%、女性が 49.2%で男性の方が 27.3 ポイント高くなっています。また、「パート・アルバイト・フリーター」の割合は男性が 12.8%、女性が 31.4%で女性の方が 18.6 ポイント高くなっています。



【性別年代別】

性別年代別にみると、「正規の社員・従業員」の割合は男性の 26 歳以上で高く、26～30 歳で 89.4%、31～35 歳で 78.6%、36 歳以上で 86.9%となっています。

一方、女性では年代が高くなるにつれて低くなり、26～30 歳で 64.0%、31～35 歳で 51.2%、36 歳以上で 38.9%となっており、「パート・アルバイト・フリーター」の割合は年代が高くなるにつれて高くなっています。

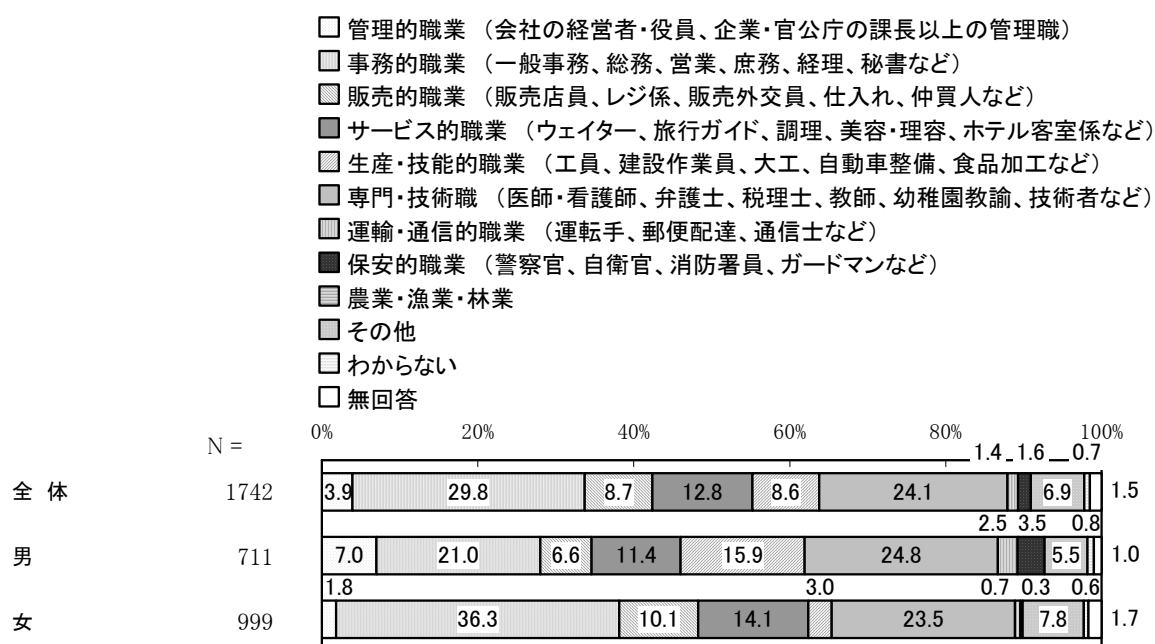


②あなたの現在の職種について次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「事務的職業（一般事務、総務、営業、庶務、経理、秘書など）」の割合が29.8%と最も高く、次いで「専門・技術職（医師・看護師、弁護士、税理士、教師、幼稚園教諭、技術者など）」の割合が24.1%、「サービスの職業（ウェ이터、旅行ガイド、調理、美容・理容、ホテル客室係など）」の割合が12.8%となっています。

【性別】

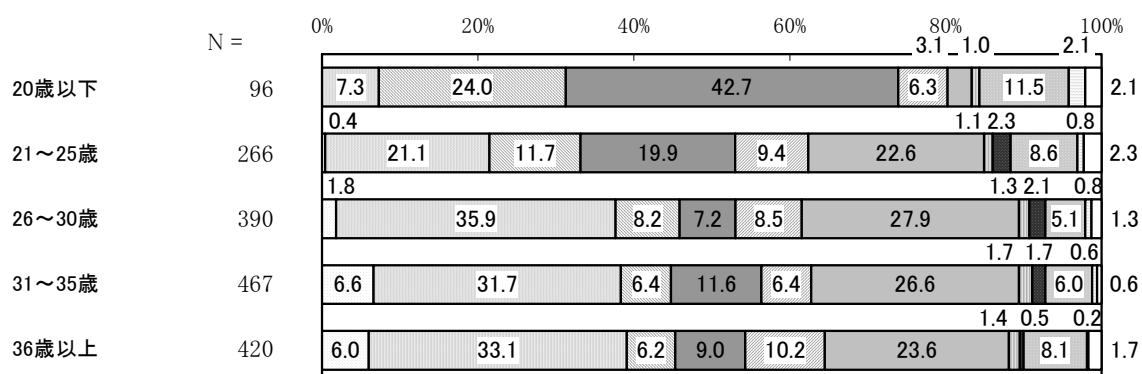
性別にみると、男性では「専門・技術職（医師・看護師、弁護士、税理士、教師、幼稚園教諭、技術者など）」の割合が高く、24.8%となっており、女性では「事務的職業（一般事務、総務、営業、庶務、経理、秘書など）」の割合が高く、36.3%となっています。



【年代別】

年代別にみると、20歳以下では「サービスの職業（ウェ이터、旅行ガイド、調理、美容・理容、ホテル客室係など）」の割合が42.7%、「販売的職業（販売店員、レジ係、販売外交員、仕入れ、仲買人など）」の割合が24.0%と高くなっています。

一方、26歳以上では「事務的職業（一般事務、総務、営業、庶務、経理、秘書など）」の割合が約3割、「専門・技術職（医師・看護師、弁護士、税理士、教師、幼稚園教諭、技術者など）」の割合が2割以上となっています。



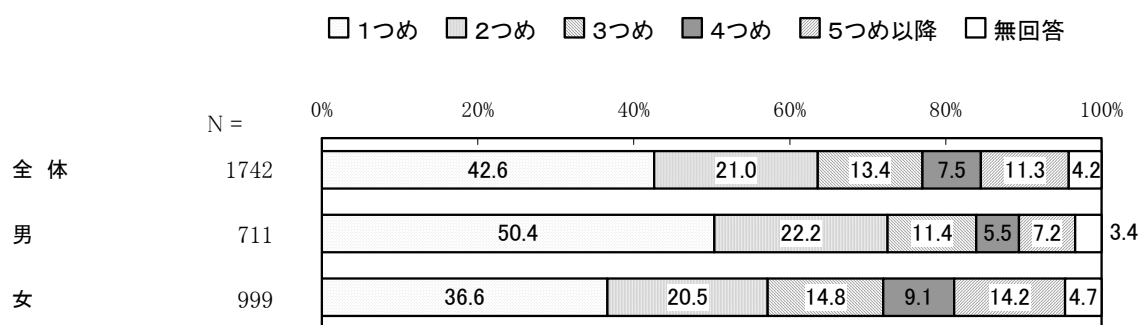
③あなたの現在の仕事は、最後に学校を卒業した後いくつめの仕事ですか。具体的な数字をお答えください。

全体にみると、「1つめ」の割合が最も高く 42.6%、次いで「2つめ」の割合が 21.0%、「3つめ」の割合が 13.4%となっています。

【性別】

性別にみると、男性、女性ともに「1つめ」の割合が高く、男性では 50.4%、女性では 36.6%で男性の方が 13.8 ポイント高くなっています。

学校卒業後の仕事の数の平均をみると、男性が約 2 回、女性が約 3 回となっています。

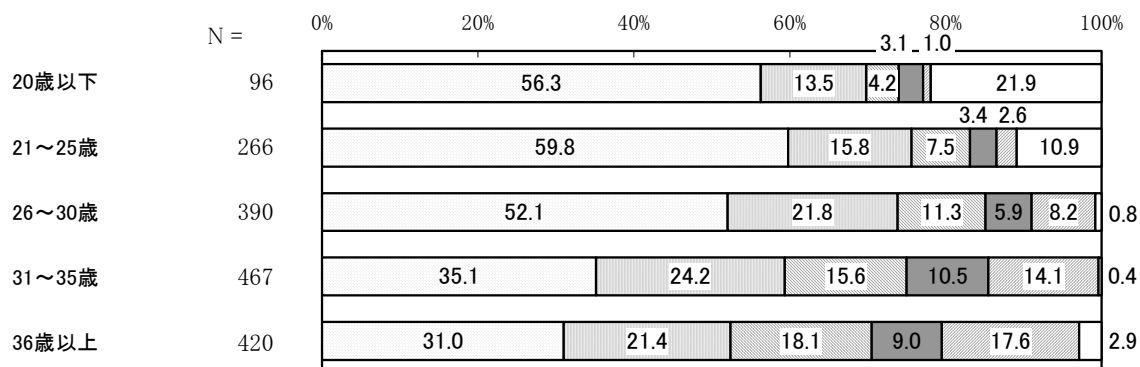


【年代別】

年代別にみると、年代が低くなるにつれて「1つめ」の割合が高くなる傾向があり、21～25 歳では 59.8%となっています。

一方、年代が高くなるにつれて経験する仕事の数が増加しており、36 歳以上では「3つめ」以降の割合が 5 割近くになっています。

学校卒業後の仕事数の平均をみると、25 歳以下が約 2 回、26～30 歳が約 2 回、31 歳以上が約 3 回となっています。



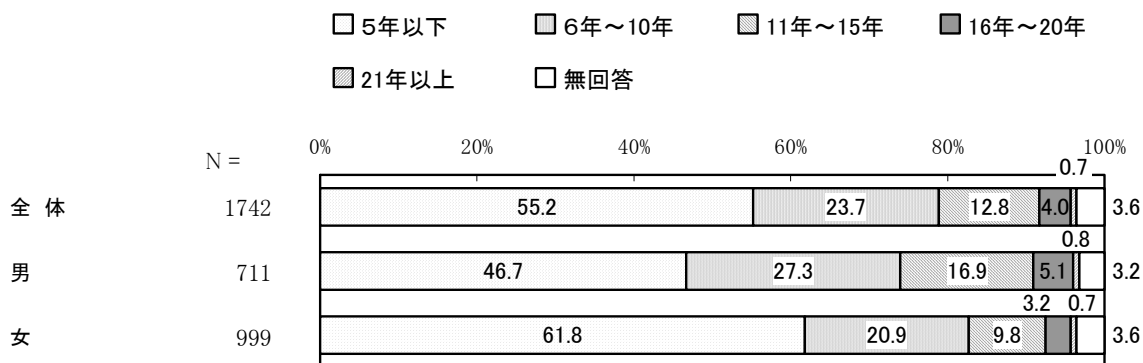
④あなたが現在の仕事に就いたのはいつですか。具体的な数字をお答えください。

勤続年数を全体にみると、「5年以下」の割合が最も高く 55.2%、次いで「6年～10年」の割合が 23.7%、「11年～15年」の割合が 12.8%となっています。

【性別】

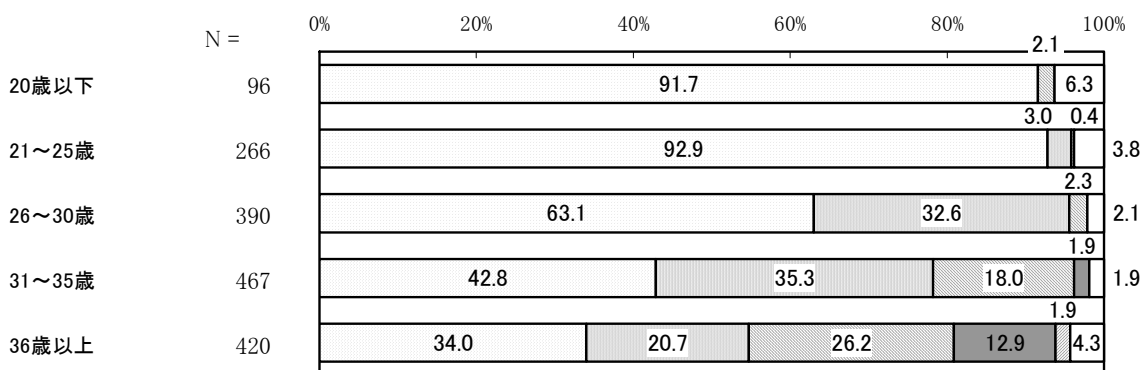
性別にみると、「5年以下」の割合は男性が 46.7%、女性が 61.8%で女性の方が 15.1ポイント高くなっています。

一方、「6年～10年」、「11年～15年」の割合は男性で高く、それぞれ 27.3%、16.9%となっています。



【年代別】

年代別にみると、「5年以下」の割合はすべての年代で高く、25歳以下が約9割、26～25歳が約6割、31～35歳が約4割、36歳以上が約3割となっています。「6年～10年」の割合は26～30歳が32.6%、31～35歳が35.3%、36歳以上が20.7%となっています。



⑤あなたの平均的な1ヶ月の就労時間はだいたいどの程度ですか。具体的な数字をお答えください。

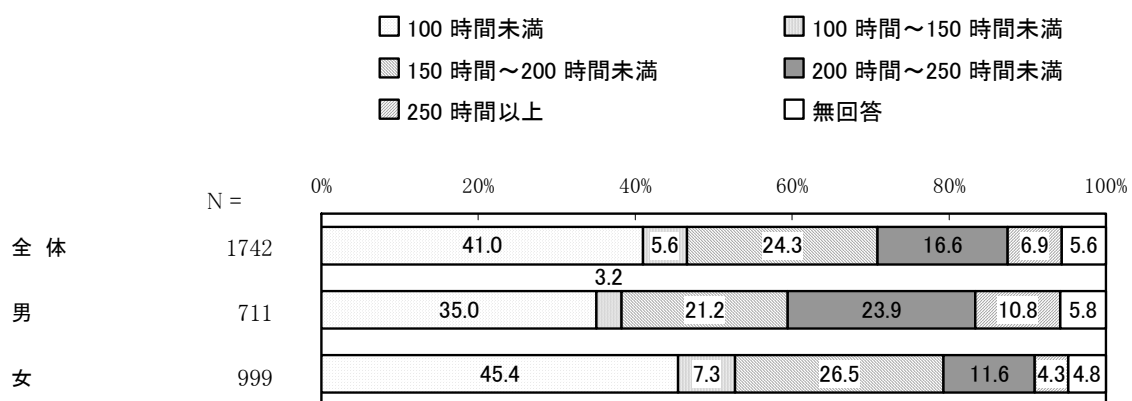
ア 就労時間（残業含む）

全体にみると、「100 時間未満」の割合は最も高く 41.0%、次いで「150 時間～200 時間未満」の割合が 24.3%、「200 時間～250 時間未満」の割合が 16.6%となっています。

【性別】

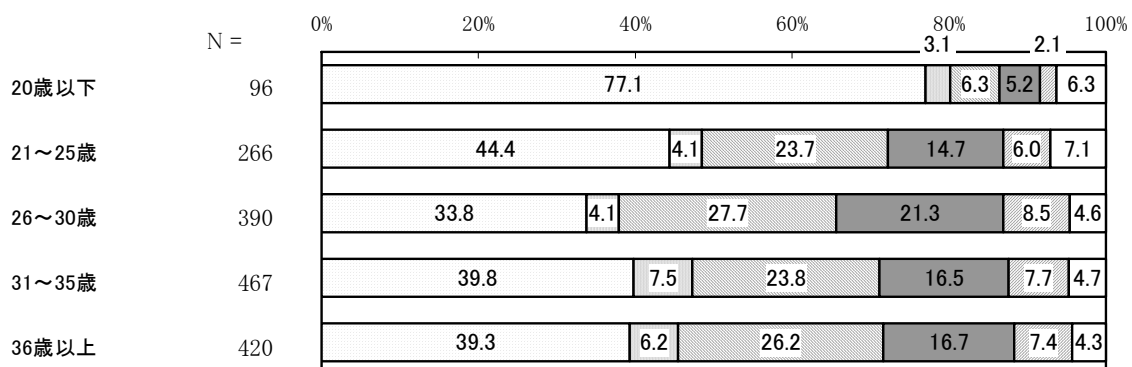
性別にみると、女性では「100 時間未満」の割合が 45.4%、「150 時間～200 時間未満」の割合が 26.5%と男性に比べて高くなっています。

一方、男性では「200 時間～250 時間未満」の割合が 23.9%、「250 時間以上」の割合が 10.8%と女性と比べて高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、26～30 歳では「150 時間～200 時間未満」以上の割合が高く、「150 時間～200 時間未満」の割合が 27.7%、「200 時間～250 時間未満」の割合が 21.3%、「250 時間以上」の割合が 8.5%となっています。

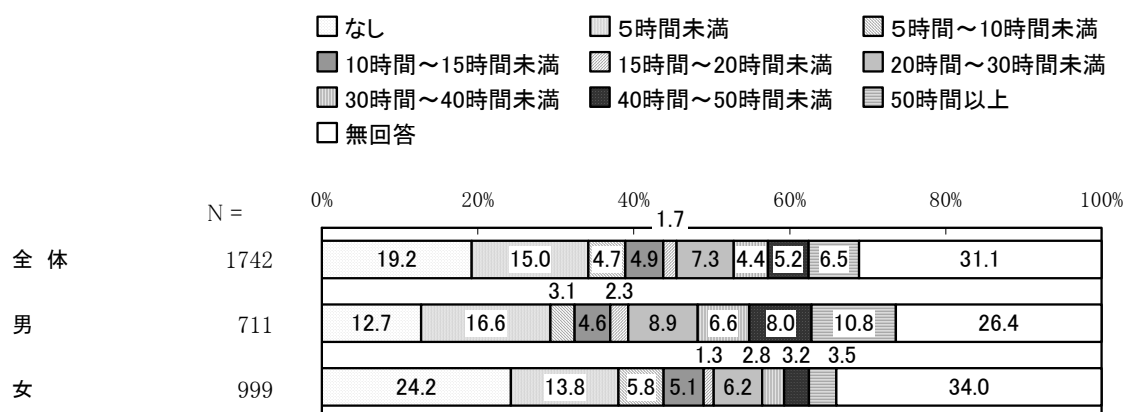


イ 残業時間（アに含む時間）

全体にみると、「なし」の割合が最も高く 19.2%、次いで「5 時間未満」の割合が 15.0% となっています。

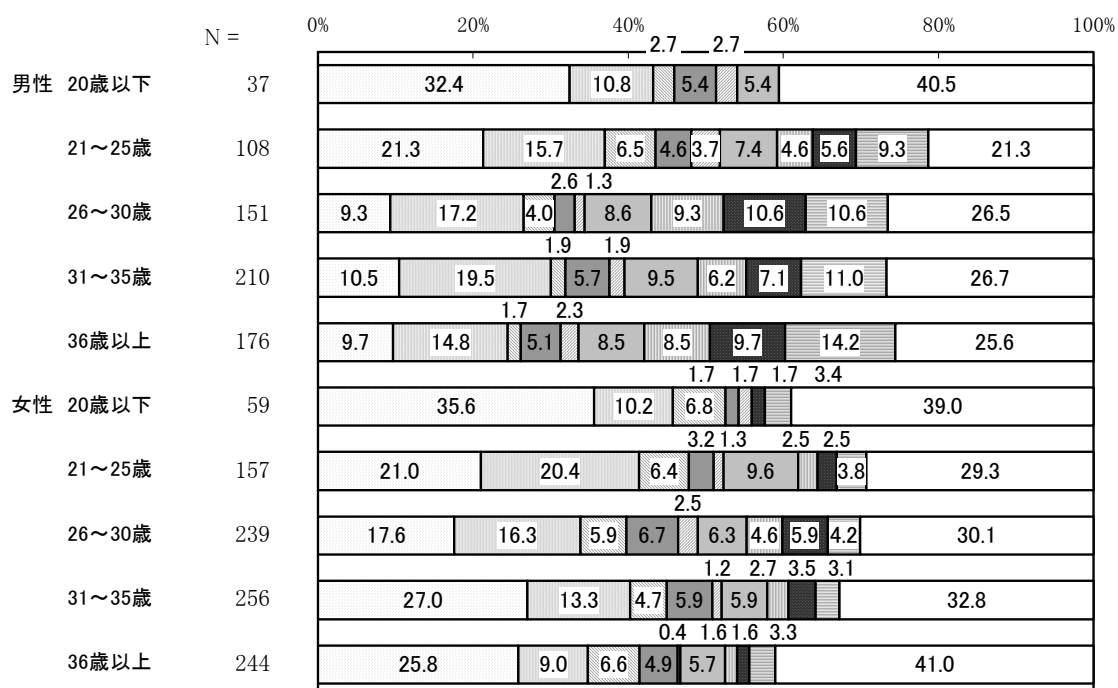
【性別】

性別にみると、男性では「50 時間以上」の割合が高く 10.8%となっており、女性では「なし」の割合が高く、24.2%と男性の 2 倍になっています。



【性別年代別】

性別年代別にみると、男性、女性ともに「なし」の割合が高く、特に 26 歳以上の女性では男性よりも高くなっています。また、21 歳以上の男性では「50 時間以上」以上の割合が高く、特に 36 歳以上では 14.2%となっています。また、20 歳以下の女性では同年代の男性に比べて「30 時間～40 時間未満」以上を合わせた割合が高くなっています。

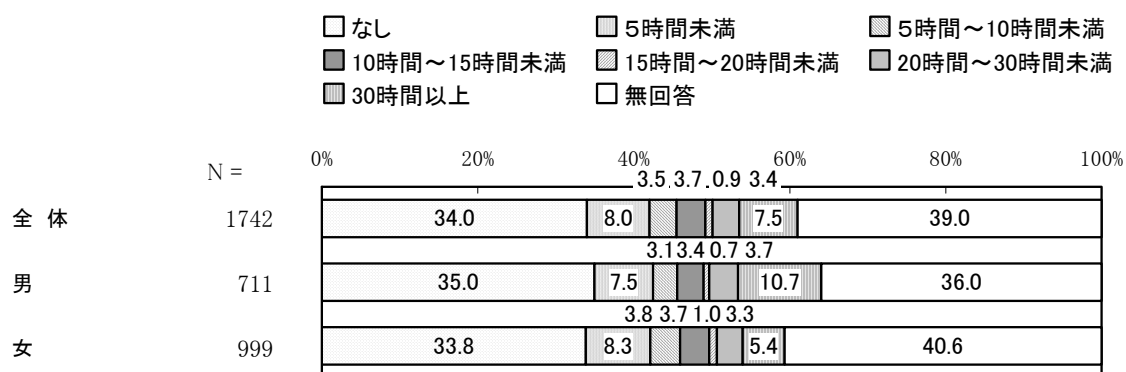


ウ サービス残業時間（ア、イに含む時間）

全体にみると、「なし」の割合が 34.0% となっていますが、30 時間以上も 7.5% いました。

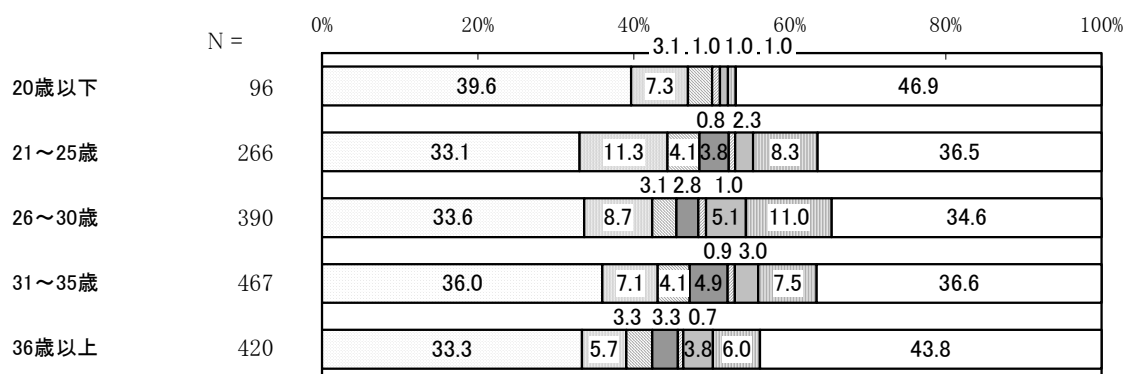
【性別】

性別にみると、男性では「30 時間以上」の割合が高く 10.7% となっています。



【年代別】

年代別にみると、21 歳以上では 20 歳以下と比べて「30 時間以上」の割合が高くなっています。

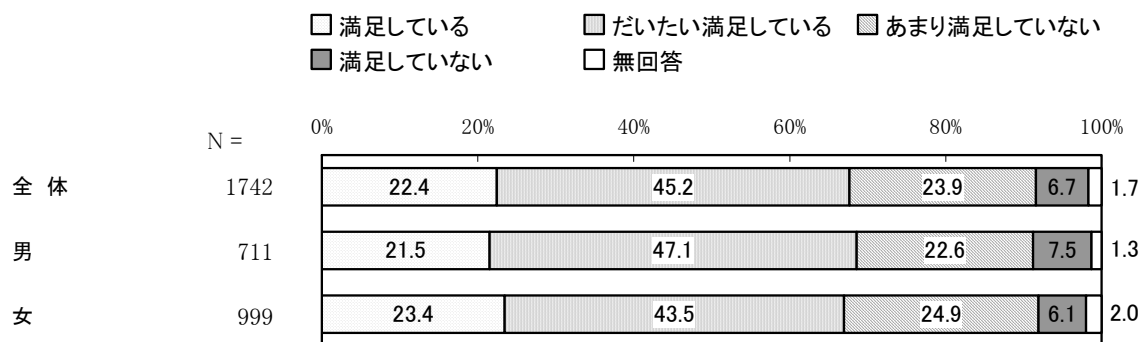


⑥－１ あなたは現在の仕事に満足していますか。

全体にみると、「だいたい満足している」の割合が最も高く 45.2%、次いで「あまり満足していない」の割合が 23.9%、「満足している」の割合が 22.4%となっています。「満足している」と「だいたい満足している」の合計は 67.6%となっています。

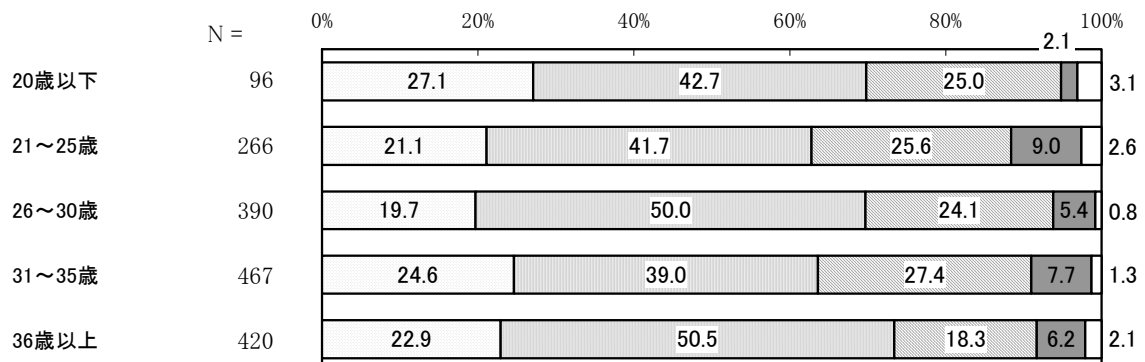
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、36 歳以上で「満足している」と「だいたい満足している」の合わせた割合が最も高く 73.4%となっており、最も低い 21～25 歳の 62.8%と 10.6 ポイントの差となっています。



⑥－２ ⑥－１ に「3. あまり満足していない」、「4. 満足していない」と回答された方におたずねします。次の中から満足していない理由すべてに○をつけてください。

全体にみると、「給料が安い」の割合が最も高く 59.3%、次いで「ボーナスが少ない(出ない)」の割合が 40.0%、「仕事が精神的に厳しい」の割合が 26.5%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では「会社の将来性が不安」の割合が高く 33.6%となっており、女性では「職場の人間関係が悪い」の割合が 29.4%、「正社員でない」の割合が 25.5%と高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	給料が安い	ボーナスが少ない (出ない)	残業が多い	残業手当がつかない	休みが少ない	休日出勤が多い	正社員でない	雇用期間が短い	仕事が肉体的に 厳しい
全 体	533	59.3	40.0	20.8	20.5	16.7	9.8	19.7	2.4	13.9
男	214	64.5	41.6	23.8	20.1	20.1	12.6	11.7	0.9	11.7
女	310	54.8	38.4	18.4	21.0	14.2	7.7	25.5	3.5	15.5

単位：％

区分	仕事が精神的に 厳しい	ノルマが厳しい	会社の将来性が 不安	仕事の内容が自 分に向かない	仕事にやりがい がない	仕事を通じて成 長できない	職場の人間関係 が悪い	その他	無回答
全 体	26.5	5.6	26.5	15.9	25.1	16.7	25.0	12.0	0.6
男	26.6	8.4	33.6	13.6	27.6	18.2	18.7	9.3	
女	26.8	3.9	21.0	17.7	23.5	14.8	29.4	13.5	1.0

【年代別】

年代別にみると、21～25 歳では「仕事が精神的に厳しい」の割合が 34.6%、「ボーナスが少ない（出ない）」の割合が 47.8%と高く、26～30 歳では「仕事にやりがいがない」の割合が 29.6、31～35 歳では「正社員ではない」の割合が 22.6%、36 歳以上では「給料が安い」の割合が 65.0%と高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	給料が安い	ボーナスが少ない (出ない)	残業が多い	残業手当がつかない	休みが少ない	休日出勤が多い	正社員でない	雇用期間が短い	仕事が肉体的に 厳しい
20 歳以下	26	42.3	7.7	11.5	7.7	15.4	7.7	7.7	—	23.1
21～25 歳	92	59.8	47.8	37.0	30.4	18.5	12.0	18.5	4.3	19.6
26～30 歳	115	61.7	41.7	20.9	24.3	13.9	7.0	14.8	2.6	6.1
31～35 歳	164	54.9	36.0	18.9	21.3	17.7	9.8	22.6	1.8	12.2
36 歳以上	103	65.0	44.7	8.7	8.7	15.5	9.7	22.3	1.9	16.5

単位：％

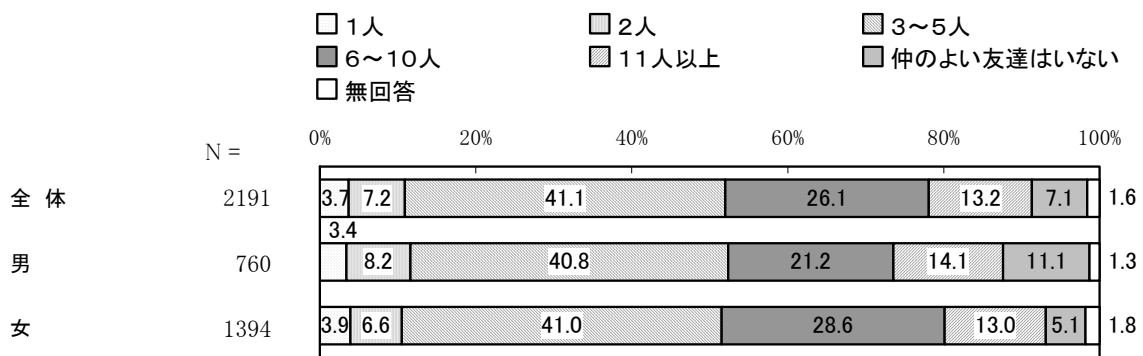
区分	仕事が精神的に 厳しい	ノルマが厳しい	会社の将来性が 不安	仕事の内容が自 分に向かない	仕事にやりがい がない	仕事を通じて成 長できない	職場の人間関係 が悪い	その他	無回答
20 歳以下	9.0	3.8	—	11.5	7.7	3.8	23.1	15.4	—
21～25 歳	34.6	7.6	28.3	15.2	26.1	19.6	26.1	13.0	1.1
26～30 歳	26.0	3.5	24.3	19.1	29.6	16.5	27.0	12.2	—
31～35 歳	28.3	6.1	29.3	15.9	24.4	15.9	27.4	13.4	1.2
36 歳以上	28.0	6.8	30.1	13.6	24.3	15.5	20.4	9.7	—

問4 あなたには仲のよい友達は何人いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「3～5人」の割合が最も高く41.1%、次いで「6～10人」の割合が26.1%、「11人以上」の割合が13.2%となっています。

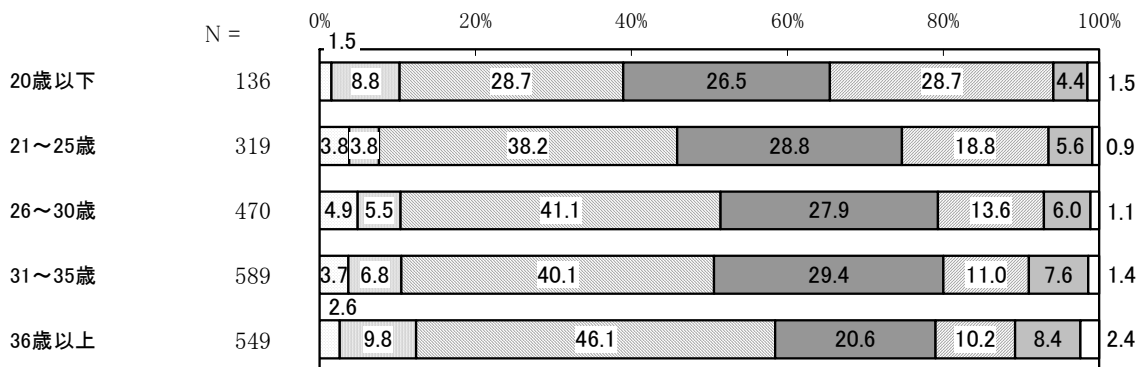
【性別】

性別にみると、「仲のよい友達はいない」の割合は男性が11.1%、女性が5.1%と男性の方が6ポイント高くなっており、「6～10人」の割合は男性が21.2%、女性が28.6%と女性の方が7ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「11人以上」の割合が低くなる傾向がみられます。



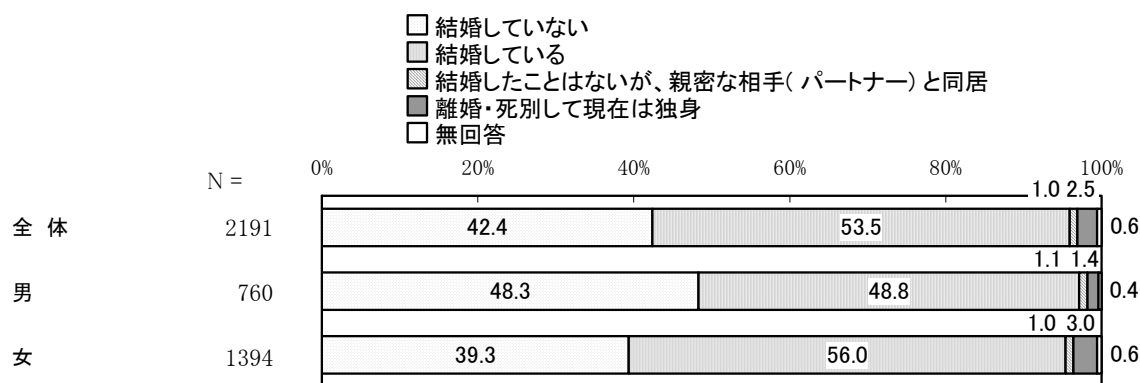
問5 あなたは、現在結婚されていますか。

①はじめに、下の選択肢より、あてはまるもの1つに○をつけてください。

全体にみると、「結婚している」の割合が53.5%と最も高く、次いで「結婚していない」の割合が42.4%となっています。

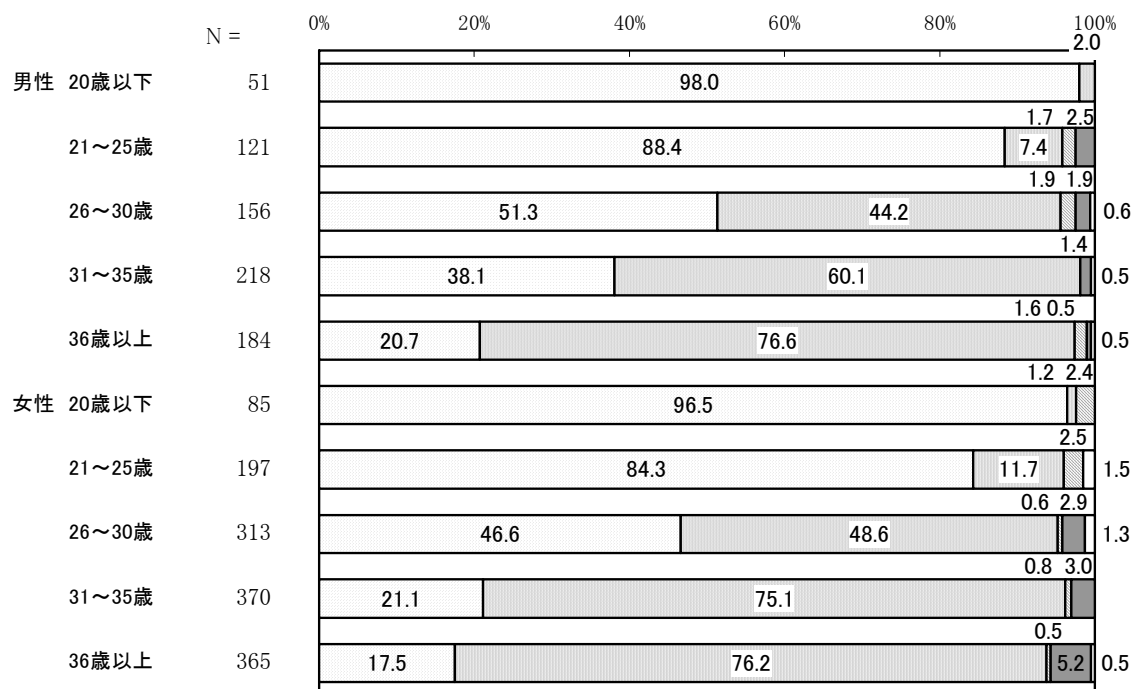
【性別】

性別にみると、「結婚している」の割合は男性が48.8%、女性が56.0%で女性の方が7.2ポイント高くなっています。



【性別年代別】

性別年代別にみると、女性では男性と比べて、年代が高くなるにつれて結婚している割合が高くなりますが、36歳以上ではほぼ同じ割合となっています。



②引き続き、①であなたが○をつけた選択肢の続き（右側）の質問に、もれなく回答してください。

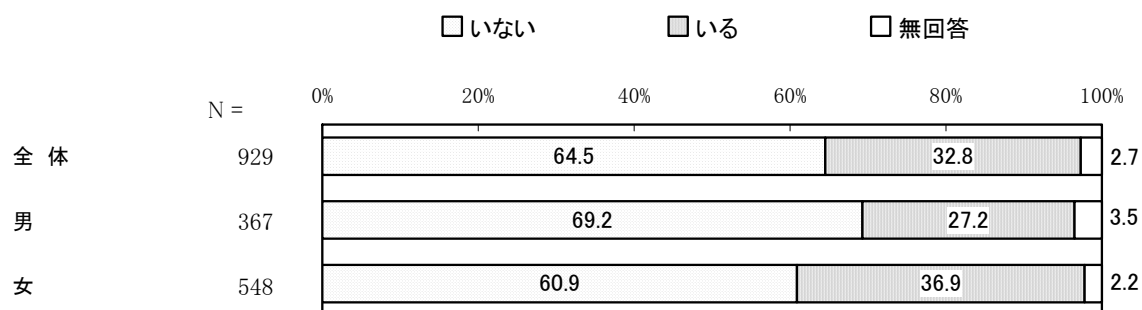
【問5の①に「1. 結婚していない」と回答した者への質問】

ア 現在、恋人はいますか？

全体にみると、「いない」の割合が64.5%、「いる」の割合が32.8%となっています。

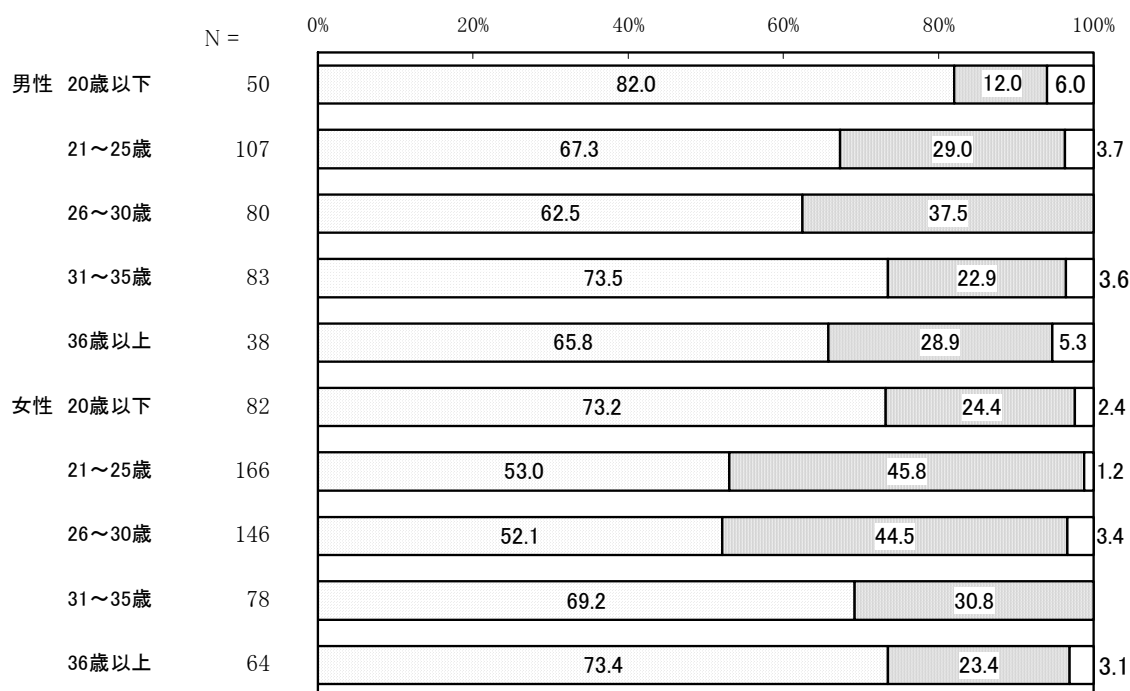
【性別】

性別にみると、「いる」の割合は男性が27.2%、女性が36.9%で女性の方が9.7ポイント高くなっています。



【性別年代別】

性別年代別にみると、20歳代の女性では同年代の男性に比べて「いる」の割合が高く、21～25歳で男性が29.0%、女性が45.8%で女性の方が16.8ポイント高くなっています。

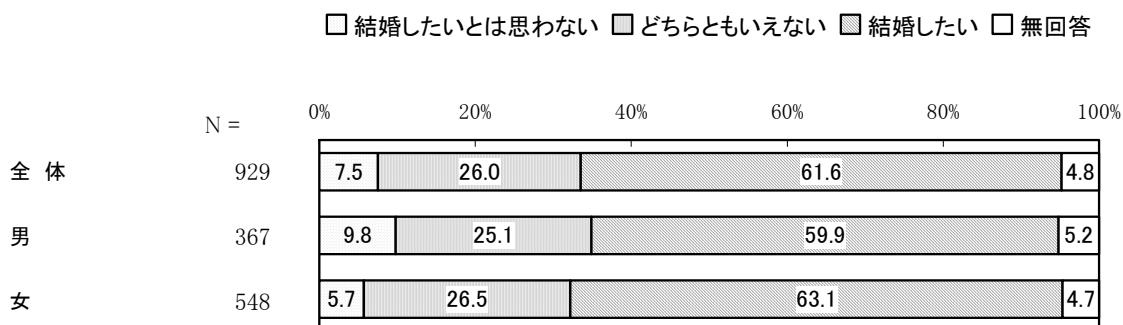


イ 将来結婚したいですか？

全体にみると、「結婚したい」の割合が最も高く 61.6%、次いで「どちらともいえない」の割合が 26.0%となっています。

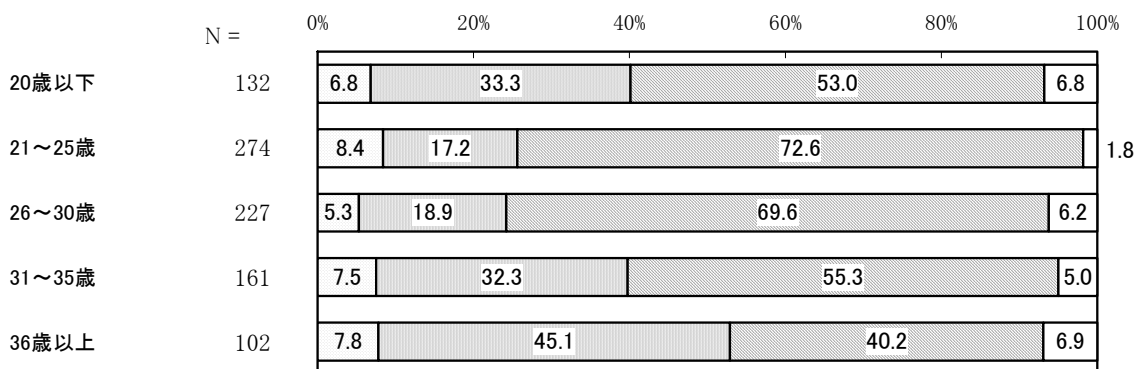
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、「結婚したい」の割合は、21～25 歳で最も高く、72.6%となっており、その後、年代が高くなるにつれて割合が低くなり、36 歳以上では 40.2%で 32.4 ポイント差となっています。



【問5の②イに「3. 結婚したい」と回答した者への質問】

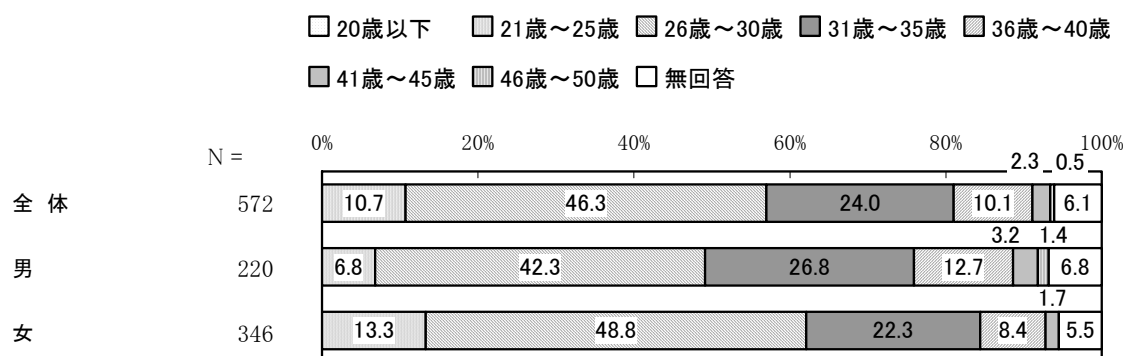
何歳ごろまでには結婚したいですか

全体にみると、「26歳～30歳」の割合が最も高く46.3%、次いで「31歳～35歳」の割合が24.0%、「21歳～25歳」の割合が10.7%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では女性と比べて「31歳～35歳」以降の割合が高い傾向がみられます。

結婚したい年齢の平均をみると、男性で32.4歳、女性で30.6歳となっています。



【問5の①に「2. 結婚している」と回答した者への質問】

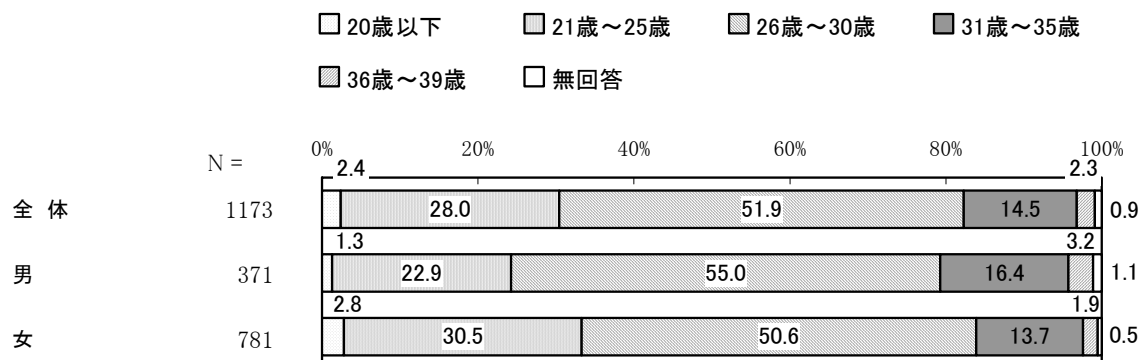
結婚されたのは何歳のときですか

全体にみると、「26歳～30歳」の割合が最も高く51.9%、次いで「21歳～25歳」の割合が28.0%、「31歳～35歳」の割合が14.5%となっています。

【性別】

性別にみると、「21歳～25歳」の割合は男性が22.9%、女性が30.5%で女性の方が7.6ポイント高くなっています。

結婚した年齢の平均をみると、男性で28.0歳、女性で27.1歳となっています。

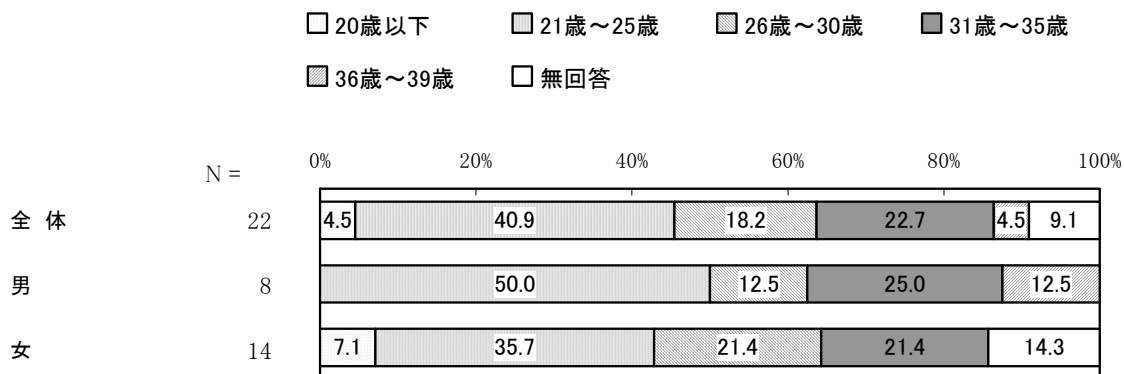


【問5の①に「結婚したことはないが、親密な相手（パートナー）と同居」と回答した者への質問】

何歳のときから同居されていますか

全体にみると、「21歳～25歳」の割合が最も高く 40.9%、次いで「31歳～35歳」の割合が 22.7%、「26歳～30歳」の割合が 18.2%となっています。

【性別】

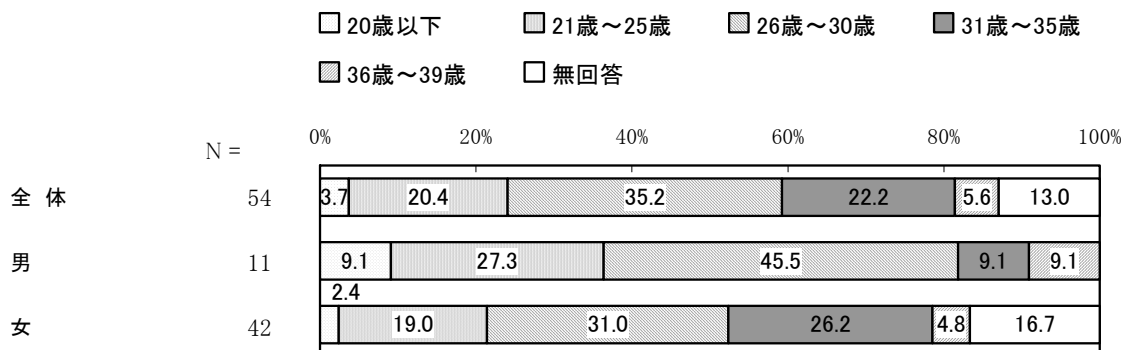


【問5の①に「4. 離婚・死別して現在は独身」と回答した者への質問】

ア 何歳のときに離婚もしくは死別されましたか

全体にみると、「26歳～30歳」の割合が最も高く 35.2%、次いで「31歳～35歳」の割合が 22.2%、「21歳～25歳」の割合が 20.4%となっています。

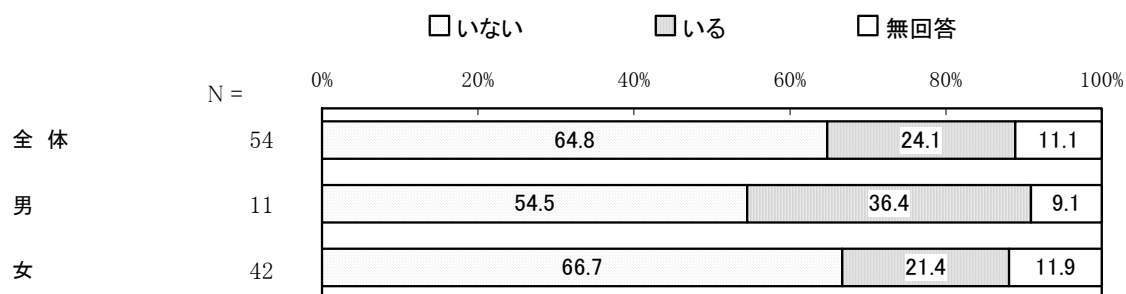
【性別】



イ 現在、恋人はいますか？

全体にみると、「いない」の割合が64.8%、「いる」の割合が24.1%となっています。

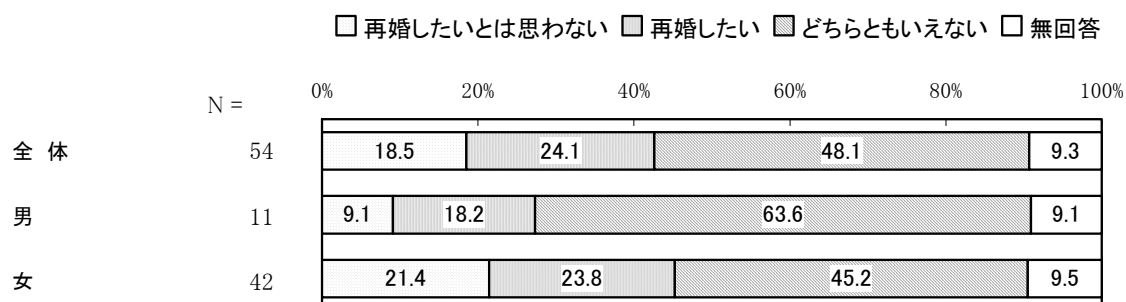
【性別】



ウ 将来再婚したいですか？

全体にみると、「どちらともいえない」の割合が最も高く48.1%、次いで「再婚したい」の割合が24.1%、「再婚したいとは思わない」の割合が18.5%となっています。

【性別】



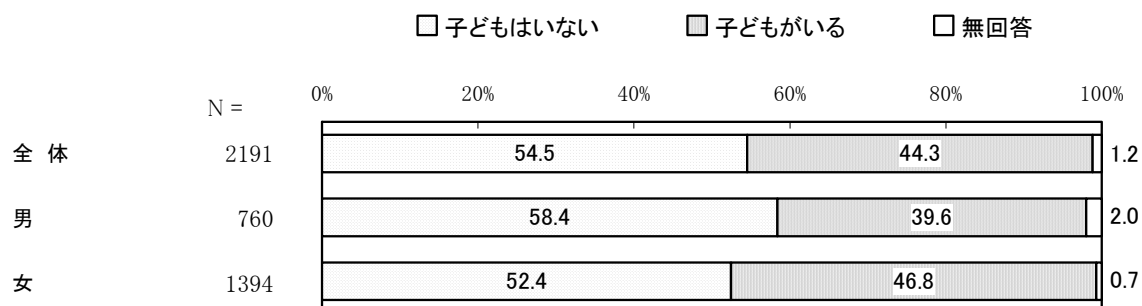
問6 あなたにはお子さんがいますか。

① はじめに、下の選択肢より、あてはまるもの1つに○をつけてください。

全体にみると、「子どもはいない」の割合が54.5%、「子どもがいる」の割合が44.3%となっています。

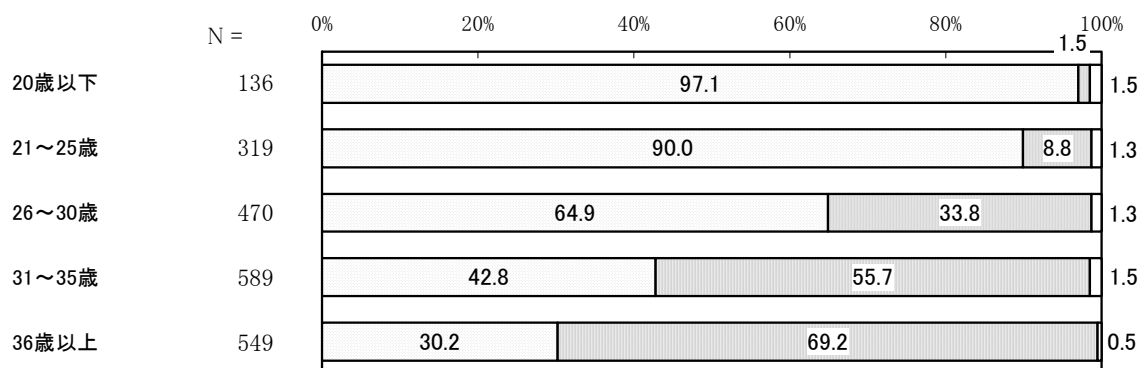
【性別】

性別にみると、「子どもがいる」の割合は男性が39.6%、女性が46.8%で女性の方が7.2ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「子どもがいる」の割合が高くなり、36歳以上で69.2%となっています。



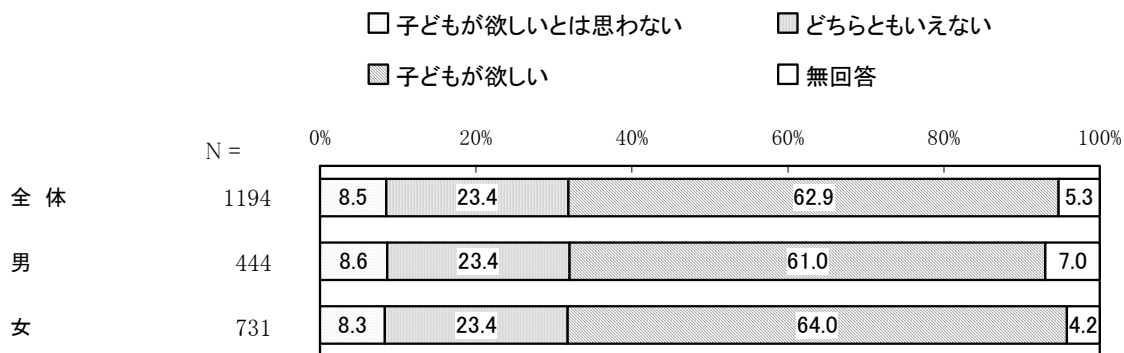
②引き続き、①であなたが○をつけた選択肢の続き（右側）の質問にもれなく回答してください。

【問6の①に「1. 子どもはいない」と回答した者への質問
将来、子どもが欲しいですか？

全体にみると、「子どもが欲しい」の割合が最も高く 62.9%、次いで「どちらともいえない」の割合が 23.4%となっています。

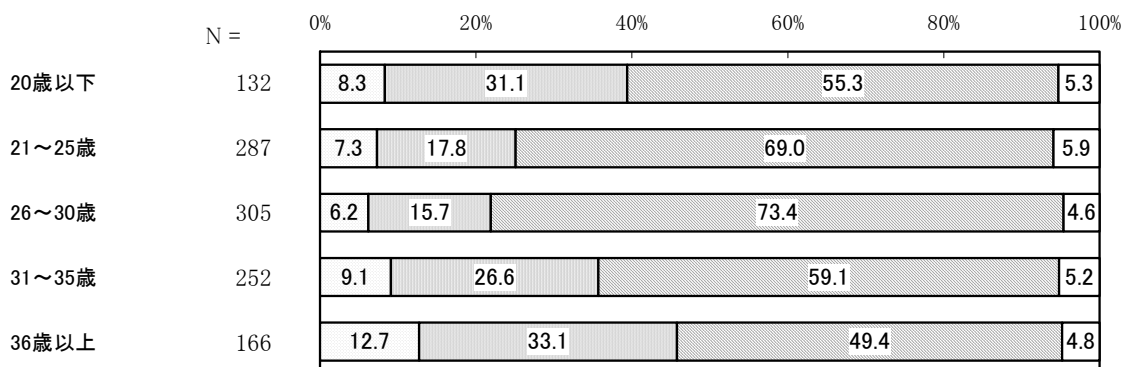
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

20代は「子どもが欲しい」の割合が他の年代より高く、21～25歳で 69.0%、25～30歳で 73.4%となっています。



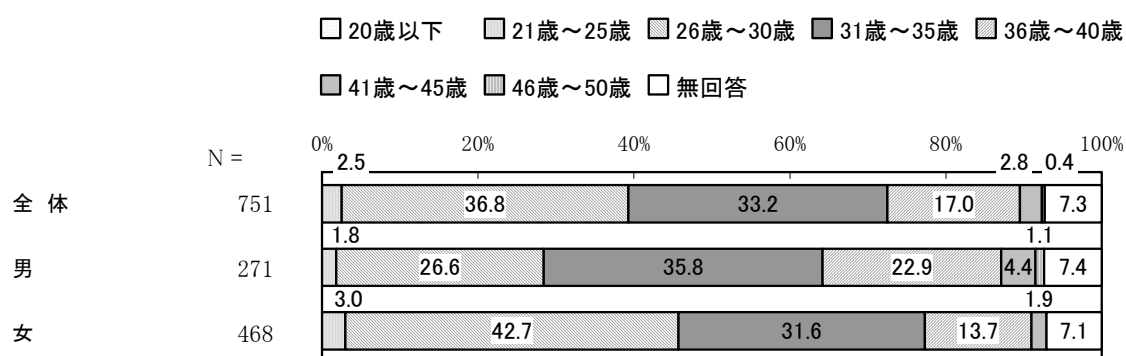
【問6の②に「3. 子どもが欲しい」と回答した者への質問
何歳ごろまでには子どもが欲しいですか

全体にみると、「26歳～30歳」の割合が最も高く36.8%、次いで「31歳～35歳」の割合が33.2%、「36歳～40歳」の割合が17.0%となっています。

【性別】

性別にみると、「26歳～30歳」の割合は男性が26.6%、女性が42.7%で女性の方が16.1ポイント高く、「36歳～40歳」の割合は男性が22.9%、女性が13.7%で男性の方が9.2ポイント高くなっています。

子どもが欲しい年齢の平均をみると、男性で34.3歳、女性で32.3歳となっています。



【問6の①に「2. 子どもがいる」と回答した者への質問

1番上と1番下のお子さんの年齢をご記入ください

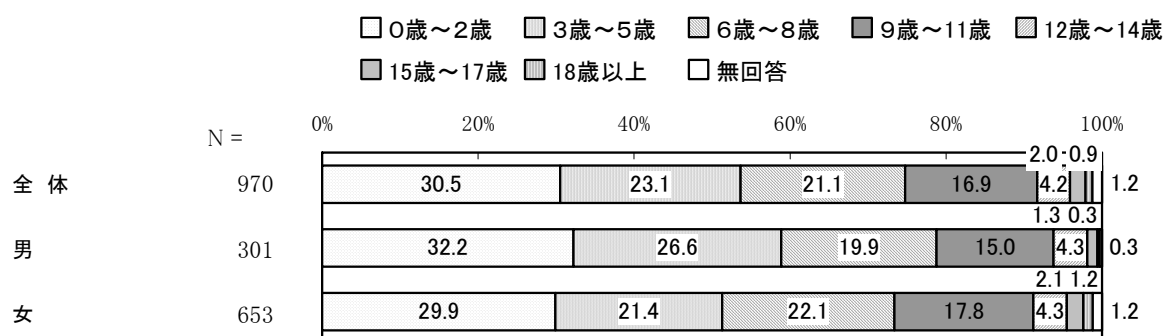
(お一人だけの場合には、1番上の子どもの欄にご記入ください)

1番上の子ども

全体にみると、「0歳～2歳」の割合が最も高く30.5%、次いで「3歳～5歳」の割合が23.1%、「6歳～8歳」の割合が21.1%となっています。

【性別】

性別にみると、「3～5歳」の割合は男性が26.6%、女性が21.4%で男性の方が5.2ポイント高くなっています。

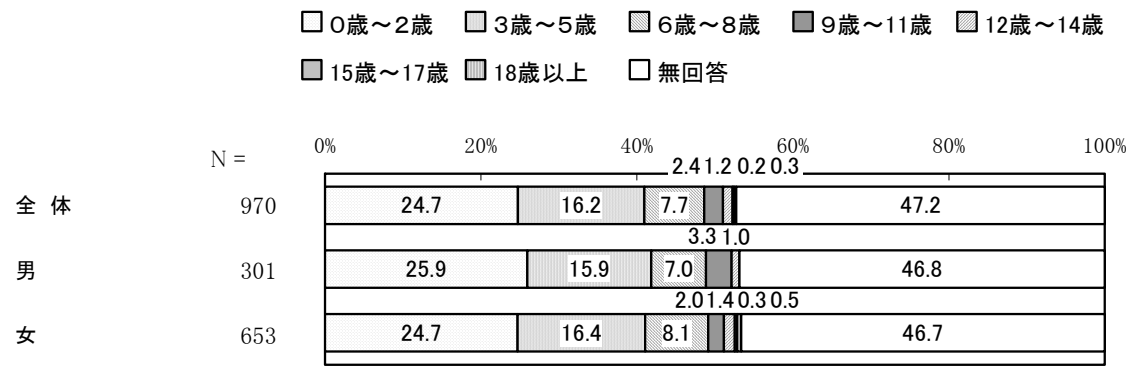


1 番下の子ども

全体にみると、「0歳～2歳」の割合が最も高く 24.7%、次いで「3歳～5歳」の割合が 16.2%となっています。

【性別】

性別にみると、大きなさはみられません。



問7 あなたの外出の頻度についておたずねします。

(1) あなたはふだんどの程度外出しますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

全体にみると、「遊びや用事でときどき外出する」の割合は 42.3%、「遊びや用事で頻繁に外出する」の割合が 32.4%となっています。また、「外出は避けている」割合は 2.2%となっています。

【性別】

性別にみると、「仕事や学校に行くため定期的に外出する」の割合は男性が 84.6%、女性が 66.4%で男性の方が 18.2 ポイント高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	仕事や学校に 行くため定期 的に外出する	遊びや用事 で頻繁に外出 する	遊びや用事 でときどき外 出する	人づきあいの ために頻繁に 外出する	人づきあいの ためにときど き外出する	外出は避け ていない	無回答
全 体	2191	72.8	32.4	42.3	8.2	20.9	2.2	0.5
男	760	84.6	30.3	39.5	8.3	21.8	2.8	0.4
女	1394	66.4	33.6	43.9	8.1	20.2	1.7	0.5

【年代別】

年代別にみると、「仕事や学校に行くため定期的に外出する」の割合は 20 歳以下で最も高く、88.2%となっており、年代が高くなるにつれて割合が低くなり、36 歳以上では 68.1%となっています。

単位：％

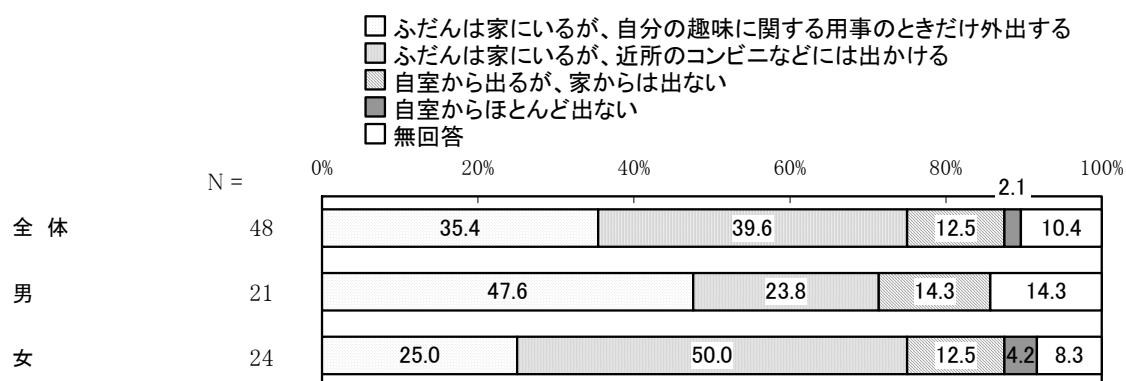
区分	有効回答数 (件)	仕事や学校に 行くため定期 的に外出する	遊びや用事 で頻繁に外出 する	遊びや用事 でときどき外 出する	人づきあいの ために頻繁に 外出する	人づきあいの ためにときど き外出する	外出は避け ていない	無回答
20 歳以下	136	88.2	21.3	49.3	4.4	20.6	4.4	0.7
21～25 歳	319	81.2	31.0	47.6	9.4	18.8	1.6	0.6
26～30 歳	470	73.2	33.4	43.0	8.9	20.9	1.3	0.6
31～35 歳	589	69.8	35.5	36.5	7.8	22.2	2.5	—
36 歳以上	549	68.1	32.2	43.2	8.2	21.1	1.6	0.4

(2) (1)で「6. 外出は避けている」と回答された方は以下の①～④の質問にお答えください。

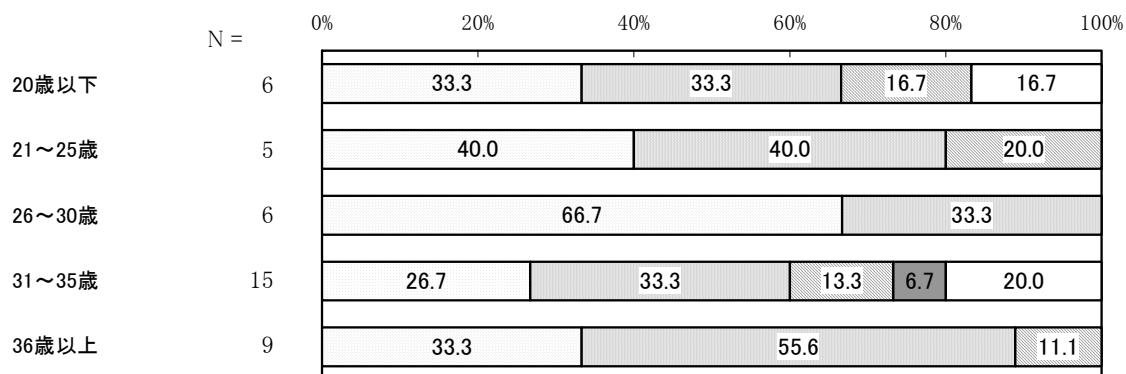
①外出の頻度はどの程度ですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」の割合が最も高く 39.6%、次いで「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」の割合が 35.4%、「自室から出るが、家からは出ない」の割合が 12.5%となっています。

【性別】



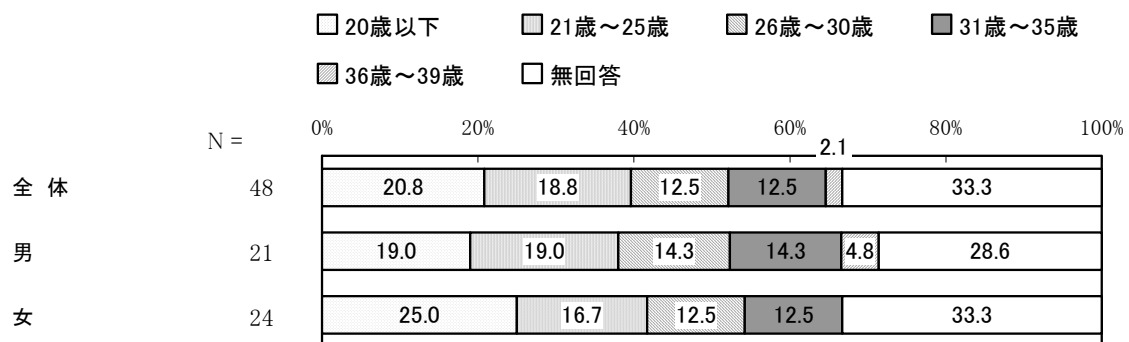
【年代別】



②外出を避けるようになったのは、あなたが何歳の頃ですか。具体的な数字を記入してください。

全体にみると、「20歳以下」の割合が最も高く 20.8%、次いで「21歳～25歳」の割合が 18.8%、「26歳～30歳」、「31歳～35歳」の割合が、それぞれ 12.5%となっています。

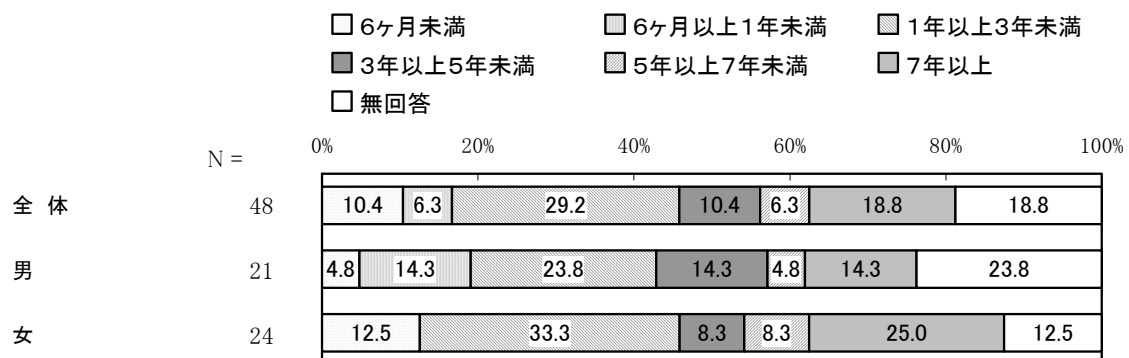
【性別】



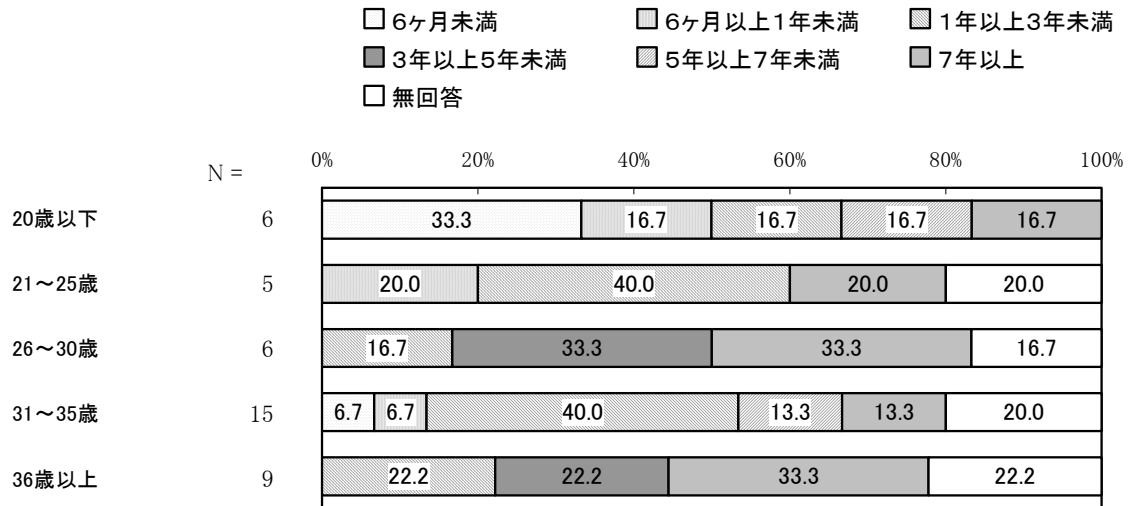
③外出を避けるようになってどのくらい経ちますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「1年以上3年未満」の割合が最も高く 29.2%、次いで「7年以上」の割合が 18.8%、「6ヶ月未満」、「3年以上5年未満」の割合が 10.4%となっています。

【性別】



【年代別】



④外出を避けるようになったのは、どのようなきっかけですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

全体にみると、「人と接するのが嫌になった」の割合が最も高く 39.6%、次いで「病気になった」の割合が 33.3%、「学校へ行くのがいやになった」の割合が 12.5%となっています。

【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	学校へ行くのがいやになった	受験に失敗した	就職活動に失敗した	職場になじめなかった	仕事で失敗をした	失恋をした(離婚をした)	人と接するのが嫌になった	病気になった	妊娠・出産	その他	無回答
全 体	48	12.5		4.2	6.3	4.2	6.3	39.6	33.3	8.3	33.3	14.6
男	21	9.5		4.8	4.8	9.5	14.3	28.6	28.6		47.6	19.0
女	24	16.7		4.2	8.3			50.0	41.7	12.5	25.0	8.3

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	学校へ行くのが いやになった	受験に失敗した	就職活動に失敗 した	職場になじめな かった	仕事で失敗をし た	失恋をした(離婚 をした)	人と接するのが 嫌になった	病気になった	妊娠・出産	その他	無回答
20 歳以下	6	50.0	—	—	—	—	16.7	83.3	33.3	—	33.3	—
21～25 歳	5	—	—	—	—	—	—	20.0	20.0	—	60.0	20.0
26～30 歳	6	16.7	—	—	—	—	—	33.3	16.7	—	33.3	16.7
31～35 歳	15	6.7	—	—	6.7	—	6.7	20.0	40.0	13.3	53.3	13.3
36 歳以上	9	11.1	—	22.2	22.2	22.2	11.1	44.4	44.4	11.1	11.1	22.2

2 あなたの子どもの頃のことや関連することについて

問8 子どもの頃のあなたとご両親との関係はだいたいどのようなでしたか。

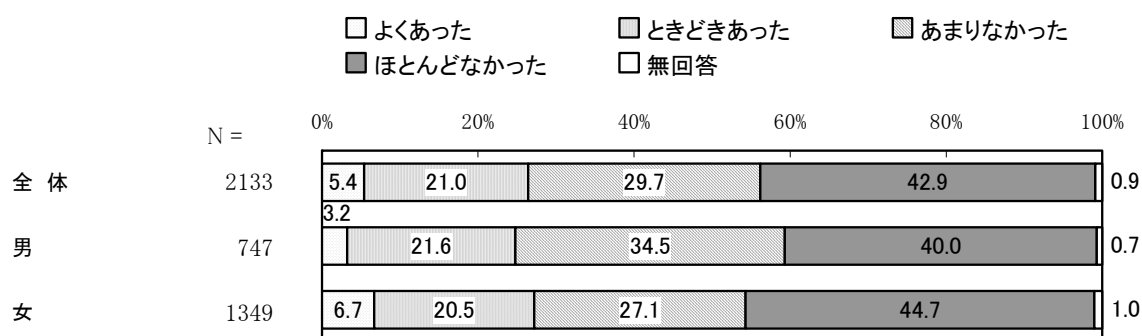
(1) お父さんとの関係について、ア～カそれぞれのあてはまる数字に○をつけてください。

ア. 悩みごとなどを相談した

全体にみると、「ほとんどなかった」の割合が最も高く 42.9%、次いで「あまりなかった」の割合が 29.7%、「ときどきあった」の割合が 21.0%となっています。

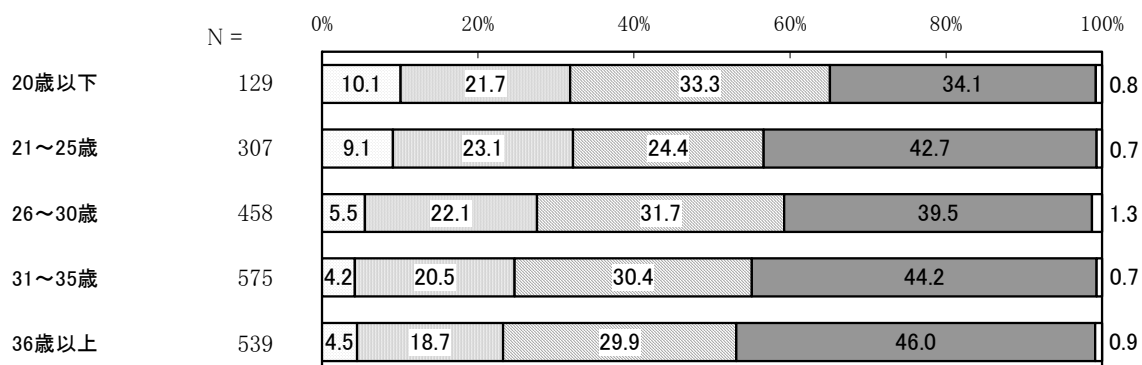
【性別】

性別にみると、「あまりなかった」の割合は男性が 34.5%、女性が 27.1%で男性の方が 7.4 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「ほとんどなかった」の割合が高くなっています。また、「よくあった」の割合は20歳以下で最も高く 10.1%となっています。



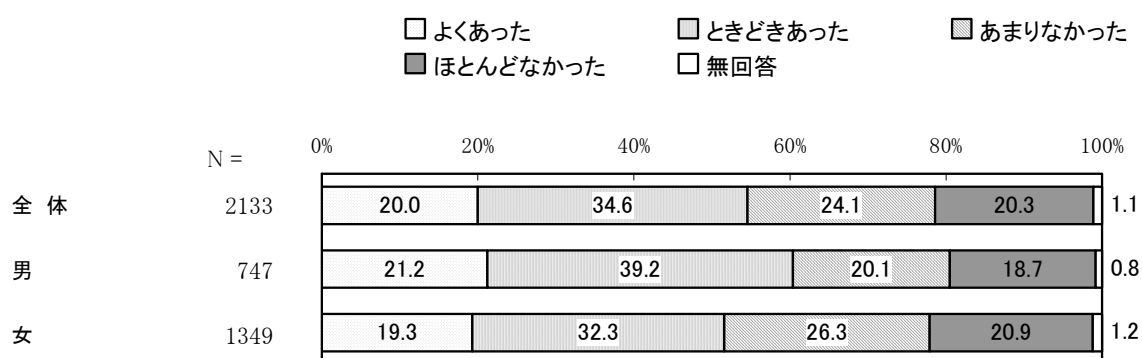
イ. 生活態度を注意された

全体にみると、「ときどきあった」の割合が最も高く 34.6%、次いで「あまりなかった」の割合が 24.1%、「ほとんどなかった」の割合が 20.3%となっています。

【性別】

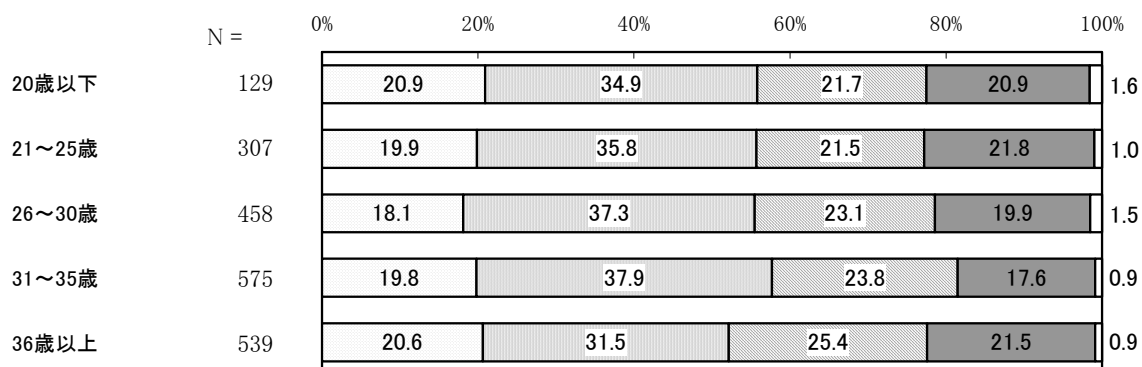
性別にみると、男性は「よくあった」「ときどきあった」を合わせた割合が高く、約 6 割となっています。

一方、女性では男性と比べて「あまりなかった」「ほとんどなかった」を合わせた割合が高く、約 5 割となっています。



【年代別】

年代別にみると、「ときどきあった」の割合は 31～35 歳で最も高く 37.9%、36 歳以上で最も低く 31.5%で 6.4 ポイント差となっています。

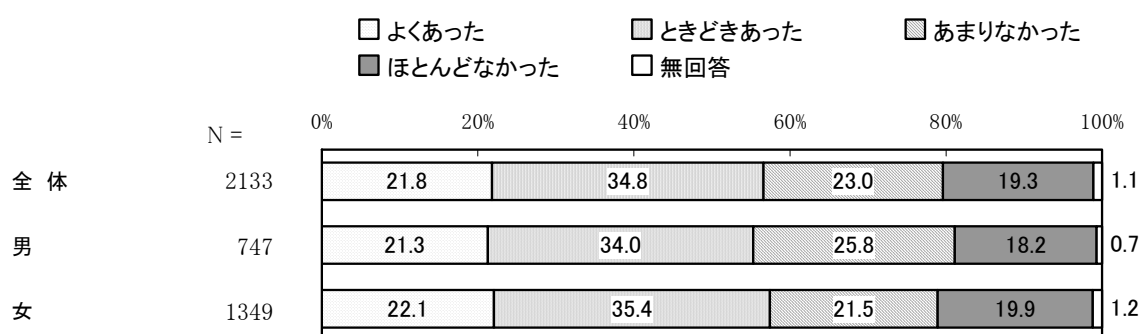


ウ. あなたの立場に立って、物事を考えてくれた

全体にみると、「ときどきあった」の割合が最も高く 34.8%、次いで「あまりなかった」の割合が 23.0%、「よくあった」の割合が 21.8%となっています。

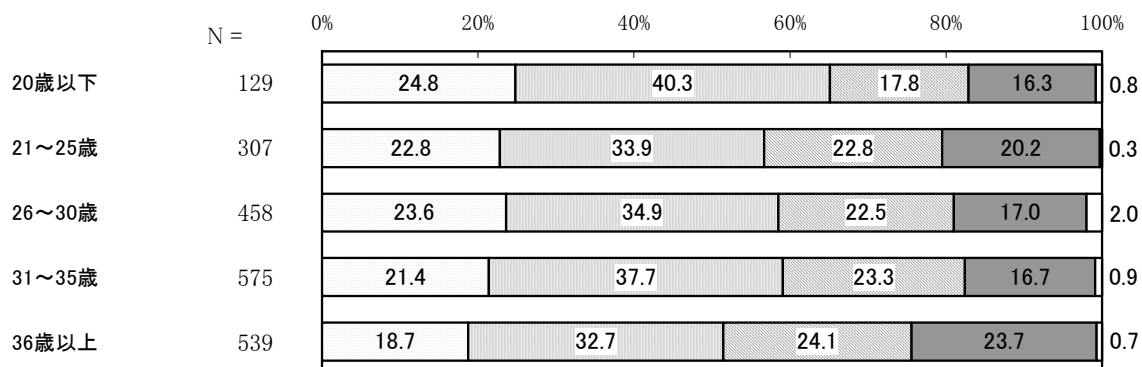
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、20 歳以下で「あった」と「ときどきあった」をあわせた割合が高く、65.1%となっています。



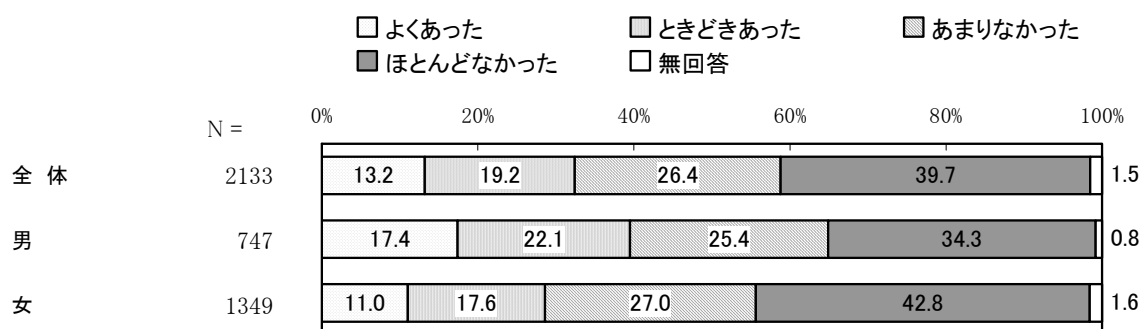
エ. 勉強をするよう注意された

全体にみると、「ほとんどなかった」の割合が最も高く 39.7%、次いで「あまりなかった」の割合が 26.4%、「ときどきあった」の割合が 19.2%となっています。

【性別】

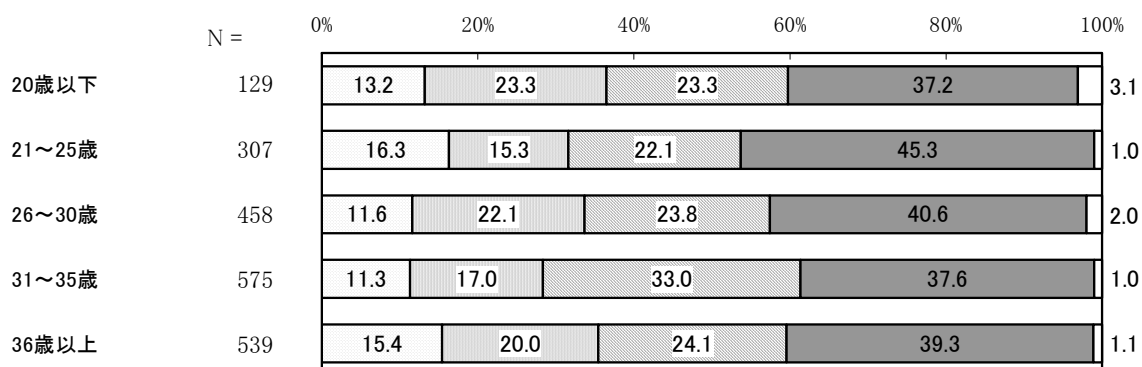
性別にみると、男性では「よくあった」「ときどきあった」を合わせた割合が高く、39.5%となっています。

一方、女性では「ほとんどなかった」の割合が高く、42.8%となっています。



【年代別】

年代別にみると、31～35 歳では「なかった」と「あまりなかった」の合わせた割合が高く、70.6%となっています。

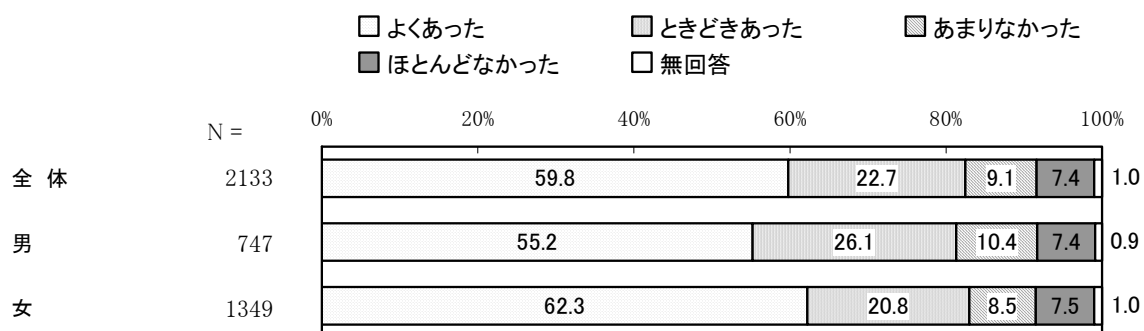


オ. 夕食をいっしょに食べた

全体にみると、「よくあった」の割合が最も高く 59.8%、次いで「ときどきあった」の割合が 22.7%、「あまりなかった」の割合が 9.1%となっています。

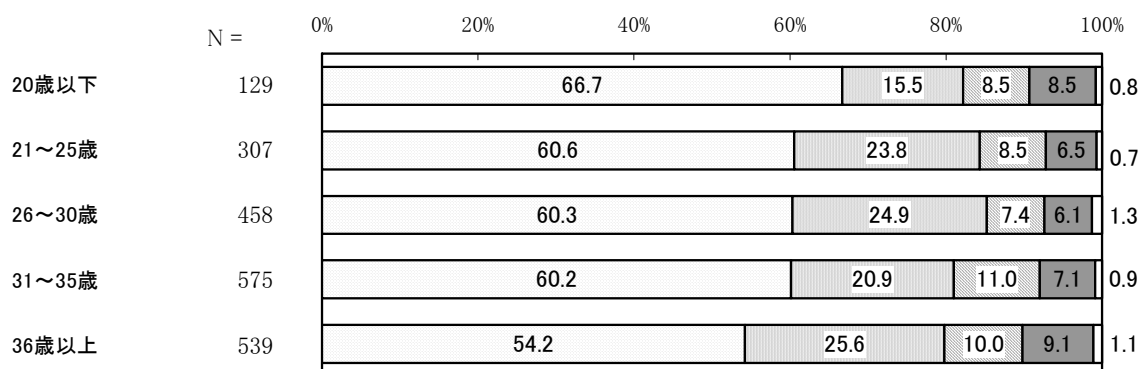
【性別】

性別にみると、「よくあった」の割合は男性が 55.2%、女性が 62.3%で女性の方が 7.1ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、21 歳以下では「よくあった」の割合が高く、66.7%となっています。

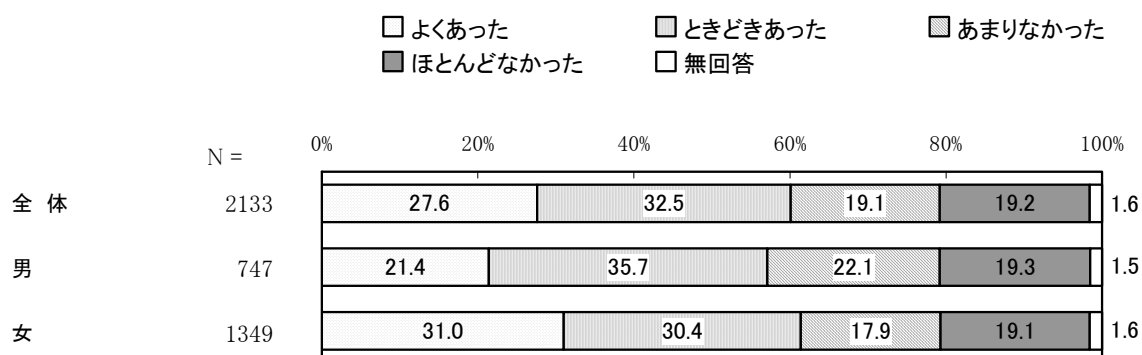


カ. いっしょに買い物に出かけた

全体にみると、「ときどきあった」の割合が最も高く 32.5%、次いで「よくあった」の割合が 27.6%、「ほとんどなかった」の割合が 19.2%となっています。

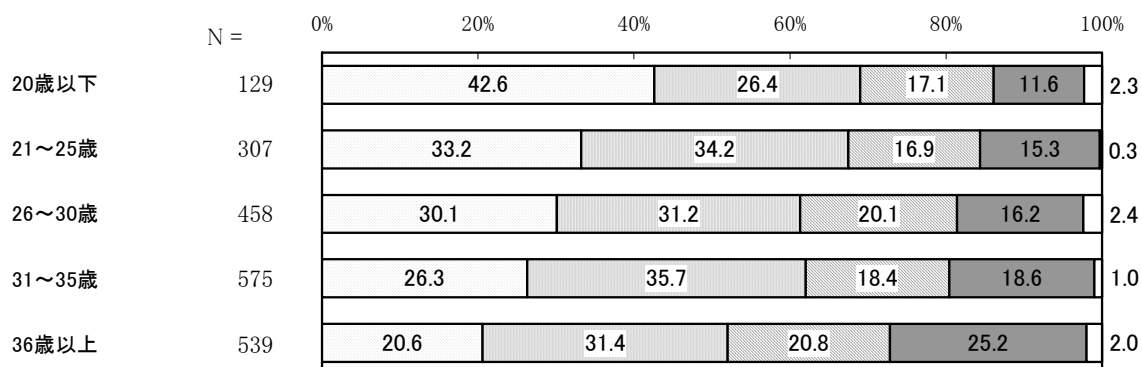
【性別】

性別にみると、「よくあった」の割合は男性が 21.4%、女性が 31.0%で女性の方が 9.6ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が低くなるにつれて「よくあった」の割合が高くなり、21 歳以下では 42.6%となっています。



(2)お母さんとの関係について、ア～カそれぞれのあてはまる数字に○をつけてください

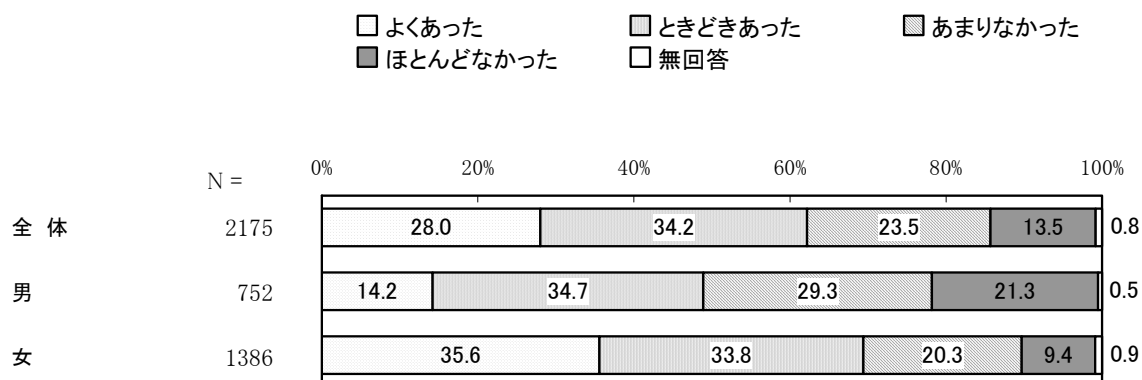
ア. 悩みごとなどを相談した

全体にみると、「ときどきあった」の割合が最も高く 34.2%、次いで「よくあった」の割合が 28.0%、「あまりなかった」の割合が 23.5%となっています。

【性別】

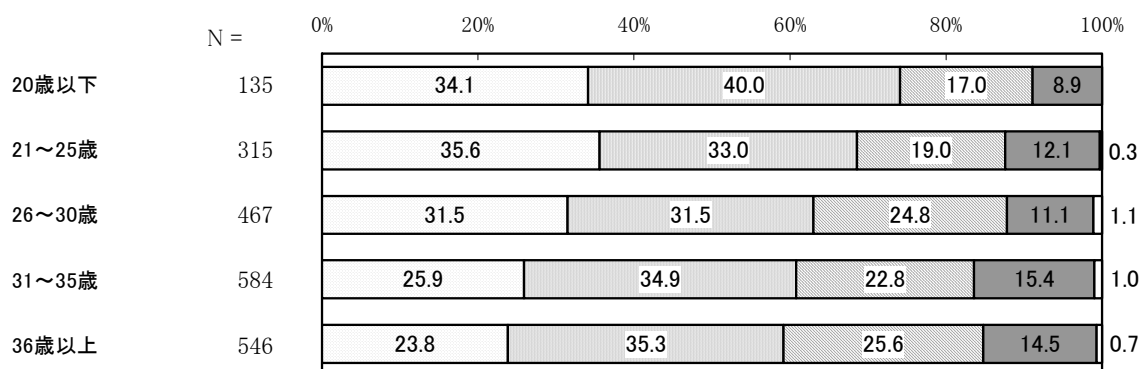
性別にみると、「よくあった」の割合は男性が 14.2%、女性が 35.6%で女性の方が 21.4 ポイント高くなっています。

一方、「あまりなかった」と「ほとんどなかった」を合わせた割合は男性が 50.6%、女性が 29.7%で男性の方が 20.9 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が低くなるにつれて「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合が高くなり、20 歳以下では 74.1%となっています。

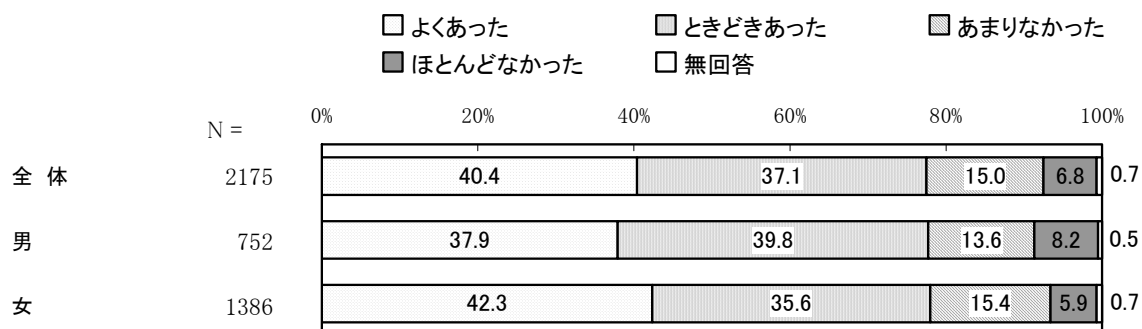


イ. 生活態度を注意された

全体にみると、「よくあった」の割合が最も高く 40.4%、次いで「ときどきあった」の割合が 37.1%、「あまりなかった」の割合が 15.0%となっています。

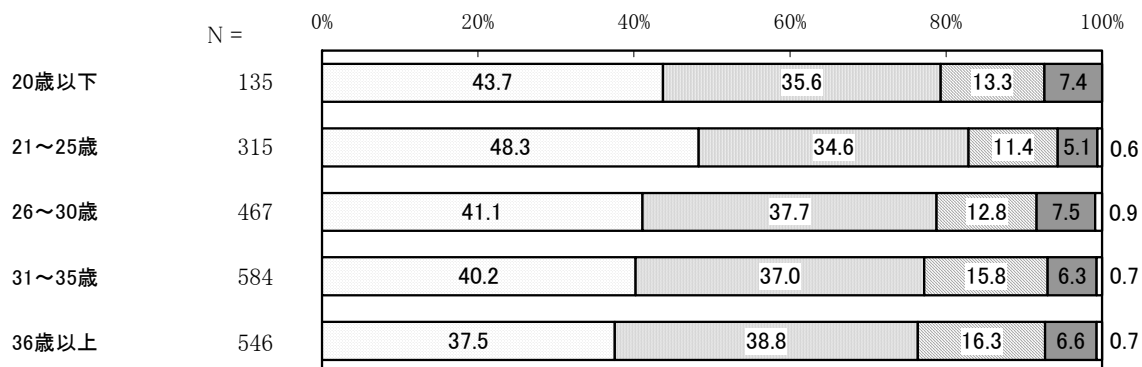
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、21～25 歳では「よくあった」の割合が高く 48.3%となっています。

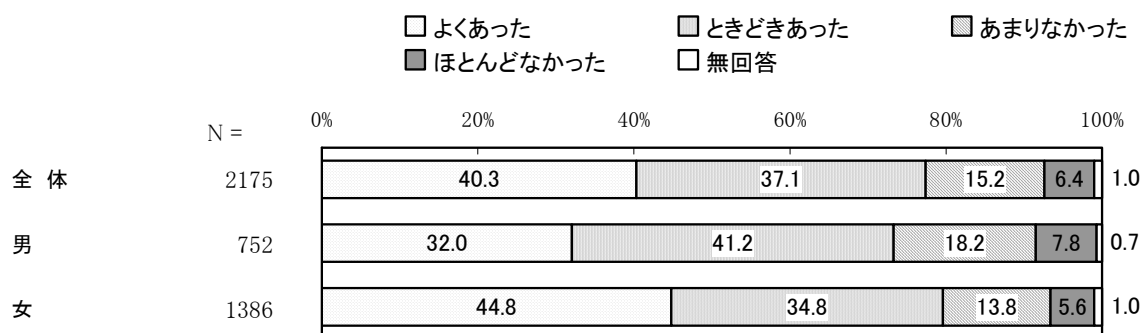


ウ. あなたの立場に立って、物事を考えてくれた

全体にみると、「よくあった最も高く」の割合が40.3%と、次いで「ときどきあった」の割合が37.1%、「あまりなかった」の割合が15.2%となっています。

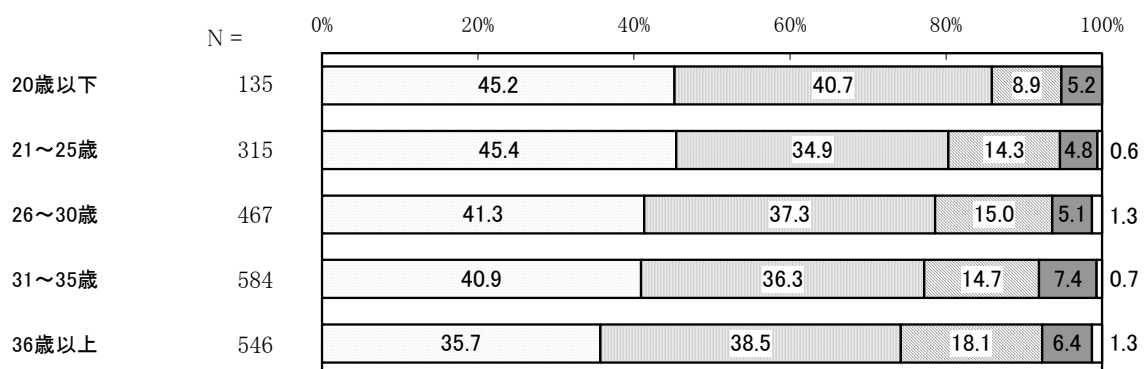
【性別】

性別にみると、「よくあった」の割合は男性が32.0%、女性が44.8%で女性の方が12.8ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が低くなるにつれて「よくあった」と「あった」を合計した割合が高く、20歳以下では85.9%となっています。

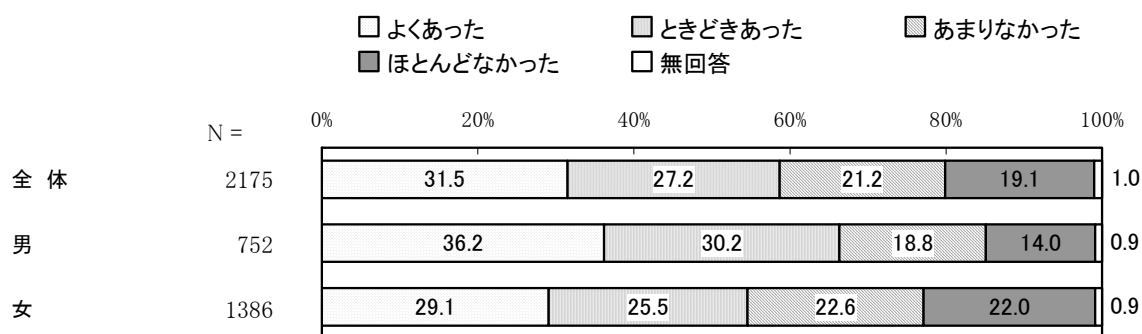


エ. 勉強をするよう注意された

全体にみると、「よくあった」の割合が最も高く 31.5%、次いで「ときどきあった」の割合が 27.2%、「あまりなかった」の割合が 21.2%となっています。

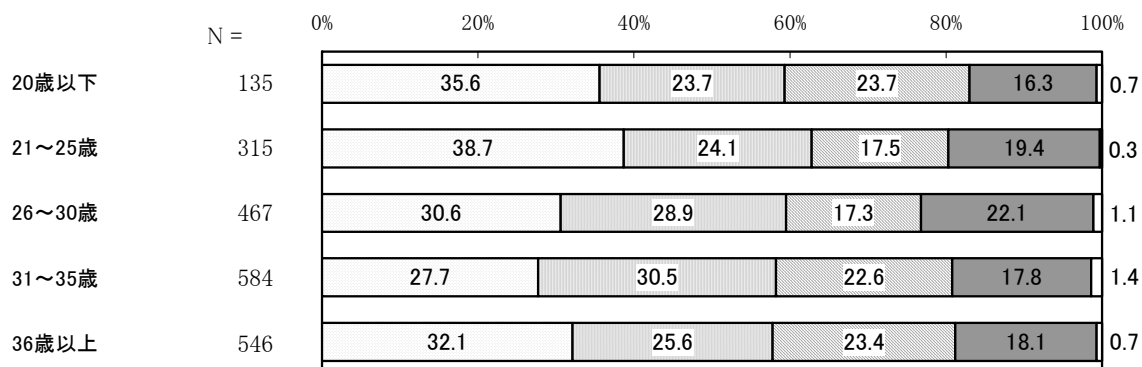
【性別】

性別にみると、「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合は男性が 66.4%、女性が 54.6%で男性の方が 11.8 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、「よくあった」の割合は 21～25 歳で 38.7%と最も高く、「ときどきあった」の割合は 31～35 歳で最も高く 30.5%となっています。

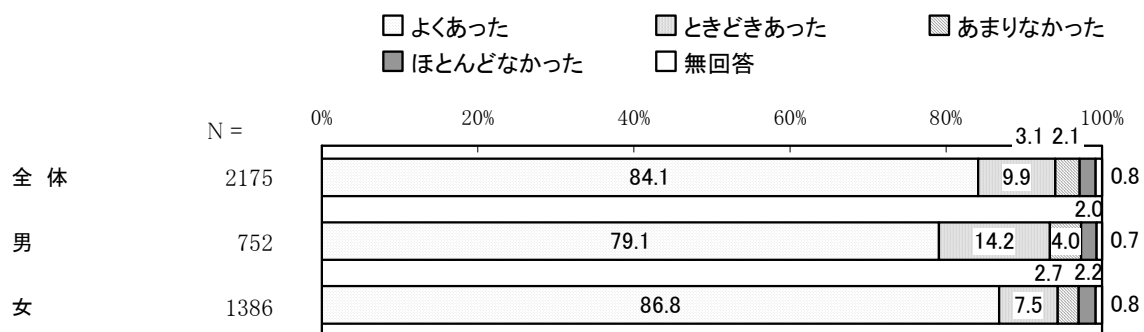


オ. 夕食をいっしょに食べた

全体にみると、「よくあった」の割合が84.1%となっています。

【性別】

性別にみると、「よくあった」の割合は男性が79.1%、女性が86.8%と女性の方が7.7ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、大きな差はみられません。

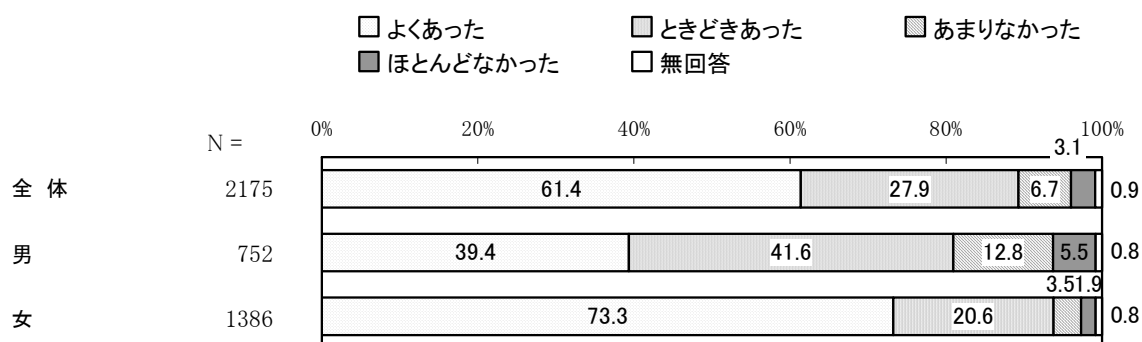


カ. いっしょに買い物に出かけた

全体にみると、「よくあった」の割合が最も高く 61.4%、次いで「ときどきあった」の割合が 27.9%、「あまりなかった」の割合が 6.7%となっています。

【性別】

性別にみると、「よくあった」の割合は男性が 39.4%、女性が 73.3%と男性の約 2 倍となっており、女性の方が 33.9 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が低くなるにつれて「よくあった」の割合が高く 20 歳以下では 72.6%となっています。



【父親との関係、母親との関係についての比較】

全体にみると、お母さんとの関係で高く、「夕食をいっしょに食べた」の割合が最も高く 94.0%、次いで「いっしょに買い物に出かけた」の割合が 89.3%、「生活態度を注意された」の割合が 77.5%、「あなたの立場に立って、物事を考えてくれた」の割合が 77.4%、「悩みごとなどを相談した」の割合が 62.2%、「勉強をするように注意された」の割合が 58.7%となっています。

性別でみると、父親との関係で「生活態度を注意された」の割合が男性で 60.4%、「勉強をするように注意された」の割合が男性で 39.5%と女性よりも約 10 ポイント高くなっています。

一方、母親との関係で「悩みごとなどを相談した」の割合が女性で 69.4%と男性よりも約 20 ポイント、「いっしょに買い物に出かけた」の割合が女性で約 10 ポイント高くなっています。

年代別にみると、20 歳以下では、父親、母親と生活の中で関わり合うことが多く、「悩みごとなどを相談した」の割合が母親で 74.1%、「あなたの立場に立って、物事を考えてくれた」の割合が父親で 65.1%、母親で 85.9%となっていますが、年代が高くなるにつれて低くなり、36 歳以上では、「悩みごとなどを相談した」の割合が母親で 15 ポイント低くなり、「あなたの立場に立って、物事を考えてくれた」の割合は父親で 13.7 ポイント、母親で 11.7 ポイント低くなっています。

一方、「生活態度を注意された」、「勉強をするように注意された」など基本的な事項に関する割合は各年代で大きな差がない傾向がうかがわれます。

また、「夕食をいっしょに食べた」の割合では、各年代で大きな差はみられない傾向がうかがわれますが、「いっしょに買い物に出かけた」の割合では、年代が高くなるにつれて、父親との関わりが少なくなる傾向があり、36 歳以上では 52.0%と 20 歳以下と比較して、17 ポイント低くなっています。

設問ア～カの各設問の【性別】の「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合

「悩みごとなどを相談した」	父親	男性：24.8%、	女性：27.2%
	母親	男性：48.9%、	女性：69.4%
「生活態度を注意された」	父親	男性：60.4%、	母親：51.6%
	母親	男性：77.7%、	女性：77.9%
「あなたの立場に立って、物事を考えてくれた」	父親	男性：55.3%、	母親：57.5%
	母親	男性：73.2%、	女性：79.6%
「勉強をするように注意された」	父親	男性：39.5%、	母親：28.6%
	母親	男性：66.4%、	女性：54.6%
「夕食をいっしょに食べた」	父親	男性：81.3%、	母親：83.1%
	母親	男性：93.3%、	女性：94.3%
「いっしょに買い物に出かけた」	父親	男性：57.1%、	母親：61.4%
	母親	男性：81.0%、	女性：93.9%

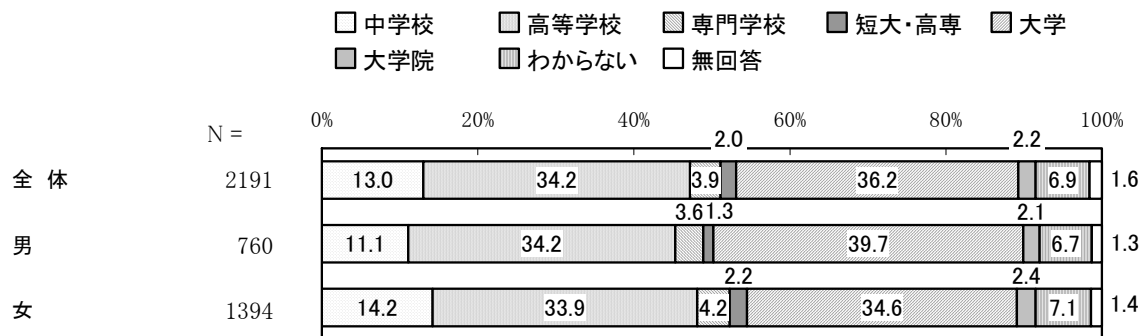
問9 あなたのご両親の最終学歴についておたずねします。

(1) お父さんが最後に卒業された学校は次のどれですか。1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「大学」の割合が最も高く 36.2%、次いで「高等学校」の割合が 34.2%、「中学校」の割合が 13.0%となっています。

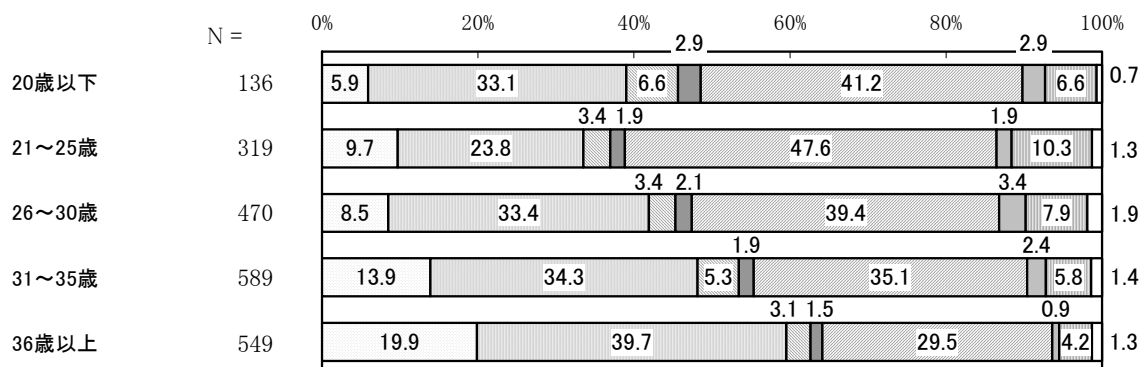
【性別】

性別にみると、「大学」の割合は男性が 39.7%、女性が 34.6%で男性の方が 5.1 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「高等学校」の割合が高くなり、「大学」の割合が低くなる傾向がみられます。「大学」の割合は 21～25 歳が最も高く 47.6%、36 歳以上が最も低く 29.5%で 18.1 ポイント差となっています。

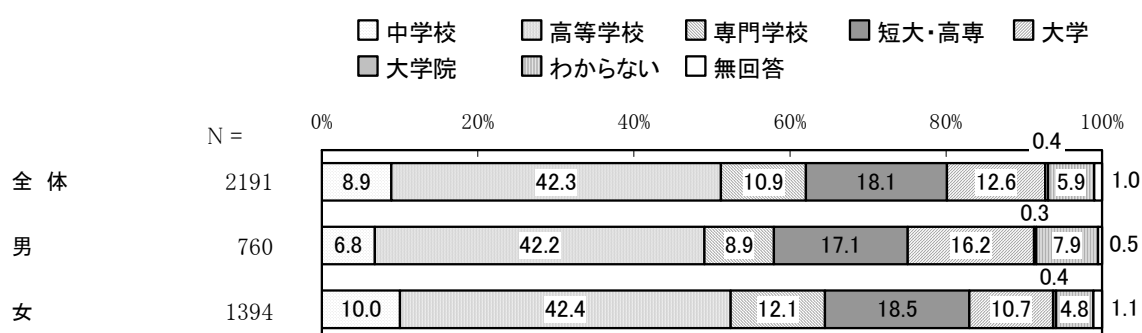


(2) お母さんが最後に卒業された学校は次のどれですか。1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「高等学校」の割合が最も高く42.3%、次いで「短大・高専」の割合が18.1%、「大学」の割合が12.6%となっています。

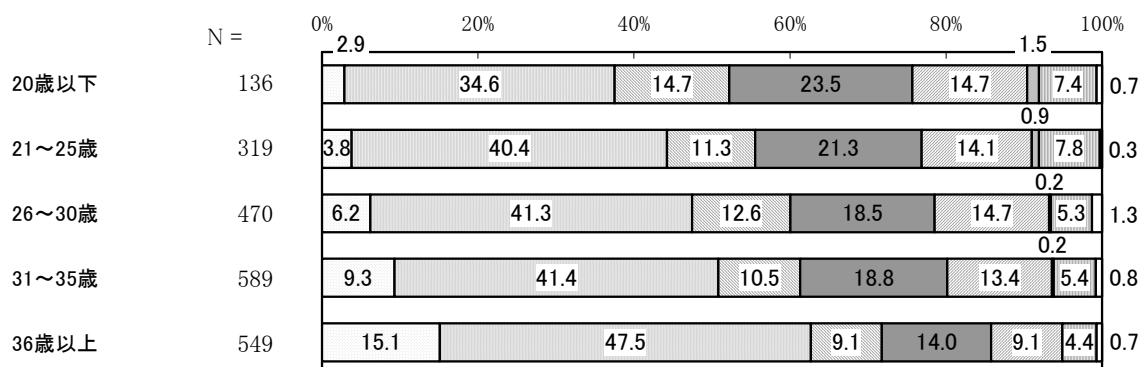
【性別】

性別にみると、「大学」の割合は男性が16.2%、女性が10.7%で男性の方が5.5ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「高等学校」の割合が高くなり、「大学」の割合が低くなる傾向がみられます。

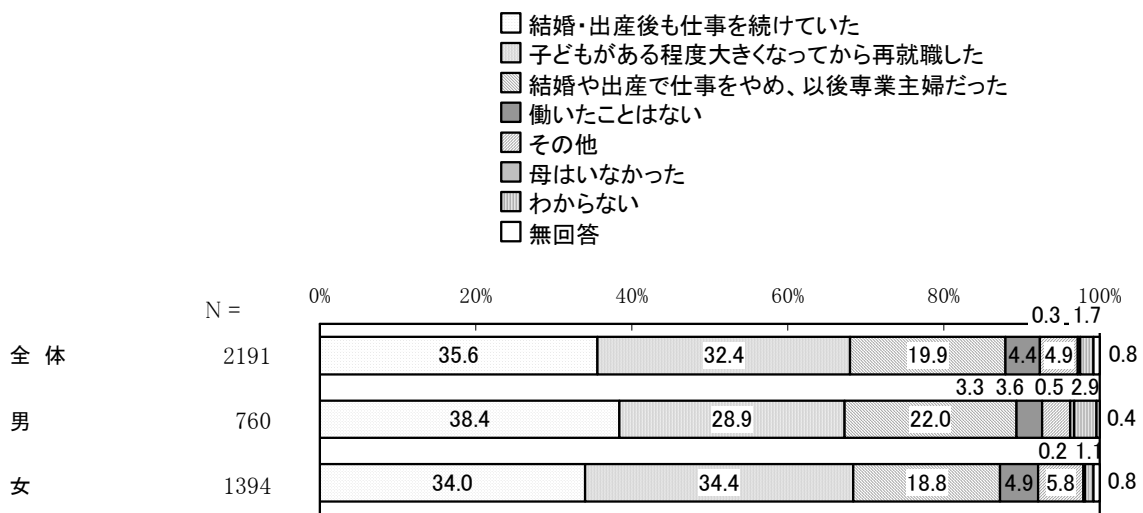


問 10 あなたのお母さんは、結婚・出産後も働いていらっしゃいましたか。1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「結婚・出産後も仕事を続けていた」の割合が最も高く 35.6%、次いで「子どもがある程度大きくなってから再就職した」の割合が 32.4%、「結婚や出産で仕事をやめ、以後専業主婦だった」の割合が 19.9%となっています。

【性別】

性別にみると、「子どもがある程度大きくなってから再就職した」の割合は男性が 28.9%、女性が 34.4%で女性の方が 5.5 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、「結婚・出産後も仕事を続けていた」の割合は 26～30 歳で最も高く、38.1%となっています。



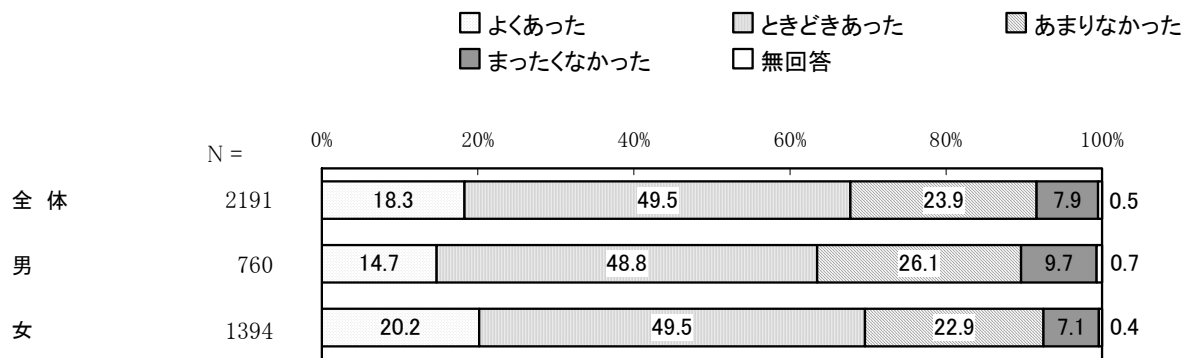
問 11 ご近所の方との関係についておたずねします。(1)～(3)の質問にあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

(1) 小学生・中学生の頃、近所の大人からほめられた経験はどの程度ありますか。

全体にみると、「ときどきあった」の割合が最も高く 49.5%、次いで「あまりなかった」の割合が 23.9%、「よくあった」の割合が 18.3%となっています。

【性別】

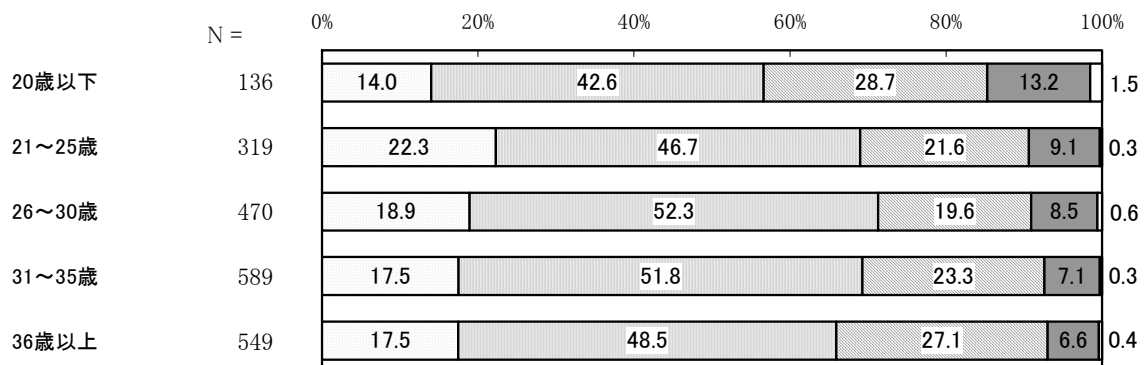
性別にみると、「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合は女性で高く、69.7%となっています。



【年代別】

年代別にみると、「あまりなかった」と「まったくなかった」を合わせた割合は 20 歳以下で最も高く 41.9%となっています。

一方、「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合は 26～30 歳で最も高く 71.2%となっています。

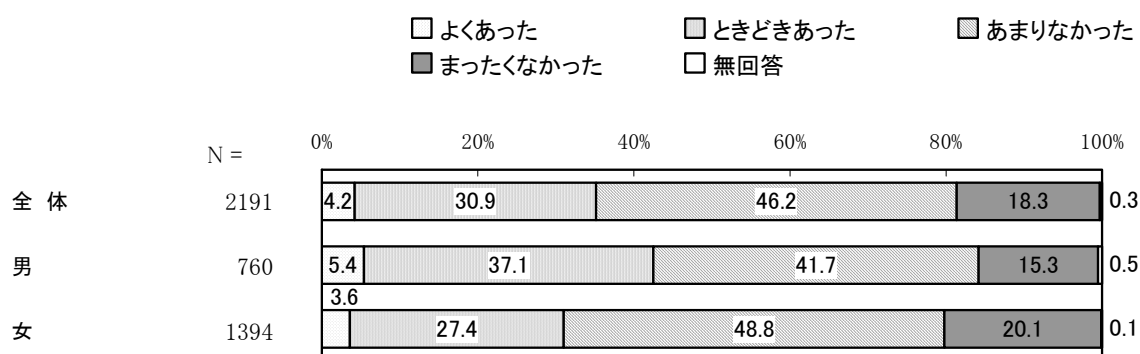


(2) 小学生・中学生の頃、近所の大人から注意されたり、しかられた経験はどの程度ありますか。

全体にみると、「あまりなかった」の割合が最も高く 46.2%、次いで「ときどきあった」の割合が 30.9%、「まったくなかった」の割合が 18.3%となっています。

【性別】

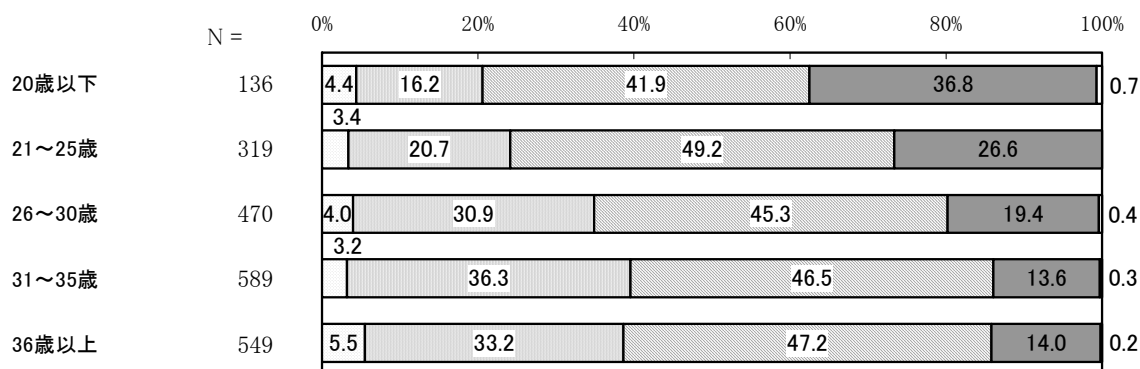
性別にみると、「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合は男性が 42.5%、女性が 31.0%で男性の方が 11.5 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年齢が高くなるにつれて「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合が高くなる傾向があり、31～35 歳では 39.5%となっています。

一方、「まったくなかった」と「あまり」の割合は 20 歳以下で最も高く 78.7%となっています。

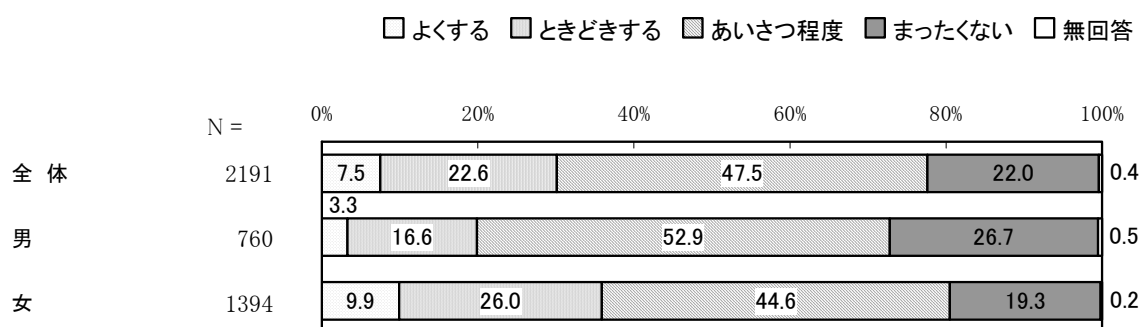


（３）最近、ご近所の方と世間話をすることがありますか。

全体にみると、「あいさつ程度」の割合が最も高く 47.5%と、次いで「ときどきする」の割合が 22.6%、「まったくない」の割合が 22.0%となっています。

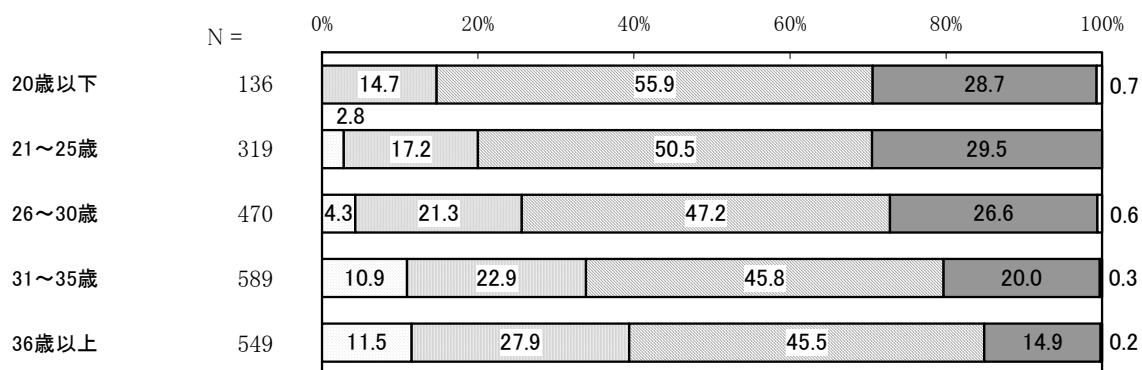
【性別】

性別にみると、「よくする」と「ときどきする」を合わせた割合は男性が 19.9%。女性が 35.9%で女性の方が 16.0 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「よくする」と「ときどきする」を合わせた割合が高く、36 歳以上では 39.4%となっています。



問 12 小学生・中学生の頃に、次のア～ウのような「大人」の人はいましたか。いた場合、それぞれ2つまで選んでください。誰もいなかった場合には、「7. いなかった」の欄に○をつけてください。

ア. 自分の悩みを打ち明けられた「大人」の人

全体にみると、「家庭」の割合が最も高く 53.1%、次いで「いなかった」の割合が 33.9%、「学校」の割合が 22.3%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では女性と比べて「いなかった」の割合が高く、40.8%となっています。

一方、女性では男性と比べて「家庭」の割合が高く、57.3%となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家庭	学校	塾 予備校	地域 近隣	メディア	その他	いなかった	無回答
全 体	2191	53.1	22.3	4.1	1.8	0.4	4.0	33.9	2.1
男	760	45.3	19.9	4.2	1.7	0.4	5.1	40.8	2.0
女	1394	57.3	23.7	4.1	1.9	0.4	3.3	30.1	2.0

【年代別】

年代別にみると、20 歳以下では「家庭」の割合が他の年代より高く 69.1%、21～25 歳では「学校」の割合が他の年代より高く 31.7%となっています。

一方、36 歳以上では「いなかった」の割合が高く、39.0%となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家庭	学校	塾 予備校	地域 近隣	メディア	その他	いなかった	無回答
20 歳以下	136	69.1	30.1	7.4	2.2	0.7	1.5	19.1	2.2
21～25 歳	319	56.1	31.7	6.9	1.3	0.6	3.8	26.3	1.6
26～30 歳	470	54.5	24.9	3.6	1.7	0.4	3.2	31.5	1.9
31～35 歳	589	50.9	20.5	3.7	1.2	0.3	4.4	36.5	2.5
36 歳以上	549	50.6	15.1	3.1	2.7	0.2	4.0	39.0	1.8

イ. 自分の将来のことを話せた「大人」の人

全体にみると、「家庭」の割合が最も高く 56.5%、次いで「いなかった」の割合が 29.9%、「学校」の割合が 28.4%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では「いなかった」の割合が高く 35.7%となっています。
一方、女性では「家庭」の割合が高く 60.3%となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家庭	学校	塾 予備校	地域 近隣	メディア	その他	いなかった	無回答
全 体	2191	56.5	28.4	5.3	2.1	0.5	3.6	29.9	1.9
男	760	49.2	26.7	4.2	2.4	0.4	4.6	35.7	1.8
女	1394	60.3	29.7	5.9	1.9	0.6	2.9	27.0	1.9

【年代別】

年代別にみると、20 歳以下では「家庭」の割合が高く 68.4%となっています。
一方、年代が高くなるにつれて「いなかった」の割合は高くなり、36 歳以上では 34.4%となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家庭	学校	塾 予備校	地域 近隣	メディア	その他	いなかった	無回答
20 歳以下	136	68.4	42.6	10.3	2.9	—	1.5	14.7	2.2
21～25 歳	319	60.8	35.4	11.9	1.3	1.3	3.1	21.0	1.3
26～30 歳	470	58.7	31.3	3.6	1.9	0.4	3.0	27.9	1.9
31～35 歳	589	55.5	28.2	4.4	1.4	0.2	4.2	32.8	2.0
36 歳以上	549	52.8	21.7	3.3	3.1	0.4	3.6	34.4	1.8

ウ. 自分の目標やお手本となった「大人」の人

全体にみると、「家庭」の割合が最も高く 43.9%と、次いで「いなかった」の割合が 30.6%、「学校」の割合が 18.6%となっています。

【性別】

性別にみると、「家庭」の割合は男性が 39.3%、女性が 46.1%で女性の方が 6.8 ポイント高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家庭	学校	塾 予備校	地域 近隣	メディア	その他	いなかった	無回答
全 体	2191	43.9	18.6	3.3	3.7	14.4	8.9	30.6	2.5
男	760	39.3	18.9	2.2	3.0	12.6	11.6	32.2	3.0
女	1394	46.1	18.6	3.8	4.0	15.4	7.5	29.8	2.2

【年代別】

年代別にみると、「家庭」の割合は 26～30 歳で最も高く 45.7%、「学校」の割合は 20 歳以下で最も高く 27.9%となっています。また、年代が高くなるにつれて「いなかった」の割合が高くなり、36 歳以上では 34.2%となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家庭	学校	塾 予備校	地域 近隣	メディア	その他	いなかった	無回答
20 歳以下	136	41.9	27.9	5.1	2.9	19.9	8.8	23.5	5.1
21～25 歳	319	43.6	25.4	4.4	4.1	15.0	9.1	26.0	1.6
26～30 歳	470	45.7	18.5	3.0	3.4	17.0	7.7	27.0	2.6
31～35 歳	589	45.2	16.3	2.4	2.9	13.8	9.5	32.1	2.5
36 歳以上	549	42.1	16.0	3.6	4.4	11.3	9.8	34.2	2.2

問 13 進学をしたときに、スムーズに環境になじめないなど苦労したことがありましたか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

全体にみると、「いずれもなかった」の割合が最も高く 50.4%、次いで「高校に進学するときにあった」の割合が 21.8%、「中学校に進学するときにあった」の割合が 16.2%となっています。

【性別】

性別にみると、「いずれもなかった」の割合は男性が 56.1%、女性が 47.6%で男性の方が 8.7 ポイント高くなっています。また、「中学校に進学するときにあった」の割合は男性が 11.6%、女性が 18.9%で女性の方が 7.3 ポイント高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	小学校に進学する ときにあった	中学校に進学する ときにあった	高校に進学する ときにあった	大学に進学する ときにあった	た い ず れ も な か っ た	覚えていない	無回答
全 体	2191	6.8	16.2	21.8	12.0	50.4	8.5	0.8
男	760	5.1	11.6	19.2	11.4	56.1	8.3	1.1
女	1394	7.7	18.9	23.0	12.1	47.4	8.7	0.7

【年代別】

年代別にみると、いずれの年代でも「いずれもなかった」の割合が高く、36 歳以上で最も高く 55.0%となっています。また、20 歳以下では「高校に進学するときにあった」の割合が 30.9%、「中学校に進学するときにあった」の割合が 23.5%と高く、21～25 歳では「大学に進学するときにあった」が 15.0%と高くなっています。

単位：％

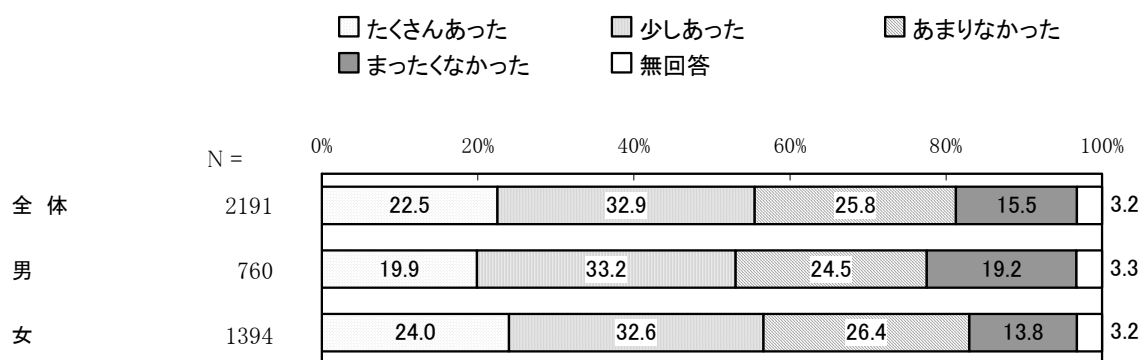
区分	有効回答数 (件)	小学校に進学する ときにあった	中学校に進学する ときにあった	高校に進学する ときにあった	大学に進学する ときにあった	た い ず れ も な か っ た	覚えていない	無回答
20 歳以下	136	8.1	23.5	30.9	14.7	45.6	5.1	—
21～25 歳	319	5.0	16.3	25.4	15.0	48.0	7.8	0.6
26～30 歳	470	7.2	18.5	19.6	12.6	48.3	8.9	0.9
31～35 歳	589	6.5	14.4	21.7	12.2	51.1	9.7	0.8
36 歳以上	549	7.1	14.6	18.4	9.1	55.0	7.8	0.9

問 14 これまでに（現在、子どもがいる方は、子どもが生まれるまでに）小さな子どもと触れ合ったり、子育てについて学ぶ機会がありましたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「少しあった」の割合が最も高く 32.9%、次いで「あまりなかった」の割合が 25.8%、「たくさんあった」の割合が 22.5%となっています。

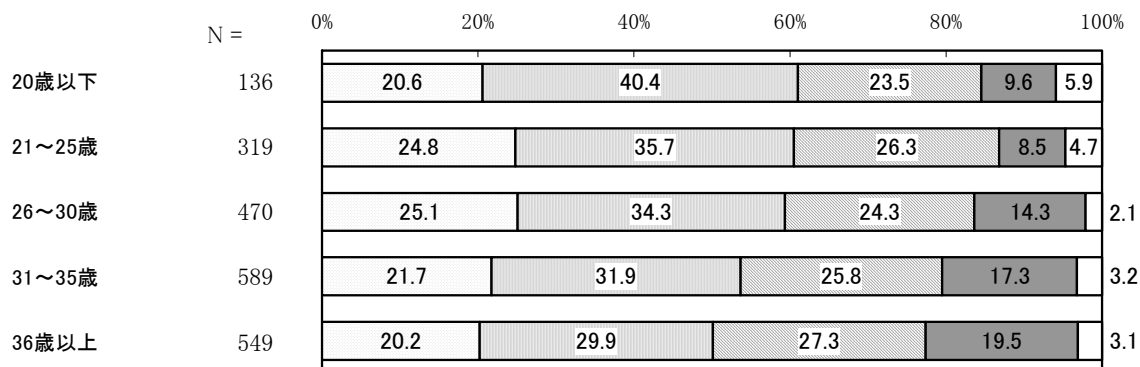
【性別】

性別にみると、「まったくなかった」の割合は男性が 19.2%、女性が 13.8%で男性の方が 5.4 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「あまりなかった」と「まったくなかった」を合わせた割合が高くなり、36 歳以上では 46.8%となっています。



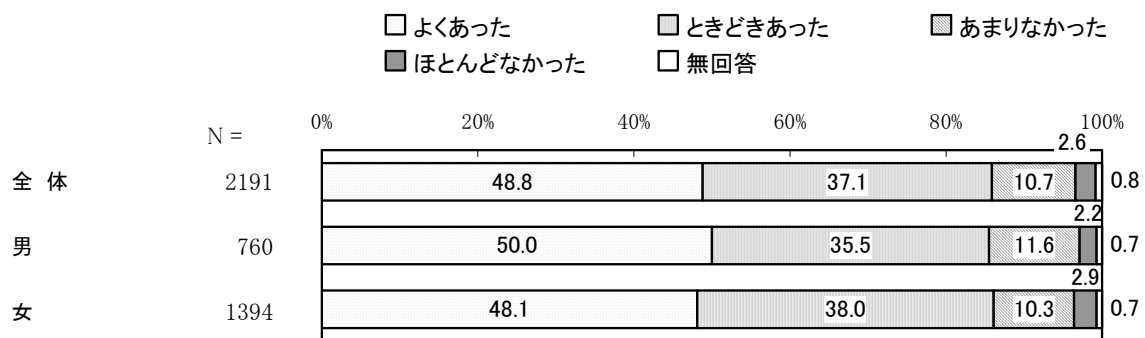
問 15 小学生・中学生の頃に次のア～コのような体験をしましたか。それぞれあてはまるものに○をつけてください。

ア. 自然の中で遊ぶ体験

全体にみると、「よくあった」の割合が最も高く 48.8%、次いで「ときどきあった」の割合が 37.1%、「あまりなかった」の割合が 10.7%となっています。

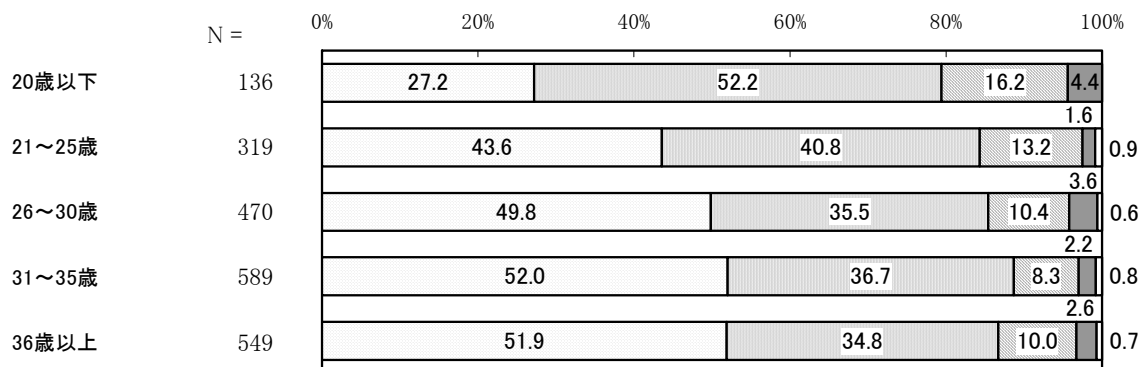
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、20 歳以下では「よくあった」の割合は 27.2%と最も低く、「ときどきあった」の割合が 52.2%と最も高くなっています。

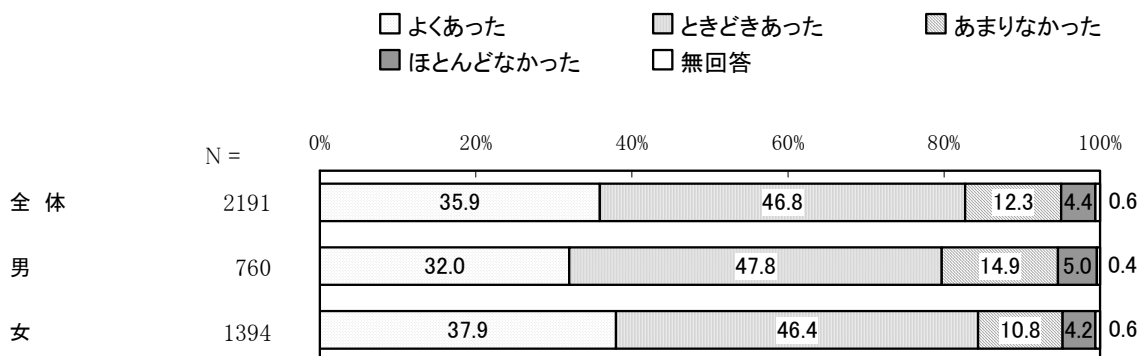


イ. 地域の行事に参加する体験

全体にみると、「ときどきあった」の割合が最も高く 46.8%と、次いで「よくあった」の割合が 35.9%、「あまりなかった」の割合が 12.3%となっています。

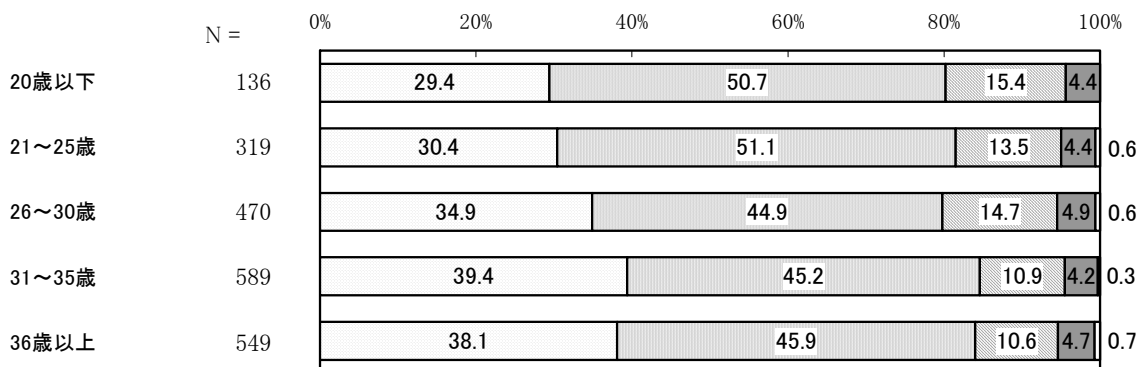
【性別】

性別にみると、「よくあった」の割合は男性が 32.0%、女性が 37.9%で 5.9 ポイント差となっています。



【年代別】

年代別にみると、「よくあった」の割合は 20 歳以下では 29.4%、21～25 歳では 30.4%と低くなっています。

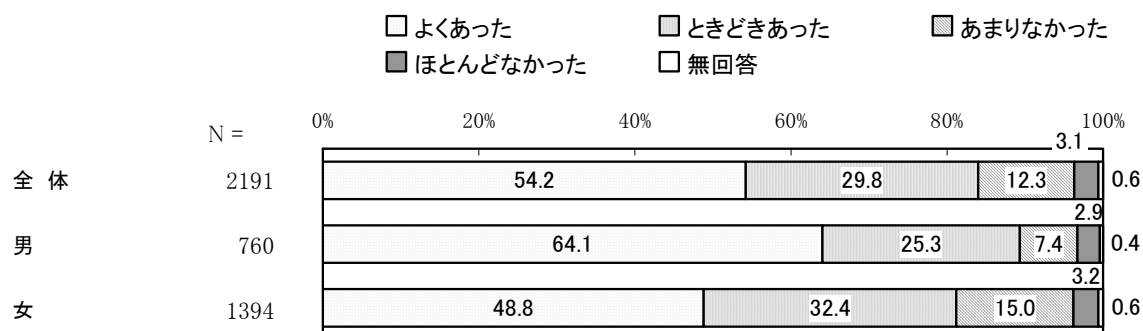


ウ. スポーツをする体験

全体にみると、「よくあった」の割合が最も高く 54.2%、次いで「ときどきあった」の割合が 29.8%、「あまりなかった」の割合が 12.3%となっています。

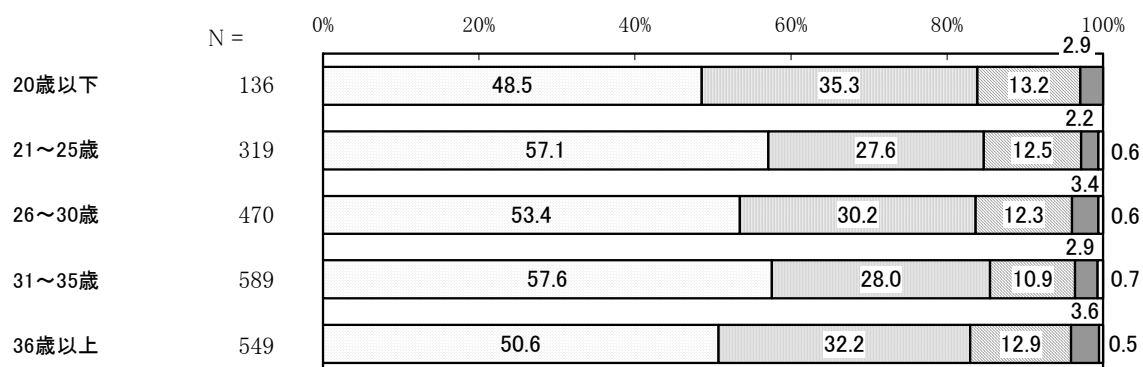
【性別】

性別にみると、「よくあった」の割合は男性が 64.1%、女性が 48.8%で 15.3 ポイント差となっています。



【年代別】

年代別にみると、「よくあった」の割合は 31～35 歳で 57.6%と最も高く、「ときどきあった」の割合は 20 歳以下で 35.3%と最も高くなっています。

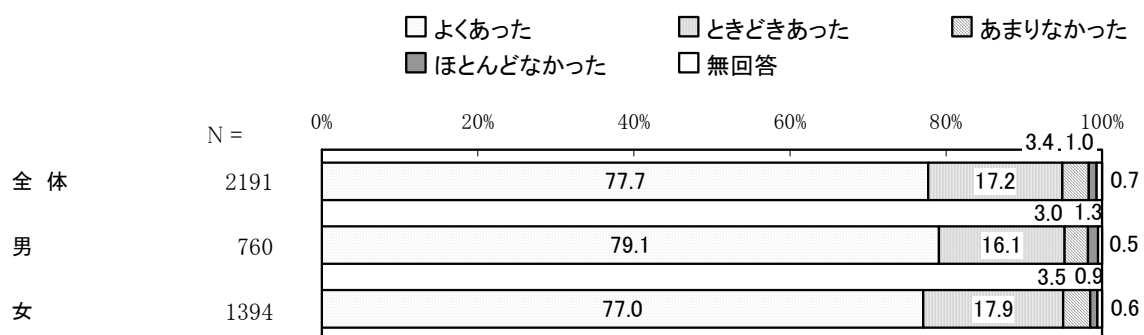


エ. 友だちと遊ぶ体験

全体にみると、「よくあった」の割合が最も高く 77.7%と、次いで「ときどきあった」の割合が 17.2%となっています。

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、20 歳以下で「よくあった」の割合が低く 66.9%になっています。

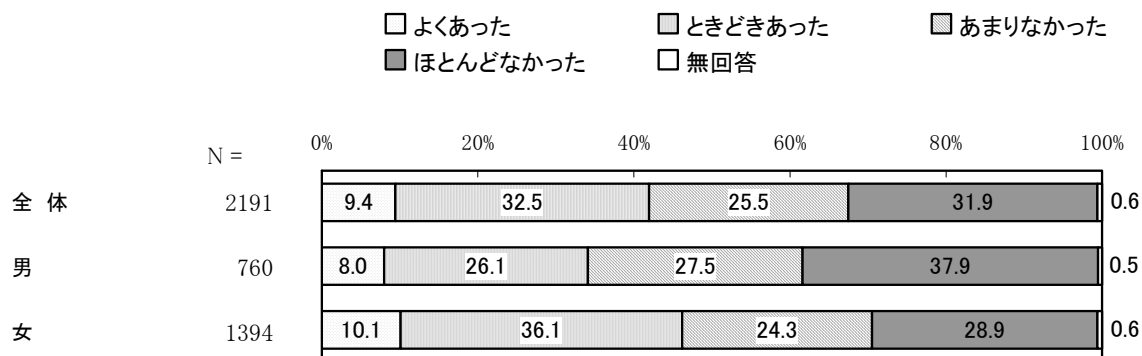


オ. いじめられた体験

全体にみると、「ときどきあった」の割合が最も高く 32.5%、次いで「ほとんどなかった」の割合が 31.9%、「あまりなかった」の割合が 25.5%となっています。

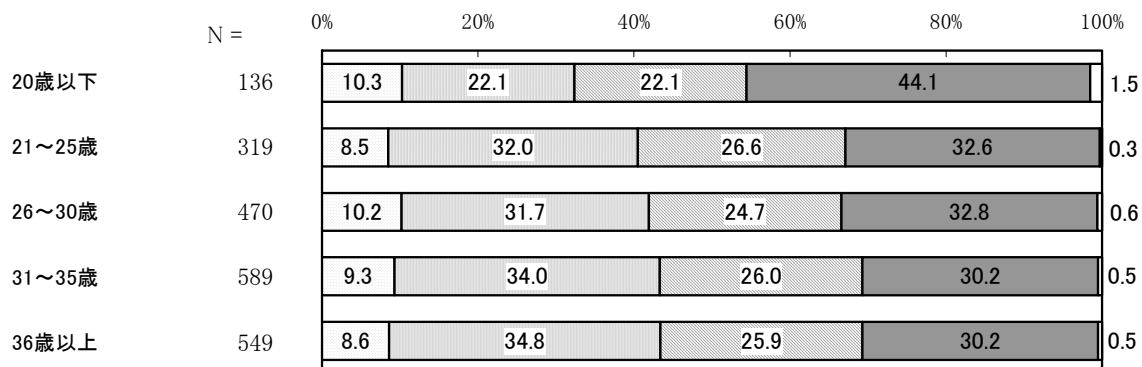
【性別】

性別にみると、「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合は男性が 34.1%、女性が 46.2%で女性の方が 12.1 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、20 歳以下で「ときどきあった」の割合が最も低く 22.1%、「ほとんどなかった」の割合が最も高く 44.1%となっています。

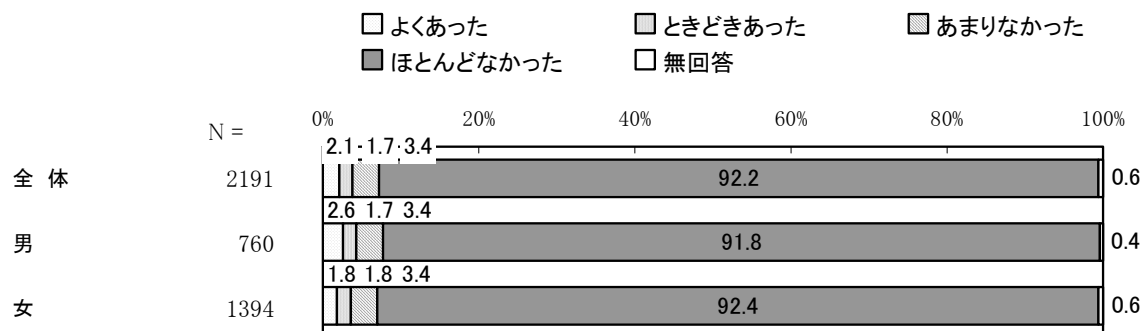


カ. 1ヶ月以上学校を休んだ体験

全体にみると、「ほとんどなかった」の割合が最も高く 92.2%となっています。

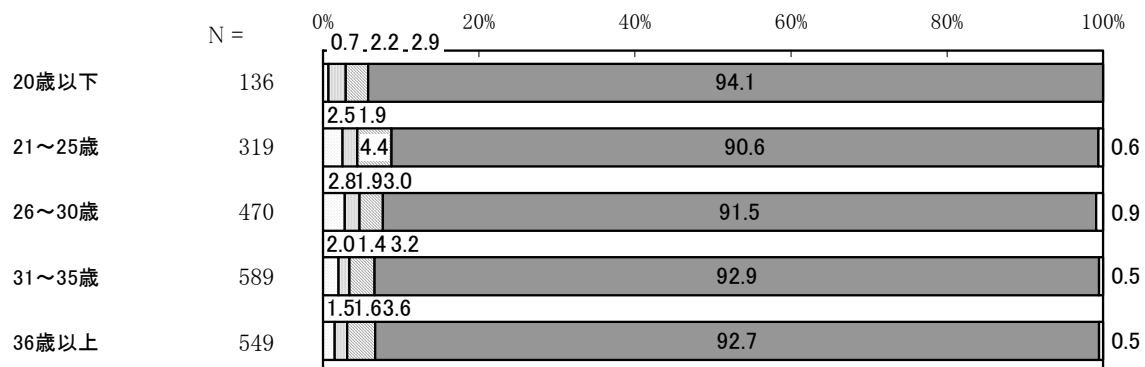
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、大きな差はみられません。

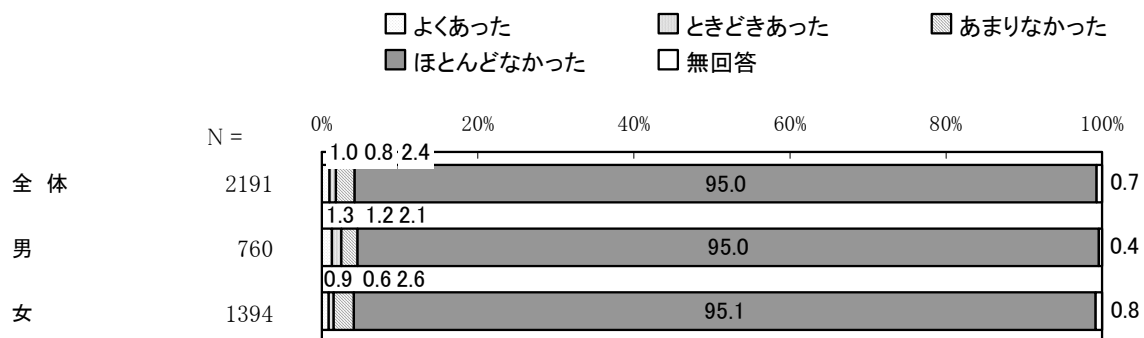


キ. 1ヶ月以上家から出なかった体験

全体にみると、「ほとんどなかった」の割合が最も高く 95.0%となっています。

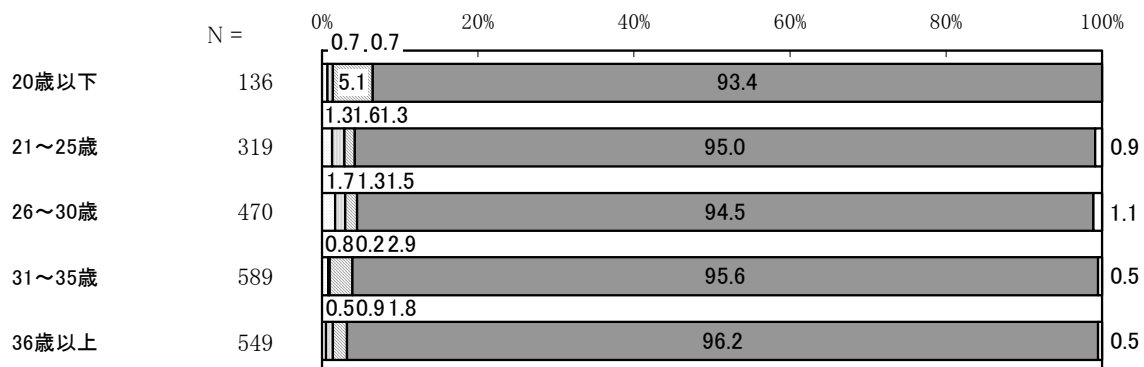
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、大きな差はみられません。

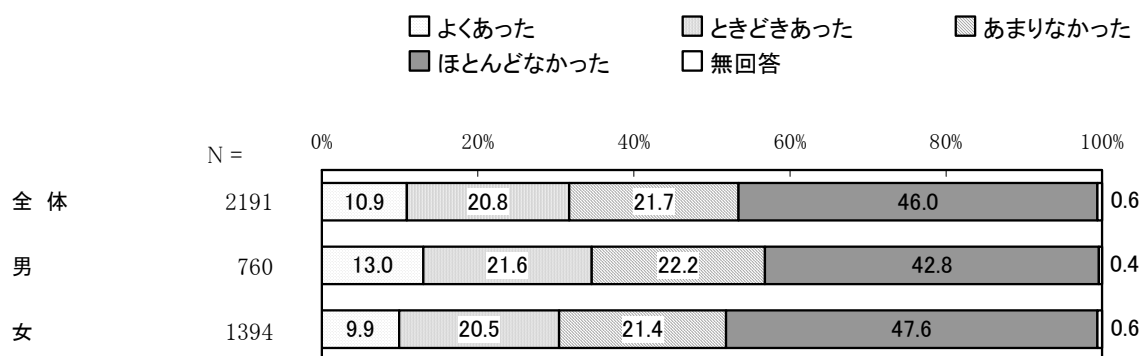


ク. 放課後を家でひとりで過ごした体験

全体にみると、「ほとんどなかった」の割合が最も高く 46.0%となっており、次いで「あまりなかった」の割合が 21.7%、「ときどきあった」の割合が 20.8%となっています。

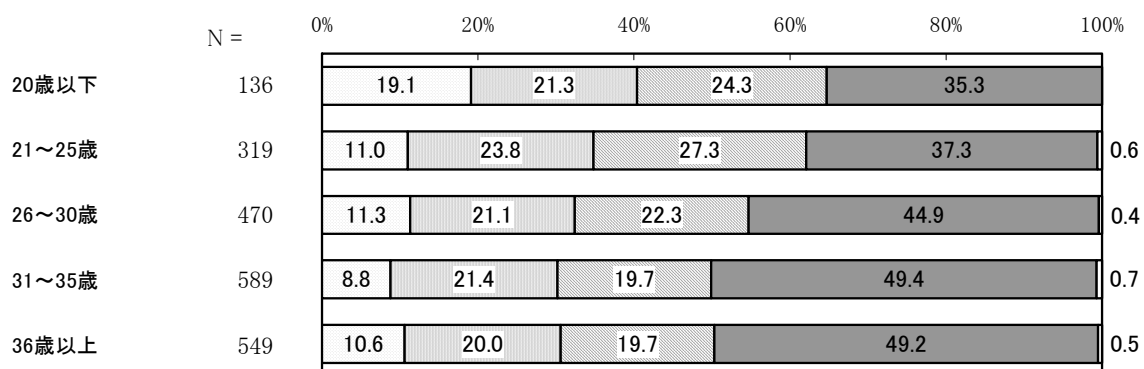
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて、「ほとんどなかった」の割合が高くなる傾向があり、20 歳以下が 35.3%、31～35 歳が 49.4%で 14.1 ポイント差となっています。

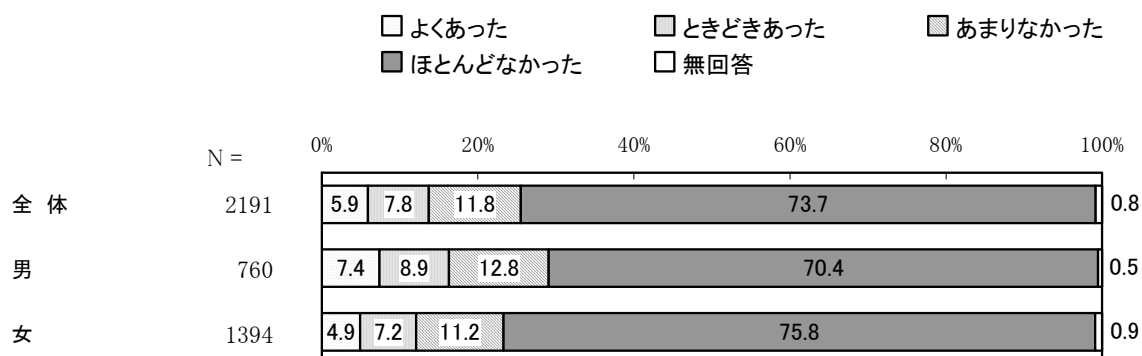


ケ. 保護者が不在のため、放課後を継続的に家以外で過ごした体験

全体にみると、「ほとんどなかった」の割合が最も高く 73.7%、次いで「あまりなかった」の割合が 11.8%となっています。

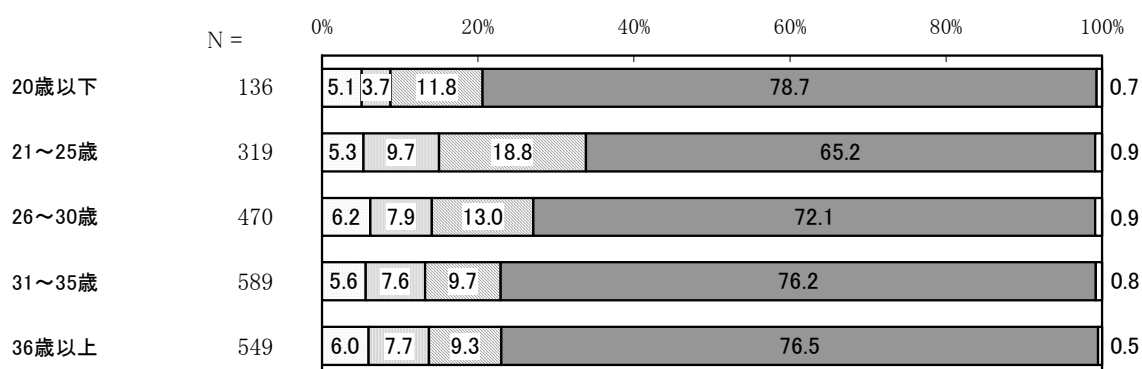
【性別】

性別にみると、「ほとんどなかった」の割合は男性が 70.4%、女性が 75.8%で 5.4 ポイント差となっています。



【年代別】

年代別にみると、20 歳以下では「ほとんどなかった」と「あまりなかった」を合わせた割合が高く、90.5%となっています。

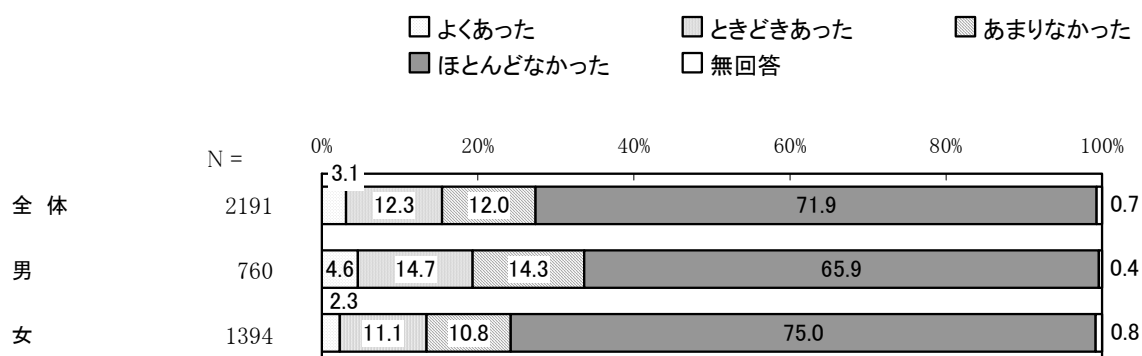


コ. 長期の休みにひとりで外泊した体験

全体にみると、「ほとんどなかった」の割合が最も高く 71.9%、次いで「ときどきあった」の割合が 12.3%、「あまりなかった」の割合が 12.0%となっています。

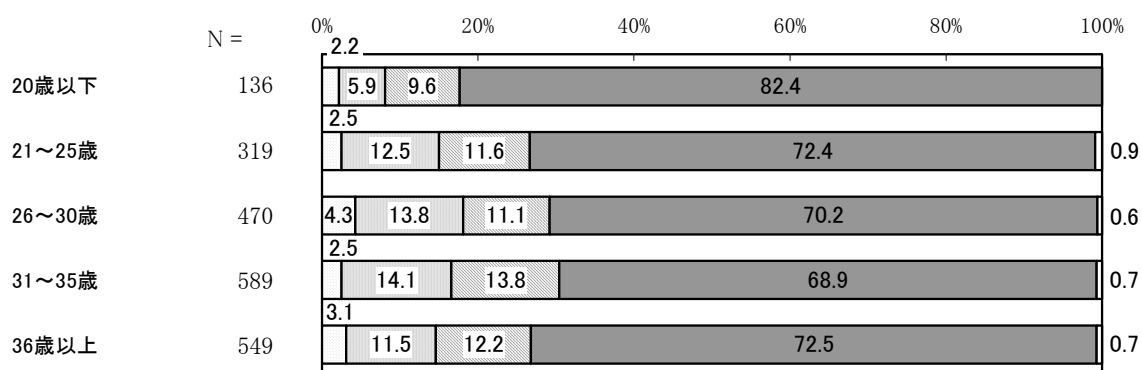
【性別】

性別にみると、「ほとんどなかった」の割合は男性が 65.9%、女性が 75.0%で 9.1 ポイント差となっています。



【年代別】

年代別にみると、20 歳以下では「あまりなかった」と「ほとんどなかった」を合わせた割合が高く 92.0%となっています。



【小学生・中学生のころの体験について】

小学生・中学生のころの体験を全体的みると、「友達と遊ぶ体験」の割合が最も高く 94.9%、次いで「自然の中で遊ぶ体験」が 85.9%、「スポーツをする体験」が 84.0%、「地域の行事に参加する体験」が 82.7%となっています。

性別にみると、「スポーツをする体験」の割合は男性が 89.4%と女性よりも 8.2 ポイント高く、「長期の休みにひとりで外泊した体験」の割合は男性が 19.3%と女性よりも 5.9 ポイント高くなっています。一方、「地域の行事に参加する体験」の割合は女性が 84.3%と男性よりも 4.5 ポイント高く、「いじめられた体験」の割合は女性が 46.2%と男性よりも 12.1 ポイント高くなっています。

年代別にみると、「放課後を家でひとりで過ごした体験」の割合は 20 歳以下で高く、「保護者が不在のため、放課後を継続的に家以外で過ごした体験」の割合は 21～25 歳で高く、「長期の休みにひとりで外泊した体験」では 26～30 歳で高く、「自然の中で遊ぶ体験」、「地域の行事に参加する体験」、「スポーツをする体験」の割合が 31～35 歳で高く、「友達と遊ぶ体験」、「いじめられた体験」の割合は 36 歳以上で高くなっています。

設問ア～コ各設問の【性別】の「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合

「自然の中で遊ぶ体験」	男性：85.5%、女性：86.1%
「地域の行事に参加する体験」	男性：79.8%、女性：84.3%
「スポーツをする体験」	男性：89.4%、女性：81.2%
「友達と遊ぶ体験」	男性：95.2%、女性：94.9%
「いじめられた体験」	男性：34.1%、女性：46.2%
「1ヶ月以上学校を休んだ体験」	男性：2.7%、女性：3.6%
「1ヶ月以上家から出なかった体験」	男性：2.5%、女性：1.5%
「放課後を家でひとりで過ごした体験」	男性：34.6%、女性：30.4%
「保護者が不在のため、放課後を 継続的に家以外で過ごした体験」	男性：16.3%、女性：12.1%
「長期の休みにひとりで外泊した体験」	男性：19.3%、女性：13.4%

3 あなたの考えなどについて

問 16 次の中から、あなたができると思うものすべてに○をつけてください。

全体にみると、「簡単な食事を自分で作る」の割合が最も高く 87.5%と、次いで「インターネットで目当ての情報をすばやく調べる」の割合が 80.3%、「自分の生活に必要なことは自分で判断する」の割合が 76.7%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では「インターネットで目当ての情報をすばやく調べる」の割合が最も高く 79.9%、女性では、「簡単な食事を自分で作る」の割合が最も高く 91.8%となっています。

男性では女性と比べて「パソコンやインターネットの設定をする」の割合が高く 55.3%となっています。

一方、女性では男性と比べて「落ち込んだ友人を励まし、元気づけてあげる」の割合が 73.2%、「自分の部屋や家の掃除・片づけをまめにする」の割合が 62.5%と高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	自分の意見を人にうまく説明する	簡単な食事を自分で作る	自分の部屋や家の掃除・片づけをまめにする	落ち込んだ友人を励まし、元気づけてあげる	よく知らない人とも自然に会話する	相手の気分を害せず、相手の要求を断る	自分の生活に必要なことは自分で判断する
全 体	2191	44.4	87.5	57.6	67.5	52.4	36.9	76.7
男	760	48.8	79.7	49.3	57.1	45.5	35.3	77.2
女	1394	41.8	91.8	62.5	73.2	56.2	37.7	76.5

単位：％

区分	自分の気持ちよくコントロールする	インターネットで目当ての情報をすばやく調べる	インターネットで文章や資料を作成する	パソコンやウェブサイトの設定をする	パソコンやウェブサイトの作成	パソコンのプログラムを組む	以上のなかには、あてはまるものはない	無回答
全 体	62.4	80.3	75.2	40.3	12.7	6.4	0.6	0.5
男	66.4	79.9	77.1	55.3	16.7	12.4	1.1	0.4
女	60.2	80.7	74.4	32.5	10.6	3.2	0.4	0.4

【年代別】

年代別にみると、社会スキルや生活スキルは年代が高くなるに従い高くなる傾向があり、パソコンスキルは年代が低くなるに従い高くなる傾向があります。

36 歳以上では「簡単な食事を自分で作る」の割合が最も高く 91.1%、「自分の生活に必要なことは自分で判断する」の割合が 82.1%、「自分の部屋や家の掃除・片づけをまめにする」の割合が高く 64.8%となっています。

一方、21～25 歳では他の年代と比べて「自分でウェブサイトを作成する」の割合が最も高く 22.9%となっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	説明する	自分の意見を人にうまく	簡単な食事を自分で作る	自分の部屋や家の掃除・片づけをまめにする	落ち込んだ友人を励まし、元気づけてあげる	よく知らない人とも自然に会話する	相手の気分を害せず、相手の要求を断る	自分の生活に必要なことは自分で判断する	自分の気持ちを自分でコントロールする	自分の情報をすばやく調べる	インターネットで目当ての情報をすばやく調べる	インターネットで文章を作成する	パソコンやワープロで文	パソコンやインターネットの設定をする	自分でウェブサイトを作成する	組む	パソコンのプログラムを組む	以上のなかには、あてはまるものはない	無回答
20 歳以下	136	33.1	66.9	40.4	55.1	34.6	28.7	54.4	51.5	75.0	73.5	33.8	17.6	11.0	1.5	0.7				
21～25 歳	319	37.0	81.5	41.1	67.4	49.8	34.2	69.3	53.3	80.9	77.4	42.0	22.9	10.0	0.9	—				
26～30 歳	470	46.4	89.4	59.8	68.5	55.1	35.5	78.5	61.3	83.2	77.4	41.9	10.0	5.1	0.4	0.4				
31～35 歳	589	45.7	90.3	61.8	68.1	55.2	38.5	79.6	64.9	82.5	76.1	41.6	10.5	5.8	0.8	0.3				
36 歳以上	549	47.0	91.1	64.8	69.8	53.2	39.3	82.1	68.1	78.1	72.7	40.3	11.1	5.1	0.4	0.5				

問 17 次の中から、あなたがふだんから考えたりやったりしていることすべてに○をつけてください。

全体にみると、「自分の一生にかかわることは、自分の力できちんと判断することができる」の割合が最も高く 62.1%、次いで「社会の秩序を守るためには、多少嫌な思いをしても法に従わなければならない」の割合が 48.4%、「選挙のときは、必ず投票に行く」の割合が 48.1%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では女性と比べて公共心や社会参加意識が全般に高いが、特に「選挙のときは、必ず投票に行く」の割合が 56.4%、「周囲の意見に流されることなく、自分の意見をもつことができる」の割合が 55.1%、「日本のために役立ちたい」の割合が 30.9%と高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	周囲に迷惑をかけている人が いれば注意する	法に触れなければ、たいてい のことは許される	社会の秩序を守るためには、 多少嫌な思いをしても法に従 わなければならない	周囲の意見に流されることが できる	自分の一生にかかわること は、自分の力できちんと判断 することができる	日本のために役立ちたい	名古屋市のために役立ちたい	選挙のときは、必ず投票に行 く	以上のなかには、あてはまる ものはない	無回答
全 体	2191	18.3	9.7	48.4	47.6	62.1	21.0	13.4	48.1	6.4	1.3
男	760	21.8	16.6	51.7	55.1	62.1	30.9	18.9	56.4	3.3	1.1
女	1394	16.1	6.1	47.0	43.8	62.1	15.6	10.4	43.8	8.0	1.3

【年代別】

年代別にみると、21 歳以上では「自分の一生にかかわることは、自分の力できちんと判断することができる」が最も高くなっていますが、20 歳以下では「周囲の意見に流されることなく、自分の意見をもつことができる」が最も高く 54.4%になっています。また、31 歳以上では「社会の秩序を守るためには、多少嫌な思いをしても法に従わなければならない」、「選挙のときは、必ず投票に行く」の割合が 5 割以上となっているのに対して、30 歳未満では 5 割以下となっています。

単位：％

無回答	以上のなかには、あてはまるものはない	選挙のときは、必ず投票に行く	名古屋市のために役立ちたい	日本のために役立ちたい	自分の一生にかかわることは、自分の力できちんと判断することができる	周囲の意見に流されることなく、自分の意見をもつことができる	社会の秩序を守るためには、多少嫌な思いをしても法に従わなければならない	法に触れなければ、たいていのことは許される	周囲に迷惑をかけている人がいれば注意する	有効回答数（件）	区分
0.7	9.6	33.1	13.2	18.4	50.0	54.4	41.9	16.2	11.8	136	20 歳以下
0.3	10.7	42.6	13.8	20.1	56.1	47.0	39.5	13.2	17.6	319	21～25 歳
1.5	7.2	43.2	12.3	19.1	62.3	47.2	45.7	11.1	17.9	470	26～30 歳
1.2	5.4	50.4	14.9	23.8	65.2	47.2	50.9	9.3	22.4	589	31～35 歳
1.5	3.5	55.4	11.8	19.1	65.0	49.0	55.7	6.6	16.6	549	36 歳以上

問 18 次の中から、ふだんのあなたにあてはまると思うものすべてに○をつけてください。

全体にみると、「失敗を思い出して暗い気持ちになる」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「自分の能力や適性をよく理解している」の割合が 43.1%、「今自分が打ち込んでやれる何かがある」の割合が 39.2%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では女性と比べて「自分の能力や適性をよく理解している」の割合が 50.4%、「友人より優れた知識のある分野がある」の割合が 50.1%と高くなっています。

一方、女性では男性と比べて「失敗を思い出して暗い気持ちになる」の割合が高く 47.8%、「イライラして誰かにあたりたいと思う」の割合が高く、31.6%となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	先何 して 行動 する	失敗を思い出して暗い 気持ちになる	イライラして誰かにあ たりたいと思う	世の中に貢献できる力 がある	一日中家の中にこも って何もしない	自分は何をやってもだ めだと感じる	友人より優れた知識の ある分野がある	積極的 に活動 するのは 苦手だ	他の人とのつきあいが わずらしい
全 体	2191	19.2	45.0	27.5	14.5	10.6	14.3	38.8	25.7	19.8
男	760	22.9	40.5	20.0	20.9	9.6	14.9	50.1	23.9	20.9
女	1394	17.1	47.8	31.6	11.0	11.2	13.8	33.0	26.6	19.3

単位：％

区分	今自分が打ち込んでや れる何かがある	毎日が単調でつまらない	見通しがつかない仕事で も積極的に取り組む	自分の能力や適性をよく 理解している	うまくいかないのではな いかと不安になる	自分は世の中から取り残 されている	これからどう生きていく かについて、具体的な考 えや展望がある	以上のなかに、あてはま るものはない	無回 答
全 体	39.2	15.5	28.8	43.1	39.0	9.2	24.2	3.7	1.1
男	43.3	17.8	33.3	50.4	41.3	8.7	27.1	2.4	1.2
女	36.9	14.2	26.3	39.5	37.9	9.3	22.7	4.2	0.9

【年代別】

年代別にみると、20 歳以下、26～30 歳では「失敗を思い出して暗い気持ちになる」の割合が最も高く、それぞれの値は 53.7%、47.9%となっています。また、21～25 歳では「うまくいかないのではないかと不安になる」の割合が 54.2%、31 歳以上では「自分の能力や適性をよく理解している」の割合が約 5 割と他の年齢に比べて高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	何ごとにおいても自ら率先して行動する	失敗を思い出して暗い気持ちになる	イライラして誰かにあたりたいと思う	世の中に貢献できる力がある	一日中家の中にこもって何もしない	自分は何をやってもだめだと感じる	友人より優れた知識のある分野がある	積極的に活動するのは苦手だ	他の人とのつきあいがわずらわしい
20 歳以下	136	11.8	53.7	24.3	11.8	18.4	20.6	37.5	34.6	20.6
21～25 歳	319	18.8	53.9	25.1	10.7	15.7	20.7	33.5	27.3	22.9
26～30 歳	470	23.2	47.9	27.2	14.9	11.7	15.5	42.8	21.1	20.4
31～35 歳	589	20.2	37.9	29.9	16.0	9.0	12.2	41.8	24.3	17.0
36 歳以上	549	17.9	44.3	28.2	15.3	7.1	10.4	37.7	27.7	19.9

単位：％

区分	今自分が打ち込んでやれる何かがある	毎日が単調でつまらない	見通しがつかない仕事でも積極的に取り組む	自分の能力や適性をよく理解している	うまくいかないのではないかと不安になる	自分は世の中から取り残されている	自分は何をやってもだめだと感じる	友人より優れた知識のある分野がある	積極的に活動するのは苦手だ	他の人とのつきあいがわずらわしい
20 歳以下	46.3	22.1	21.3	33.8	48.5	11.0	28.7	37.5	34.6	20.6
21～25 歳	35.1	19.4	28.2	33.5	54.2	11.0	27.0	33.5	27.3	22.9
26～30 歳	43.0	16.2	30.2	43.8	41.9	11.3	26.4	42.8	21.1	20.4
31～35 歳	38.5	16.5	30.1	48.0	35.0	7.1	24.4	41.8	24.3	17.0
36 歳以上	39.2	11.7	28.4	47.5	31.1	8.6	21.1	37.7	27.7	19.9

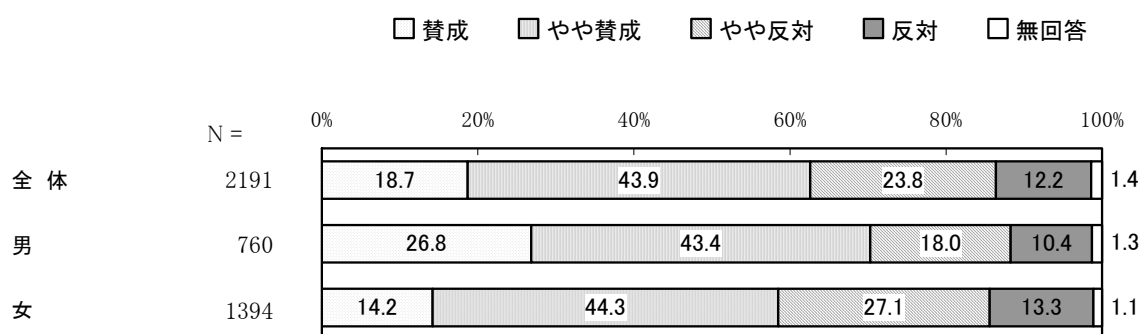
問 19 あなたは次のア～ソの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。それぞれについて、あなたの意見にもっとも近いものに○をつけてください。

ア. 結婚したら子どもを持つのが当たり前だと思う

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合計した割合が 62.6% となっています。

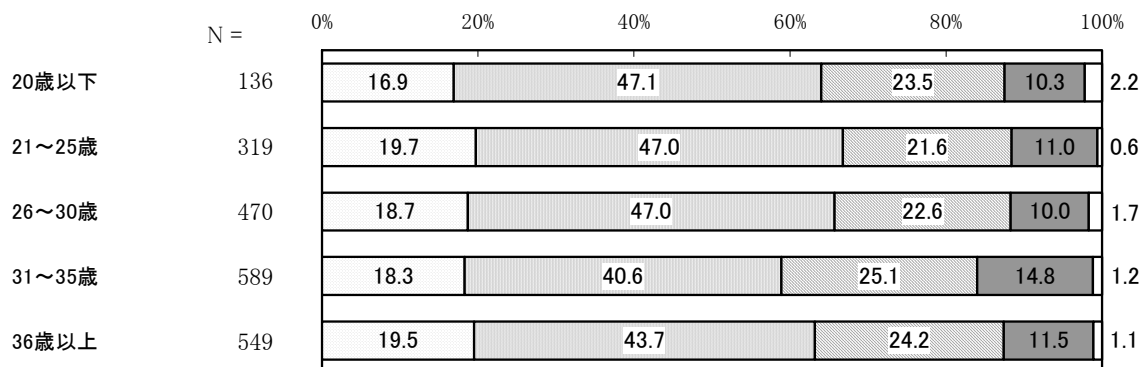
【性別】

性別にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は、男性が 70.2%、女性が 58.5% で 11.7 ポイントの差となっています。



【年代別】

年代別にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 21～25 歳が最も高く 66.7%、31～35 歳が最も低く 58.9% で 7.8 ポイント差となっています。

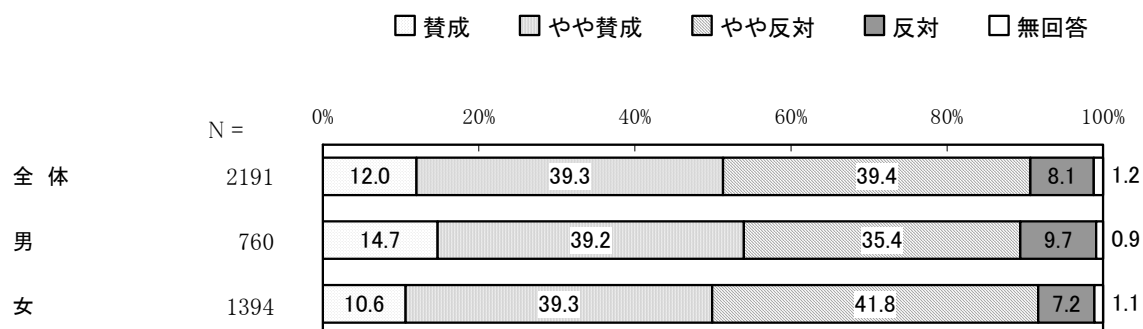


イ. 家族と対立しても、自分らしく生きるべきだ

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合が 51.3%、「反対」と「やや反対」を合わせた割合が 47.5%となっています。

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、25 歳以下では「賛成」と「やや賛成」の合わせた割合が高く、20 歳以下が 66.9%、21～25 歳が 61.5%となっています。

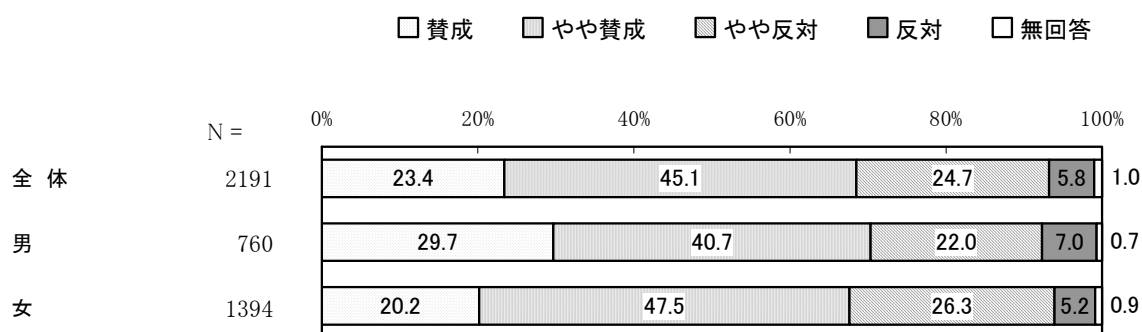


ウ. 豊かでなくても気ままに暮らすのがよい

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合が高く 68.5%、「反対」と「やや反対」の割合が 30.5%となっています。

【性別】

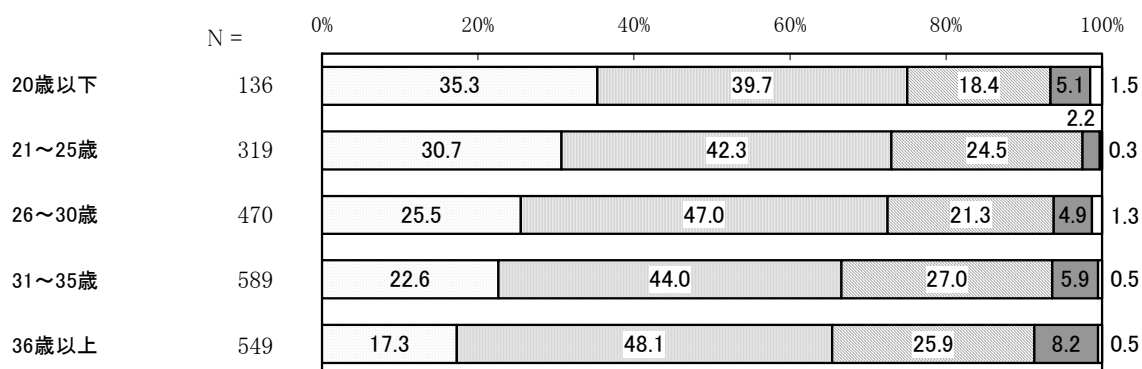
性別にみると、男性では女性と比べて「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合には大きな差はみられませんが、「賛成」の割合は 29.7%で女性よりも 9.5 ポイント高く、「やや賛成」の割合が 40.7%で 6.8 ポイント低くなっています。



【年代別】

年代別にみると、30 歳以下では「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合が高く、20 歳以下では 75.0%となっています。

一方、31 歳以上では 30 歳以下と比べ「反対」と「やや反対」を合わせた割合が高くなり、36 歳以上では 34.1%、31～35 歳では 32.9%となっています。

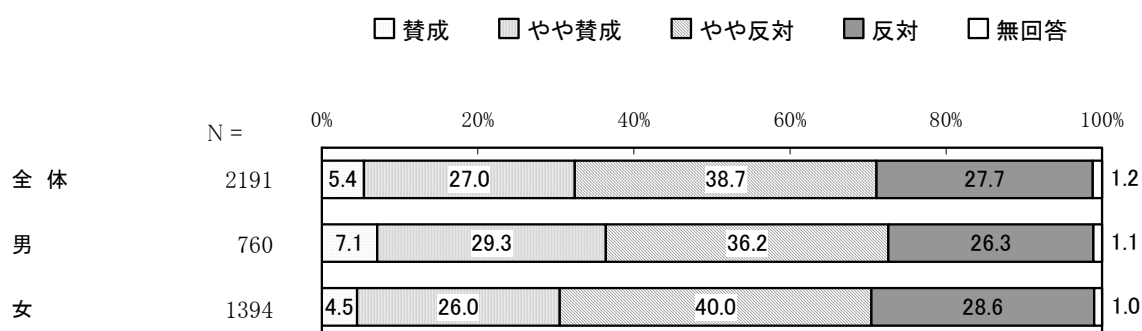


エ. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

全体にみると、「反対」と「やや反対」を合わせた割合は 66.4%と高く、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 32.4%と低くなっています。

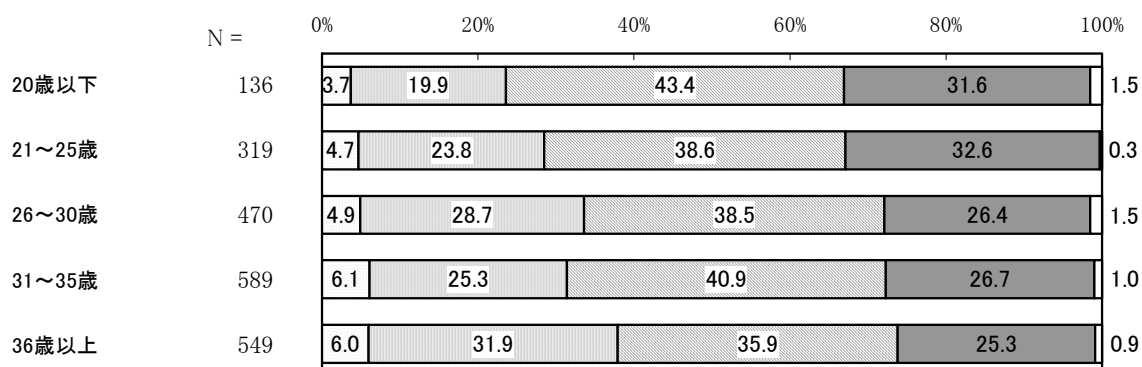
【性別】

性別にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は男性が 36.4%、女性が 30.5%で 5.9 ポイント男性の方が高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合が高くなる傾向があり、36 歳以上では 37.9%と、20 歳以下の 23.6%よりも 14.3 ポイント高くなっています。

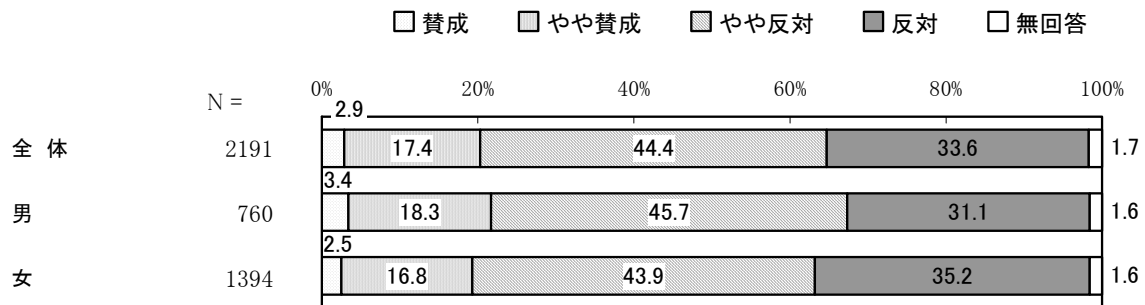


オ. 子どものうち誰か一人は、結婚しても両親と同居すべきだ

全体にみると、「反対」と「やや反対」を合わせた割合は 78.0%と高く、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 20.3%と低くなっています。

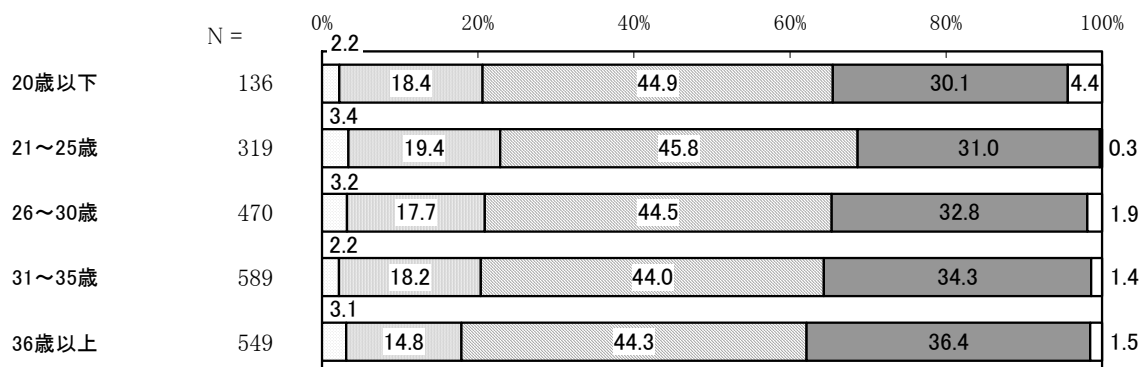
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「反対」の割合が高くなり、20歳以下が 30.1%、36歳以上が 36.4%で 6.3 ポイント差となっています。



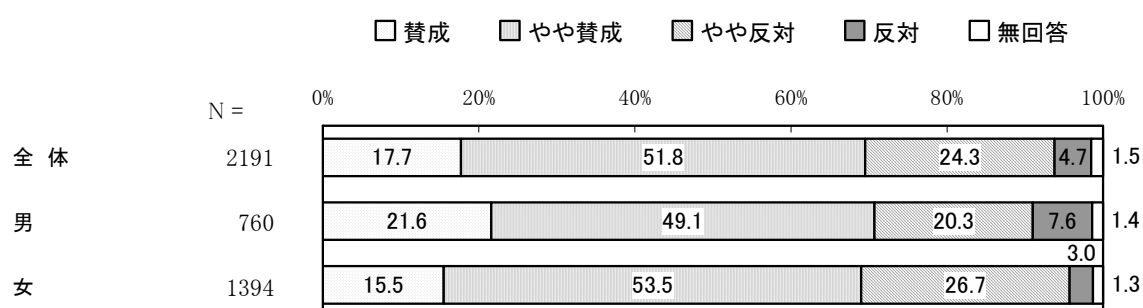
カ. 収入など条件は厳しくとも、やりがいのある仕事に就くべきだ

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 69.5%と高く、「反対」と「やや反対」を合わせた割合は 29.0%と低くなっています。

【性別】

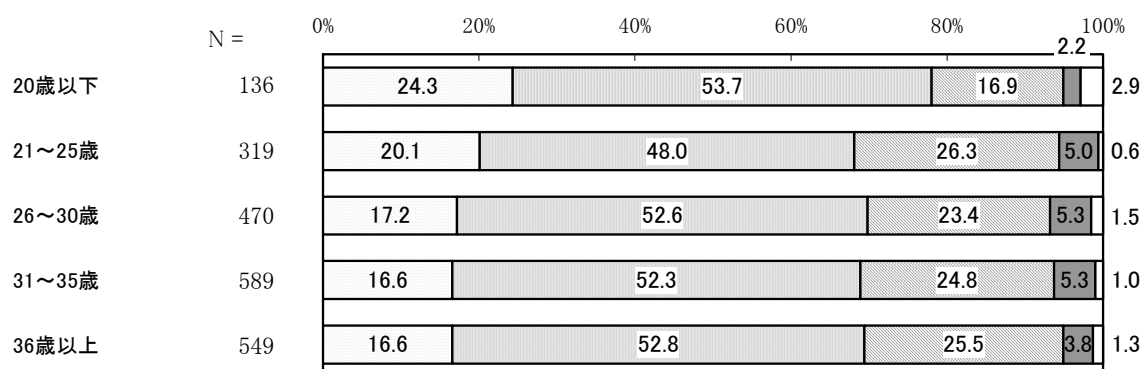
性別にみると、「賛成」の割合は男性が 21.6%、女性が 15.5%で男性の方が 6.1 ポイント高くなっています。

一方、「やや反対」の割合は男性が 20.3%、女性が 26.7%で女性の方が 6.4 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、20 歳以下では「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合が高く、78.0%となっています。

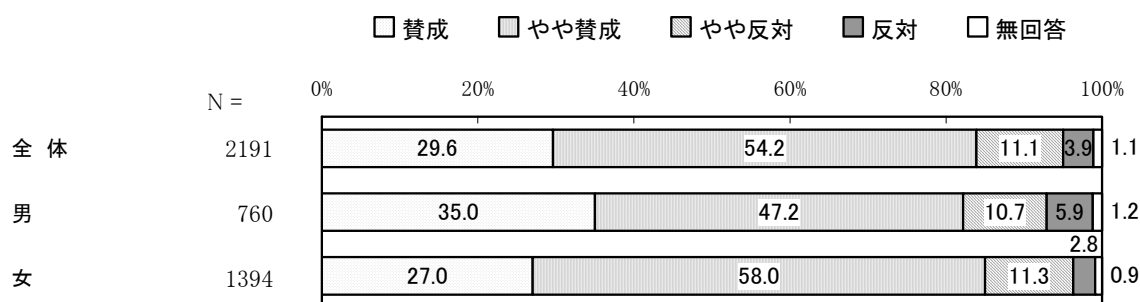


キ. 仕事がきつくて面白くなくても、しばらくは我慢して続けるべきだ

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 83.8%と高く、「反対」と「やや反対」を合わせた割合は 15.0%と低くなっています。

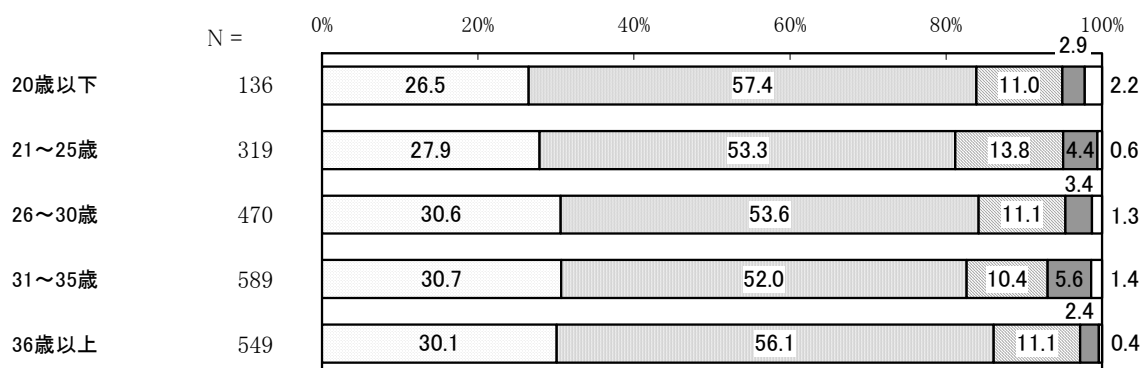
【性別】

性別にみると、女性では男性と比べて「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 85.0%と高くなっていますが、「賛成」の割合は男性が 35.0%、女性が 27.0%で男性の方が 8ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、大きな差はみられません。

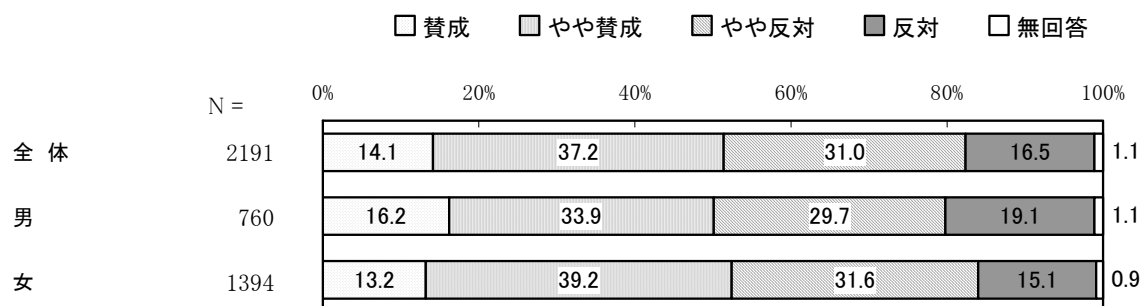


ク. 子の学歴は親の教育方針によってほぼ決まる

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 51.3%、「反対」と「やや反対」を合わせた割合は 47.5%となっています。

【性別】

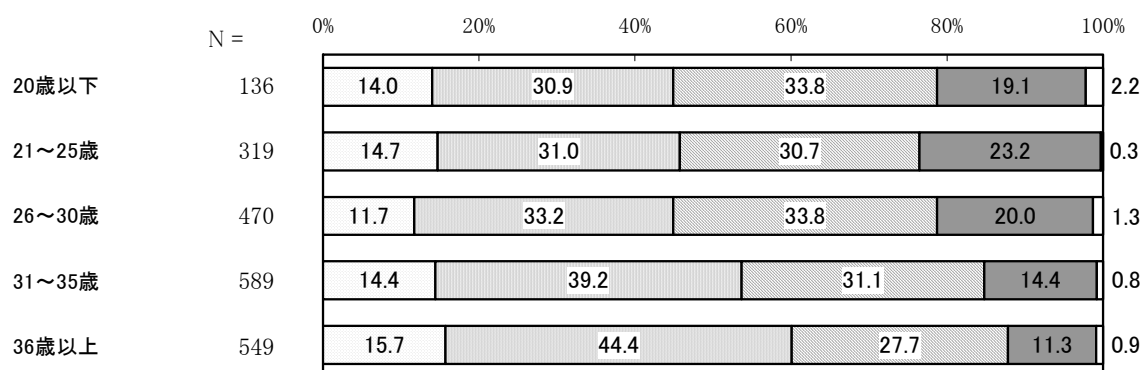
性別にみると、「やや賛成」の割合は男性が 33.9%、女性が 39.2%で女性の方が 5.3 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、31 歳以上で「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合が高くなっており、36 歳以上で 60.1%、31～35 歳で 53.6%となっています。

一方、30 歳以下では、「反対」と「やや反対」を合わせた割合が 5 割以上となっています。

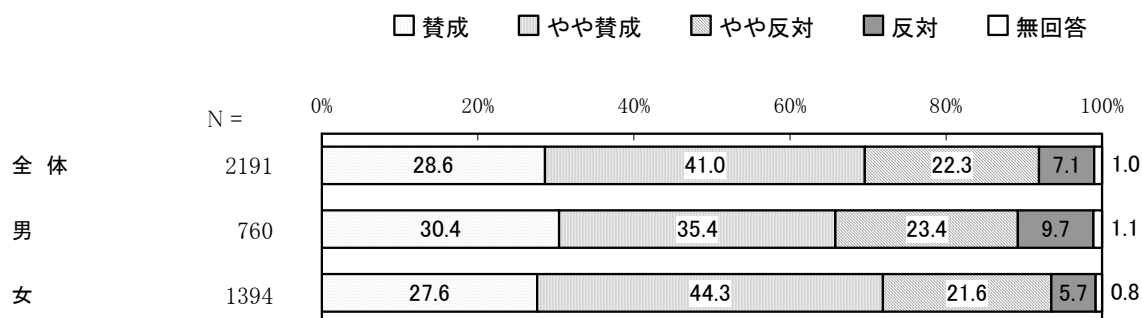


ケ. 学校を卒業したら、すぐ定職に就くべきだ

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 69.6%と高く、「反対」と「やや反対」を合わせた割合は 29.4%と低くなっています。

【性別】

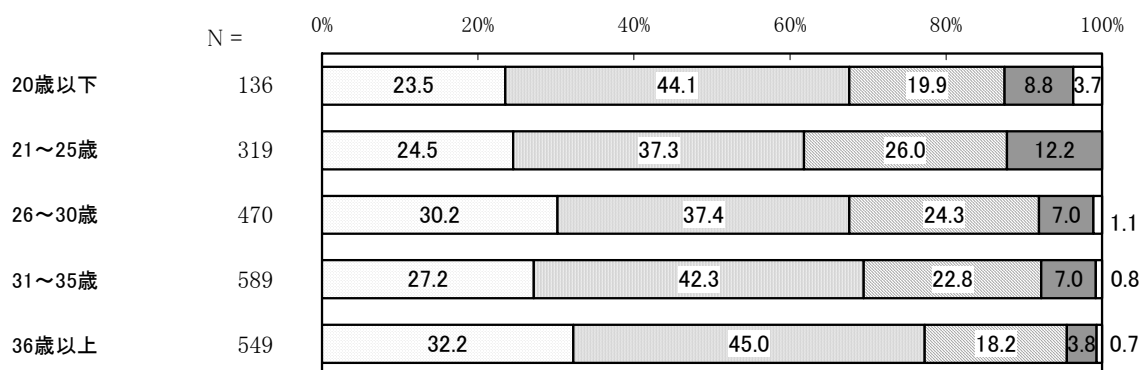
性別にみると、女性では男性と比べて「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合が高く、71.9%となっています。



【年代別】

年代別にみると、36 歳以上では「賛成」「やや賛成」を合わせた割合が最も高く、77.2%となっています。

一方、21～25 歳では「反対」と「やや反対」を合わせた割合が最も高く、38.2%となっています。

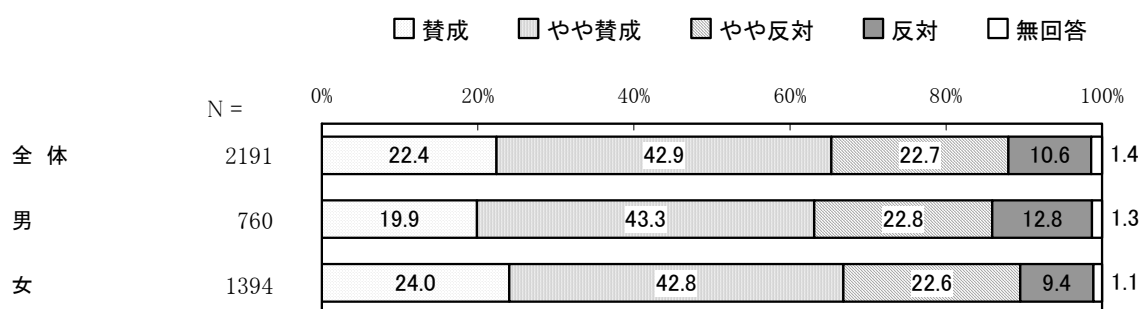


コ. 子どもが小さいうちは、母親が家庭で子の面倒を見るべきだ

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 65.3%と高く、「反対」と「やや反対」を合わせた割合は 33.3%となっています。

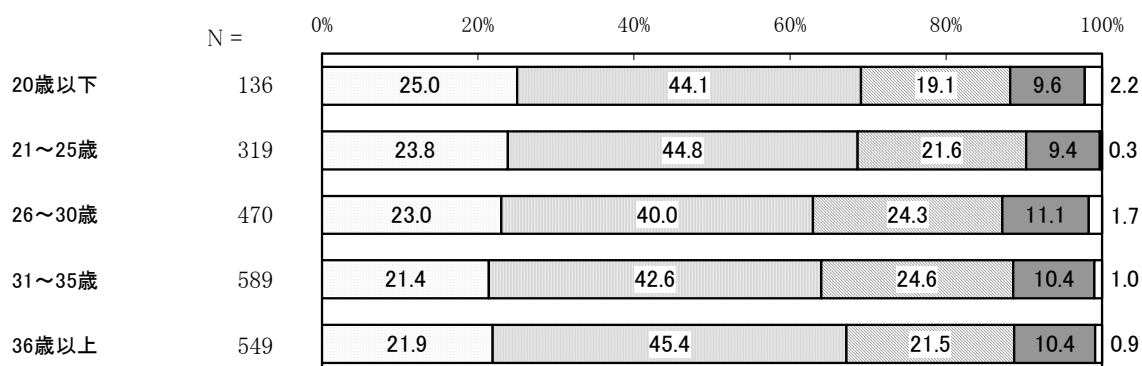
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、大きな差はみられません。

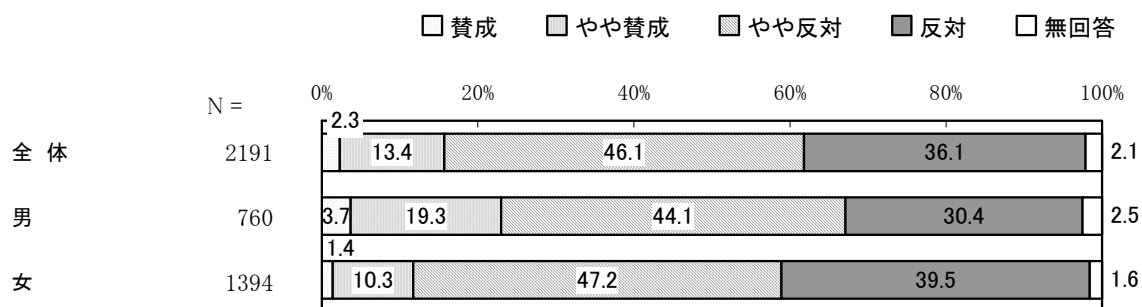


サ. 息子と娘がいるときは、息子が親の面倒を見るべきだ

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 15.7%と低く、「反対」と「やや反対」を合わせた割合は 82.2%と高くなっています。

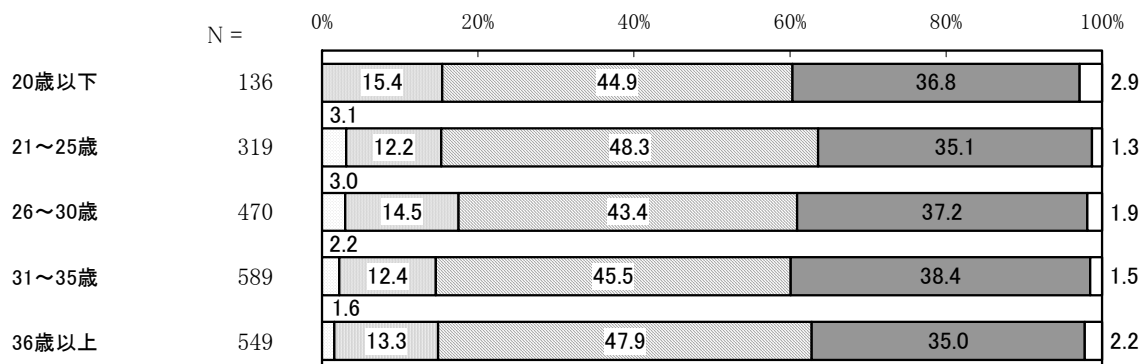
【性別】

性別にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は男性が 23.0%、女性が 11.7%で男性の方が 11.3 ポイント高く、「反対」の割合は男性が 30.4%、女性が 39.5%で女性の方が 9.1 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、大きな差はみられません。



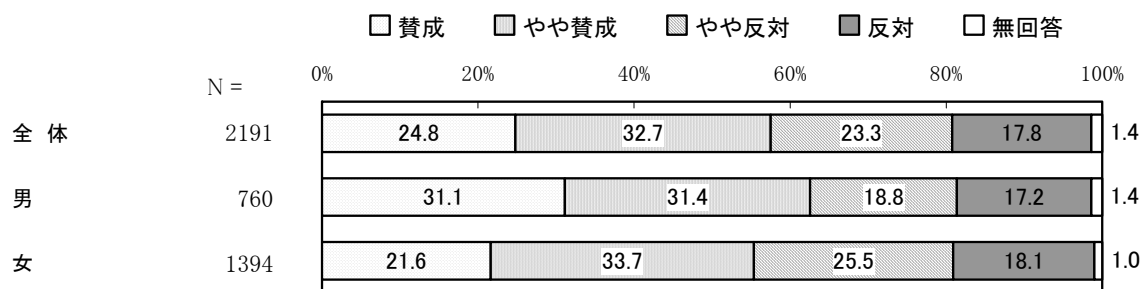
シ. 同じ大卒でも、どの大学を出るかによって人生が大きく左右される

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 57.5%と高く、「反対」と「やや反対」を合わせた割合は 41.1%と低くなっています。

【性別】

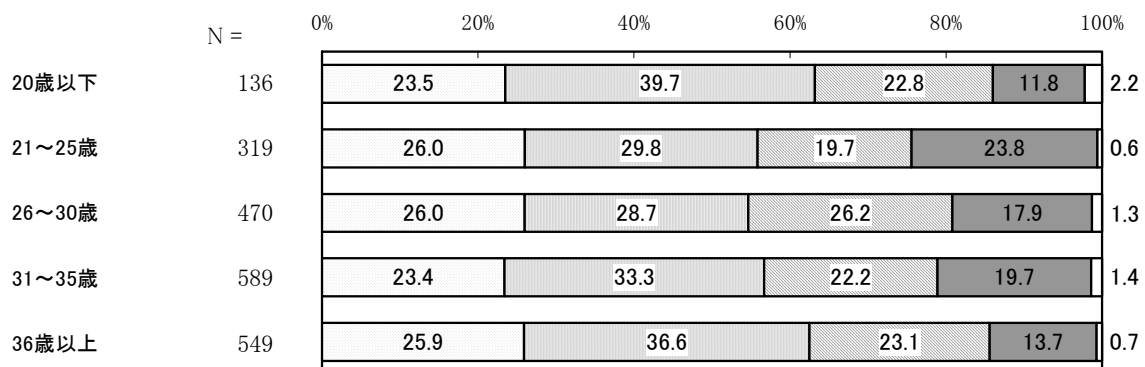
性別にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は男性が 62.5%、女性が 55.3%で男性の方が 7.2 ポイント高くなっています。

一方、「やや反対」の割合は男性が 18.8%、女性が 25.5%で女性の方が 6.7 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 20 歳以下で最も高く 63.2%、「反対」と「やや反対」を合わせた割合は 26～30 歳でもっと高く、44.1%となっています。

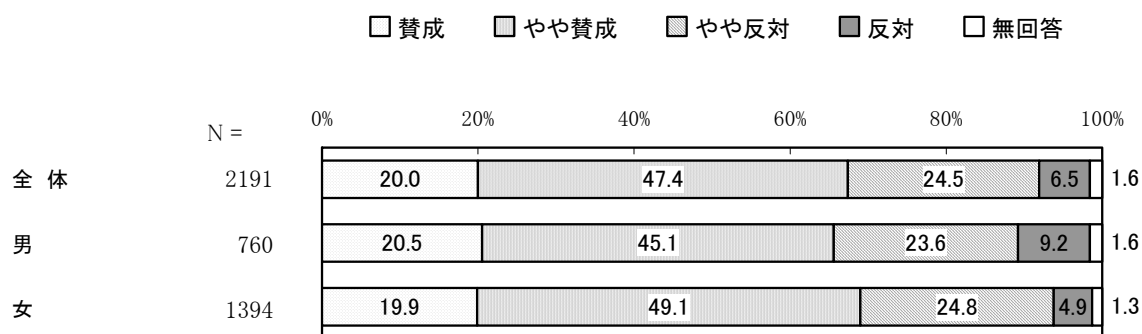


ス. 結婚しても、配偶者（夫・妻）や家族とは別の、自分だけの人生の目標を持つべきだ

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は 67.4%と高く、「反対」と「やや反対」を合わせた割合は 31.0%と低くなっています。

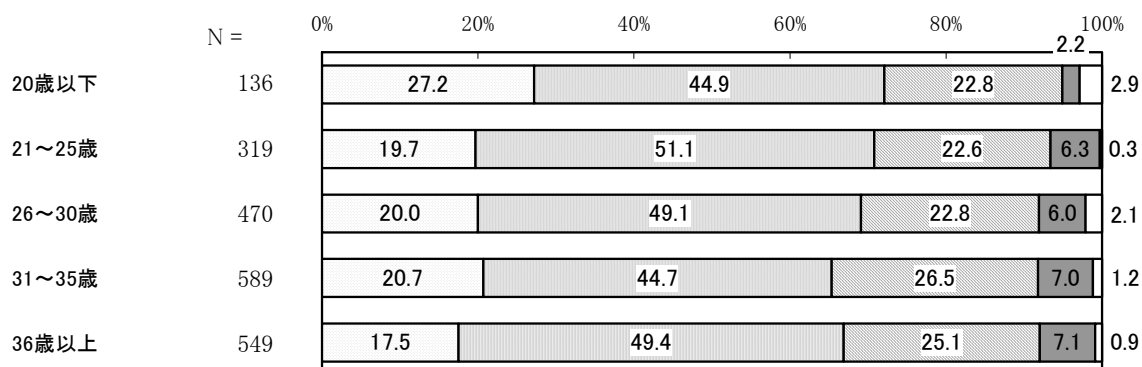
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、「賛成」の割合は 20 歳以下で最も高く 27.2%、「やや賛成」の割合は 21～25 歳で最も高く 51.1%となっています。

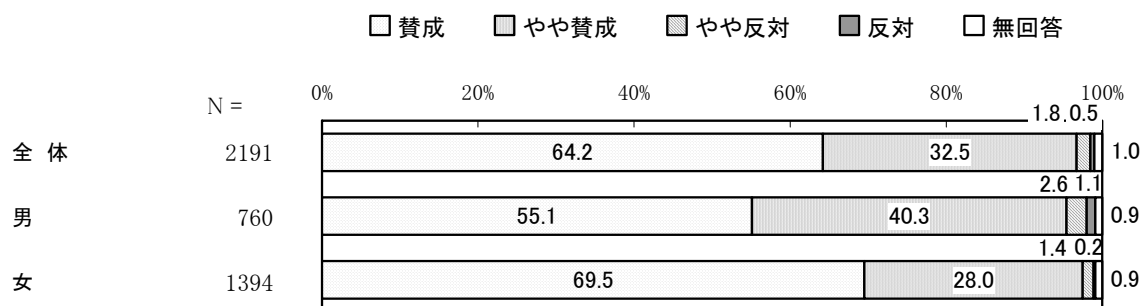


セ. 男性も子育てに積極的に参加するべきだ

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は96.7%と高くなっています。

【性別】

性別にみると、「賛成」と「やや賛成」の合計はほぼ同じですが、「賛成」の割合は男性が55.1%、女性が69.5%と女性の方が14.4ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合はほぼ同じですが、「賛成」の割合は26～30歳で最も高く70.2%、36歳以上で最も低く58.1%となっています。

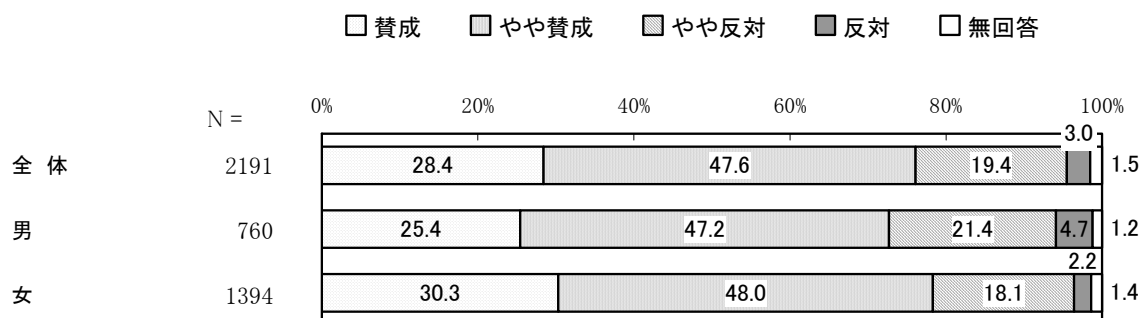


ソ. 結婚したら夫と妻で家事を公平に分担すべきだ

全体にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は76.0%と高く、「反対」と「やや反対」を合わせた割合は22.4%となっています。

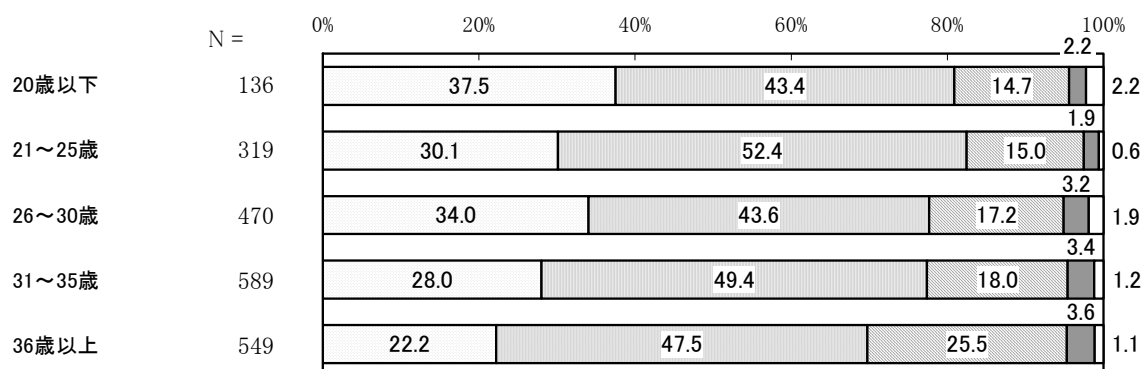
【性別】

性別にみると、「賛成」と「やや賛成」を合わせた割合は男性が72.6%、女性が78.3%と女性の方が5.7ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、21～25歳で「賛成」と「やや賛成」合わせた割合が最も高く82.5%、年代が高くなるにつれて「賛成」と「やや賛成」合わせた割合が低くなり、36歳以上では69.7%となっています。



【伝統的家庭観への意見】

伝統的家庭観について、設問を分類すると、ライフスタイルに関する設問、社会進出に関する設問、学歴に関する設問、性別役割に関する設問の4つに分類できます。

ライフスタイルに関する設問には、「結婚したら子どもを持つのが当たり前」、「家族と対立しても、自分らしく生きる」、「豊かでなくても気ままに暮らす」、「子どものうち誰か一人は、結婚しても両親と同居」、「結婚しても、配偶者や家族とは別の自分だけの人生の目標を持つ」があり、「結婚したら子どもを持つのが当たり前」、「家族と対立しても、自分らしく生きる」「豊かでなくても気ままに暮らす」の設問で男性の方が「賛成」している割合が高い傾向があり、「家族と対立しても、自分らしく生きる」および「豊かでなくても気ままに暮らす」については若いほど高い傾向がうかがわれます。

社会進出に関する設問では、「収入など条件は厳しくとも、やりがいのある仕事に就く」、「仕事がきつくて面白くなくても、しばらくは我慢して続ける」、「学校を卒業したら、すぐ定職に就く」があり、が20歳以下で「賛成」している割合が高い傾向があり、「収入など条件は厳しくとも、やりがいのある仕事に就く」、20歳以下で高く、「学校を卒業したら、すぐ定職に就く」では年代が高くなるにつれて高くなっています。

学歴に関する設問では、「子の学歴は親の教育方針によってほぼきまる」、「同じ大卒でも、どの大学を出るかによって人生が大きく左右される」があり、年代が高くなるにつれて、「賛成」の割合が高くなる傾向がみられます。

性別役割に関する設問では、「男性も子育てに積極的に参加する」、「子どもが小さいうちは、母親が家庭で子の面倒を見る」、「結婚したら夫と妻で家事を公平に分担する」の設問では、女性で「賛成」の割合が高い傾向にあり、「息子と娘がいるときは、息子が親の面倒をみる」では男性で「賛成」の割合が高い傾向となっています。また、「夫は外で働き、妻は家庭を守る」の設問では、性差はみられませんが、年代が高くなるにつれて、「賛成」の割合が高い傾向となっています。

問 20 人生で経験する出来事についてのあなたの考えをおたずねします。

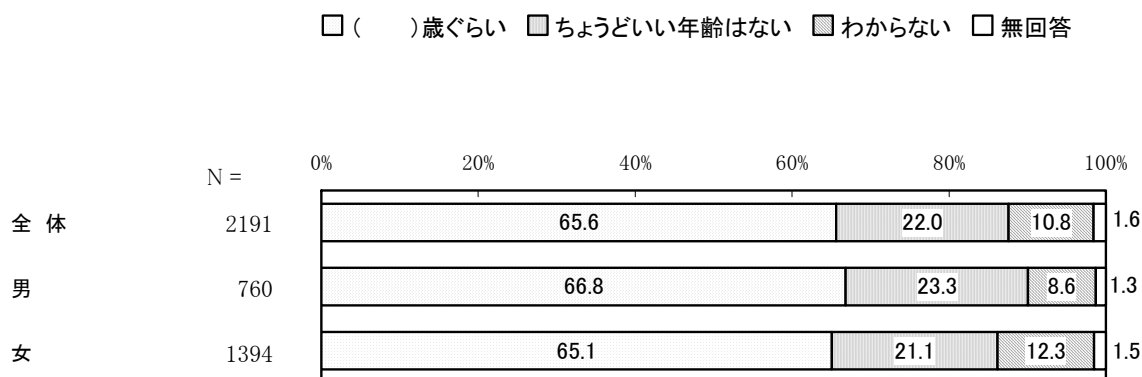
次のア～コの出来事を経験するのに「ちょうどいい年齢」は、男女それぞれについて、何歳ぐらいだと思いますか。男性と女性で、「ちょうどいい年齢」に違いがないと思われる場合は、同じ年齢を記入してください。

ア. 男性が親元を離れる

「ちょうどいい年齢はない」の割合が 22.0%、「わからない」の割合が 10.8%となっています。

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、大きな差はみられません。



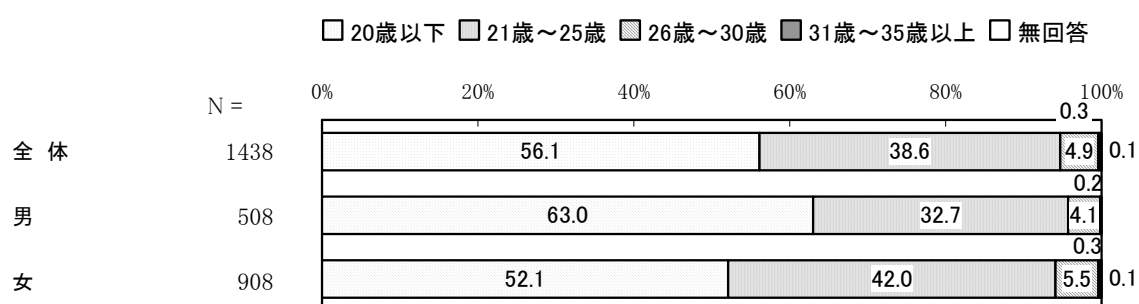
ア. 男性が親元を離れる 1. () 歳ぐらい

全体にみると、「20 歳以下」の割合が最も高く 56.1%、次いで「21 歳～25 歳」の割合が 38.6%となっています。

【性別】

性別にみると、「20 歳以下」の割合は男性が 63.0%、女性が 52.1%で男性の方が 10.9 ポイント高く、「21 歳～25 歳」の割合は男性が 32.7%、女性が 42.0%で女性の方が 9.3 ポイント高くなっています。

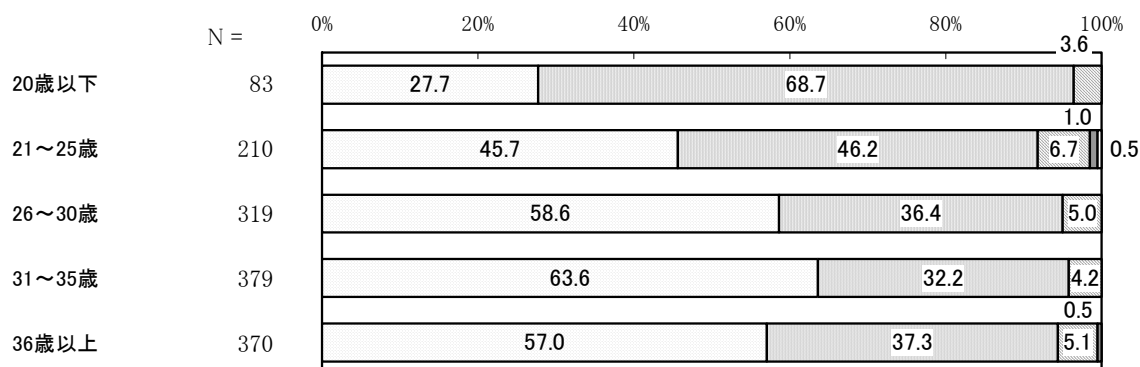
親元を離れる年齢の平均をみると、男性で 20.6 歳、女性で 21.4 歳となっています。



【年代別】

年代別にみると、「20 歳以下」の割合は 31～35 歳が 63.6%で最も高く、「21 歳～25 歳」の割合は 20 歳以下が 68.7%で最も高くなっています。

親元を離れる年齢の平均をみると、「31～35 歳」で 20.7 歳と最も早く、「20 歳以下」で 22.4 歳と最も遅くなっています。

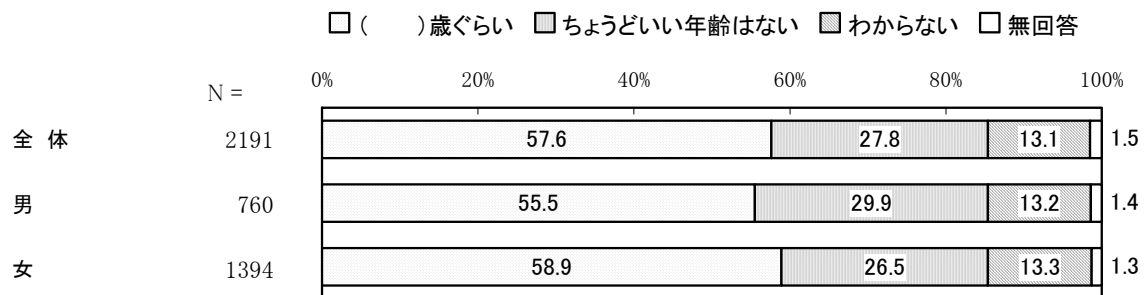


イ. 女性が親元を離れる

「ちょうどいい年齢はない」の割合が 27.8%、「わからない」の割合が 13.1%となっています。

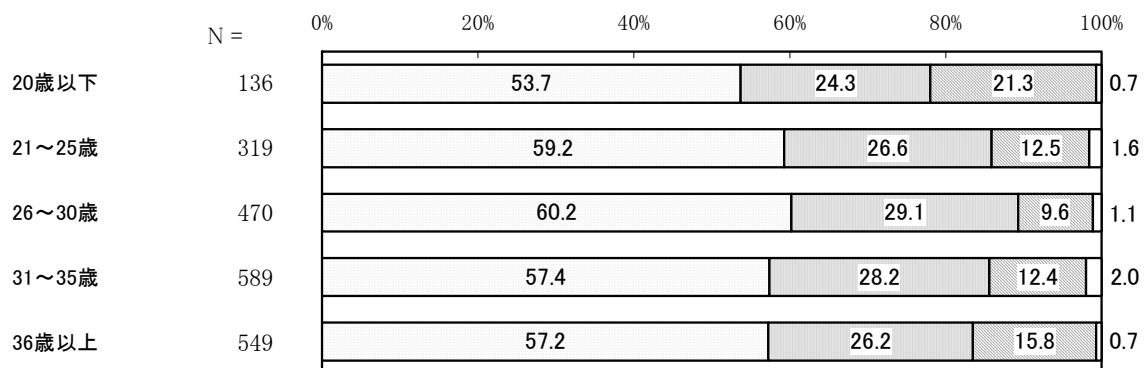
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、20 歳以下では「わからない」の割合が 21.3%となっています。



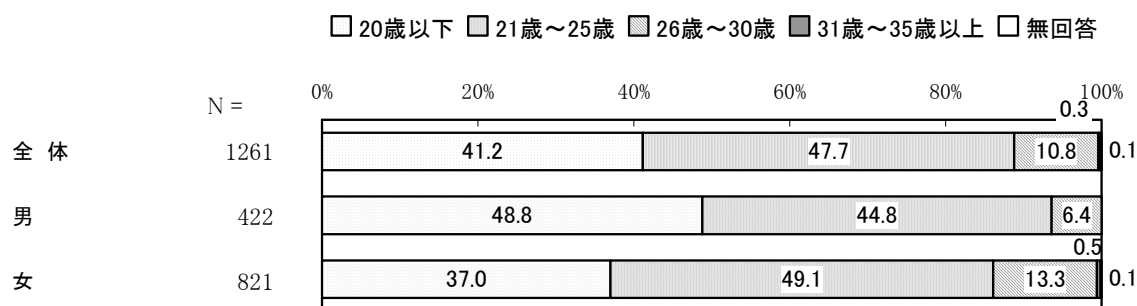
イ. 女性が親元を離れる 1. () 歳ぐらい

全体にみると、「21 歳～25 歳」の割合が最も高く 47.7%、次いで「20 歳以下」の割合が 41.2%、「26 歳～30 歳」の割合が 10.8%となっています。

【性別】

性別にみると、「20 歳以下」の割合は男性が 48.8%、女性が 37.0%で男性の方が 11.8 ポイント高くなっています。

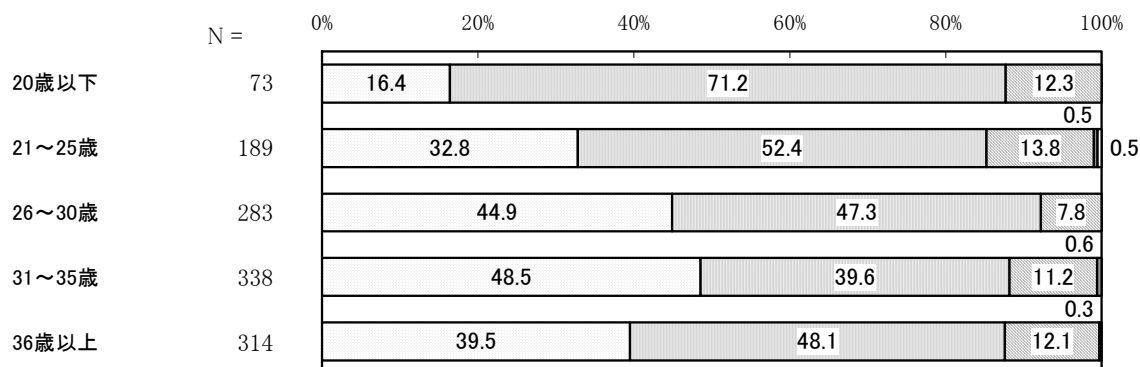
親元を離れる年齢の平均をみると、男性で 21.4 歳、女性で 22.6 歳となっています。



【年代別】

年代別にみると、20 歳以下では「21 歳～25 歳」の割合が 71.2%、31～35 歳では「20 歳以下」の割合が 48.5%と高くなっています。

親元を離れる年齢の平均をみると、「31～35 歳」では最も早く 21.8 歳となっており、「20 歳以下」では最も遅く 23.4 歳となっています。

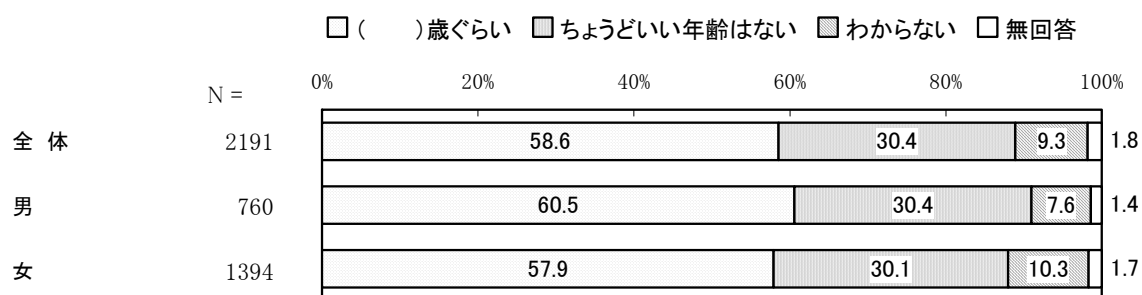


ウ. 男性の結婚

全体にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合が 30.4%、「わからない」の割合が 9.3%となっています。

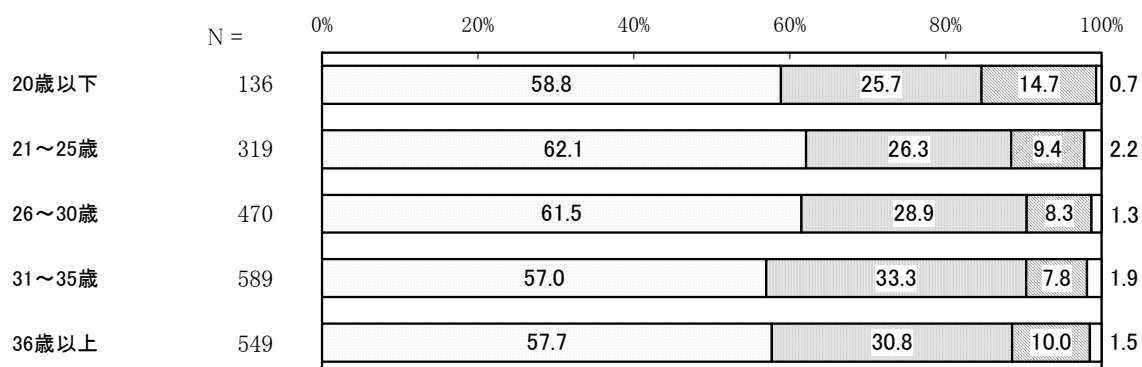
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合は 31～35 歳で最も高く 33.3%、20 歳以下で最も低く 25.7%となっています。



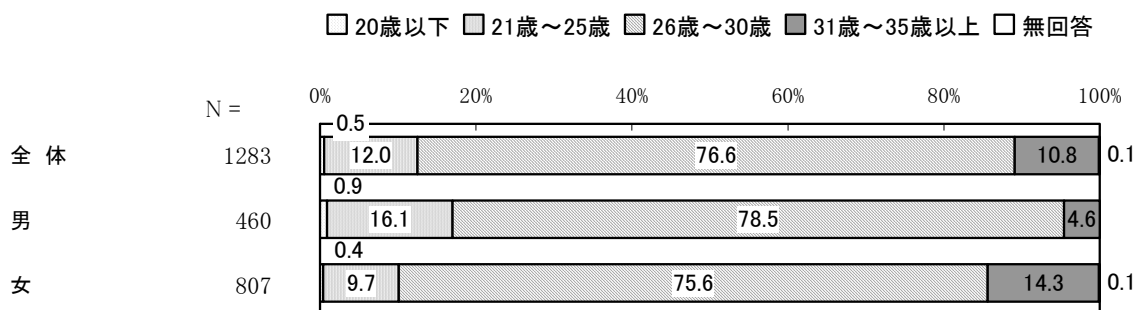
ウ. 男性の結婚 1. () 歳ぐらい

全体にみると、「26 歳～30 歳」の割合最も高くが 76.6%、次いで「21 歳～25 歳」の割合が 12.0%、「31 歳～35 歳以上」の割合が 10.8%となっています。

【性別】

性別にみると、「21 歳～25 歳」の割合は男性が 16.1%、女性が 9.7%で男性の方が 6.4 ポイント高く、「31 歳～35 歳以上」の割合は男性が 4.6%、女性が 14.3%で女性の方が 9.7 ポイント高くなっています。

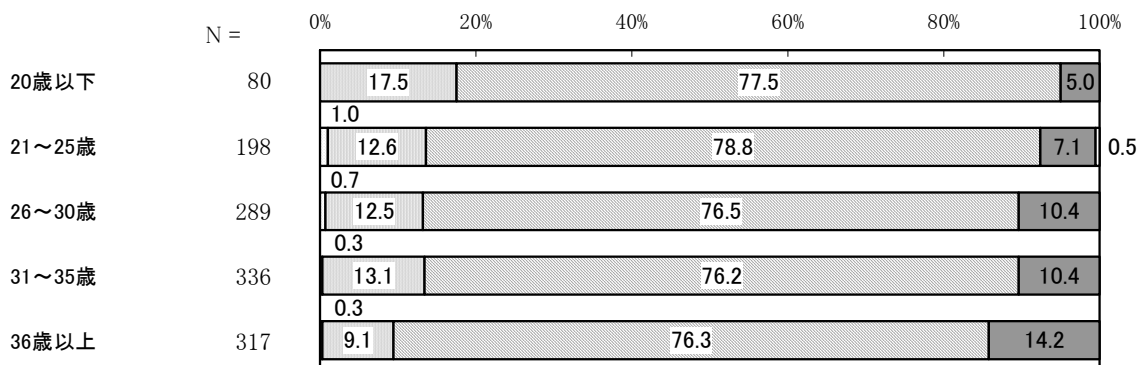
結婚する年齢の平均をみると、男性で 28.7 歳、女性で 29.5 歳となっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて、「31 歳～35 歳以上」の割合が高くなり、36 歳以上では 14.2%となっています。

結婚する年齢の平均をみると、「20 歳以下」では最も早く 28.6 歳、「36 歳以上」では最も遅く 29.7 歳となっています。

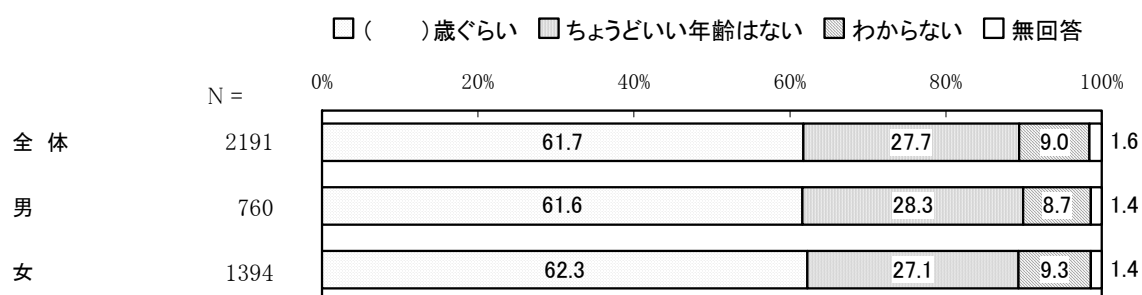


エ. 女性の結婚

全体にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合が 27.7%、「わからない」の割合が 9.0%となっています。

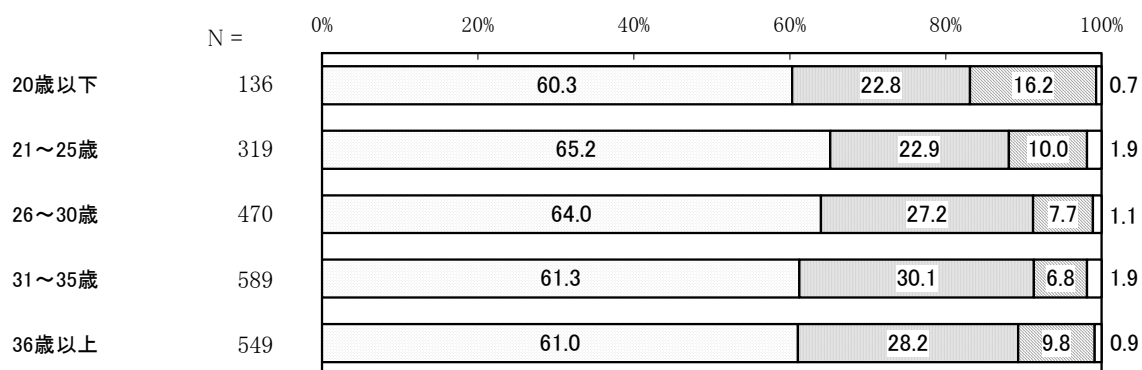
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合は 31～35 歳で 30.1%と最も高く、「わからない」の割合は 20 歳以下で 16.2%と高くなっています。



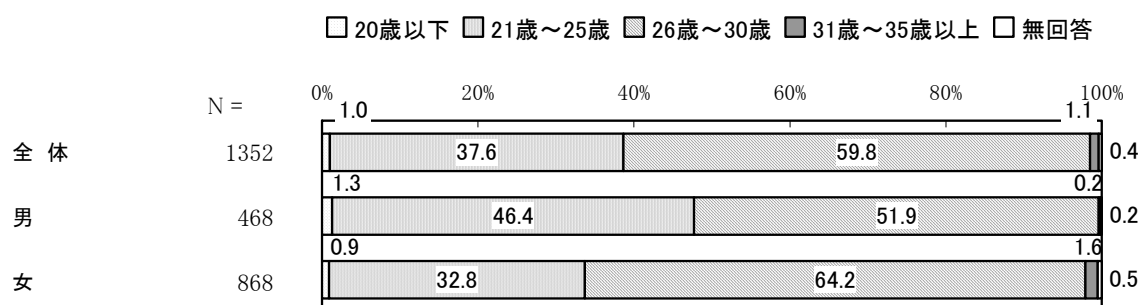
エ. 女性の結婚 1. () 歳ぐらい

全体にみると、「26 歳～30 歳」の割合が最も高く 59.8%、次いで「21 歳～25 歳」の割合が 37.6%となっています。

【性別】

性別にみると、「21～25 歳」の割合は男性が 46.4%、女性が 32.8%で男性の方が 13.6 ポイント高く、「26 歳～30 歳」の割合は男性が 51.9%、女性が 64.2%で女性の方が 12.3 ポイント高くなっています。

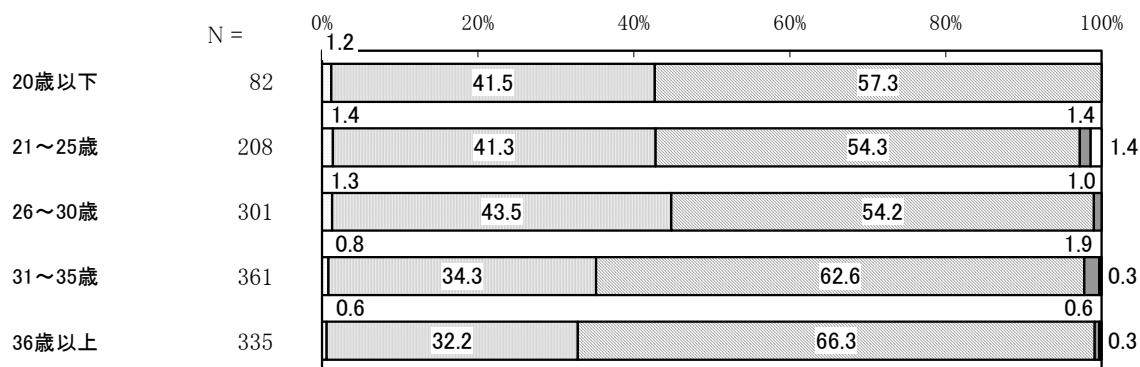
結婚する年齢の平均をみると、男性で 26.5 歳、女性で 27.1 歳となっています。



【年代別】

年代別にみると、すべての年代で「26～30 歳」の割合が高く、特に 30 歳代では 6 割を超えています。

結婚する年齢の平均をみると、「20 歳以下」で最も早く 26.4 歳、「36 歳以上」で 27.3 歳となっています。

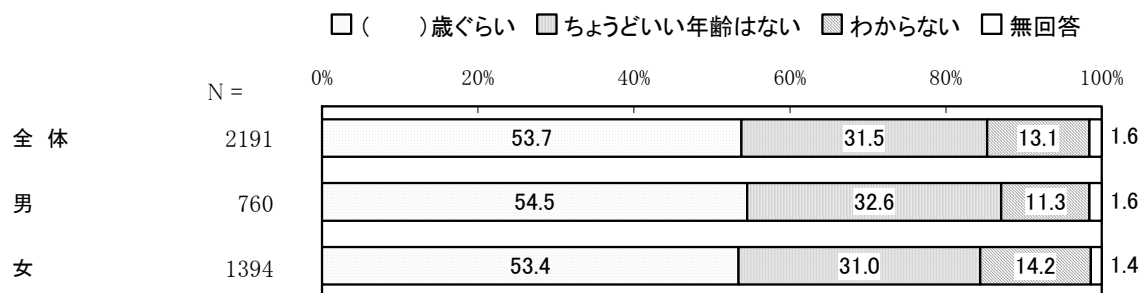


オ. 男性が学校教育を終える

全体にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合が 31.5%、「わからない」の割合が 13.1%となっています。

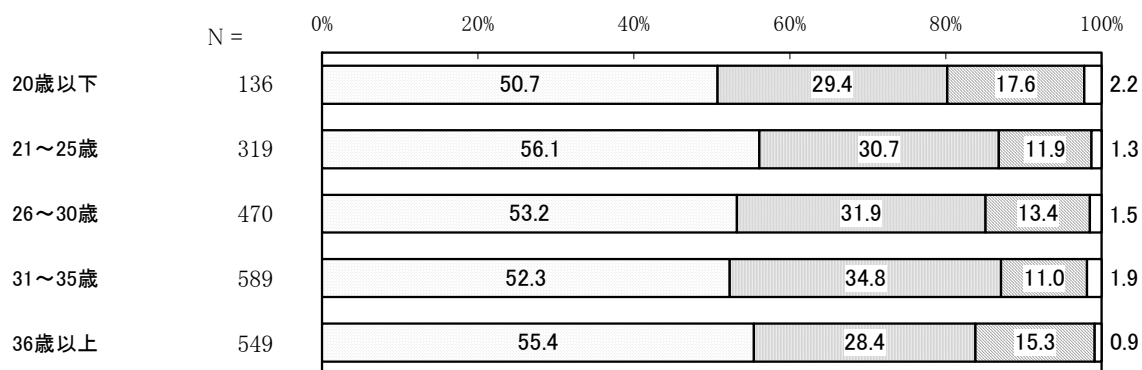
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合は 31～35 歳で最も高く 34.8%、20 歳以下で最も低く 29.4%となっています。



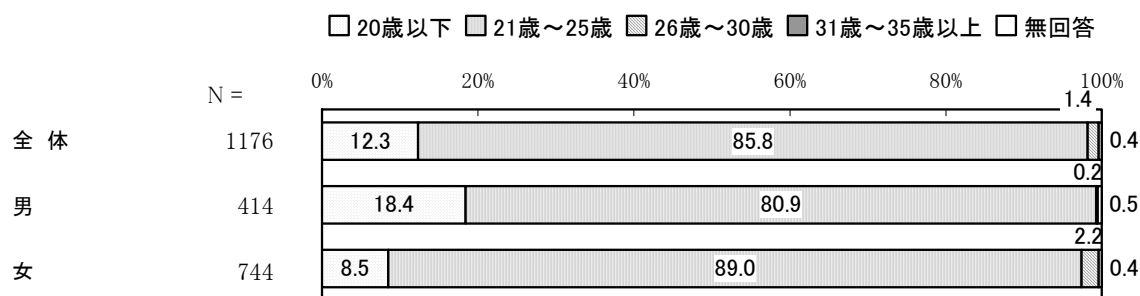
オ. 男性が学校教育を終える 1. () 歳ぐらい

全体にみると、「21 歳～25 歳」の割合が最も高く 85.8%、次いで「20 歳以下」の割合が 12.3%となっています。

【性別】

性別にみると、「20 歳以下」の割合は男性が 18.4%、女性が 8.5%で男性の方が 9.9 ポイント高く、「21 歳～25 歳」の割合は男性が 80.9%、女性が 89.0%で 8.1 ポイント女性の方が高くなっています。

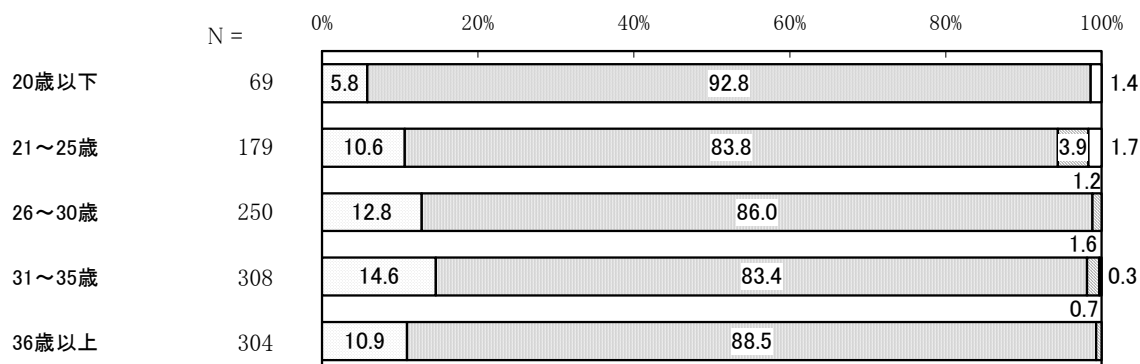
一方、女性では男性と比べて「21 歳～25 歳」の割合が高く、89.0%となっています。学校教育を終える年齢の平均をみると、男性で 21.7 歳、女性で 22.3 歳となっています。



【年代別】

年代別にみると、「20 歳以下」の割合は 31～35 歳で最も高く 14.6%、「21 歳～25 歳」の割合は 20 歳以下で最も高く 92.8%となっています。

学校教育を終える年齢の平均をみると、「31～35 歳」で最も 21.9 歳、「21～25 歳」で最も遅く 22.2 歳となっています。

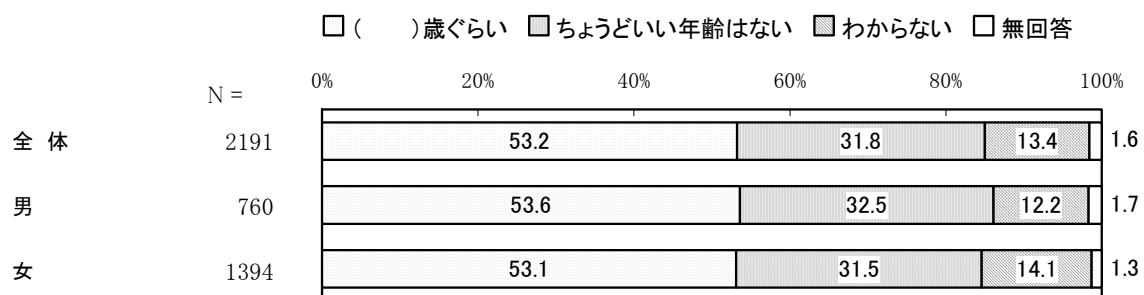


カ. 女性が学校教育を終える

全体にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合が 31.8%、「わからない」の割合が 13.4%となっています。

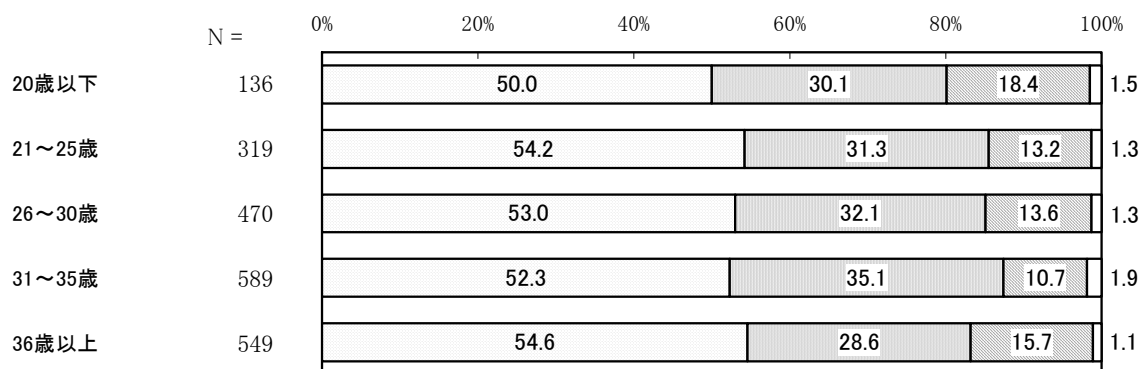
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、大きな差はみられません。



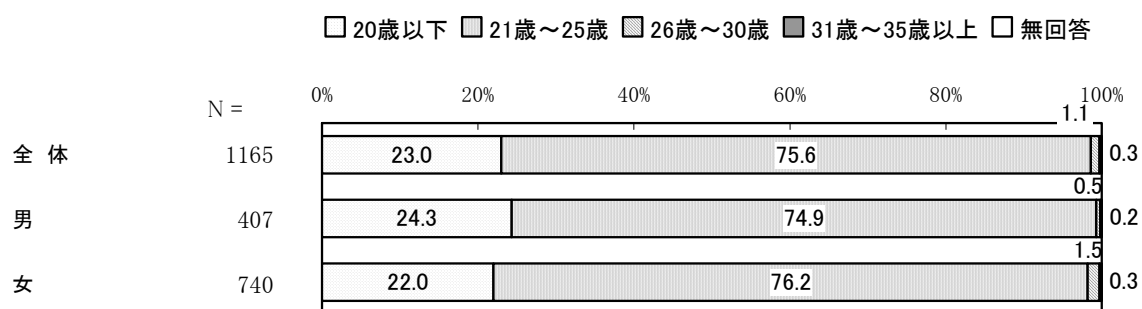
カ. 女性が学校教育を終える 1. () 歳ぐらい

全体にみると、「21 歳～25 歳」の割合が最も高く 75.6%、次いで「20 歳以下」の割合が 23.0%となっています。

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

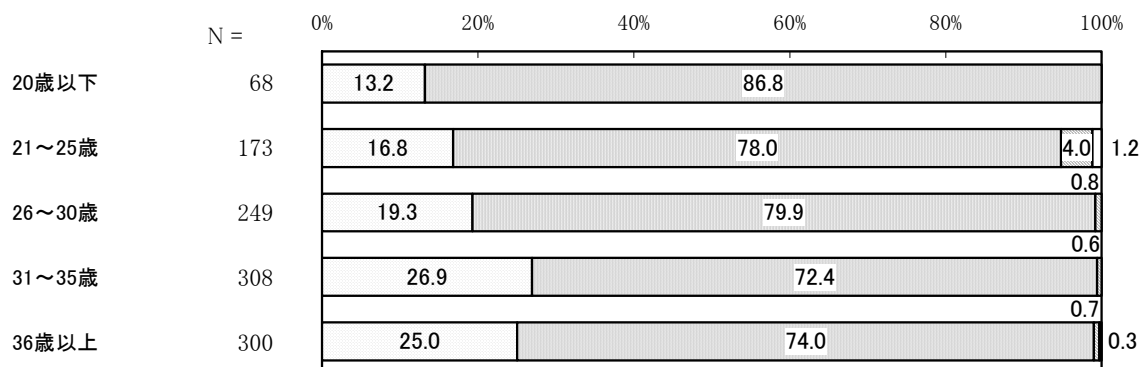
学校教育を終える年齢の平均をみると、男性で 21.5 歳、女性で 21.7 歳となっています。



【年代別】

年代別にみると、「20 歳以下」の割合は 31～35 歳で最も高く 26.9%、「21 歳～25 歳」の割合は 20 歳以下で最も高く 86.8%となっています。

学校教育を終える年齢の平均をみると、「31～35 歳」で最も早く 21.5 歳、「21～25 歳」で最も遅く 21.9 歳となっています。

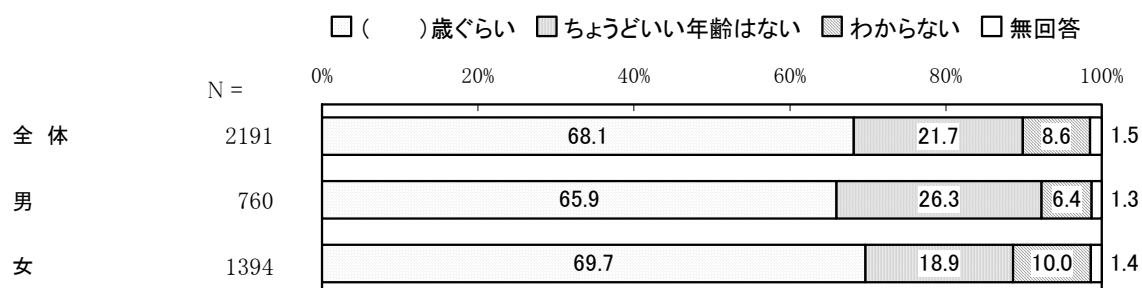


キ. 男性が定職につく

全体にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合が 21.7%、「わからない」の割合が 8.6%となっています。

【性別】

性別にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合は男性が 26.3%、女性が 18.9%と男性の方が 7.4 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、大きな差はみられません。



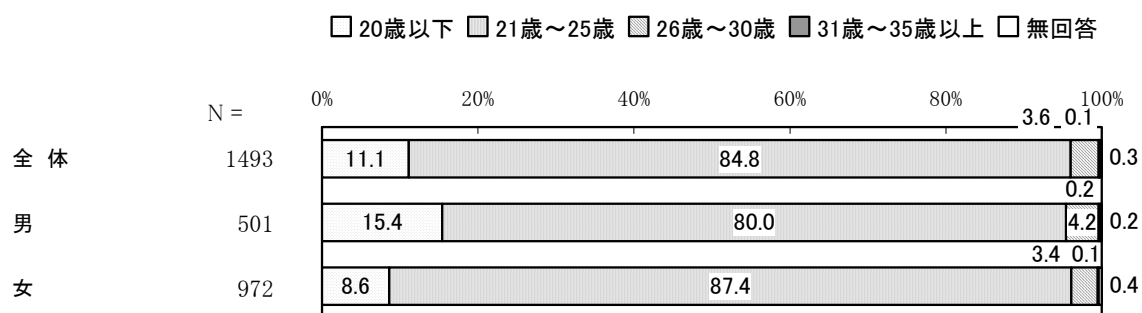
キ. 男性が定職につく 1. () 歳ぐらい

全体にみると、「21 歳～25 歳」の割合が最も高く 84.8%、次いで「20 歳以下」の割合が 11.1%となっています。

【性別】

性別にみると、「20 歳以下」の割合は男性が 15.4%、女性が 8.6%で男性の方が 6.8%高く、「21 歳～25 歳」の割合は男性が 80.0%、女性が 87.4%で女性の方が 7.4 ポイント高くなっています。

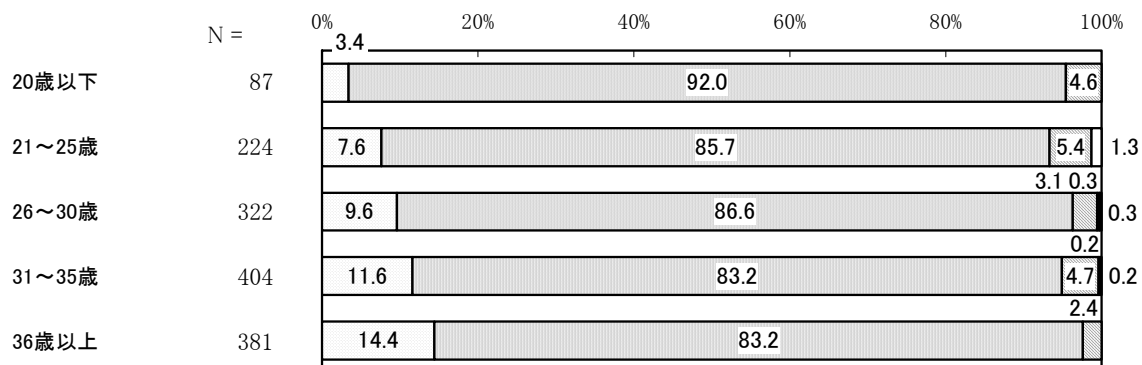
男性が定職につく年齢の平均をみると、男性で 22.5 歳、女性で 22.7 歳となっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて、「20 歳以下」の割合が高くなり、36 歳以上では 14.4%となっています。

男性が定職につく年齢の平均をみると、「36 歳以上」で最も早く 22.4 歳、「20 歳以下」で最も遅く 22.9 歳となっています。

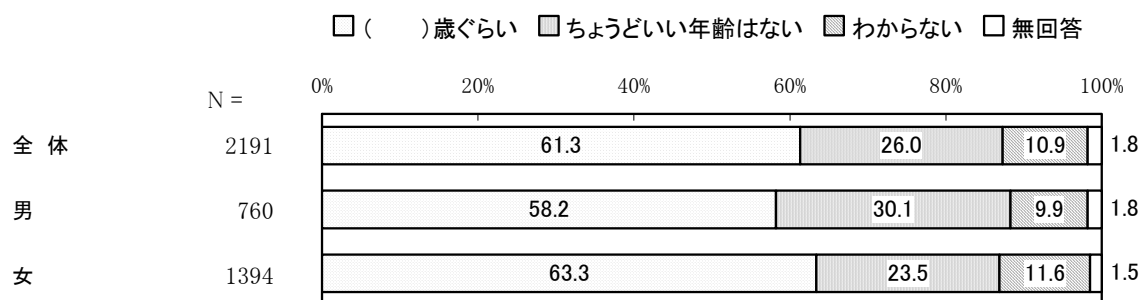


ク. 女性が定職につく

全体にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合が 26.0%、「わからない」の割合が 10.9%となっています。

【性別】

性別にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合は男性が 30.1%、女性が 23.5%と男性の方が 6.6 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合は 21～25 歳が最も高く 28.2%となっています。



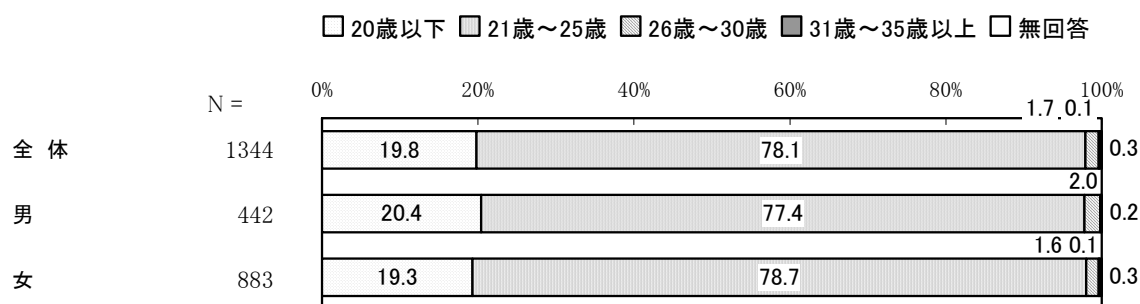
ク. 女性が定職につく 1. () 歳ぐらい

全体にみると、「21 歳～25 歳」の割合最も高くが 78.1%と、次いで「20 歳以下」の割合が 19.8%となっています。

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

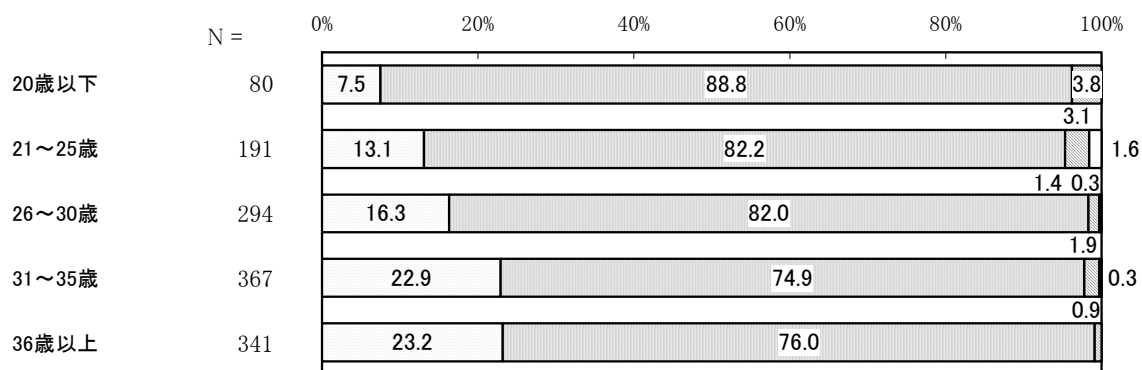
女性が定職につく年齢の平均をみると、男性で 22.0 歳、女性で 22.2 歳となっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「20 歳以下」の割合が高くなり、36 歳以上では 23.2%となっています。

女性が定職につく年齢の平均をみると、「36 歳以上」で最も早く 21.9 歳、「20 歳以下」で最も遅く 22.6 歳となっています。

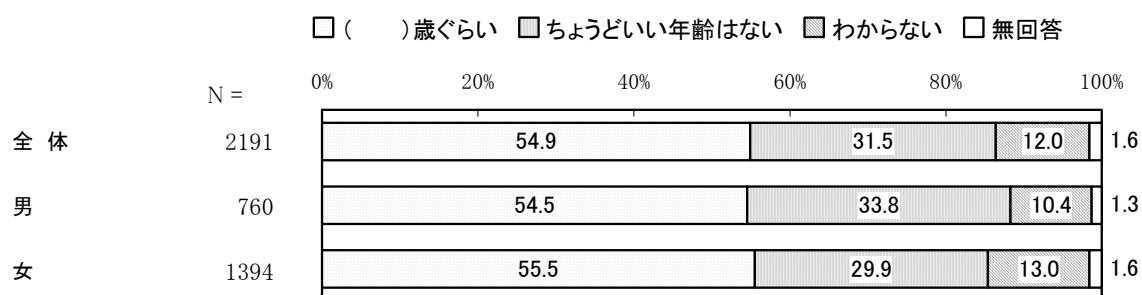


ケ. 男性に、最初の子どもが生まれる

全体にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合が 31.5%、「わからない」の割合が 12.0%となっています。

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、大きな差はみられませんが、20 歳以下では「わからない」の割合が 18.4%となっています。



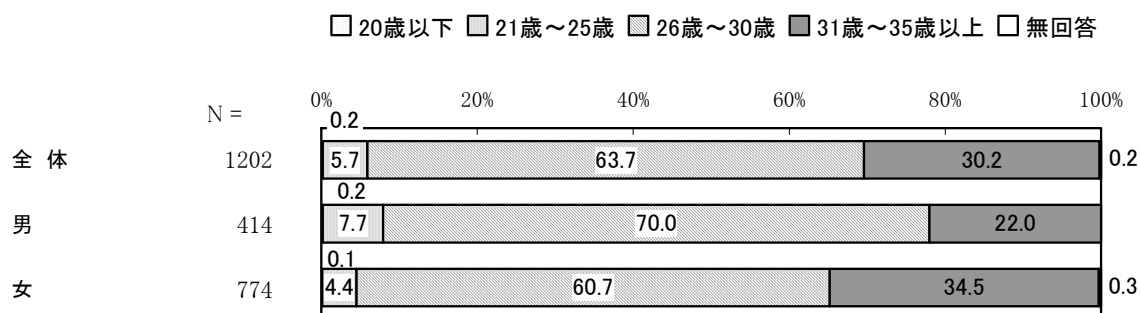
ケ. 男性に、最初の子どもが生まれる 1. () 歳ぐらい

全体にみると、「26 歳～30 歳」の割合が最も高く 63.7%、次いで「31 歳～35 歳以上」の割合が 30.2%となっています。

【性別】

性別にみると、「26 歳～30 歳」の割合は男性が 70.0%、女性が 60.7%で男性の方が 9.3 ポイント高く、「31 歳～35 歳以上」の割合は男性が 22.0%、女性が 34.5%で女性の方が 12.5 ポイント高くなっています。

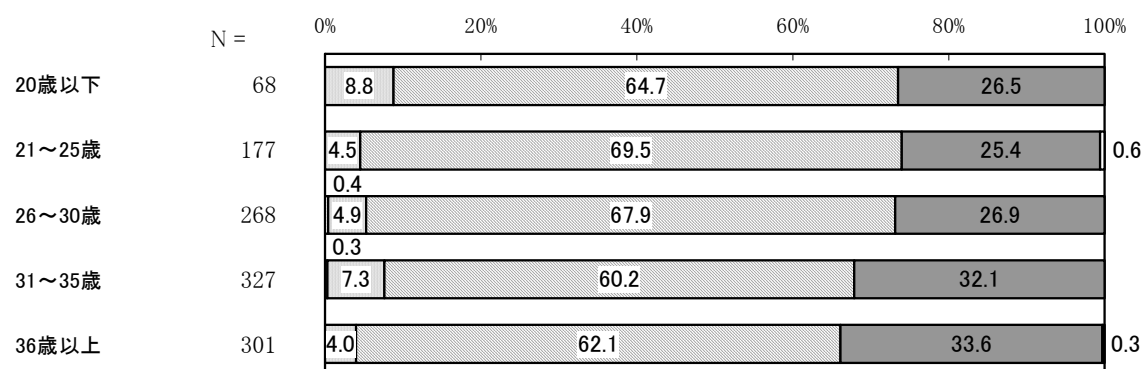
最初の子どもが生まれる年齢の平均をみると、男性で 29.6 歳、女性で 30.5 歳となっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「31 歳～35 歳以上」の割合が高くなり、36 歳以上では 33.6%となっています。

最初の子どもが生まれる年齢の平均をみると、「21～25 歳」で最も早く 29.8 歳、「36 歳以上」で最も遅く 30.5 歳となっています。

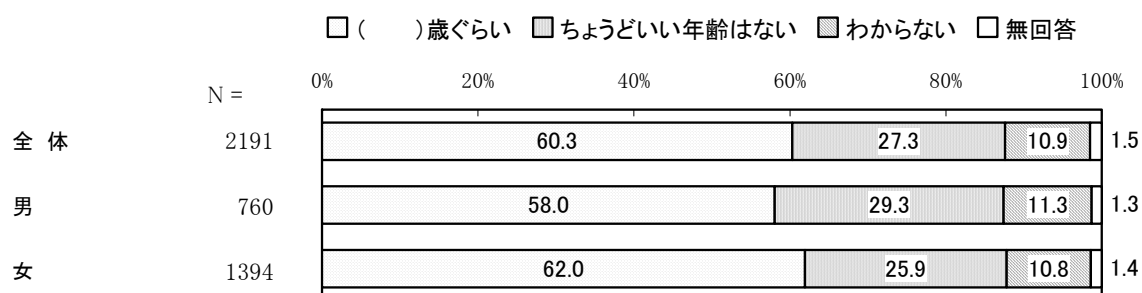


コ. 女性に、最初の子どもが生まれる

全体にみると、「ちょうどいい年齢はない」の割合が 27.3%、「わからない」の割合が 10.9%となっています。

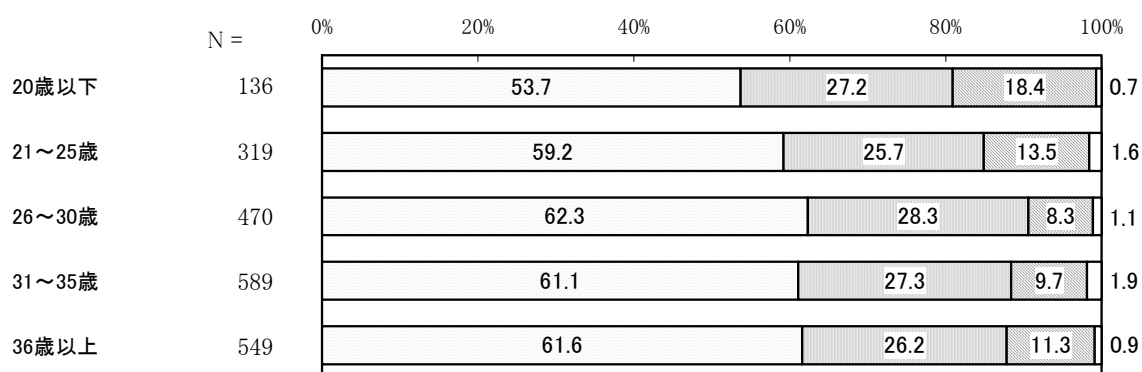
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、大きな差はみられませんが、20 歳以下では「わからない」の割合が高く 18.4%となっています。



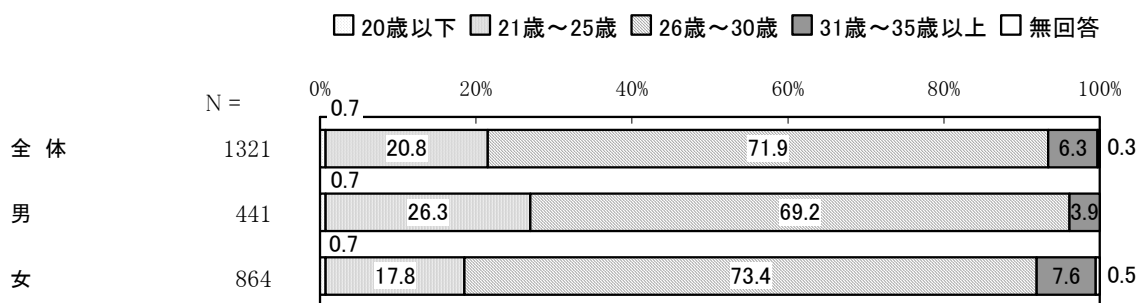
コ. 女性に、最初の子どもが生まれる 1. () 歳ぐらい

全体にみると、「26 歳～30 歳」の割合が最も高く 71.9%、次いで「21 歳～25 歳」の割合が 20.8%となっています。

【性別】

性別にみると、「21 歳～25 歳」の割合は男性が 26.3%、女性が 17.8%で男性の方が 8.5 ポイント高くなっています。

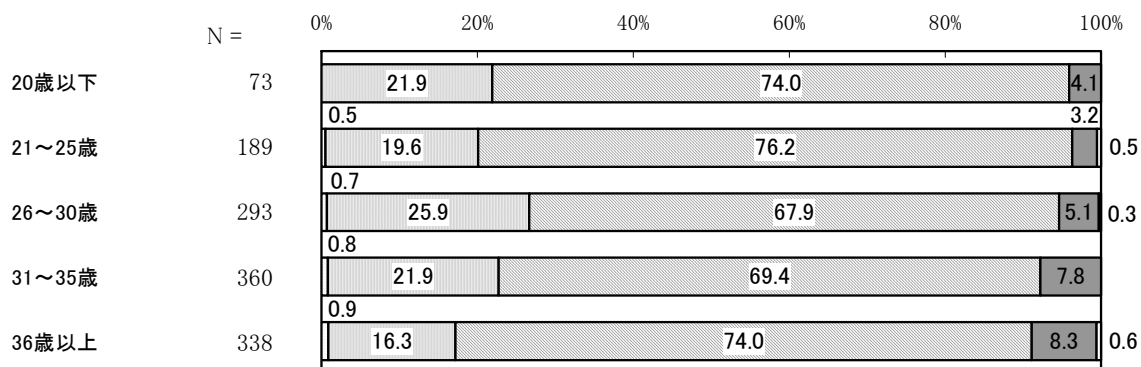
最初の子どもが生まれる年齢の平均をみると、男性で 27.4 歳、女性で 27.9 歳となっています。



【年代別】

年代別にみると、26～30 歳では「21 歳～25 歳」の割合が高く、25.9%となっています。

最初の子どもが生まれる年齢の平均をみると、「21～25 歳」で 27.5 歳と最も早く、「36 歳以上」で 28.1 歳と最も遅くなっています。



【人生で経験する出来事について】

人生で経験する出来事について、回答のあった年齢を平均して性別での回答を比較すると、すべての設問で男性は女性よりも低い年齢で経験することが望ましいと考えていることがうかがわれます。

また、「結婚」については、定職についてから約5年以降、「最初の子どもが生まれる」のは結婚1年後に希望していることがうかがわれます。

各設問で回答された年齢の平均

「男性が親元を離れる」	男性：20.6歳、女性：21.4歳
「女性が親元を離れる」	男性：21.4歳、女性：22.6歳
「男性が学校教育を終える」	男性：21.7歳、女性：22.3歳
「女性が学校教育を終える」	男性：21.5歳、女性：21.7歳
「男性が定職につく」	男性：22.5歳、女性：22.7歳
「女性が定職につく」	男性：22.0歳、女性：22.2歳
「男性の結婚」	男性：28.7歳、女性：29.5歳
「女性の結婚」	男性：26.5歳、女性：27.1歳
「男性に最初の子どもが生まれる」	男性：29.6歳、女性：30.5歳
「女性に最初の子どもが生まれる」	男性：27.4歳、女性：27.9歳

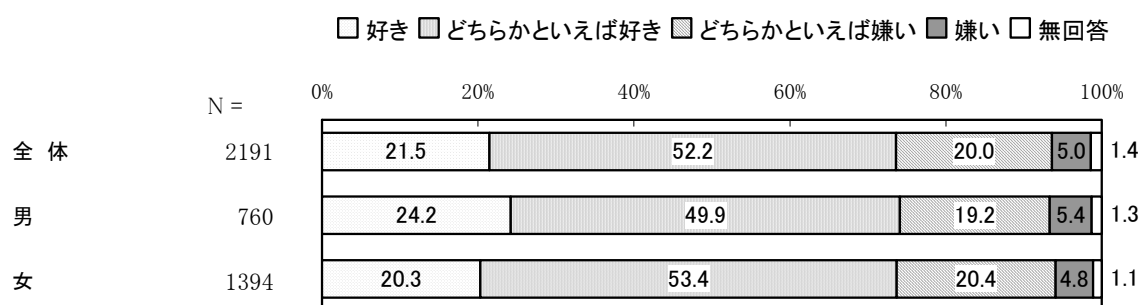
問 21 あなたが自分についてどう思うかおたずねします。

(1) 自分のことが好きですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合は73.7%と高く、「嫌い」と「どちらかといえば嫌い」を合わせた割合は25.0%となっています。

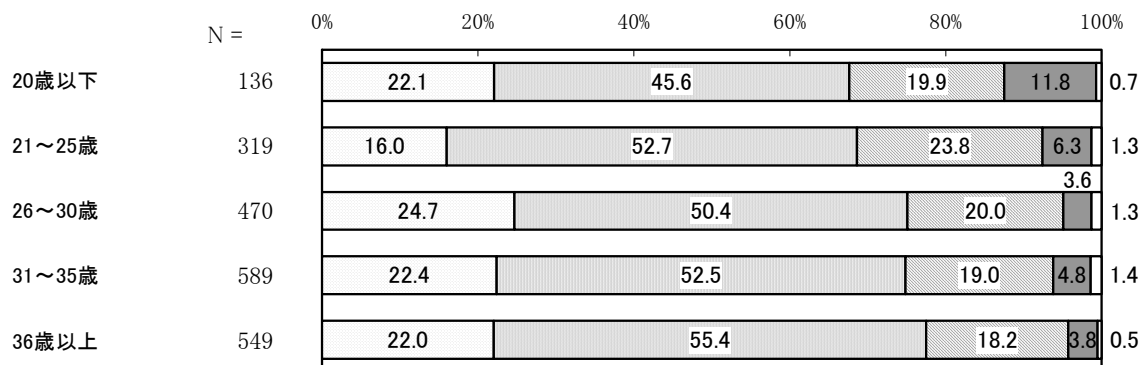
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合は高くなっており26歳以上では7割以上となっています。また、21～25歳では「好き」の割合が最も低く、16.0%となっています。

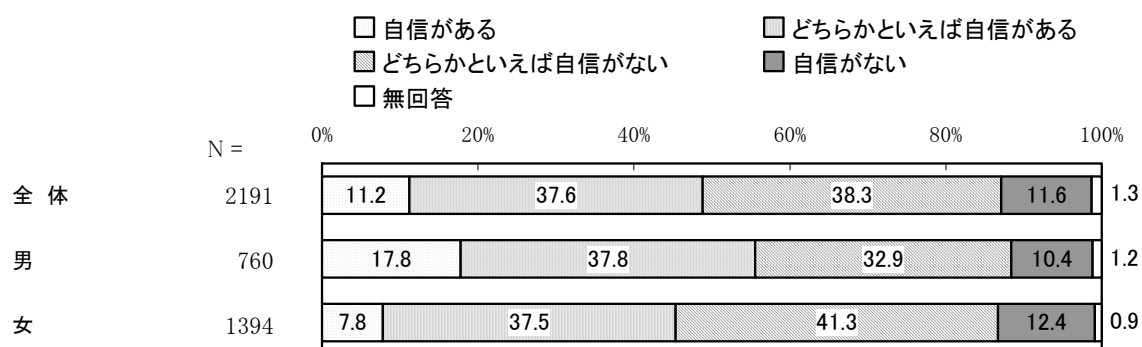


(2) 自分に自信がありますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「自信がある」と「どちらかといえば自信がある」合わせた割合は48.8%となっています。

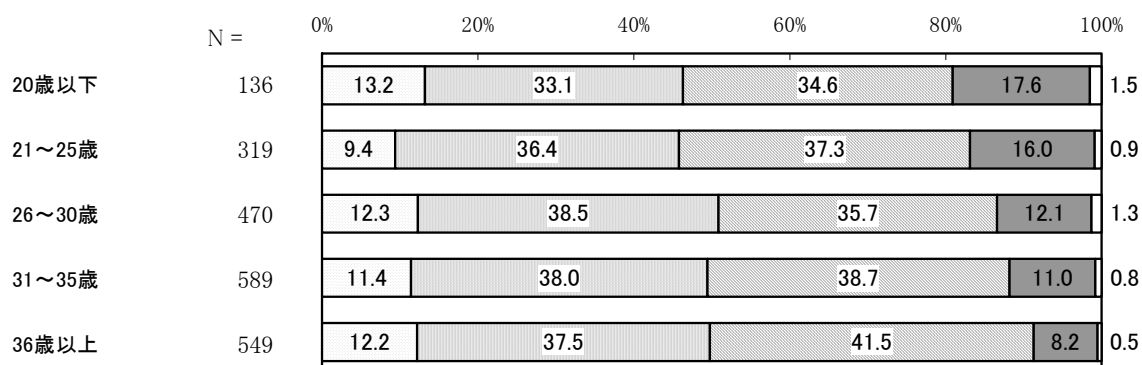
【性別】

性別にみると、「自信がある」と「どちらかといえば自信がある」を合わせた割合は男性が55.6%、女性が45.3%で男性の方が10.3ポイント高くなっていますが、そのほとんどが「自信がある」と回答した割合の差となっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が低くなるにつれて「自信がない」又は「どちらかといえば自信がない」と回答した傾向が高いですが、20歳以下では、特に「自信がない」の割合が高く、17.6%となっています。



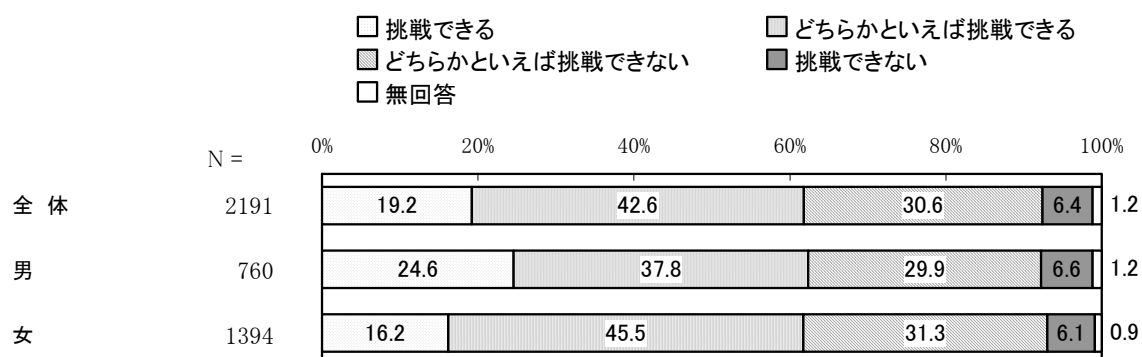
(3) 色々なことに積極的に挑戦できますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「挑戦できる」と「どちらかといえば挑戦できる」を合わせた割合は61.8%と高くなっています。

【性別】

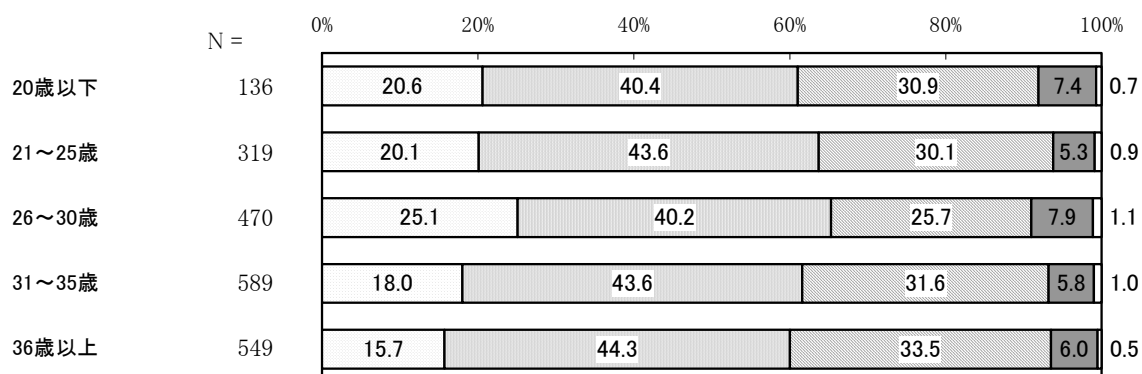
性別にみると、「挑戦できる」と「どちらかといえば挑戦できる」を合わせた割合は男女ほぼ同じですが、男性では女性と比べて「挑戦できる」の割合が高く、24.6%となっています。

一方、女性では男性と比べて「どちらかといえば挑戦できる」の割合が高く、45.5%となっています。



【年代別】

年代別にみると、20歳代で「挑戦できる」、「どちらかといえば挑戦できる」と回答した割合が高く、26～30歳では「挑戦できる」の割合が最も高く25.1%となっています。



【自分についてどう思うか】

「自分のことが好き」、「自分に自信がある」、「積極的に挑戦できる」などの自己肯定観は男性で高い傾向があり、特に「自信がある」、「挑戦できる」の割合は男性で高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるにつれて、自分のことが「好き」、「どちらかといえば好き」の割合が高く、「挑戦できる」、「どちらかといえば挑戦できる」の割合が低くなっています。

各設問の「好き」、「自信がある」、「挑戦できる」の割合

「自分のことが好き」	男性：24.2%、女性：20.3%
「自分に自信がある」	男性：17.8%、女性：7.8%
「積極的に挑戦できる」	男性：24.6%、女性：16.2%

問 22 あなたが現在、困っていることや悩んでいることがありますか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

全体にみると、「仕事のこと」の割合が最も高く 43.8%、次いで「収入のこと」の割合が 33.4%、「生活のこと」の割合が 27.2%となっています。

【性別】

性別にみると、「仕事のこと」の割合は男性が 54.9%、女性が 37.6%と男性の方が 17.3 ポイント高く、「子どものこと」の割合は男性が 17.6%、女性が 30.6%と女性の方が 13.0 ポイント高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	仕事のこと	勉強のこと	生活のこと	親との関係のこと	友人関係のこと	子どものこと	就職、転職のこと
全 体	2191	43.8	10.2	27.2	13.9	8.1	26.0	23.7
男	760	54.9	12.8	26.1	12.1	7.4	17.6	22.1
女	1394	37.6	9.0	27.8	15.1	8.4	30.6	24.5

区分	収入のこと	恋愛のこと	結婚のこと	健康のこと	その他	悩みは特にない	無回答
全 体	33.4	15.5	20.1	26.7	6.2	13.6	1.3
男	35.4	17.9	19.5	27.0	3.3	13.6	1.6
女	32.1	14.3	20.4	26.5	7.8	13.7	0.9

【年代別】

年代別にみると、「勉強のこと」「友人関係のこと」の割合は、20 歳以下で最も高くそれぞれ 47.8%、22.8%となっています。「仕事のこと」「就職、転職のこと」「恋愛のこと」「結婚のこと」の割合は 21～25 歳で高く、それぞれ 53.0%、41.4%、31.7%、31.3%となっています。「収入のこと」の割合は 26～30 歳で最も高く 38.1%、「健康のこと」の割合は 36 歳以上で 31.3%最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	仕事のこと	勉強のこと	生活のこと	親との関係のこと	友人関係のこと	子どものこと	就職、 転職のこと
20 歳以下	136	25.7	47.8	28.7	14.7	22.8	1.5	35.3
21～25 歳	319	53.0	20.1	28.8	9.7	10.7	7.2	41.4
26～30 歳	470	51.3	8.9	27.2	14.9	7.9	23.8	25.3
31～35 歳	589	41.8	4.4	28.0	12.4	6.1	31.9	19.9
36 歳以上	549	38.8	4.2	25.5	16.6	5.3	36.2	13.5

単位：％

区分	収入のこと	恋愛のこと	結婚のこと	健康のこと	その他	悩みは特 にない	無回答
20 歳以下	19.9	27.9	5.9	19.1	5.9	13.2	1.5
21～25 歳	32.3	31.7	31.3	22.6	4.1	8.5	0.3
26～30 歳	38.1	19.6	28.9	26.2	5.5	12.6	1.3
31～35 歳	35.0	10.0	18.3	25.1	7.0	15.6	1.2
36 歳以上	31.0	7.1	12.6	31.3	7.8	15.8	1.1

問 23 あなたの相談相手についておたずねします。

(1) 過去1年くらいの間にあなたが、困っていることや悩みを相談した人はいいますか。
次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

全体にみると、「友人」の割合が最も高く 59.7%、次いで「親」の割合が 54.3%、「配偶者」の割合が 42.4%となっています。

【性別】

性別にみると、「友人」「親」の割合は女性が6割以上で男性よりも20ポイント以上高く、その他、「配偶者」の割合は46.8%で11.8ポイント差、「兄弟姉妹」の割合が29.8%で16.9ポイント差で女性の方が高くなっています。

一方、「職場の同僚・上司」の割合は男性が32.5%、「相談したことはない」の割合が16.1%で男性の方が約10ポイント高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	親	配偶者	兄弟姉妹	親戚の人	学校の先生	塾の先生	職場の同僚・上司	友人	異性の交際相手
全 体	2191	54.3	42.4	23.7	4.6	5.2	1.0	27.2	59.7	11.8
男	760	40.7	35.0	12.9	2.8	3.9	0.7	32.5	44.2	9.2
女	1394	62.1	46.8	29.8	5.7	6.0	1.1	24.0	68.4	13.5

単位：％

区分	インターネット 上の知り合い	インターネット の相談サイト	近所の人	医者、弁護士等の 専門家	カウンセラー	公的な相談機関	NPOなど民間 の相談機関	その他	相談したことは ない	無回答
全 体	2.9	1.5	2.3	5.2	2.6	1.9	0.7	1.0	9.3	1.1
男	2.6	0.4	0.9	4.2	2.4	0.9	0.8	0.9	16.1	1.4
女	3.1	2.1	3.1	5.7	2.7	2.4	0.7	1.0	5.7	0.6

【年代別】

年代別にみると、「親」「学校の先生」の割合は年代が低いほど高く 20 歳以下でそれぞれ 66.9%、24.3%となっています。「友人」「兄弟」「異性の交際相手」の割合は 21～25 歳で最も高く、それぞれ 67.7%、27.3%、25.4%となっています。

一方、「配偶者」の割合は年代が高いほど高く 36 歳以上で 57.7%となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	親	配偶者	兄弟姉妹	親戚の人	学校の先生	塾の先生	職場の同僚・上司	友人	異性の交際相手
20 歳以下	136	66.9	0.7	21.3	—	24.3	6.6	5.9	64.7	15.4
21～25 歳	319	64.3	8.8	27.3	6.6	12.5	0.9	30.7	67.7	25.4
26～30 歳	470	62.8	41.9	24.5	5.3	2.1	0.4	34.7	63.6	17.0
31～35 歳	589	51.3	55.7	24.1	3.6	2.4	0.2	29.4	59.6	7.3
36 歳以上	549	44.6	57.7	21.1	6.0	2.4	0.9	23.1	52.5	5.5

単位：％

区分	インターネット 上の知り合い	インターネット の相談サイト	近所の人	医者、弁護士等の 専門家	カウンセラー	公的な相談機関	NPO など民間 の相談機関	その他	相談したことは ない	無回答
20 歳以下	3.7	2.2	—	2.9	5.9	0.7	0.7	0.7	8.1	0.7
21～25 歳	4.1	1.3	0.9	3.1	3.4	1.3	1.3	0.6	8.5	0.6
26～30 歳	2.1	1.1	0.9	5.5	2.3	2.1	0.2	1.1	7.7	0.9
31～35 歳	3.9	1.9	4.1	5.4	2.0	1.7	0.8	0.8	11.4	0.8
36 歳以上	2.0	1.5	2.7	6.0	2.0	2.6	0.9	1.3	9.1	0.9

(2) (1)で「18. 相談したことはない」と回答された方におたずねします。相談しなかったのはなぜですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

全体にみると、「相談する必要がなかった」の割合が最も高く 45.1%、次いで「解決できずと思わなかった」の割合が 31.4%、「知られたくなかった」の割合が 16.7%となっています。

【性別】

性別にみると、「相談する必要がなかった」の割合は男性が 48.4%、女性が 38.0%で男性の方が 10.4 ポイント高くなっています。

一方、「解決できずと思わなかった」「相談相手がいなかった」「知られたくなかった」の割合は女性で高く、それぞれ 36.7%、24.1%、22.8%となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	解決できずと思 わなかった	相談相手がいな かった	相談先がわから なかった	恥ずかしかった	知られたくなか った	心配かけたくな かった	相談する勇気が なかった	相談する必要が なかった	その他	わからない	無回答
全 体	204	31.4	15.2	4.9	5.9	16.7	15.2	9.8	45.1	9.8	3.4	1.5
男	122	28.7	9.8	3.3	4.1	12.3	16.4	8.2	48.4	12.3	4.1	1.6
女	79	36.7	24.1	7.6	8.9	22.8	12.7	12.7	38.0	6.3	2.5	1.3

【年代別】

年代別にみると、25 歳以下では「相談する必要がなかった」の割合が高く、20 歳以下で 81.8%、21～25 歳で 59.3%と高くなっています。26～35 歳では「解決できずと思わなかった」の割合が高く 30%以上になっています。

単位：％

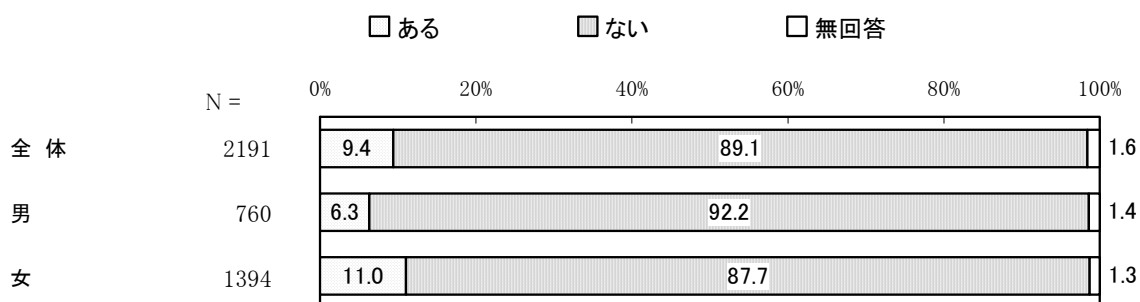
区分	有効回答数 (件)	解決できずと思 わなかった	相談相手がいな かった	相談先がわから なかった	恥ずかしかった	知られたくなか った	心配かけたくな かった	相談する勇気が なかった	相談する必要が なかった	その他	わからない	無回答
20 歳以下	11	9.1	9.1	—	9.1	9.1	18.2	18.2	81.8	—	—	—
21～25 歳	27	25.9	3.7	—	7.4	18.5	14.8	7.4	59.3	7.4	3.7	—
26～30 歳	36	38.9	33.3	11.1	16.7	25.0	19.4	22.2	38.9	8.3	2.8	—
31～35 歳	67	38.8	11.9	9.0	1.5	16.4	13.4	6.0	38.8	11.9	4.5	1.5
36 歳以上	50	28.0	14.0	—	4.0	12.0	12.0	6.0	40.0	14.0	2.0	2.0

問 24 あなたはこれまで自殺を試みたことがありますか。次の中から1つを選んで○をつけてください。

全体にみると、「ない」の割合が89.1%となっています。

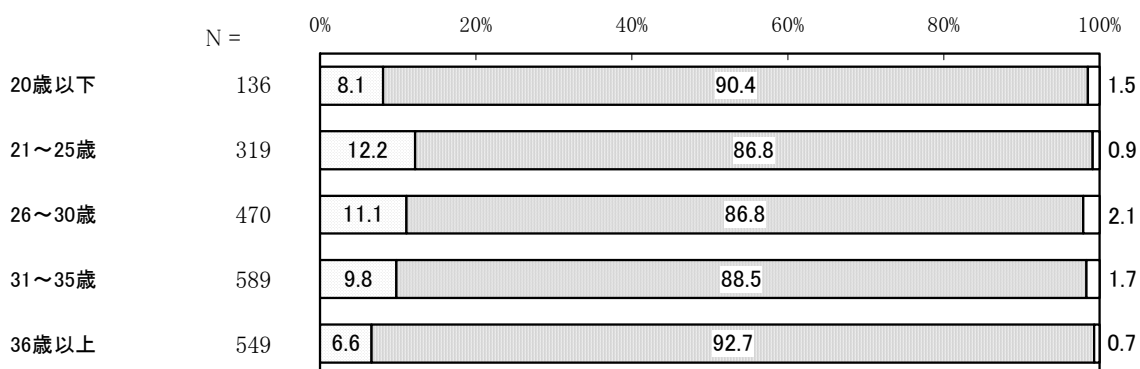
【性別】

性別にみると、女性では男性と比べて「ある」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、20歳代で「ある」の割合が高く、1割以上となっています。



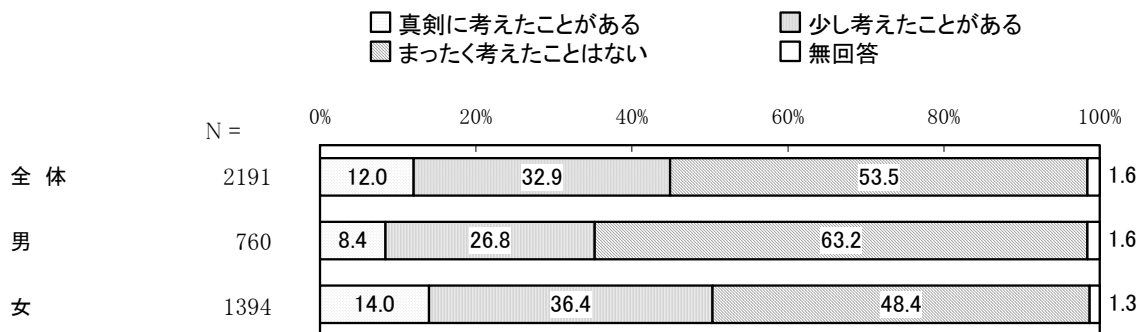
問 25 あなたはこれまで自殺を考えたことがありますか。次の中から1つを選んで○をつけてください。

全体にみると、「真剣に考えたことがある」の割合が 12.0%、「少し考えたことがある」の割合が 32.9%で両方合わせた「考えたことがある」の割合は 44.9%となっています。

【性別】

性別にみると、「まったく考えたことはない」の割合は男性が 63.2%、女性が 48.4%で男性の方が 14.8%高くなっています。

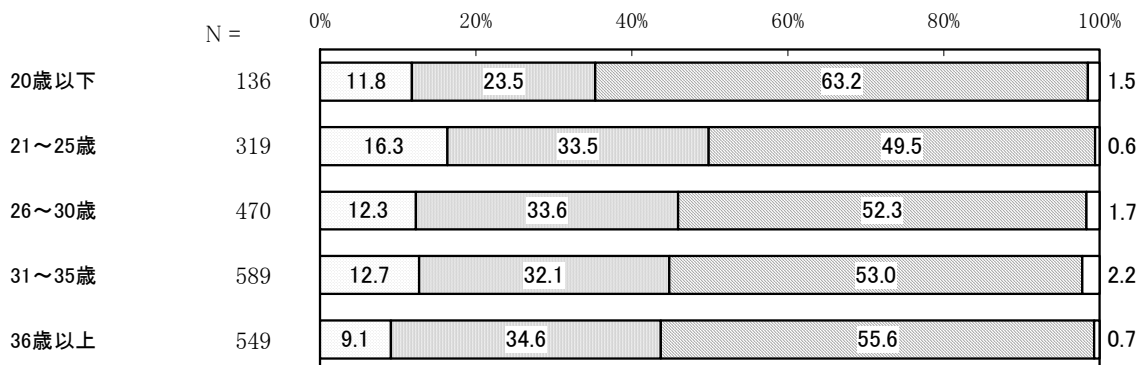
一方、「真剣に考えたことがある」「少し考えたことがある」を合わせた割合は男性が 35.2%、女性が 50.4%で女性の方が 15.2 ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、20 歳以下では「まったく考えたことはない」の割合が 63.2%と高くなっています。

一方、「真剣に考えたことがある」と「少し考えたことがある」と合わせた割合は 21～25 歳で最も高く 49.8%となっています。

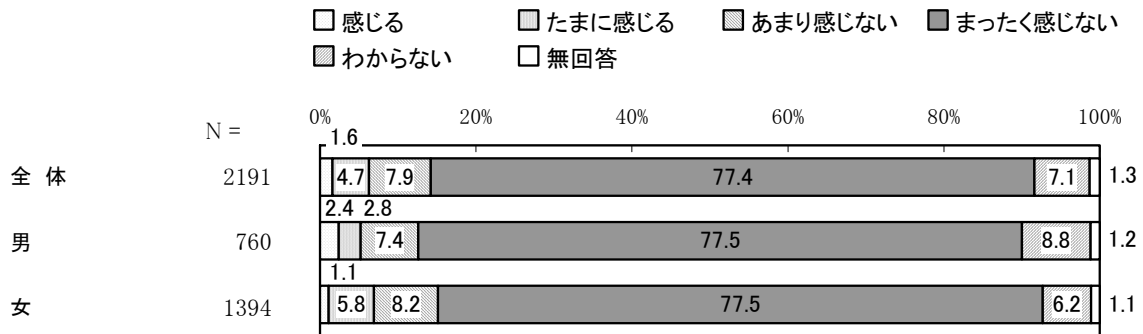


問 26 あなたは身体の性と心の性が違っていると感じることがありますか。次の中から 1 つを選んで○をつけてください。

全体にみると、「感じる」と「たまに感じる」を合わせた割合は 6.3%となっています。

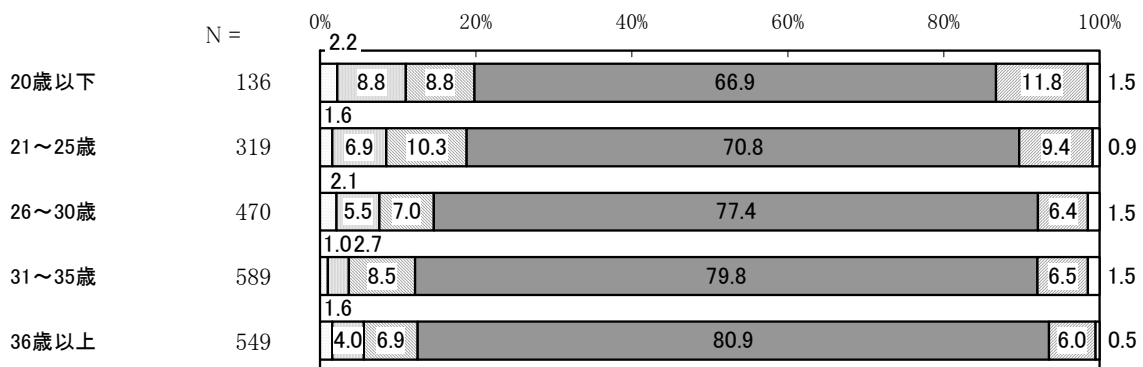
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「たまに感じる」の割合が低く、20 歳以下では「感じる」と「たまに感じる」を合わせた割合が 11.0%となっています。



問 27 あなたは5年後の自分をどのようにイメージしていますか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

全体にみると、「子どもを育てている」の割合が最も高く 56.4%、次いで「幸せな状態である」の割合が 56.1%、「一生懸命、仕事をしている」の割合が 49.6%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では女性と比べて「一生懸命、仕事をしている」の割合が 61.8%、「今より経済的に豊かになっている」の割合が 35.8%、「今より社会的地位が高くなっている」の割合が 22.1%、「多くの人の役にたっている」の割合が 17.1%と高くなっています。

一方、女性では男性と比べて「子どもを育てている」の割合が 62.3%、「親を大切にしている」の割合が 44.3%と高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	幸せな状態である	親を大切にしている	子どもを育てている	自由にのんびり暮らしている	一生懸命、仕事をしている	多くの人の役にたっている	今より経済的に豊かになっている	今より社会的地位が高くなっている	世界で活躍している	あてはまるものはない	無回答
全 体	2191	56.1	40.2	56.4	19.9	49.6	11.7	28.0	12.3	3.3	7.2	1.0
男	760	50.1	33.2	46.1	18.9	61.8	17.1	35.8	22.1	5.4	8.6	0.9
女	1394	59.5	44.3	62.3	20.4	42.9	8.6	23.8	7.1	2.3	6.4	0.7

【年代別】

年代別にみると、25 歳以下では「一生懸命、仕事をしている」の割合が高く、20 歳以下で 59.6%、21～25 歳で 57.1%となっています。また、26 歳以上では「子どもを育てている」の割合が高く、各年代で 60%を超えています。「幸せな状態である」の割合は 20 歳以下で低く、41.9%となっています。また、「多くの人の役に立っている」は年代が高くなるほど低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幸せな 状態である	親を大切 にしている	子どもを 育てている	自由にの んびり暮ら している	一生懸命、 仕事をして いる	多くの人の 役にたってい る	今より経済 的に豊かに なっている	今より社会 的地位が高 くなっている	世界で活躍 している	あてはまる ものはない	無回答
20 歳以下	136	41.9	27.2	8.1	25.0	59.6	16.9	33.8	11.8	5.9	9.6	0.7
21～25 歳	319	51.7	38.9	33.2	25.4	57.1	16.0	39.2	16.3	3.8	8.5	—
26～30 歳	470	62.6	44.5	66.2	23.2	42.8	10.9	30.4	14.5	3.2	7.0	1.3
31～35 歳	589	58.9	44.5	67.1	18.3	49.9	11.5	26.5	11.5	3.1	5.3	1.0
36 歳以上	549	55.0	37.3	62.7	15.5	49.4	8.6	22.0	10.0	3.5	7.5	0.5

問 28 あなたが将来不安に思うことは何ですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

全体にみると、「年金がもらえなくなること」の割合が最も高く 40.5%、次いで「親の介護のこと」の割合が 40.4%、「日本の景気が悪くなること」の割合が 36.8%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では「日本の景気が悪くなること」の割合が 37.2%、「収入がいつまでも上がらないこと」、「自分の仕事の能力のこと」、「失業するなど生活が不安定になること」などの割合が 3 割を超えています。

一方、女性では「親の介護のこと」、「年金がもらえなくなること」の割合が 4 割を超えて高くなっているほか、「子育てがうまくいかないこと」の割合が 22.0%と男性よりも高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	失業する など生活が不安 定になること	収入がいつ までも上がら ないこと	自分の仕事 の能力のこと	結婚でき ないこと	結婚生活が うまくいか ないこと	子育てが うまくいか ないこと	きちんと した生活が できない こと	老後の生 活のこと
全 体	2191	28.2	30.4	28.6	18.2	9.1	17.8	13.6	33.6
男	760	31.3	35.0	33.9	15.0	7.4	10.7	14.7	26.1
女	1394	26.3	27.5	25.8	19.9	10.3	22.0	13.1	37.4

単位：％

区分	親の介護 のこと	健康の こと	年金が もらえな くなるこ と	日本の 景気が 悪くな ること	少子・ 高齢化 が進む こと	その他	不安に 思うこ とはな い	無回 答	
全 体	40.4	34.8	40.5	36.8	28.3	6.1	4.9	1.2	
男	35.0	33.0	35.4	37.2	28.4	5.0	7.1	1.1	
女	43.5	36.2	43.3	36.4	27.9	6.6	3.7	1.1	

【年代別】

年代別にみると、「自分の仕事の能力のこと」、「きちんとした生活ができないこと」は年代が低くなるほど高く、「親の介護のこと」、「健康のこと」、「老後の生活のこと」、「子育てがうまくいかないこと」などの割合で年代が高くなるにつれて高くなっています。また、「年金がもらえなくなること」の割合は26～30歳で最も高く42.6%となっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	失業するなど生活が不安定になること	収入がいつまでも上がらないこと	自分の仕事の能力のこと	結婚できないこと	結婚生活がうまくいかないこと	子育てがうまくいかないこと	きちんとした生活ができないこと	老後の生活のこと
20 歳以下	136	31.6	17.6	47.1	25.7	8.1	7.4	22.8	18.4
21～25 歳	319	32.6	30.7	42.6	35.1	13.5	16.9	19.7	21.6
26～30 歳	470	24.0	28.1	28.3	21.5	9.1	16.2	14.5	31.3
31～35 歳	589	27.0	33.6	24.4	14.1	9.0	19.7	12.1	34.8
36 歳以上	549	28.1	31.9	22.2	8.9	8.0	21.1	9.3	43.5

単位：％

区分	親の介護のこと	健康のこと	年金がもらえなくなること	日本の景気が悪くなること	少子・高齢化が進むこと	その他	不安に思うことはない	無回答
20 歳以下	20.6	18.4	25.0	38.2	25.0	7.4	6.6	1.5
21～25 歳	30.1	26.3	39.8	41.1	25.1	3.1	6.3	—
26～30 歳	35.3	33.2	42.6	41.7	28.3	6.6	4.7	0.6
31～35 歳	41.4	37.9	41.4	35.8	28.2	7.3	5.3	1.4
36 歳以上	52.5	41.9	41.7	31.0	29.5	4.9	3.8	1.5

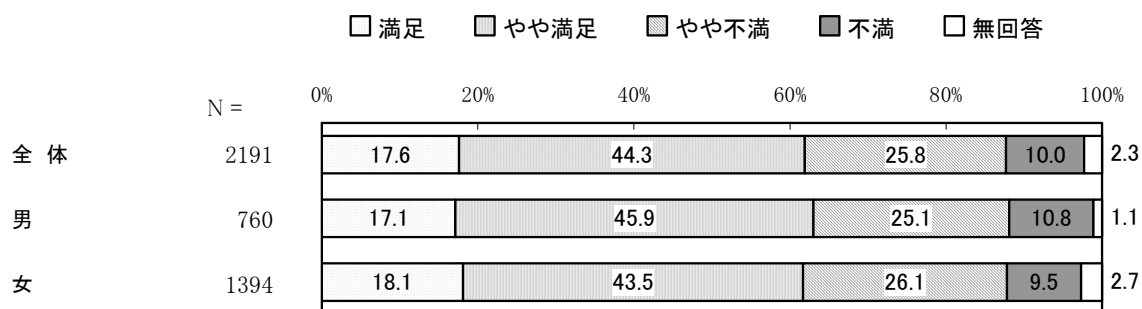
問 29 あなたは今の生活に満足していますか。ア～エのそれぞれについて1つ選んで○をつけてください。

ア. 仕事や勉強について

全体にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は61.9%と高くなっています。

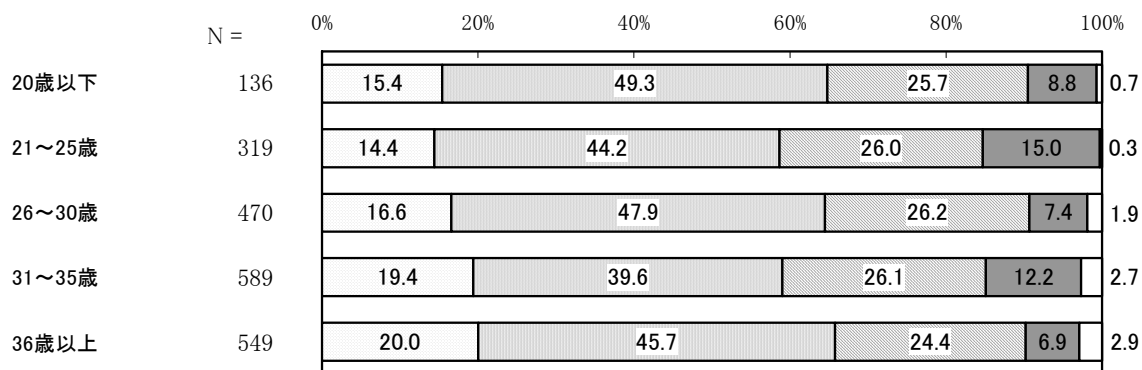
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、「満足」の割合は20歳代より30歳代で高い傾向がありますが、「満足」と「やや満足」を合わせた割合には年代による規則性は見られません。また、「不満」の割合は21～25歳、31～35歳で1割を超えています。

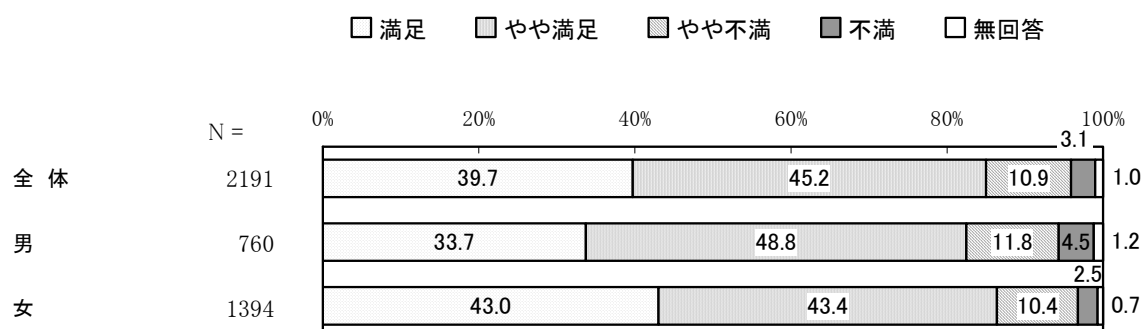


イ. 友人との関係について

全体にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合が84.9%と高くなっています。

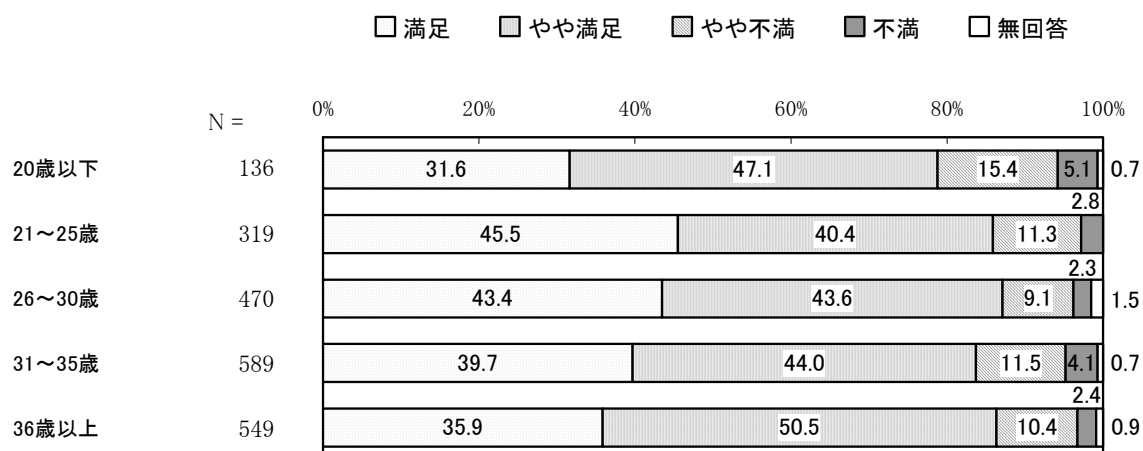
【性別】

性別にみると、「満足」の割合は男性が33.7%、女性が43.0%で女性の方が9.3ポイント高く、「やや満足」の割合は男性が48.8%、女性が43.4%で男性の方が5.4ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、20歳以下で「満足」と「やや満足」を合計した割合が最も低く、78.7%となっています。また、20歳代では「満足」と「やや満足」を合計した割合が高く、いずれも85%を超えています。

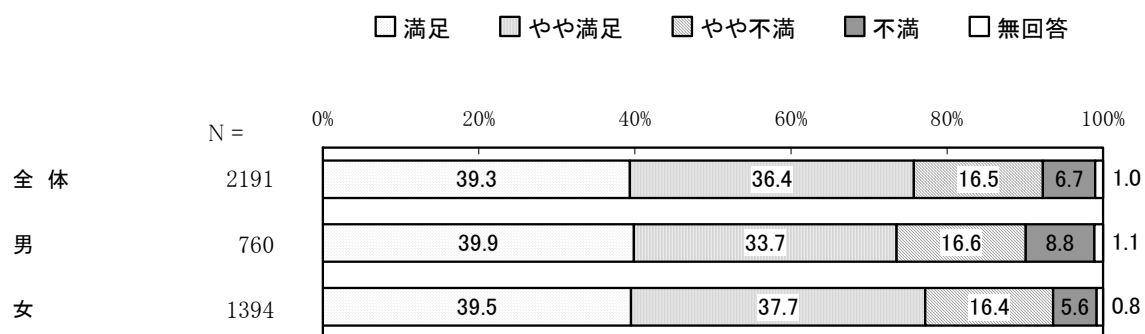


ウ. 家庭や恋愛について

全体にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は75.7%と高く、「不満」と「やや不満」を合わせた割合は23.2%となっています。

【性別】

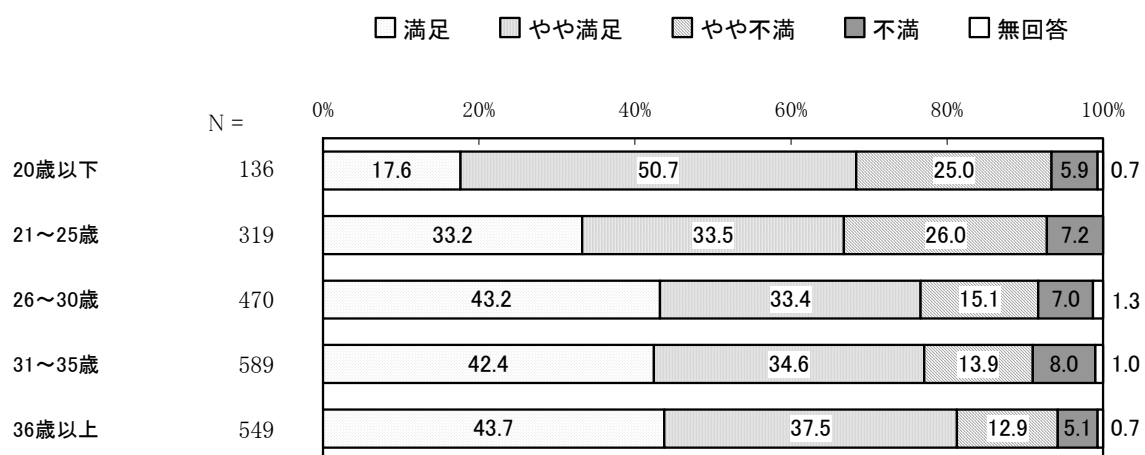
性別にみると、大きな差はみられません。



【年代別】

年代別にみると、26歳以上では「満足」と「やや満足」を合わせた割合が高く、36歳以上で81.2%と最も高くなっています。

一方、25歳以下では「満足」と「やや満足」合わせた割合が低く、特に、20歳以下では「満足」の割合が17.6%と低くなっています。

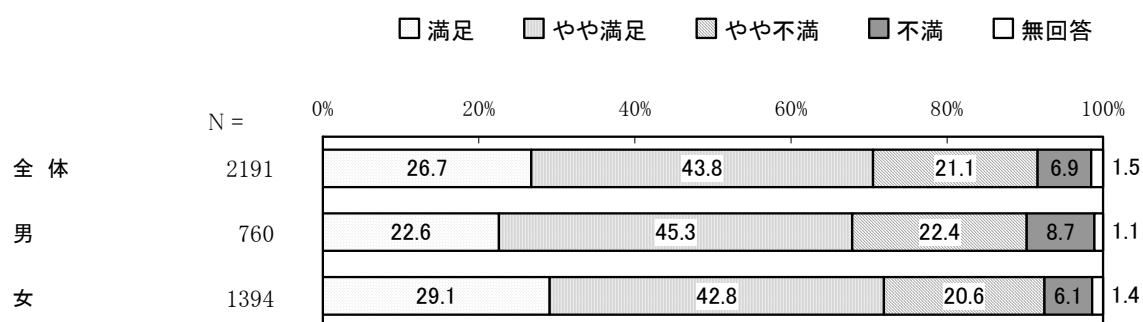


エ. 余暇について

全体にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は70.5%と高く、「不満」と「やや不満」を合わせた割合は28.0%となっています。

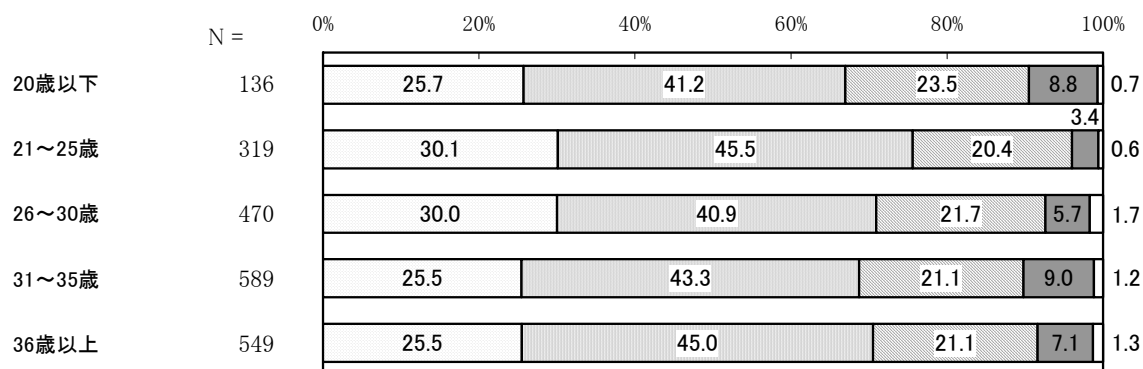
【性別】

性別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合には大きな差はみられませんが、「満足」の割合は男性が22.6%、女性が29.1%で女性の方が6.5ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、21～25 歳では「満足」と「やや満足」を合わせた割合が最も高く、75.6%となっていますが、20 歳以下では「満足」と「やや満足」を合わせた割合が最も低く、66.9%となっています。



【今の生活に満足しているか】

「仕事や勉強」、「友人との関係」、「家庭や恋愛」、「余暇」の4つの設問について満足している人の割合を全体的に比較すると、「友人との関係」で満足している人が最も高く、次いで「家庭や恋愛」、「余暇」の順となっています。

性別にみると、「友人との関係」、「余暇」で満足している人の割合は男性に比べて女性で高い傾向がみられます。

年代別にみると、「仕事や勉強」では30歳代で満足している人の割合が高い傾向があり、「友人との関係」では20歳代、「家庭や恋愛」では36歳以上、「余暇」では21～25歳で満足している人の割合が高くなっています。

ア. 仕事や勉強について

全体にみると「満足」と「やや満足」を合わせた割合は61.9%と低くなっていますが、年代や性別に大きな差がみられず、20歳代より30歳代で高い傾向があります。

「満足」と「やや満足」を合わせた割合には年代による規則性は見られません。「不満」の割合は21～25歳、31～35歳で1割を超えています。

イ. 友人との関係について

全体にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は84.9%と高く、性別では女性でやや満足している人の割合が高く、年代別にみると20歳代で満足している人の割合が最も高くなっています。

ウ. 家庭や恋愛について

全体にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は75.7%と高く性別では女性でやや満足している人の割合が高く、年代別にみると、26歳以上では満足している割合が高く、36歳以上で81.2%と最も高くなっています。

エ. 余暇について

全体にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は70.5%と高く、性別にみると「満足」の割合は男性が22.6%、女性が29.1%で女性の方が6.5ポイント高くなっています。

年代別にみると、21～25歳では最も高く75.6%となっていますが、20歳以下では最も低く、66.9%となっています。

設問ア～エの各設問の【性別】の「満足」と「やや満足」を合わせた割合

「仕事や勉強について」	男性：63.0%、女性：61.6%
「友人との関係について」	男性：82.5%、女性：86.4%
「家庭や恋愛について」	男性：73.6%、女性：77.2%
「余暇について」	男性：67.9%、女性：71.9%

問 30 あなたが次のア～ウのように感じるときは、1～6のどのようなときが多いですか。それぞれ2つまで選んで○をつけてください。ア～ウのようなときがない場合は「7. そのようなときはない」を選んでください。

ア. ほっと感じるとき

全体にみると、「家族といるとき」の割合が最も高く 66.0%と、次いで「一人でいるとき」の割合が 45.3%、「友だちといるとき」の割合が 30.3%となっています。

【性別】

性別にみると、女性では男性と比べて「家族といるとき」の割合が 69.6%、「友だちといるとき」の割合が 32.7%と高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族といるとき	学校・職場の人といるとき	友だちといるとき	同じ目的の仲間といるとき	一人でいるとき	その他	そのようなときはない	無回答
全 体	2191	66.0	2.7	30.3	8.1	45.3	4.4	1.1	2.6
男	760	59.5	4.1	26.7	12.1	42.5	4.6	1.7	2.2
女	1394	69.6	1.9	32.7	6.0	46.8	4.4	0.9	2.4

【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「家族といるとき」の割合が高く、36 歳以上では 71.4%となっています。

一方、年代が低くなるにつれて「友だちといるとき」の割合が高くなり、20 歳以下では 41.9%となっています。また、「一人でいるとき」の割合は 36 歳以上で最も高く 46.3%となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族といるとき	学校・職場の人といるとき	友だちといるとき	同じ目的の仲間といるとき	一人でいるとき	その他	そのようなときはない	無回答
20 歳以下	136	51.5	4.4	41.9	12.5	41.2	5.9	1.5	2.9
21～25 歳	319	58.9	4.1	39.5	11.3	39.8	6.9	0.6	1.6
26～30 歳	470	66.0	2.3	31.7	7.2	45.5	7.0	1.1	2.1
31～35 歳	589	68.9	2.0	29.0	7.1	45.3	2.5	1.7	3.2
36 歳以上	549	71.4	2.9	25.5	7.1	46.3	3.5	0.9	2.0

イ. 達成感を感じるとき

全体にみると、「学校・職場の人といるとき」の割合が最も高く 40.9%、次いで「同じ目的の仲間といるとき」の割合が 29.4%、「家族といるとき」の割合が 18.9%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では女性と比べて「学校・職場の人といるとき」の割合が高く、46.8%となっています。

一方、女性では男性と比べて「家族といるとき」の割合が高く、22.3%となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族と いるとき	学校・職 場の人と いるとき	友だちと いるとき	同じ目的 の仲間と いるとき	一人で いるとき	その他	そのよう なとき はない	無回 答
全 体	2191	18.9	40.9	9.0	29.4	12.9	6.6	14.2	1.8
男	760	12.5	46.8	7.1	31.7	13.4	7.9	12.5	1.2
女	1394	22.3	37.4	10.0	28.4	12.8	6.0	15.4	1.8

【年代別】

年代別にみると、「学校・職場の人といるとき」の割合は20歳代で高く、「同じ目的の仲間といるとき」の割合は20歳以下で高く、いずれも4割を超えています。また、「家族といるとき」の割合は年代が高くなるにつれて高くなり、36歳以上では24.4%となっています。

一方、「友だちといるとき」、「一人でいるとき」の割合は20歳以下で高く約2割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族といるとき	学校・職場の人といるとき	友だちといるとき	同じ目的の仲間といるとき	一人でいるとき	その他	そのよう はないとき	無回答
20歳以下	136	2.9	28.7	19.1	42.6	19.1	11.8	8.1	0.7
21～25歳	319	7.5	45.5	12.2	36.4	14.1	6.9	12.5	0.9
26～30歳	470	18.5	49.6	10.9	26.0	10.2	7.4	12.3	1.7
31～35歳	589	23.1	37.4	7.6	28.2	13.1	6.8	16.0	1.7
36歳以上	549	24.4	37.5	5.5	27.7	12.9	4.7	16.4	1.5

ウ. 自分が役立っていると感じるとき

全体にみると、「学校・職場の人といるとき」の割合が最も高く 49.8%、次いで「家族といるとき」の割合が 42.5%、「友だちといるとき」の割合が 15.7%となっています。

【性別】

性別にみると、男性では女性と比べて「学校・職場の人といるとき」の割合が 57.5%、「同じ目的の仲間といるとき」の割合が 20.1%と高くなっています。

一方、女性では男性と比べて「家族といるとき」の割合が 48.9%、「友だちといるとき」の割合が 18.8%と高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族といるとき	学校・職場の人といるとき	友だちといるとき	同じ目的の仲間といるとき	一人でいるとき	その他	そのようなときはない	無回答
全 体	2191	42.5	49.8	15.7	15.1	1.7	4.8	10.8	2.3
男	760	31.1	57.5	10.0	20.1	2.5	6.8	11.8	2.2
女	1394	48.9	45.4	18.8	12.4	1.4	3.9	10.4	2.1

【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「家族といるとき」の割合が高くなり、36歳以上では 55.9%となっています。また、「学校・職場の人といるとき」の割合は 20 歳代で高く 5 割を超えています。

一方、20 歳以下では「友だちといるとき」、「同じ目的の仲間といるとき」の割合が約それぞれ 29.4%、「そのようなときはない」の割合が 14.7%となっています。

単位：％

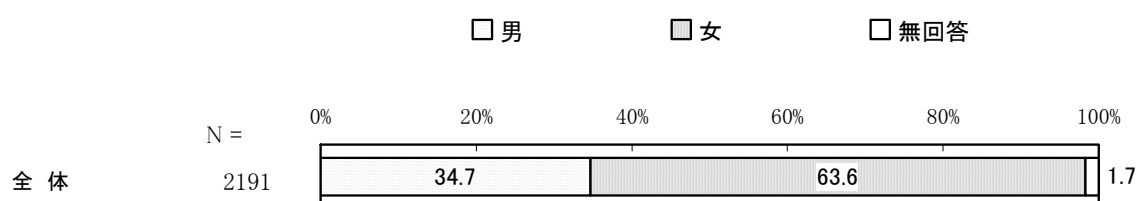
区分	有効回答数 (件)	家族といるとき	学校・職場の人といるとき	友だちといるとき	同じ目的の仲間といるとき	一人でいるとき	その他	そのようなときはない	無回答
20 歳以下	136	16.2	39.7	29.4	29.4	1.5	6.6	14.7	0.7
21～25 歳	319	19.7	53.9	23.8	19.7	1.3	5.3	13.2	1.6
26～30 歳	470	40.9	60.2	12.1	12.1	1.9	6.0	8.5	1.9
31～35 歳	589	49.2	46.3	16.3	12.6	2.4	4.9	10.0	2.4
36 歳以上	549	55.9	46.4	10.0	14.2	1.5	3.6	10.9	2.4

4 最後にあなたの自身のことについてお聞きします。

F 1. 性別

全体にみると、「男」の割合が 34.7%、「女」の割合が 63.6%となっています。

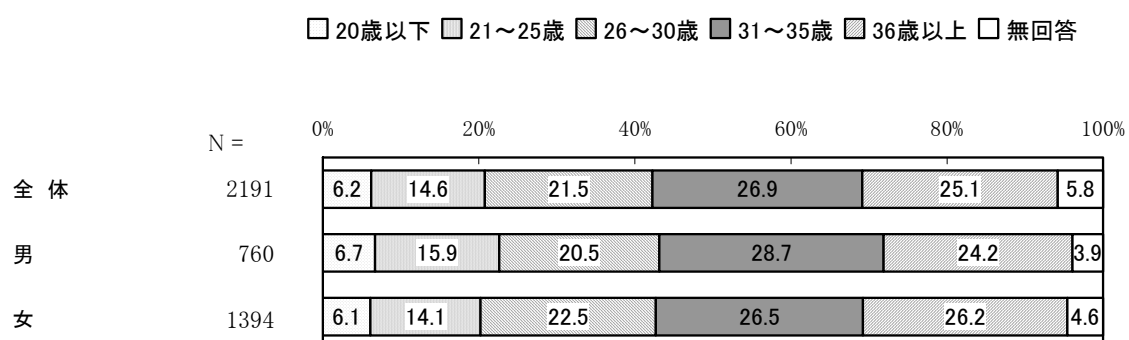
【性別】



F 1. 年齢

全体にみると、「31～35 歳」の割合が最も高く 26.9%、次いで「36 歳以上」の割合が 25.1%、「26～30 歳」の割合が 21.5%となっています。

【性別】



F 2. 現在、あなたといっしょにお住まいの方について、おたずねします。

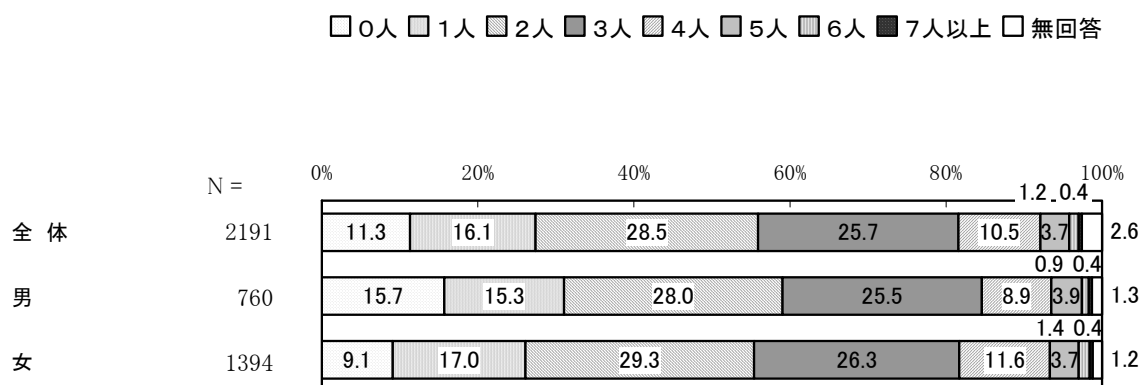
(1) 何人の方といっしょにお住まいですか？

あなた以外の人数の合計をお答えください。

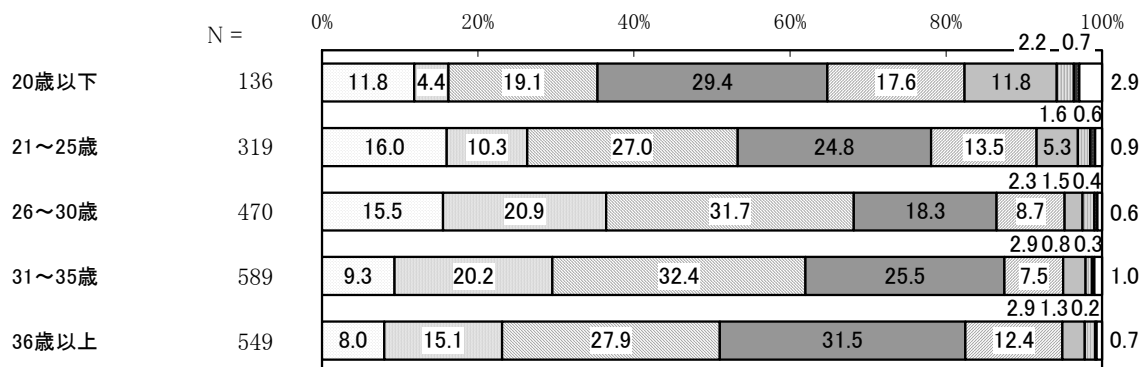
人

全体にみると、「2人」の割合が最も高く 28.5%、次いで「3人」の割合が 25.7%、「1人」の割合が 16.1%となっています。

【性別】



【年代別】



(2) 現在、どなたと一緒に住まいですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

全体にみると、「配偶者・パートナー」の割合が最も高く 53.6%、次いで「子ども」の割合が 42.6%、「自分の母親」の割合が 29.7%となっています。

【性別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	自分の父親	自分の母親	兄弟姉妹	配偶者・パートナー	子ども	父方の祖父母 (父親の親)	母方の祖父母 (母親の親)
全 体	2191	25.4	29.7	16.4	53.6	42.6	3.3	1.9
男	760	27.1	29.6	17.1	50.4	37.9	3.7	1.3
女	1394	24.8	30.2	16.3	56.5	46.1	3.1	2.3

単位：％

区分	配偶者の父親	配偶者の母親	配偶者の祖父母	友人・ルームメイト・同僚 (寮も含む)	なし(一人暮らし)	その他	無回答
全 体	1.7	2.4	0.1	1.3	10.6	1.5	3.4
男	0.8	1.3		2.0	14.7	1.4	2.8
女	2.2	3.0	0.2	0.9	8.7	1.6	1.7

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	自分の父親	自分の母親	兄弟姉妹	配偶者・パートナ ー	子ども	父方の祖父母 (父親の親)	母方の祖父母 (母親の親)
20 歳以下	136	67.6	77.9	62.5	2.9	0.7	16.2	5.1
21～25 歳	319	54.5	61.4	41.4	12.9	8.5	8.2	7.2
26～30 歳	470	28.3	31.9	16.2	48.3	32.6	3.0	1.5
31～35 歳	589	14.8	18.5	6.3	70.1	54.3	1.4	0.5
36 歳以上	549	9.8	13.1	4.4	76.7	68.3	0.2	0.4

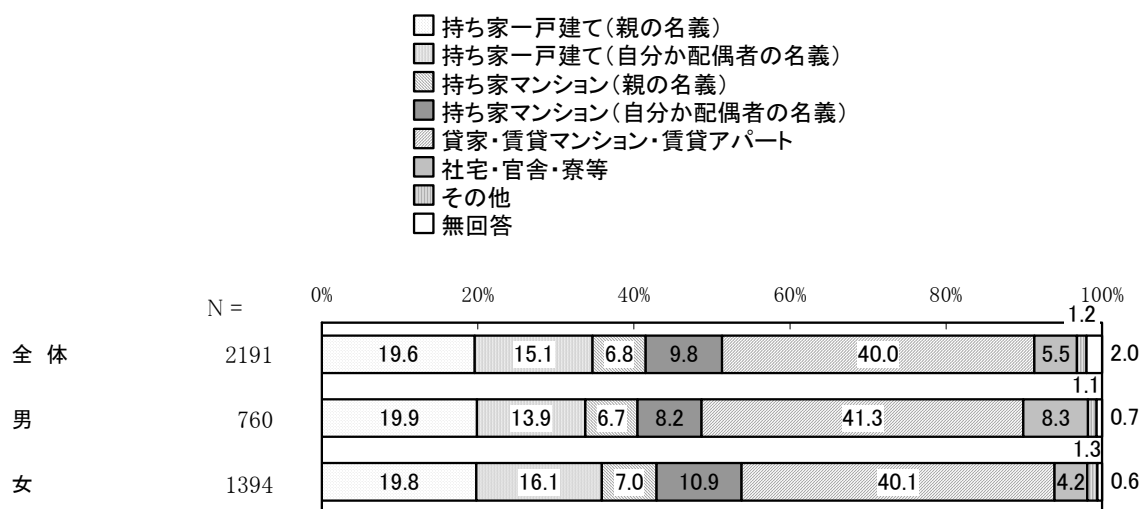
単位：％

区分	配偶者の父親	配偶者の母親	配偶者の祖父母	友人・ルームメイト・同僚(寮も含む)	なし(一人暮らし)	その他	無回答
20 歳以下	—	—	—	1.5	14.0	2.9	0.7
21～25 歳	—	0.3	0.3	4.7	14.1	1.3	2.5
26～30 歳	1.9	2.1	—	1.3	14.9	1.5	2.6
31～35 歳	1.5	1.9	0.2	0.7	8.7	1.5	1.9
36 歳以上	2.9	4.4	0.2	0.2	7.1	1.6	1.6

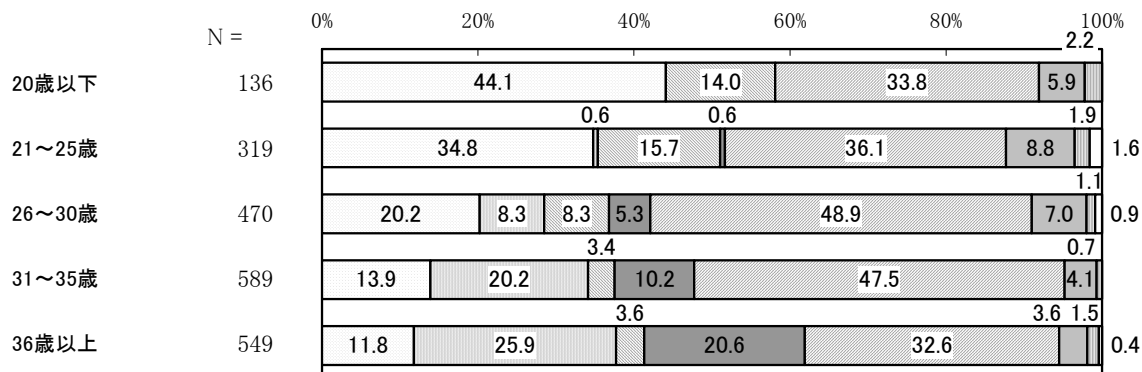
F 3. 現在お住まいの住居はどれですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「貸家・賃貸マンション・賃貸アパート」の割合が最も高く 40.0%、次いで「持ち家一戸建て（親の名義）」の割合が 19.6%、「持ち家一戸建て（自分か配偶者の名義）」の割合が 15.1%となっています。

【性別】



【年代別】



F 4. あなたは、現在、何区にお住まいですか。

区

全体にみると、「緑区」の割合が 11.2%となっています。

【性別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区
全 体	2191	8.1	3.4	6.7	5.7	5.8	3.6	3.9	4.5	3.3
男	760	9.2	2.6	6.3	5.5	4.5	3.3	3.9	5.4	3.2
女	1394	7.7	3.9	7.0	5.9	6.7	3.8	4.0	4.1	3.4

単位：％

区分	中川区	港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区	その他	無回答
全 体	8.4	5.3	4.6	7.5	11.2	6.8	6.1	0.5	4.6
男	7.8	6.3	5.1	8.0	12.0	6.4	6.6	0.9	2.9
女	9.0	4.9	4.4	7.5	11.1	7.2	5.9	0.3	3.2

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区
20歳以下	136	5.9	2.9	9.6	5.9	5.9	2.2	2.9	0.7	2.2
21～25歳	319	6.9	4.4	5.6	5.6	4.4	4.1	4.1	3.1	3.1
26～30歳	470	7.0	4.0	9.1	7.4	6.0	3.4	4.9	5.3	2.8
31～35歳	589	8.5	2.7	5.6	4.9	7.5	3.9	3.4	4.2	4.1
36歳以上	549	10.4	3.6	6.6	5.6	5.3	4.2	3.8	5.5	3.8

単位：％

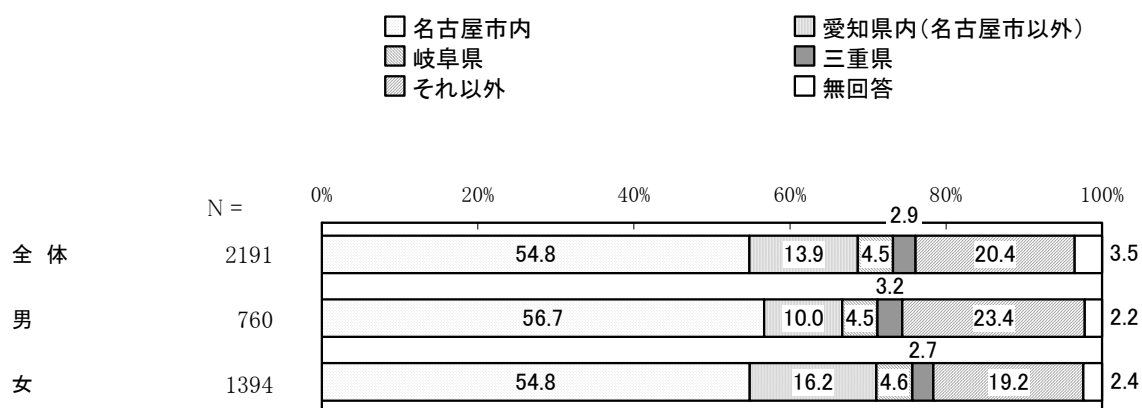
区分	中川区	港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区	その他	無回答
20歳以下	8.8	10.3	3.7	2.9	11.0	8.1	4.4	4.4	8.1
21～25歳	8.8	8.5	4.4	7.8	11.9	6.0	7.2	1.6	2.5
26～30歳	8.5	5.7	4.5	6.2	11.3	6.2	4.9	－	2.8
31～35歳	8.1	3.7	5.4	9.7	12.7	7.0	6.6	－	1.9
36歳以上	8.6	4.2	4.9	7.7	9.7	8.4	6.9	－	0.9

F 5. あなたは中学3年生の頃、どこにお住まいでしたか。

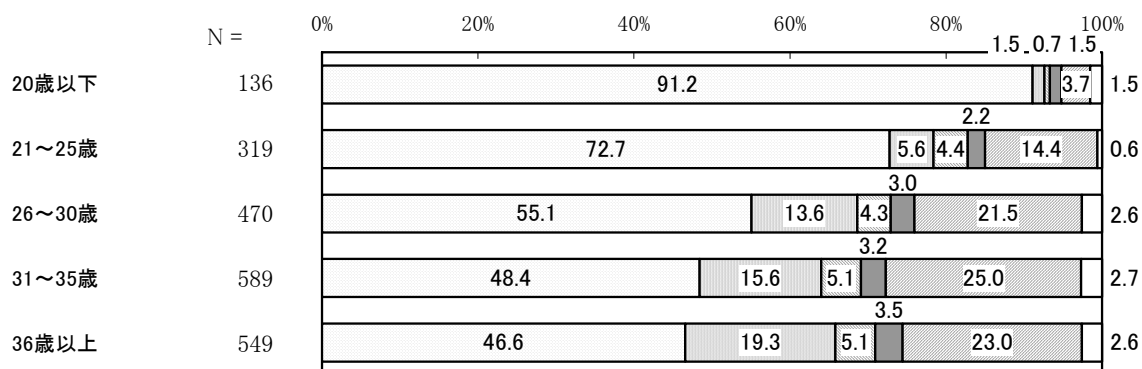
(1) 住んでいた市町村の地域を次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「名古屋市内」の割合が最も高く 54.8%、次いで「それ以外」の割合が 20.4%、「愛知県内（名古屋市以外）」の割合が 13.9%となっています。

【性別】



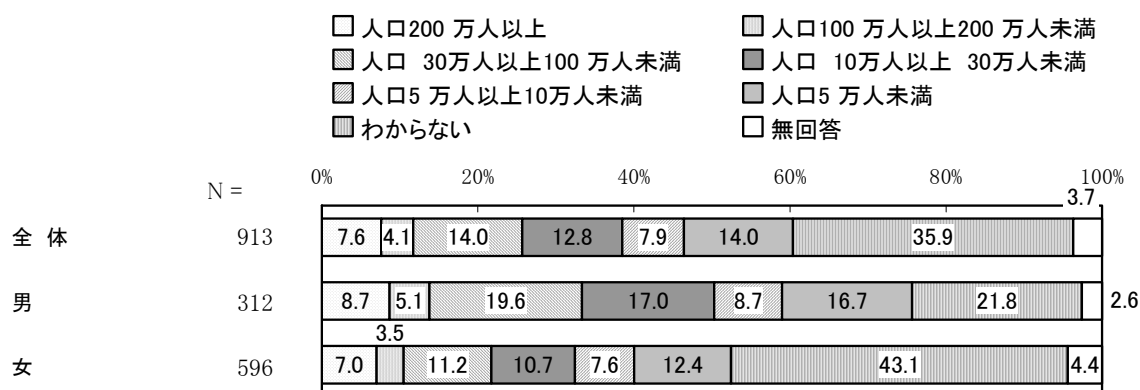
【年代別】



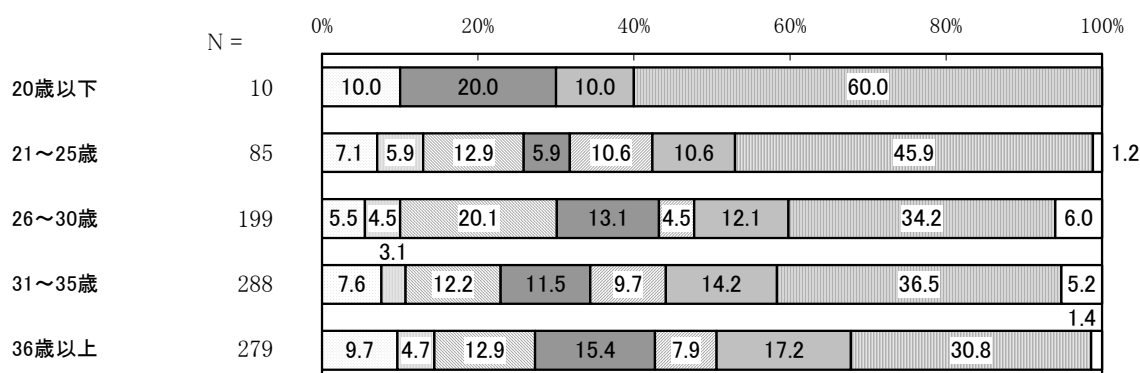
(2) (1)で2～5と回答された方におたずねします。
住んでいた市町村の当時の人口の規模について次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「わからない」の割合が最も高く 35.9%、次いで「人口 30 万人以上 100 万人未満」、「人口 5 万人未満」の割合が 14.0%となっています。

【性別】



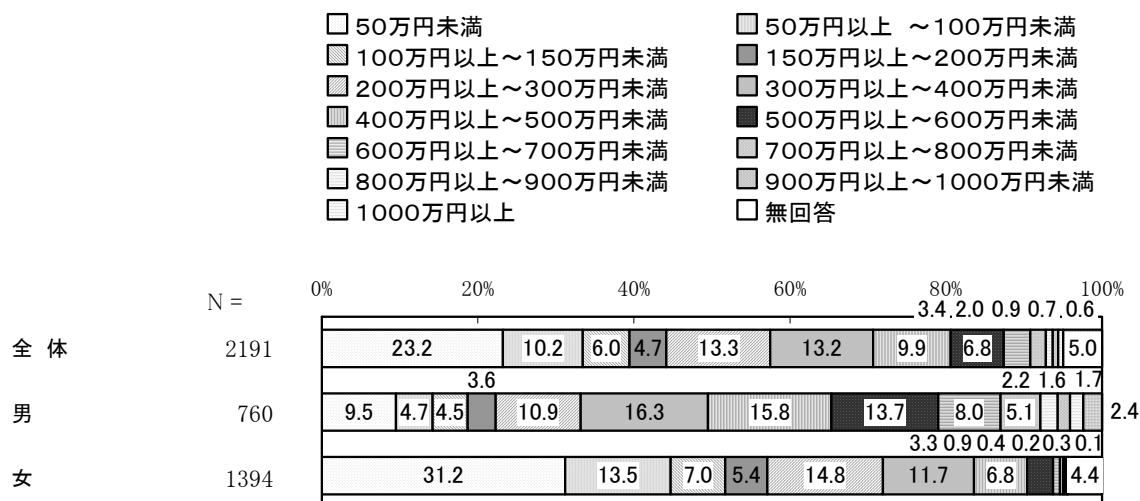
【年代別】



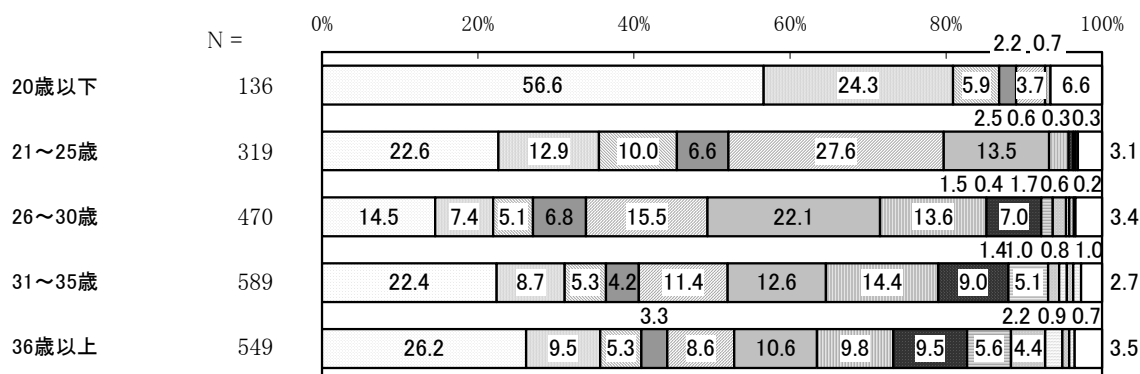
F 6. この1年間の、あなた自身の年収（税込みの収入）はだいたいどれぐらいでしたか。
次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「50万円未満」の割合が最も高く 23.2%、次いで「200万円以上～300万円未満」の割合が 13.3%、「300万円以上～400万円未満」の割合が 13.2% となっています。

【性別】



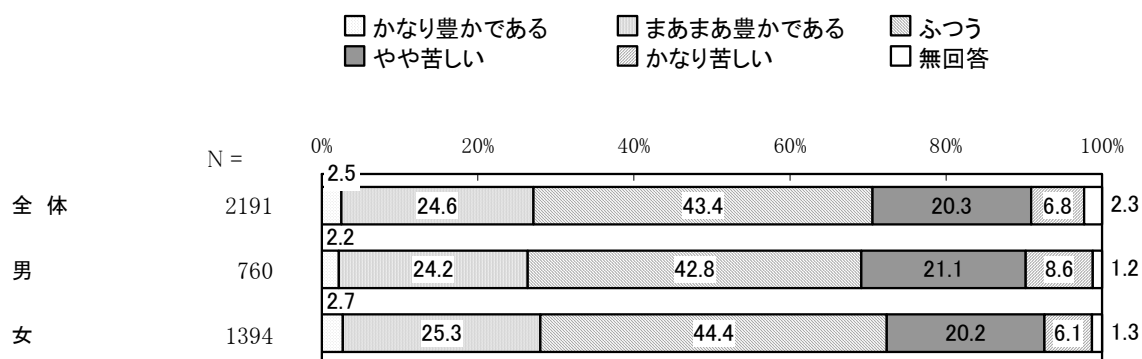
【年代別】



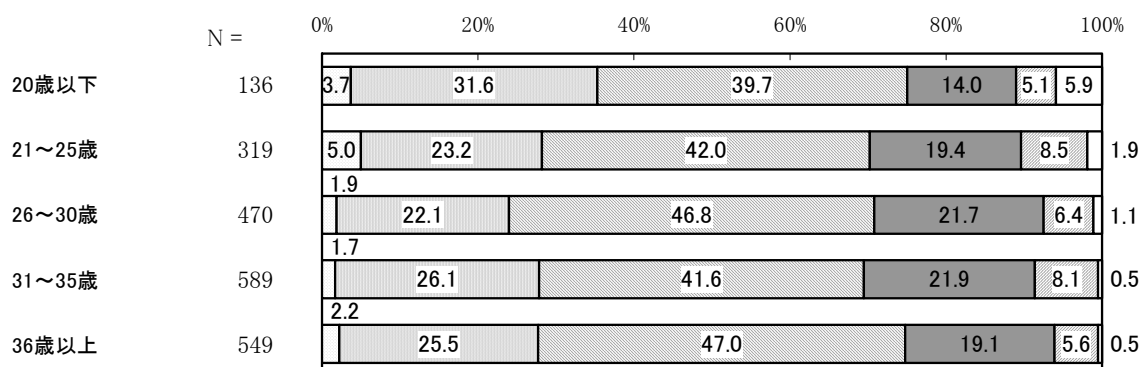
F 7. 現在、経済的には、あなたの生活のレベルについてどのように感じていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「ふつう」の割合が最も高く 43.4%、次いで「まあまあ豊かである」の割合が 24.6%、「やや苦しい」の割合が 20.3%となっています。

【性別】



【年代別】



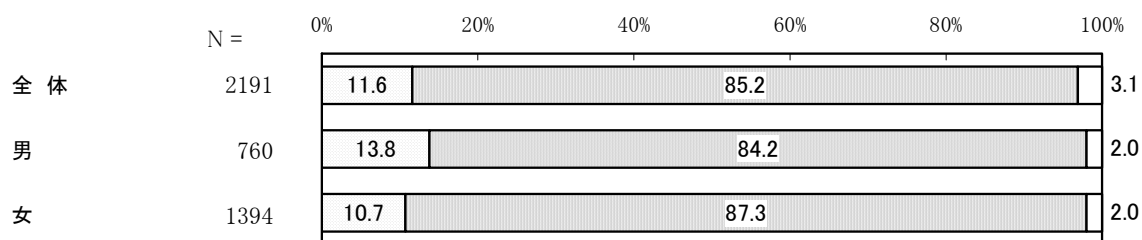
F 8. あなたが卒業した、もしくは現在通っている学校についておたずねします。

(1) あなたは現在学校に行っていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

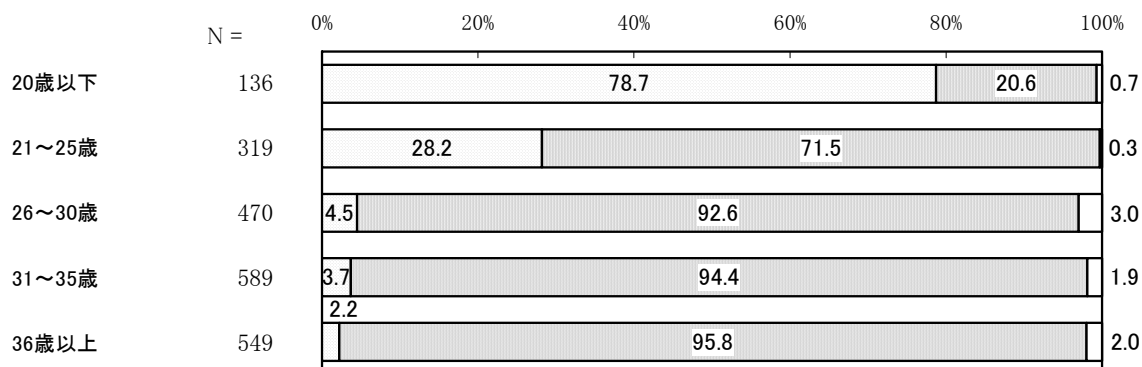
全体にみると、「学校に行っている(休学中を含む)」の割合が 11.6%、「学校に行っていない」の割合が 85.2%となっています。

【性別】

☐ 学校に行っている(休学中を含む) ☐ 学校に行っていない ☐ 無回答



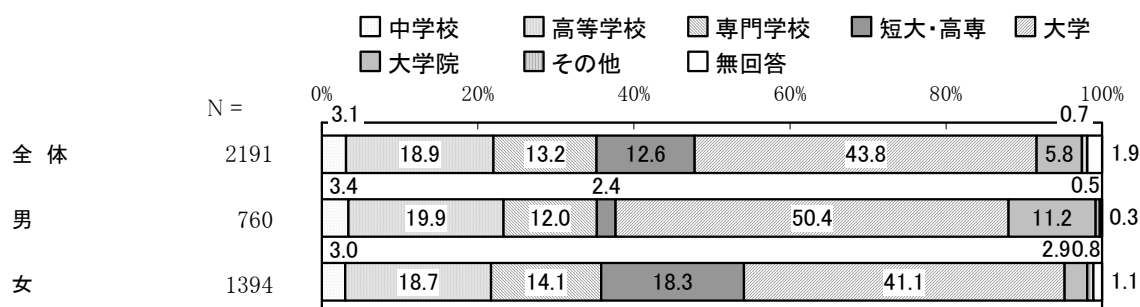
【年代別】



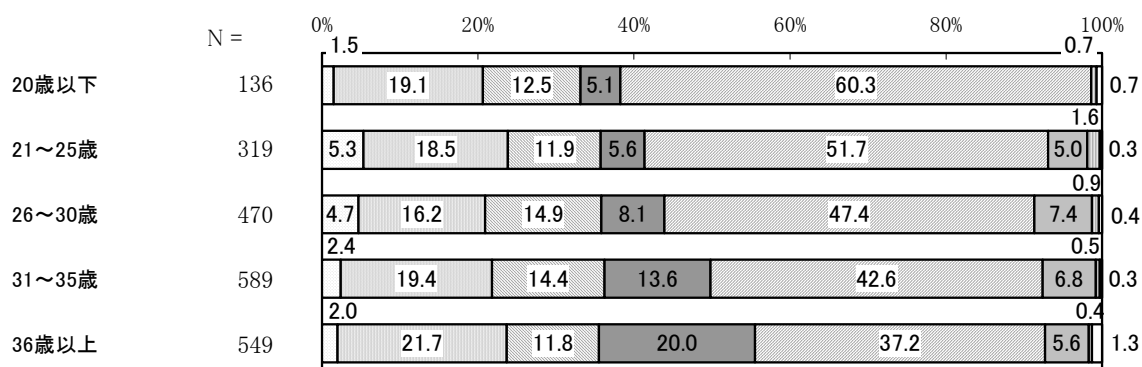
(2) あなたが最後に卒業した学校、もしくは現在通っている学校を次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「大学」の割合が最も高く 43.8%、次いで「高等学校」の割合が 18.9%、「専門学校」の割合が 13.2%となっています。

【性別】



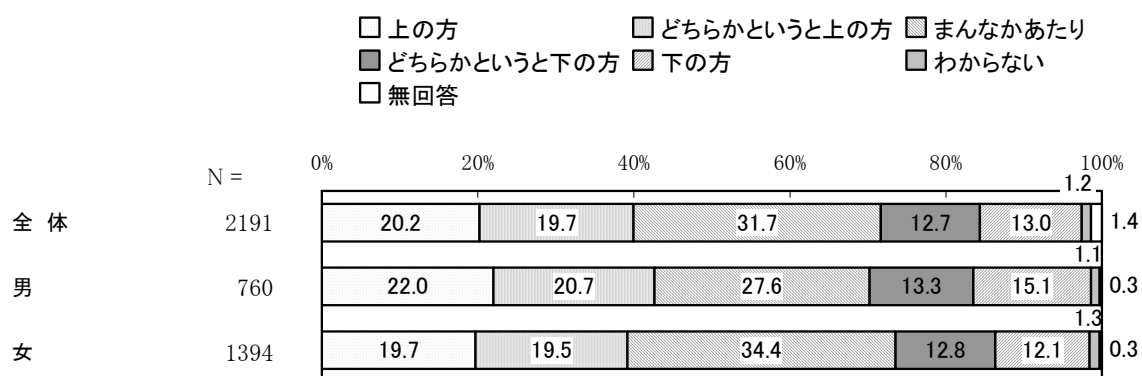
【年代別】



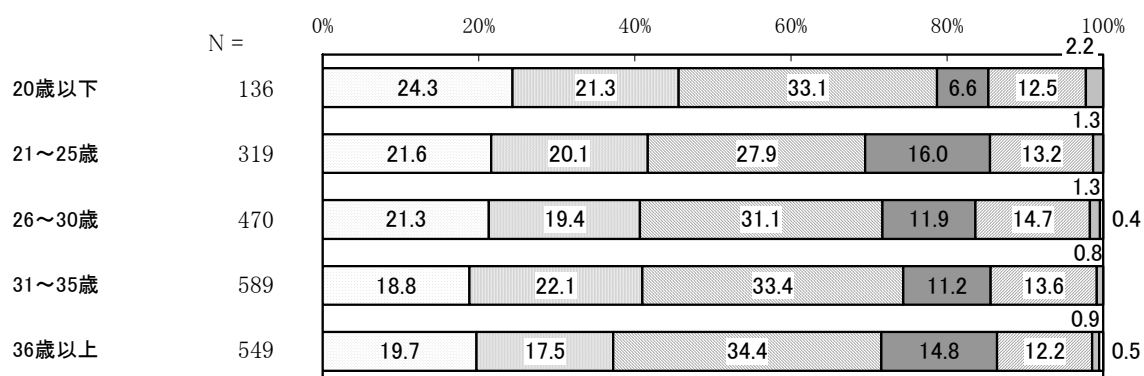
F 9. あなたが中学3年生の頃、学校の成績はどうでしたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「まんなかあたり」の割合が最も高く 31.7%、次いで「上の方」の割合が 20.2%、「どちらかという上の方」の割合が 19.7%となっています。

【性別】



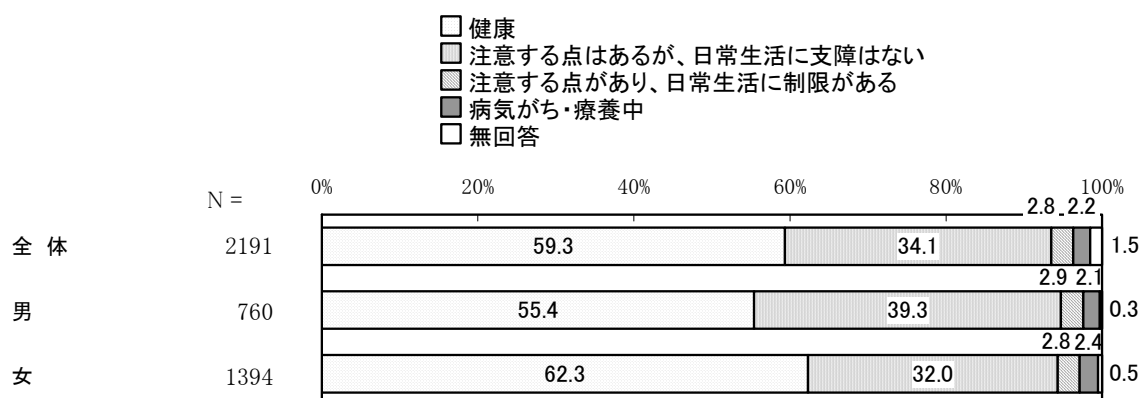
【年代別】



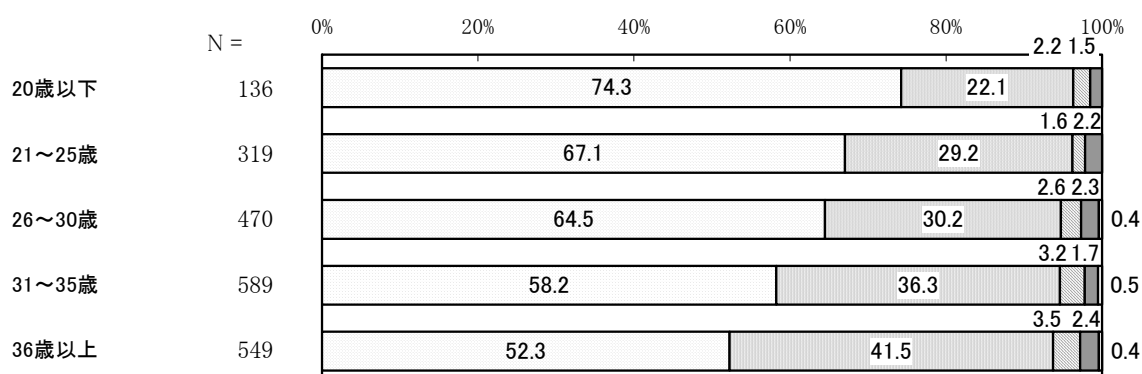
F 10. 現在のあなたの健康状態はどうか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「健康」の割合が最も高く 59.3%、次いで「注意する点はあるが、日常生活に支障はない」の割合が 34.1%となっています。

【性別】



【年代別】

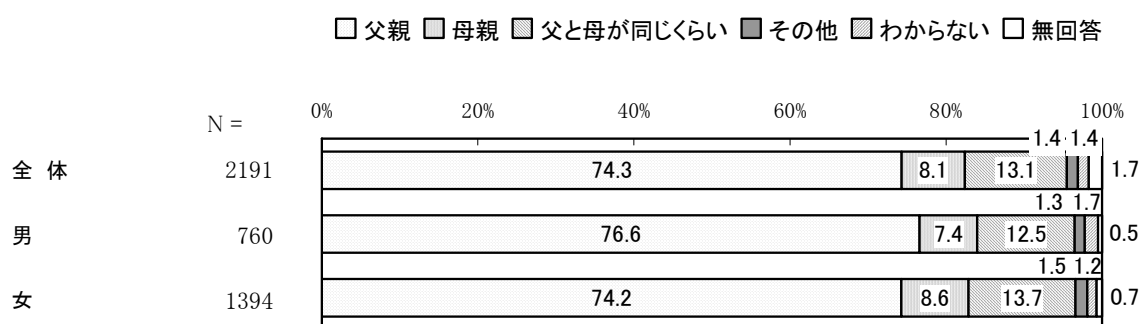


F 11. あなたが中学３年生の頃の「あなたの家庭の暮らし向き」についておたずねします。

(１) 主に家計を支えていた方は誰でしたか。次の中から１つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「父親」の割合が最も高く 74.3%と、次いで「父と母が同じくらい」の割合が 13.1%となっています。

【性別】



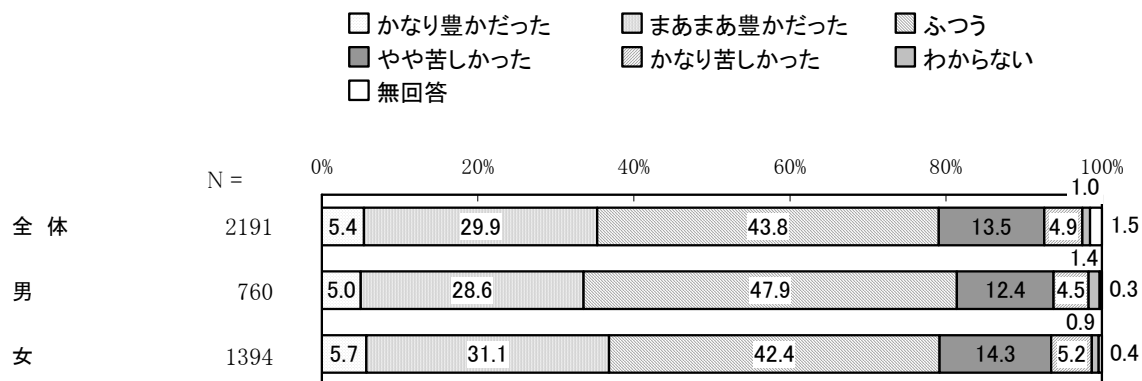
【年代別】



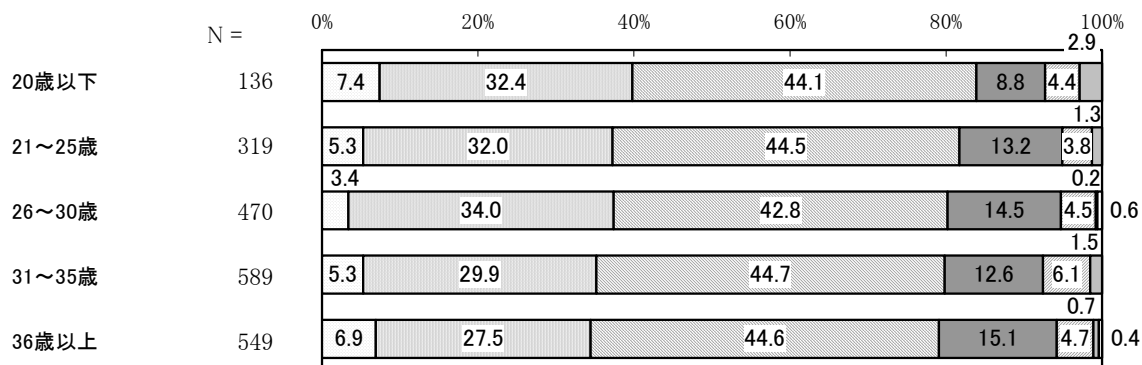
(2) 経済的には、「中学3年生の頃のあなたの家庭の暮らし向き」はどの程度だったと思われますか。
次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体にみると、「ふつう」の割合が最も高く 43.8%、次いで「まあまあ豊かだった」の割合が 29.9%、「やや苦しかった」の割合が 13.5%となっています。

【性別】



【年代別】



5 自由意見

すべての若者がいきいきと自立した生活をおくれる社会になるために必要だと思われることを自由にお書きください。

(1) 行政への要望 (416 件)

- ・働いている若者への金銭的支援をしてほしい。
- ・小さい頃から社会に触れる機会を設けてほしい。
- ・労働条件が少しでも良くなるように支援をしてほしい。
- ・大型施設ばかり作らないでもっと福祉的弱者に援助してほしい。
- ・低所得者からの税金など若者の負担を軽くしてほしい。
- ・若者の不満や意見を積極的に受け止める社会システムや夢やあこがれがうまれるような機会をできるだけ多く提供することが必要だと思います。
- ・社会に出てから、一般常識とされる事が改めて学ぶことができる場があるとよい。
- ・貧富の差が学歴の差とならないように行政の支援が充実してほしい。海外留学の支援もあるとよいです。
- ・県や市から受けられる支援について、何があって何が受けられるのか、とても分かりにくいです。なんとか工夫して分かりやすく制度を知る機会がほしいです。
- ・多少、税金が高くてもいいので、便利で親しみやすい市政をお願いします。
- ・若者しか受けられないサービスを作るべきだと思います。具体的には言えませんが、名古屋は老人やOBが幅をきかせており、彼らのためにお金が使われている印象が強いです。
- ・北欧のように消費税が高くても、老後、安心して暮らせるような社会にしてほしいです。
- ・両親、知人以外にも悩み事を相談できる場所が、今後ますます増えることが大事だと思います。
- ・公共事業等、職に悩む者に向けて職の提供を望みます。
- ・医療制度の見直しをして欲しい。一生を抱える病気患っているが、医療費の負担が苦しい。
- ・若者達が意識を変えないと良い社会は作れないと思います。国、市が先頭になって意識が変わる事業をしてほしいです。
- ・子どもがいる家庭の生活の助成金が減っているのはどうかと思います。
- ・少子高齢化対策につきると思います。
- ・高卒の未成年が自立して生活できるように1人暮らし支援制度があったらと思う。
- ・社会保障に対する不安を取り除く必要があると思います。自分も含め、今の若者は、支給されるかもわからない年金を払っています。そのため自分がいったい、いくつまで仕事をしなければならないのかという不安があります。
- ・若者のためだけの政策を行っても絶対に上手くいきません。現在の市町村政策に求められているのは全ての世代にとって悪影響を及ぼさないものです。
- ・女性、男性が共に働きながらも家庭生活を営めるような仕組みをさらに整備してい

くことが必要だと思います。

- ・待機児童問題。共働きが主流の社会において子供を預けられないから、働けない人をなくすべきです。
- ・気軽に様々な人と交流できる場を提供することを望みます。
- ・もっと名古屋市に人が来るように改革すべきである。他県のように目立った観光スポットがなく、若者が寄り付かない原因の1つです。
- ・アルバイト、パートどちらにせよ何年か継続して就労しているならば時給をあげたり、正社員に引き上げることを市として義務付けてほしいです。
- ・やはり就活支援。将来の不安がなく、毎月きちんと仕事をして、収入を得られることが大事。正社員になれるか、なれないかは大きな問題です。
- ・不妊治療の補助をもっと充実させてほしいです。
- ・昔より遊ぶ範囲が狭くなり、自宅でしか遊べない環境になってきているので、外の遊び場があった方がよいと思います。
- ・生活保護など金銭面の支援だけでは駄目だと思います。自立できない人にとって定期的に金銭がもらえるようになるとさらに自立が難しくなると思います。
- ・親の経済的差異によって生じる子の学歴格差の是正してほしいです。
- ・悩んだときに、サポートしてくれる場所やものを提供してもらえることが必要だと思います。
- ・内需拡大して雇用を増やし、賃金を上げる。少子化対策のため、子ども手当など補助をする。社会福祉関連費を減らすため、高齢者就労支援や医療費を抑制し、その分会社の若者雇用補助金として支給してほしいです。
- ・行事、講座などで、やりたいことを見つけられる、やりたい事を斡旋してくれるような場所の提供をしてほしいです。
- ・若者向けの集合住宅を建設や港区の端の方まで電車を通してほしいです。
- ・すべての若者が生き生きと自立した生活を送れる社会になるためには、若者が様々なことにチャレンジできるような環境を作っていくことが必要だと思います。
- ・カウンセラーおよびカウンセリングを受けられる施設の増員と、さらなる普及が必要だと思います。
- ・医療と年金システムの見直しが必要だと思います。誰でも充実した医療を受けられるよう、医療費の改善や、医療職者の人員確保が必要です。年金制度には、今の若者も将来、安定した年金が支払われるよう、制度の改革を求めます。
- ・コミュニティーセンターなどで、若者向けの講座を増やしてほしいです。趣味の延長という傾向よりは、就職にも役立つと助かります。
- ・京都市では院卒者という区分があり、学生が多い都市ならではの学生への就職口の確保を行っている。名古屋でも大学が多いので、是非取り入れてほしいです。
- ・一般的な支援（ハローワーク・就職支援）については聞いたことがありますが、若者向けの支援というのがどういう種類のものか、そもそも認知度が低いような気がします。
- ・仕事に役に立つ特技・技能を1つでも身につけられるような施設があってもよいと思います。

- ・実現可能な目標を持って仕事に励めれるように、教育および就労のサポートを行ってほしいです。
- ・十分な福利厚生を受けることできる職場に安定してつくことができるようにしてもらいたいことを望みます。
- ・高齢化社会ではあるけれど、社会、福祉は高齢者に目を向けすぎている気がします。
- ・このアンケートの意味は何でしょうか。これに基づいて名古屋市は何に活かしていくのでしょうか。

(2) 家庭、家族 (57 件)

- ・子供の頃の家庭環境が大事だと思います。
- ・より多くの若者が自立した生活を送れる社会になるためには、社会という大きな枠よりも家庭（その若者の親）の再教育も大切ではないかと思います。
- ・過保護親も大切ですが、自立できるように子供のころから自分の意見を持ち、なんでも積極的に挑戦できる場を作るべきだと思います。
- ・幼少期～思春期までに家族の時間を多く持つことが必要だと思います。
- ・人と人とのつながりを昔の様に密にする。平凡でも家族との時間を大切にすることが必要だと思います。
- ・親が、子供のことが心配なのはわかりますが、干渉はほどほどにしておいたほうがいいと思います。あと、家庭で安らげる場所が必ずあったほうがよいと思います。
- ・幼少期や思春期を両親と仲の良い家庭で育つ事は大切なことだと思います。
- ・本人のやる気と自覚がないと自立した生活は難しいと思います。そのためには学校等でも指導は必要だと思いますが、まずは家庭の教育力が一番大切で必要ではないでしょうか。
- ・家庭円満、家族円満であることが大前提の上で、その中でやしつけや教育を、親が子供に対して、責任を持って行うことが大事だと思います。
- ・親はかわいい我が子であってもある程度大人になれば、つきはなすくらいが丁度よい。子供の頃から色々経験して(友人関係等)ストレスに強くなり、感情をコントロール出来るようにならないといけないと思います。

(3) 社会・地域に求めること (26 件)

- ・地域の中で仕事以外に横の関係が作れるような活動かイベントの充実が必要だと思います。
- ・小さい頃からたくさんの人に愛されて、いけない事はいけないと注意されながら、自由にのびのびと育っていくように、周りの大人が環境作ったり、関わったりすることが必要だと思います。
- ・社会、周りの人に貢献したいと思うようにする。そのためには、地域活動を活発に行い、自分が地域とつながっていることを意識できるようにする。自分が生きている目的をそういった中から考えられると生き生きと生活を送れるのではないのでしょうか。
- ・自分が若いときに年齢の上の人と話をしているいろいろ学べ、教わるが多かったの

で、年のはなれた人と話しをしたり、聞いたり、相談したり、同じ年代だけでなくコミュニケーションが必要だと思います。

- ・社会の中では、さまざまな人が、一人一人違った考えや価値観を持って共に生活しているということを知ることが必要だと思います。
- ・家に引きこもっている人が心を開ける場所がネット上だけではなく、外で生身の人間と話たりするコミュニティに連れ出したりできたら良いと思います。
- ・いつからでも再出発できるような機会、仕組みを望みます。
- ・色々な年代の方と話すことにより昔と今の違いを知りそれぞれの良さ、悪さを自分で考えることができるようになることが大切だと思います。
- ・会社と学校を自由に行き来できるような社会が必要だと思います。

(4) 教育・学校 (124 件)

- ・自分で人生の目標、大切なものなどを見る目をやしなえるような教育が必要です。
- ・ゆとり教育を廃止するべきだと思います。
- ・生き抜く精神的強さ、思いやり、道徳心、社会貢献の教育をしっかりすべきです。
- ・子供が通っている小学校の担任の先生など、子供に対して問題発言が多く子供達は戸惑いを感じています。先生達に対する指導をきちんとしていただきたいと感じます。
- ・教師が、親や子供や若者に対してダメなことはダメだといえる環境になればよいと思います。
- ・コミュニケーション能力の向上、子供のころから自分の気持ちを上手に伝えることができるように教育していくべきだと思います。
- ・学歴またはそれ相当の知識をつけて仕事に就けると豊かな暮らしを得ていきいきと自立した生活をおくれると思います。
- ・小学校や中学校の教育の中に将来の仕事についての授業があったら良かったなと何度も思ったことがあります。
- ・夢や志を持って社会の一員として、自立する為には、義務教育の時点からの教員の増加、教員の地位向上、教員の社会人としての教育向上が（モラル向上）大切だと思います。
- ・音楽、美術、様々なメディアに通ずる情報教育、スポーツなどを含めて選択肢として子どもたちに提示し、自分の興味、得手不得手がどこにあるのかを認識できるような教育を行うことが自己決定能力や自己肯定感を高められるのだと思います。
- ・学校教育をもっと豊にするべきだと思います。例えば理科の実験や社会見学、就業体験など、様々な体験をすることで色々な世界が見えてくるし、豊かな感情や考えが育つと思います。
- ・いじめ問題についてもっと積極的に取り組んでほしいです。
- ・自己肯定感が得られるような教育として、知識偏重ではなく、人間性を大切にした教育など人を育てる教育を大切にすることが必要だと思います。
- ・小学校、中学校、高校に、それぞれ生徒がいじめや、進路の事等を気軽に相談できるカウンセラーがいてほしいです。

- ・学校はバイト禁止などせず、むしろすすめるべき。若いうちに、社会を知っておけば、将来の自分のイメージも得れますし、卒業後の展望なども自主的に考えていくようになるのではないのでしょうか。
- ・自然に触る事、外で遊ぶ事、活動する事が重要です。無機質な物に触れる事架空（ネット）の世界に依存するのではなく、山、海、緑、空気、植物などに触れ感じる事ができる子どもを幼い時期から大切に伝えていくことが若者の成長に大きく関わると思います。
- ・「これが正しい」「こうあるべき」という概念を押し付けるような風潮や教育をなくすべきだと思います。
- ・机上の学びではなく、実際に自分の手と足を使って何かを体験、経験する機会がもっとあればと思います。

（５）企業、会社（160 件）

- ・働くことでのやりがい、挫折・苦痛すべて逃げずに経験すべきです。
- ・やりがいのある会社と上司づくりからはじめなければ今後の若者はやる気を出さないと思います。
- ・大卒の方が給料や待遇が良いという社会の改善を望みます。
- ・賃金を上げて、経済的に豊になれば、気持ちも明るくなり、いきいきと自立した生活が送れるのではないのでしょうか。
- ・正社員として働ける場所（会社）を増やしてほしいです。
- ・高齢者雇用の優遇よりも若年層雇用の優遇を充実させてほしいです。現状では企業としては高齢者を雇うメリットの方が大きいですが、未来につながりにくい。又、技術経験の無い若年層の方がより実地での場数が必要と感じます。
- ・派遣や契約社員で採用する所が多く、正社員だと競争率が高く、年齢が若い人が採用されます。全員が選択できる雇用契態につけるようにすることが、今後必要だと思います。契約社員や派遣社員が増えると、将来、収入の少ない人が多くなるので不安です。
- ・まずは雇用の安定が第一です。少子化対策などといいながら、日本の企業風土は妊婦やまだまだ小さい子どもを育てながら、働くことに対する理解に乏しいと思われるます。

（６）その他（570 件）

- ・若者がいきいきと自立した生活を送る社会になる為に必要なことは、経済的な事だけでなく、趣味や生きがいに夢中になっていて、輝いている日本人の大人が 1 人でも多く増えてくれることが必要です。
- ・自分に厳しく生きる事、甘えないことだと思います。
- ・他人とのコミュニケーションをうまくとれる事が必要だと思います。
- ・小さいことでも大きいことでも自分で考えた目標に対して動くことが必要だと思います。

- ・自分の生活は自分で責任を持つ。仕事がないといわれるが、探せばいくらでもあるはずです。
- ・自分の意見を持ち述べられるようになるまで、出来るだけ多く色々な体験を試みる。社会は自分達で構築していこう。
- ・仕事や学校にやりがいを感じる事、収入を得られる喜びを感じる事、自分一人で生活、自立することへの憧れを持つことが必要だと思います。
- ・親元を早めに離れて自分の力で生活していくことが結婚につながり、子供を授かる為の近道だと思います。
- ・すべての若者がいきいきと、というのは難しいと思うが、人生において何か目標となる人に会えると、「私もこうなりたい」と思えて頑張れるのではないかと思います。
- ・引きこもらず、何らかの形で社会参加をする努力を個人個人で行うことだと思います。
- ・目標を持つことで、勉強したり仕事をする事によってその目標が達成できた時の満足感を味わうとまた次も頑張れると思います。
- ・税金を納めるのも、健康ありきです。自分の子供、日本の子供達にしっかりと自立してもらい、日本を背負ってもらう為に、まず健康な大人である事を一番に望んでいます。
- ・人はそれぞれいきいきと自立した生活の定義は違うので、その様な生活をおくれる社会というものを作るのには難しいと思います。

Ⅲ 資料（調査票）

名古屋市から

5年に一度の大切な調査です。ぜひ、ご協力ください。

「平成25年 若者の意識・生活実態調査」ご協力のお願い

名古屋市子ども青少年局子ども未来課

本市では、「なごや子ども条例」に基づく『子どもに関する総合計画』第2期計画の策定作業を進めておりますが、この計画は“子どもの育ちから若者の自立”までを連続性を持って支えていくことを目指す計画となっています。そこで、この計画策定の基礎資料として活用することを目的として「若者の意識・生活実態調査」を実施させていただきます。

アンケートは、市内にお住まいの18歳から39歳までの方（平成25年4月1日現在）から無作為抽出で選ばし、送付させていただきました。（平成22年に国の若者育成支援推進本部が決定した「子ども・若者ビジョン」で39歳までの方を若者すると定義されています。）

ご回答いただいた調査内容は、統計データとして処理します。また、**無記名**でご回答いただくため、お答えいただいた方のプライバシーは守られ、個人の情報が漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ございません。つきましては、ぜひ、本アンケートにご回答の上、ご返送いただきますようご協力をお願いいたします。

アンケートについて

- 回答は、「あてはまる番号を○で囲んでいただくもの」と、「記述していただくもの」とがあります。
- この調査では質問に順番にお答えいただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、各問の指示に従って進んでいってください。なお、できる限りすべての質問に回答をいただきたいですが、あなたが回答したくない質問については、無理に回答していただくなくても結構です。
- ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、11月22日（金）までに、郵便ポストに入れてください。切手を貼る必要はありません。
- 封筒・アンケートともに、**お名前を記入していただく必要はありません**ので、個人情報が増えることはありません。

名古屋市子ども青少年局子ども未来課（担当 三宅・東）

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話（052）972-3971 FAX（052）972-4437

1 あなたの生活のことについてお聞きします。

問1 あなたは、親元を離れて生活したことがありますか。

① はじめに、下の選択肢より、 <u>あてはまるもの1つに○をつけてください。</u>	② 引き続き、①であなたが○をつけた選択肢の続き(右側)の質問に、もれなく回答してください。
1. 親元を離れて生活したことはない 	●将来、親元を離れて生活したいですか？ 1) 離れて生活したいとは思わない 2) どちらともいえない 3) 離れて  何歳ごろまでには親元を離れたいですか ()歳
2. 親元を離れて生活したことがある／現在離れて生活している 	何歳の時に親元を離れましたか ()歳

問2 あなたの経済状況についておうかがいします。

(1) 現在、あなたは親から経済的に独立していますか。

「経済的に独立している」とは、自分の生活に必要なお金を親の援助に頼るのではなく、だいたい自分(または配偶者)で得ている状態をいいます。(親と同居している場合も前述の状態であれば、「現在独立している」と回答して下さい。)

① はじめに、下の選択肢より、 <u>あてはまるもの1つに○をつけてください。</u>	② 引き続き、①であなたが○をつけた選択肢の続き(右側)の質問に、もれなく回答してください。
1. 現在独立している 	何歳の時からですか ()歳
2. 独立していた時期があった(現在は独立していない) 	何歳の時でしたか ()歳～()歳
3. 独立していない 	●将来、経済的に独立したいと思いますか？ 1) 経済的に独立したいとは思わない 2) どちらともいえない 3) 経済的に独立したい ()歳ごろまでに

(2) (1)に「2. 独立していた時期があった(現在は独立していない)」、「3. 独立していない」と回答された方は以下の①～②の質問にお答えください。

①現在、経済的に独立できていない理由は何ですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 大学や専門学校に在学中のため	8. 経済的に独立する必要性を感じていないため
2. 希望の職業に就くために勉強中のため	9. 心身に障害があるので働けないため
3. 正社員で働いているが収入が少ないため	10. 体調が悪いので働けないため
4. 正社員でないので収入が少ないため	11. 借金(奨学金)の返済があるため
5. 正社員でないので収入が不安定なため	12. その他(具体的に)
6. 就職を希望しているが就職できないため	13. わからない
7. 働く自信がないので働いていないため	

②次の中で、経済的に独立するためにあなたが必要だと思う支援すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 就職先を紹介する支援 | 7. 進学のための奨学金 |
| 2. 仕事に役立つ技能・資格を身につけるための支援 | 8. 資格取得のための経済的支援 |
| 3. 就職ができるまで指導、アドバイスする支援 | 9. その他（具体的に |
| 4. 簡易な仕事などの就労体験の場の提供 | 10. 特に必要ない |
| 5. カウンセリングなどの相談支援 | 11. わからない |
| 6. 就労支援をしている機関の情報提供 | |

問3 あなたの仕事についておたずねします。

(1) あなたは、現在働いていますか（アルバイト等も含む）。次の中から1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------------|-------------|
| 1. 働いている | 2. 働きたいが就職できない | 3. 働くつもりはない |
|----------|----------------|-------------|

(2) (1)に「1. 働いている」と回答された方は以下の①～⑥の質問にお答えください。

①あなたの現在の働き方（雇用形態）について次の中から1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 正規の社員・従業員 | 4. 自営業・自由業・家族従業員 |
| 2. 派遣や契約の社員・従業員 | 5. 内職 |
| 3. パート・アルバイト・フリーター | 6. その他（具体的に |

②あなたの現在の職種について次の中から1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| 1. 管理的職業 | （会社の経営者・役員、企業・官公庁の課長以上の管理職） |
| 2. 事務的職業 | （一般事務、総務、営業、庶務、経理、秘書など） |
| 3. 販売的職業 | （販売店員、レジ係、販売外交員、仕入れ、仲買人など） |
| 4. サービス的職業 | （ウェ이터、旅行ガイド、調理、美容・理容、ホテル客室係など） |
| 5. 生産・技能的職業 | （工員、建設作業員、大工、自動車整備、食品加工など） |
| 6. 専門・技術職 | （医師・看護師、弁護士、税理士、教師、幼稚園教諭、技術者など） |
| 7. 運輸・通信的職業 | （運転手、郵便配達、通信士など） |
| 8. 保安的職業 | （警察官、自衛官、消防署員、ガードマンなど） |
| 9. 農業・漁業・林業 | |
| 10. その他（具体的に | |
| 11. わからない | |

③あなたの現在の仕事は、最後に学校を卒業した後いくつめの仕事ですか。具体的な数字をお答えください。

	(例) 現在、A社に勤務し、その前にB社、C社に勤めた経験があれば、 3と記入してください。
--	---

④あなたが現在の仕事に就いたのはいつですか。具体的な数字をお答えください。

平成	年	月
----	---	---

⑤あなたの平均的な1ヶ月の就労時間はだいたいどの程度ですか。具体的な数字をお答えください。

ア 就労時間 (残業含む)	時間	イ 残業時間 (アに含む時間)	時間	ウ サービス残業時間 (ア、イに含む時間)	時間
------------------	----	--------------------	----	--------------------------	----

⑥-1 あなたは現在の仕事に満足していますか。

1. 満足している	2. だいたい満足している	3. あまり満足していない	4. 満足していない
-----------	---------------	---------------	------------

⑥-2 ⑥-1に「3. あまり満足していない」、「4. 満足していない」と回答された方におたずねします。
次の中から満足していない理由すべてに○をつけてください。

1. 給料が安い	7. 正社員でない	13. 仕事の内容が自分に向かない
2. ボーナスが少ない(出ない)	8. 雇用期間が短い	14. 仕事にやりがいがない
3. 残業が多い	9. 仕事が肉体的に厳しい	15. 仕事を通じて成長できない
4. 残業手当がつかない	10. 仕事が精神的に厳しい	16. 職場の人間関係が悪い
5. 休みが少ない	11. ノルマが厳しい	17. その他
6. 休日出勤が多い	12. 会社の将来性が不安	(具体的に)

問4 あなたには仲のよい友達は何人いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. 1人	2. 2人	3. 3～5人	4. 6～10人	5. 11人以上	6. 仲のよい友達はいない
-------	-------	---------	----------	----------	---------------

問5 あなたは、現在結婚されていますか。

① はじめに、下の選択肢より、あてはまるもの1つに○をつけてください。	② 引き続き、①であなたが○をつけた選択肢の続き(右側)の質問に、もれなく回答してください。
1. 結婚していない	⇒ ア 現在、恋人はいますか？ 1) いない 2) いる ⇒ イ 将来結婚したいですか？ 1) 結婚したいとは思わない 2) どちらともいえない 3) 結婚したい ⇒ 何歳ごろまでには結婚したいですか ()歳
2. 結婚している	結婚されたのは何歳のときですか ()歳
3. 結婚したことはないが、親密な相手(パートナー)と同居	何歳のときから同居されていますか ()歳
4. 離婚・死別して現在は独身	⇒ ア 何歳のときに離婚もしくは死別されましたか ()歳 ⇒ イ 現在、恋人はいますか？ 1) いない 2) いる ⇒ ウ 将来再婚したいですか？ 1) 再婚したいとは思わない 3) どちらともいえない 2) 再婚したい

① はじめに、下の選択肢より、<u>あてはまるもの1つに○をつけてください。</u>	③ 引き続き、①であなたが○をつけた選択肢の続き（右側）の質問にもれなく回答してください。
1. 子どもはいない	将来、子どもが欲しいですか？ 1) 子どもが欲しいとは思わない 2) どちらともいえない 3) 子どもが欲しい 何歳ごろまでには () 歳 子どもが欲しいですか
2. 子どもがいる	1 番上と 1 番下のお子さんの年齢をご記入ください (お一人だけの場合には、1 番上の子どもの欄にご記入ください) 1 番上の子ども → () 歳 1 番下の子ども → () 歳

(1) あなたはふだんの程度外出しますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 仕事や学校に行くため定期的に外出する 4. 人づきあいのために頻繁に外出する
2. 遊びや用事で頻繁に外出する 5. 人づきあいのためにときどき外出する
3. 遊びや用事でときどき外出する 6. 外出は避けている

(2) (1)で「6. 外出は避けている」と回答された方は以下の①～④の質問にお答えください。

1. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	3. 自室から出るが、家からは出ない
2. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	4. 自室からほとんど出ない

歲頃

1. 6ヶ月未満	3. 1年以上3年未満	5. 5年以上7年未満
2. 6ヶ月以上1年未満	4. 3年以上5年未満	6. 7年以上

1. 学校へ行くのがいやになった	6. 失恋をした（離婚をした）
2. 受験に失敗した	7. 人と接するのが嫌になった
3. 就職活動に失敗した	8. 病気になった（ア. 身体的疾患 イ. 精神的疾患）
4. 職場になじめなかった	9. 妊娠・出産
5. 仕事で失敗をした	10. その他（具体的に

2 あなたの子どもの頃のことや関連することについてお聞きします。

問8 子どもの頃のあなたとご両親との関係はだいたいどのようでしたか。

(1) お父さんとの関係について、ア～カそれぞれのあてはまる数字に○をつけてください。

	よく あった	ときどき あった	あまり なかった	ほとんど なかった
ア. 悩みごとなどを相談した	1	2	3	4
イ. 生活態度を注意された	1	2	3	4
ウ. あなたの立場に立って、物事を考えてくれた	1	2	3	4
エ. 勉強をするよう注意された	1	2	3	4
オ. 夕食をいっしょに食べた	1	2	3	4
カ. いっしょに買い物に出かけた	1	2	3	4
お父さんがいなかった場合は右の欄に○をつけてください				

(2) お母さんとの関係について、ア～カそれぞれのあてはまる数字に○をつけてください

	よく あった	ときどき あった	あまり なかった	ほとんど なかった
ア. 悩みごとなどを相談した	1	2	3	4
イ. 生活態度を注意された	1	2	3	4
ウ. あなたの立場に立って、物事を考えてくれた	1	2	3	4
エ. 勉強をするよう注意された	1	2	3	4
オ. 夕食をいっしょに食べた	1	2	3	4
カ. いっしょに買い物に出かけた	1	2	3	4
お母さんがいなかった場合は右の欄に○をつけてください				

問9 あなたのご両親の最終学歴についておたずねします。

(1) お父さんが最後に卒業された学校は次のどれですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|-------|--------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 専門学校 | 4. 短大・高専 | 5. 大学 | 6. 大学院 |
| 7. わからない | | | | | |

(2) お母さんが最後に卒業された学校は次のどれですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|-------|--------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 専門学校 | 4. 短大・高専 | 5. 大学 | 6. 大学院 |
| 7. わからない | | | | | |

問10 あなたのお母さんは、結婚・出産後も働いていらっしゃいましたか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1. 結婚・出産後も仕事を続けていた | 5. その他（具体的に |
| 2. 子どもがある程度大きくなってから再就職した | 6. 母はいなかった |
| 3. 結婚や出産で仕事をやめ、以後専業主婦だった | 7. わからない |
| 4. 働いたことはない | |

問 11 ご近所の方との関係についておたずねします。(1)～(3)の質問にあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

(1) 小学生・中学生の頃、近所の大人からほめられた経験はどの程度ありますか。

- | | | | |
|----------|------------|------------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. あまりなかった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|------------|-------------|

(2) 小学生・中学生の頃、近所の大人から注意されたり、しかられた経験はどの程度ありますか。

- | | | | |
|----------|------------|------------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. あまりなかった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|------------|-------------|

(3) 最近、ご近所の方と世間話をすることがありますか。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 1. よくする | 2. ときどきする | 3. あいさつ程度 | 4. まったくない |
|---------|-----------|-----------|-----------|

問 12 小学生・中学生の頃に、次のア～ウのような「大人」の人はいましたか。いた場合、それぞれ2つまで選んでください。誰もいなかった場合には、「7. いなかった」の欄に○をつけてください。

(注：メディア→テレビやラジオ等で相談したり、テレビなどに出ている大人が目標となった場合)

	家庭	学校	塾 予備校	地域 近隣	メデ ィア	その他	いな かった
ア. 自分の悩みを打ち明けられた「大人」の人	1	2	3	4	5	6	7
イ. 自分の将来のことを話せた「大人」の人	1	2	3	4	5	6	7
ウ. 自分の目標やお手本となった「大人」の人	1	2	3	4	5	6	7

問 13 進学をしたときに、スムーズに環境になじめないなど苦労したことがありましたか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 小学校に進学するときにあった | 4. 大学に進学するときにあった |
| 2. 中学校に進学するときにあった | 5. いずれもなかった |
| 3. 高校に進学するときにあった | 6. 覚えていない |

問 14 これまでに（現在、子どもがいる方は、子どもが生まれるまでに）小さな子どもと触れ合ったり、子育てについて学ぶ機会がありましたか。次の中から 1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. たくさんあった | 3. あまりなかった |
| 2. 少しあった | 4. まったくなかった |

問 15 小学生・中学生の頃に次のア～コのような体験をしましたか。それぞれあてはまるものに○をつけてください。

	よく あった	ときどき あった	あまり なかった	ほとんど なかった
ア. 自然の中で遊ぶ体験	1	2	3	4
イ. 地域の行事に参加する体験	1	2	3	4
ウ. スポーツをする体験	1	2	3	4
エ. 友だちと遊ぶ体験	1	2	3	4
オ. いじめられた体験	1	2	3	4
カ. 1ヶ月以上学校を休んだ体験	1	2	3	4
キ. 1ヶ月以上家から出なかった体験	1	2	3	4
ク. 放課後を家でひとりで過ごした体験	1	2	3	4
ケ. 保護者が不在のため、放課後を継続的に 家以外で過ごした体験	1	2	3	4
コ. 長期の休みにひとりで外泊した体験	1	2	3	4

3 あなたの考えなどについてお聞きします。

問 16 次の中から、あなたができると思うものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 自分の意見を人にうまく説明する | 8. 自分の気持ちを自分でコントロールする |
| 2. 簡単な食事を自分で作る | 9. インターネットで目当ての情報をすばやく調べる |
| 3. 自分の部屋や家の掃除・片づけをまめにする | 10. パソコンやワープロで文章を作成する |
| 4. 落ち込んだ友人を励まし、元気づけてあげる | 11. パソコンやインターネットの設定をする |
| 5. よく知らない人とも自然に会話する | 12. 自分でウェブサイトを作成する |
| 6. 相手の気分を害せず、相手の要求を断る | 13. パソコンのプログラムを組む |
| 7. 自分の生活に必要なことは自分で判断する | 14. 以上のなかには、あてはまるものはない |

問 17 次の中から、あなたがふだんから考えたりやったりしていることすべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 1. 周囲に迷惑をかけている人がいれば注意する | 5. 自分の一生にかかわることは、自分の力できちんと判断することができる |
| 2. 法に触れなければ、たいていのことは許される | 6. 日本のために役立ちたい |
| 3. 社会の秩序を守るためには、多少嫌な思いをしても法に従わなければならない | 7. 名古屋市のために役立ちたい |
| 4. 周囲の意見に流されることなく、自分の意見をもつことができる | 8. 選挙のときは、必ず投票に行く |
| | 9. 以上のなかには、あてはまるものはない |

問 18 次の中から、ふだんのあなたにあてはまると思うものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------------------|
| 1. 何ごとにおいても自ら率先して行動する | 10. 今自分が打ち込んでやれる何かがある |
| 2. 失敗を思い出して暗い気持ちになる | 11. 毎日が単調でつまらない |
| 3. イライラして誰かにあたりたいと思う | 12. 見通しがつかない仕事でも積極的に取り組む |
| 4. 世の中に貢献できる力がある | 13. 自分の能力や適性をよく理解している |
| 5. 一日中家の中にこもって何もしない | 14. うまくいかないのではないかと不安になる |
| 6. 自分は何をやってもだめだと感じる | 15. 自分は世の中から取り残されている |
| 7. 友人より優れた知識のある分野がある | 16. これからどう生きていくかについて、具体的な考えや展望がある |
| 8. 積極的に活動するのは苦手だ | 17. 以上のなかに、あてはまるものはない |
| 9. 他の人とのつきあいがわずらわしい | |

問 19 あなたは次のア～ソの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。それぞれについて、あなたの意見に
もっとも近いものに○をつけてください。

	賛成	やや 賛成	やや 反対	反対
ア. 結婚したら子どもを持つのが当たり前だと思う	1	2	3	4
イ. 家族と対立しても、自分らしく生きるべきだ	1	2	3	4
ウ. 豊かでなくても気ままに暮らすのがよい	1	2	3	4
エ. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4
オ. 子どものうち誰か一人は、結婚しても両親と同居すべきだ	1	2	3	4
カ. 収入など条件は厳しくとも、やりがいのある仕事に就くべきだ	1	2	3	4
キ. 仕事がきつくて面白くなくても、しばらくは我慢して続けるべきだ	1	2	3	4
ク. 子の学歴は親の教育方針によってほぼ決まる	1	2	3	4
ケ. 学校を卒業したら、すぐ定職に就くべきだ	1	2	3	4
コ. 子どもが小さいうちは、母親が家庭で子の面倒を見るべきだ	1	2	3	4
サ. 息子と娘がいるときは、息子が親の面倒を見るべきだ	1	2	3	4
シ. 同じ大卒でも、どの大学を出るかによって人生が大きく左右される	1	2	3	4
ス. 結婚しても、配偶者(夫・妻)や家族とは別の、 自分だけの人生の目標を持つべきだ	1	2	3	4
セ. 男性も子育てに積極的に参加するべきだ	1	2	3	4
ソ. 結婚したら夫と妻で家事を公平に分担すべきだ	1	2	3	4

問 20 人生で経験する出来事についてのあなたの考えをおたずねします。

次のア～コの出来事を経験するのに「ちょうどいい年齢」は、男女それぞれについて、何歳ぐらいだと思いますか。男性と女性で、「ちょうどいい年齢」に違いがないと思われる場合は、同じ年齢を記入してください。

出来事	ちょうどいい年齢		
ア. 男性が親元を離れる	1. () 歳ぐらい	2. ちょうどいい年齢はない	3. わからない
イ. 女性が親元を離れる	1. () 歳ぐらい	2. ちょうどいい年齢はない	3. わからない
ウ. 男性の結婚	1. () 歳ぐらい	2. ちょうどいい年齢はない	3. わからない
エ. 女性の結婚	1. () 歳ぐらい	2. ちょうどいい年齢はない	3. わからない
オ. 男性が学校教育を終える	1. () 歳ぐらい	2. ちょうどいい年齢はない	3. わからない
カ. 女性が学校教育を終える	1. () 歳ぐらい	2. ちょうどいい年齢はない	3. わからない
キ. 男性が定職につく	1. () 歳ぐらい	2. ちょうどいい年齢はない	3. わからない
ク. 女性が定職につく	1. () 歳ぐらい	2. ちょうどいい年齢はない	3. わからない
ケ. 男性に、最初の子どもが生まれる	1. () 歳ぐらい	2. ちょうどいい年齢はない	3. わからない
コ. 女性に、最初の子どもが生まれる	1. () 歳ぐらい	2. ちょうどいい年齢はない	3. わからない

問 21 あなたが自分についてどう思うかおたずねします。

(1) 自分のことが好きですか。次の中から 1つ選んで ○をつけてください。

1. 好き	2. どちらかといえば好き	3. どちらかといえば嫌い	4. 嫌い
-------	---------------	---------------	-------

(2) 自分に自信がありますか。次の中から 1つ選んで ○をつけてください。

1. 自信がある	3. どちらかといえば自信がない
2. どちらかといえば自信がある	4. 自信がない

(3) 色々なことに積極的に挑戦できますか。次の中から 1つ選んで ○をつけてください。

1. 挑戦できる	3. どちらかといえば挑戦できない
2. どちらかといえば挑戦できる	4. 挑戦できない

問 22 あなたが現在、困っていることや悩んでいることがありますか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 仕事のこと | 6. 子どものこと | 11. 健康のこと |
| 2. 勉強のこと | 7. 就職、転職のこと | 12. その他 |
| 3. 生活のこと | 8. 収入のこと | (具体的に) |
| 4. 親との関係のこと | 9. 恋愛のこと | 13. 悩みは特にな |
| 5. 友人関係のこと | 10. 結婚のこと | |

問 23 あなたの相談相手についておたずねします。

(1) 過去1年くらいの間にあなたが、困っていることや悩みを相談した人はいますか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 親 | 10. インターネット上の知り合い |
| 2. 配偶者 | 11. インターネットの相談サイト |
| 3. 兄弟姉妹 | 12. 近所の人 |
| 4. 親戚の人 | 13. 医者、弁護士等の専門家 |
| 5. 学校の先生 | 14. カウンセラー |
| 6. 塾の先生 | 15. 公的な相談機関 |
| 7. 職場の同僚・上司 | 16. NPOなど民間の相談機関 |
| 8. 友人 | 17. その他 (具体的に) |
| 9. 異性の交際相手 | 18. 相談したことはない |

(2) (1) で「18. 相談したことはない」と回答された方におたずねします。相談しなかったのはなぜですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 解決できと思わなかった | 6. 心配かけたくなかった |
| 2. 相談相手がいなかった | 7. 相談する勇気がなかった |
| 3. 相談先がわからなかった | 8. 相談する必要がなかった |
| 4. 恥ずかしかった | 9. その他 (具体的に) |
| 5. 知られたくなかった | 10. わからない |

問 24 あなたはこれまで自殺を試みたことがありますか。次の中から 1つを選んで○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 25 あなたはこれまで自殺を考えたことがありますか。次の中から 1つを選んで○をつけてください。

- | | | |
|----------------|---------------|-----------------|
| 1. 真剣に考えたことがある | 2. 少し考えたことがある | 3. まったく考えたことはない |
|----------------|---------------|-----------------|

問 26 あなたは身体の性と心の性が違っていると感じることがありますか。次の中から 1つを選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 感じる | 4. まったく感じない |
| 2. たまに感じる | 5. わからない |
| 3. あまり感じない | |

問 27 あなたは5年後の自分をどのようにイメージしていますか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 幸せな状態である	6. 多くの人の役にたっている
2. 親を大切にしている	7. 今より経済的に豊かになっている
3. 子どもを育てている	8. 今より社会的地位が高くなっている
4. 自由にのんびり暮らしている	9. 世界で活躍している
5. 一生懸命、仕事をしている	10. あてはまるものはない

問 28 あなたが将来不安に思うことは何ですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 失業するなど生活が不安定になること	9. 親の介護のこと
2. 収入がいつまでも上がらないこと	10. 健康のこと
3. 自分の仕事の能力のこと	11. 年金がもらえなくなること
4. 結婚できないこと	12. 日本の景気が悪くなること
5. 結婚生活がうまくいかないこと	13. 少子・高齢化が進むこと
6. 子育てがうまくいかないこと	14. その他
7. きちんとした生活ができないこと	(具体的に)
8. 老後の生活のこと	15. 不安に思うことはない

問 29 あなたは今の生活に満足していますか。ア～エのそれぞれについて 1 つ選んで○をつけてください。

	満足	やや満足	やや不満	不満
ア. 仕事や勉強について	1	2	3	4
イ. 友人との関係について	1	2	3	4
ウ. 家庭や恋愛について	1	2	3	4
エ. 余暇について	1	2	3	4

問 30 あなたが次のア～ウのように感じるときは、1～6のどのようなときが多いですか。それぞれ2つまで選んで○をつけてください。ア～ウのようなきがない場合は「7. そのようなときはない」を選んでください。

	家族と いるとき	学校・職 場の人と いるとき	友だちと いるとき	同じ目的 の仲間と いるとき	一人で いるとき	その他	そのよう なときは ない
ア. ほっと感じるとき	1	2	3	4	5	6	7
イ. 達成感を感じるとき	1	2	3	4	5	6	7
ウ. 自分が役立っていると感じるとき	1	2	3	4	5	6	7

4 最後にあなたの自身のことについてお聞きします。

F1. 性別

1. 男 2. 女

年齢

歳

F2. 現在、あなたといっしょにお住まいの方について、おたずねします。

(1) 何人の方といっしょにお住まいですか？

あなた以外の人数の合計をお答えください。

人

(2) 現在、どなたと一緒ににお住まいですか。次の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-----------------|------------------------|
| 1. 自分の父親 | 6. 父方の祖父母(父親の親) | 11. 友人・ルームメイト・同僚(寮も含む) |
| 2. 自分の母親 | 7. 母方の祖父母(母親の親) | 12. なし(一人暮らし) |
| 3. 兄弟姉妹 | 8. 配偶者の父親 | 13. その他 |
| 4. 配偶者・パートナー | 9. 配偶者の母親 | (具体的に) |
| 5. 子ども | 10. 配偶者の祖父母 | |

F3. 現在お住まいの住居はどれですか。次の中から 1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 持ち家一戸建て (親の名義) | 5. 貸家・賃貸マンション・賃貸アパート |
| 2. 持ち家一戸建て (自分か配偶者の名義) | 6. 社宅・官舎・寮等 |
| 3. 持ち家マンション (親の名義) | 7. その他 |
| 4. 持ち家マンション (自分か配偶者の名義) | (具体的に) |

F4. あなたは、現在、何区にお住まいですか。

区

F5. あなたは中学3年生の頃、どこにお住まいでしたか。

(1) 住んでいた市町村の地域を次の中から 1つ選んで○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|------------------|--------|--------|---------|
| 1. 名古屋市内 | 2. 愛知県内 (名古屋市以外) | 3. 岐阜県 | 4. 三重県 | 5. それ以外 |
|----------|------------------|--------|--------|---------|

(2) (1)で2～5と回答された方におたずねします。

住んでいた市町村の当時の人口の規模について次の中から 1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 人口 200 万人以上 | 5. 人口 5 万人以上 10 万人未満 |
| 2. 人口 100 万人以上 200 万人未満 | 6. 人口 5 万人未満 |
| 3. 人口 30 万人以上 100 万人未満 | 7. わからない |
| 4. 人口 10 万人以上 30 万人未満 | |

F 6. この1年間の、あなた自身の年収（税込みの収入）はだいたいどれぐらいでしたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. 50万円未満	8. 500万円以上～600万円未満
2. 50万円以上～100万円未満	9. 600万円以上～700万円未満
3. 100万円以上～150万円未満	10. 700万円以上～800万円未満
4. 150万円以上～200万円未満	11. 800万円以上～900万円未満
5. 200万円以上～300万円未満	12. 900万円以上～1000万円未満
6. 300万円以上～400万円未満	13. 1000万円以上
7. 400万円以上～500万円未満	

F 7. 現在、経済的には、あなたの生活のレベルについてどのように感じていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. かなり豊かである	2. まあまあ豊かである	3. ふつう	4. やや苦しい	5. かなり苦しい
-------------	--------------	--------	----------	-----------

F 8. あなたが卒業した、もしくは現在通っている学校についておたずねします。

(1) あなたは現在学校に行っていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. 学校に行っている(休学中を含む)	2. 学校に行っていない
---------------------	--------------

(2) あなたが最後に卒業した学校、もしくは現在通っている学校を次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. 中学校	3. 専門学校	5. 大学	7. その他
2. 高等学校	4. 短大・高専	6. 大学院	(具体的に)

F 9. あなたが中学3年生の頃、学校の成績はどうでしたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. 上の方	3. まんなかあたり	5. 下の方
2. どちらかというと上の方	4. どちらかというと下の方	6. わからない

F10. 現在のあなたの健康状態はどうですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. 健康	3. 注意する点があり、日常生活に制限がある
2. 注意する点はあるが、日常生活に支障はない	4. 病気がち・療養中

F11. あなたが中学3年生の頃の「あなたの家庭の暮らし向き」についておたずねします。

(1) 主に家計を支えていた方は誰でしたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. 父親	3. 父と母が同じくらい	5. わからない
2. 母親	4. その他(具体的に)	

(2) 経済的には、「中学3年生の頃のあなたの家庭の暮らし向き」はどの程度だったと思われますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. かなり豊かだった	3. ふつう	5. かなり苦しかった
2. まあまあ豊かだった	4. やや苦しかった	6. わからない

【自由意見】

すべての若者がいきいきと自立した生活をおくれる社会になるために必要だと思われることを自由にお書きください。

質問は以上で終わりです。ご協力、大変ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、お送りください。